

令和4年度

「授業評価アンケート」報告書

令和5年10月

学習院大学

FD・SD推進委員会

はじめに

学習院大学 FD・SD 推進委員会委員長
千葉 功

本報告書は、令和4年度に実施した「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一環として「学生による授業評価アンケート」を年2回各学期末に実施しており、令和4年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって17年目を迎えた。マークシートでの回答と比較して、回収の手間がかからないこと、結果がすぐに集計できることから、昨年度に続き Web での実施とした。

集計された「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立ててもらえるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。さらに、このアンケート結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、このアンケートの結果を受けて、自部門における授業の実施方法等について、良かった点、改善が求められる点などを評価、分析し、次年度の改善点を第3章「各部門の分析・評価」にて記載している。

第二に、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、第4章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有することができる。

大学を取り巻く環境は日々変化しており、「例年通り」のようにいかない状況が今後も続くことが考えられる。そのため、授業評価アンケートの実施方法や活用用途などその時々状況に応じて柔軟に取り組む必要がある。

また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形でFDに関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学のFD活動の見直しを続けていきたい。その一環として、令和5年度から、ファカルティ・ディベロップメント推進委員会の位置づけや役割を見直し、全学的にFDを推進する体制を整備するとともに、全学的にSDを推進する体制を新たに整備するため、FD・SD推進委員会を設置した。引き続き、授業改善に寄与する取り組みをはじめ、本学の教育改善に資するFD・SD活動を続けていきたい。

令和5年10月

目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施にかかる全体的な状況、集計結果	6
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	15
第2章 令和4年度の概観	16
第3章 各部門の分析・評価	25
I. 法学部	26
II. 経済学部	33
III. 文学部	46
IV. 理学部	65
V. 国際社会科学部	75
VI. 計算機センター	86
VII. 外国語教育研究センター	93
VIII. スポーツ・健康科学センター	101
IX. 全学共通教育運営委員会	108
X. 教職課程	116
XI. 学芸員課程委員会	121
第4章 授業への取り組み例	127
第5章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	159
令和5年度FD・SD推進委員会委員一覧	178

第1章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の情報共有等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、各学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況や、経済学部、法学部法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは実施を予定）していた授業評価アンケートについての報告がなされた。

その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16年7月、第1回の委員会が開催された。

委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされた。委員会では、そのために取り組むべき活動として、全学的な「学生による授業評価アンケート」の実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動に活かすための基礎的な情報収集という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられるためである。

その後、FD推進委員会においては、「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」及び、学習院個人情報保護規程をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これらのガイドラインにもとづき、平成18年度、全学的な「学生による授業評価アンケート」が初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるFD活動の基礎として、改善を加えながら毎年度実施されている。令和5年度からFD活動はFD・SD推進委員会で議論がなされており、前述の通り、授業評価アンケートのみを扱うのではなく、時代に則して裾野を広げ、学部及び大学院の教員に求められる教育、研究及び社会貢献等の諸活動に必要な能力の向上を図るための組織的な研修及び研究等の活動を行っている。

II. 実施の方法

第1学期は7月、第2学期は12月から1月の所定の期間中に、Web アンケート形式にて実施した。LMS(ラーニングマネジメントシステム)上にシステムのログイン用 URL を記したお知らせを掲載し、回答を促した。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第1学期：第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期：第2学期科目及び通年科目及び集中講義科目

注1. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

2. 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目は対象外。

3. 本学学部生が6名以上の科目においても、回答者数が5名以下の科目は、集計結果の担当教員へのフィードバックを行わず、また、各種集計データに含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
全学共通教育運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として「5.強く思う」～「1.全く思わない」の5段階の評価方式としている。(別途指定のある設問・枝問を除く)

実際に使用した質問項目を以下に掲載する。

No.	設 問
(1)	私はこの授業を次の形式で受講した 5：全て対面 4：対面の方が遠隔より多い 3：対面と遠隔が半々 2：遠隔の方が対面より多い 1：全て遠隔 ※遠隔には Zoom 等を用いた同時配信形式やオンデマンド形式を含みます。
(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた
(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）
(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
(4)-2	※(4)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人を除く 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5：4.5時間以上 4：3時間以上 4.5時間未満 3：2時間以上 3時間未満 2：90分以上 2時間未満 1：90分未満
(5)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった
(6)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った
(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた
(10)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している
(10)-2	※(10)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5：多い 4：少ない
(11)	この授業の水準に満足している
(11)-2	※(11)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業の水準について、どのように感じましたか 5：高すぎる 4：低すぎる
(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる

(15)	<p>この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか</p> <p>5：今回のままでよい</p> <p>4：対面授業の回数を増やしてほしい</p> <p>3：同時配信型の授業の回数を増やしてほしい</p> <p>2：オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい</p>
(15)・2	<p>(15)の答えの理由を記入してください(回答は任意です。200字まで。記入内容を担当教員へ直接伝えることはせず、大学として今後の授業改善の参考にいたしますので、自由に記入してください。)</p>
(16)	<p>※自由記述欄</p> <p>この授業について、①工夫がなされていたと感じた点、②そのほかの意見や気付いた点があれば記入してください(回答は任意です。200字まで。記入内容を担当教員へ直接伝えることはせず、大学として今後の授業改善の参考にいたしますので、自由に記入してください。)</p>

Ⅲ. 実施にかかる全体的な状況、集計結果

前述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。令和4年度は、対象科目数2,538、実施科目数2,490、実施率98.11%となった。学生の回答率(=延べ回答者数/延べ履修者数)は35.28%であった。

なお、令和4年度は、質問項目を昨年度から一部変更している。(Q1を新設、Q15-2及びQ16は一部変更)

令和5年3月、授業担当者へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を各教員に送付した。また、同年7月には昨年度と同様に本学HPページ上で速報(<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/2023/0712.html>)を公開し、開設部門別・授業形態別に、各質問項目に関する回答の平均値の経年変化及び回答率の経年変化のグラフを掲載した。

本報告書では、上記に加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化(5年間)を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を掲載している。さらに、授業評価アンケートの結果を受けた「授業への取り組み例」も、引き続き収集し取りまとめている。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第3章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第4章に、「基礎データクロス表」は第5章に掲載する。

1. 実施概要

令和4年度のアンケートは、第1学期は7月5日から7月31日まで、第2学期は12月7日から1月31日までのそれぞれ期間に、学部生が履修することのできる科目を対象として Web アンケート形式で行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表1**である。

令和4年度は、対象科目数 2,538 に対して、実施科目数 2,490、実施率は 98.11% となり、前年度から若干の下落を見せた（前年度比-0.97）。

また、集計対象科目における学生の回答率（=集計対象科目の延べ回答者数／集計対象科目の延べ履修者数）は 35.28%（-1.57）となった。学生に対して回答のリマインドを複数回行う等の工夫を行ったものの、依然として回答率の向上が課題となっている。

また、回答者の種類を表したのが、**図表2**である。例年通り、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向がある。

図表1 アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

部門別	形態別		実施率			集計対象科目数	集計対象外科目数	回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
計セ	講義		100	99	99.00%	88	11	4,799	2,036	42.43%
	合計		100	99	99.00%	88	11	4,799	2,036	42.43%
外セ	語学		565	550	97.35%	354	196	9,129	3,621	39.66%
	合計		565	550	97.35%	354	196	9,129	3,621	39.66%
スポ健	演習		118	115	97.46%	89	26	2,173	1,205	55.45%
	合計		118	115	97.46%	89	26	2,173	1,205	55.45%
基礎教養	講義		102	102	100.00%	96	6	11,866	4,055	34.17%
	演習		5	5	100.00%	4	1	161	35	21.74%
	合計		107	107	100.00%	100	7	12,027	4,090	34.01%
法学部	講義		125	125	100.00%	119	6	19,544	6,364	32.56%
	演習		110	109	99.09%	50	59	1,084	523	48.25%
	合計		235	234	99.57%	169	65	20,628	6,887	33.39%
経済学部	講義		147	145	98.64%	123	22	22,574	7,228	32.02%
	演習		110	105	95.45%	43	62	780	387	49.62%
	合計		257	250	97.28%	166	84	23,354	7,615	32.61%
文学部	講義		261	256	98.08%	224	32	13,009	4,901	37.67%
	演習		334	334	100.00%	197	137	5,200	2,085	40.10%
	合計		595	590	99.16%	421	169	18,209	6,986	38.37%
理学部	講義		133	131	98.50%	105	26	5,690	1,909	33.55%
	演習		34	34	100.00%	27	7	1,249	425	34.03%
	合計		167	165	98.80%	132	33	6,939	2,334	33.64%
国際社会 科学部	講義		79	78	98.73%	65	13	8,749	1,933	22.09%
	演習		43	42	97.67%	19	23	403	174	43.18%
	語学		152	142	93.42%	79	63	1,827	998	54.63%
	合計		274	262	95.62%	163	99	10,979	3,105	28.28%
教職課程	講義		36	36	100.00%	29	7	2,040	982	48.14%
	演習		54	53	98.15%	37	16	1,448	526	36.33%
	合計		90	89	98.89%	66	23	3,488	1,508	43.23%
学芸員	講義		20	20	100.00%	19	1	757	287	37.91%
	演習		10	9	90.00%	4	5	50	29	58.00%
	合計		30	29	96.67%	23	6	807	316	39.16%
形態別	講義計		1,003	992	98.90%	868	124	89,028	29,695	33.35%
	演習計		818	806	98.53%	470	336	12,548	5,389	42.95%
	語学計		717	692	96.51%	433	259	10,956	4,619	42.16%
全科目										
			2,538	2,490	98.11%	1,771	719	112,532	39,703	35.28%

注1 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 アンケート実施対象科目であっても、実際の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」:授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」:アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」:アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	20,396	11,171	6,432	1,592	24	0	39,615
大学院生(博士前期課程)	15	19	0	0	2	0	36
大学院生(博士後期課程)	6	4	2	0	0	0	12
学部聴講生	0	0	0	0	0	0	0
学部研修生	0	0	0	0	0	0	0
大学院研修生	0	0	0	0	5	0	5
大学院委託生	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生(学部)	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	0	0	0
大学院交流生	0	0	0	0	0	0	0
他大学生(大学院生含む)	0	0	0	0	30	0	30
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが図表3である。令和4年度における履修者数の傾向は、昨年度と比べ原則変わらないが、語学の25名以下の科目の比率が前年度より減少(-9.48%)し、26～50名の科目の比率が増加している(+9.48%)。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名
形態別	講義	科目数	108	223	247	97	88
		%	12.44%	25.69%	28.46%	11.18%	9.97%
	演習	科目数	281	168	19	2	0
		%	59.79%	35.74%	4.04%	0.43%	0.00%
	語学	科目数	256	177	0	0	0
		%	59.12%	40.88%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	645	568	266	99	88
		%	36.42%	32.07%	15.02%	5.59%	4.66%

			履修者数別					
			201～250名	251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	35	42	21	10	14	868
		%	4.03%	4.84%	2.42%	1.15%	1.61%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	0	470
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	0	433
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	35	42	21	10	14	1,771
		%	1.98%	2.37%	1.19%	0.56%	0.79%	100.00%

2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別・形態別」「形態別」「学年別」「履修者数別」に分類し、各項目（主な13項目+ α ）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたものを以下に示す。

別紙 質問項目別単純集計表【第3章各部門頁末、第5章】

3. 授業満足度による集計結果

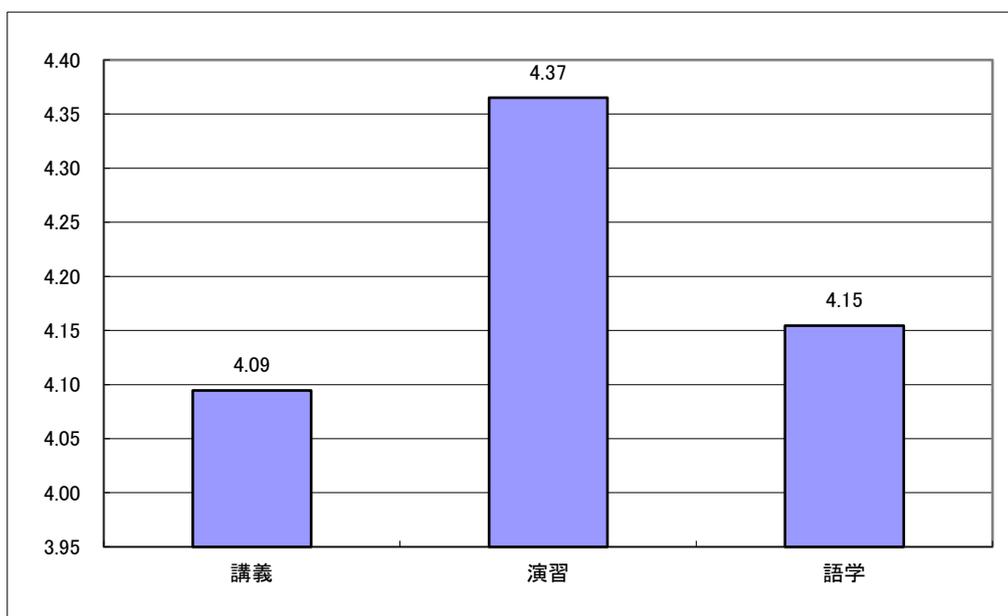
アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計のみでは、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、「Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「授業の形態別」「学部生の学年別」の視点から概観する。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が**図表4-1**である。この結果を過去5年間の経年変化で示した**図表4-2**から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高い授業形態である「演習」に比べると、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加の機会が少ないと思われる「講義」、反復学習が重要な初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低くなりがちであることが考えられる。なお、各形態の満足度は昨年度と変わらない値となっている。

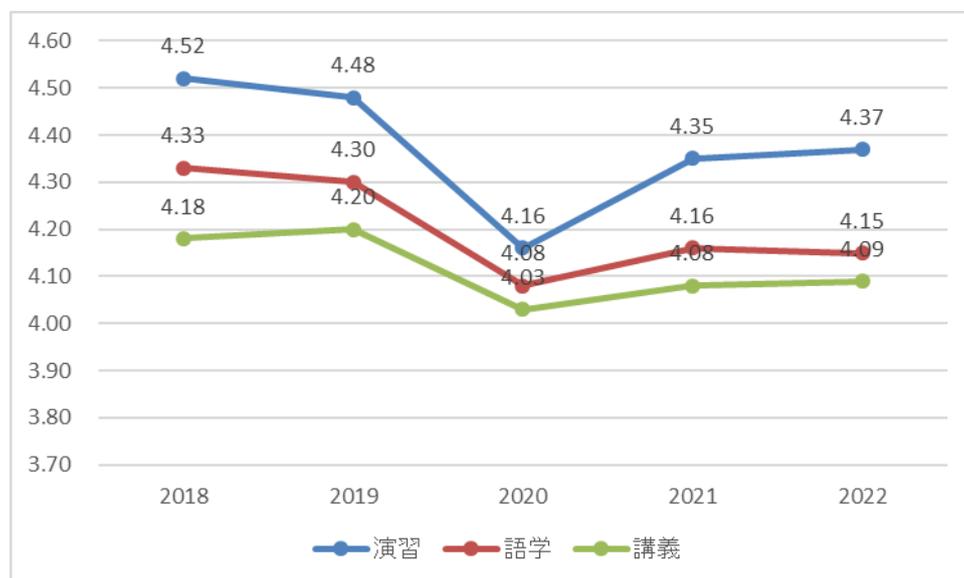
図表4-1 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



講義	演習	語学
4.09	4.37	4.15

図表4-2 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)

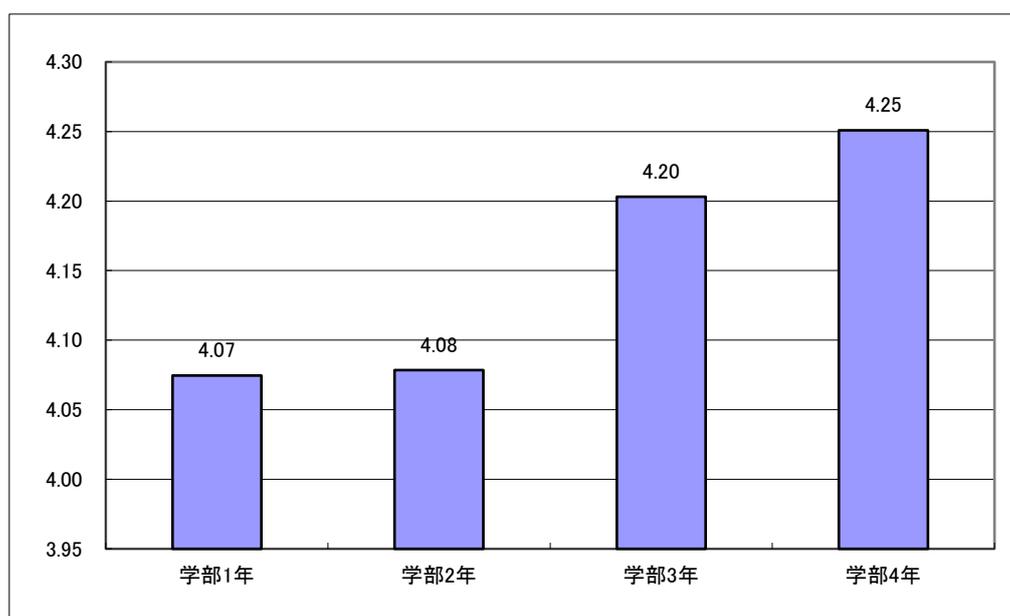
(過去5年)



・「学年別」による集計結果

学部生の回答に限定して、学年別の集計を行った結果が**図表5**である。コロナ禍前までの傾向として、学年が進むにつれて評価値が高くなっていくが、令和3年度及び令和2年度は、学部2年生が最も低い値となっていた。しかし、令和4年度は学年が進むにつれて評価値が高くなっており、コロナ禍前までの傾向に戻ったことがうかがえる。また、どの学年も4.10前後となっており、学年間で大きな違いは見られない結果となった。

図表5 「14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.07	4.08	4.20	4.25

4. シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

令和2年度から追加した「Q2履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」の項目では、学生の受講前のシラバス活用度を確認している。この項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は77.47% (-3.74)であった。昨年度と比較し、若干の下降が見られるが、7割強の学生がシラバスを読んだ上で授業に臨んでいることがうかがえる。また、一昨年度から追加した「Q5授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」の項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は84.72% (-0.81)となり、昨年度に引き続き教員の工夫がうかがえる結果となった。これらの結果から、シラバスの活用に関しては学生・教員共に十分になされていると言える。

シラバスは、履修科目を選択する際だけでなく、学期を通じて授業の進捗や今後の学習計画を確認したり、ひいては卒業までに身につけるべき知識・能力を整理し、学習の道りを自己管理したりするために、常に学生が自律的に学ぶガイドとなることが望まれる。シラバスの内容をブラッシュアップすることはもちろん、学生に向けてその意義をしっかりと説明し、活用を促進していく必要があるだろう。また、令和5年度のアンケートから、学生が、各授業担当者が設定した目標をどのように捉えているかに関する実態を把握することを目的に、到達目標に対する達成度を尋ねる質問「シラバスに記載されている到達目標を達成したと感じる」を追加している。引き続きシラバスの活用度を注視していく必要があると考える。

IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

令和4年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して17年目となったが、無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD・SD推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

また、平成27年度より、授業評価アンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生による評価が高かった科目を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その科目の担当教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施してきた。コロナ禍により集合形式での取り組みが難しくなったことから、令和2年度からは本研究会の開催を中止している。それに代わる取り組みとして、令和4年度は授業担当者側の振り返りで得られた回答を、学生の授業評価アンケートの回答と合わせて、FDの観点から分析、検討し、教学改善に生かすことを目的に教員向けにも授業評価アンケートを実施した。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の目的は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて達成されることになる。個々の努力を大学全体で共有でき、より良い授業のための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、Web上での実施を続ける中でアンケートの回答率を向上させることが次回以降の課題である。

前身のファカルティ・ディベロップメント推進委員会は、授業評価アンケートの実施や大学教員へのFD研修を活動の主軸としてきたが、教員に求められる資質は常に変わることから、活動目的や内容を見つめなおすことが必要である。

FD活動を授業評価アンケートによる教育改善に限定するのではなく、研究活動の活性化や社会貢献に資する取り組みを含めることで、これまで以上に裾野を広げたFD活動を進めていきたいと考える。

第2章

令和4年度の概観

1. 教員向け授業評価アンケートの結果

令和4年度（2022年度）は、授業担当者側の振り返りで得られた回答を、学生の授業評価アンケートの回答と合わせて、FDの観点から分析、検討することを目的に、教員向けの授業評価アンケートを実施した。第1章及び第3～5章では、学生向けの授業評価アンケートの結果について記述しており、本章では教員向けアンケートの結果について分析した結果を記述する。なお、教員向けの授業評価アンケートは、令和元年度（2019年度）以来、2回目の実施となり、881科目の回答を得ている。集計結果は、図1から図3のとおりである。

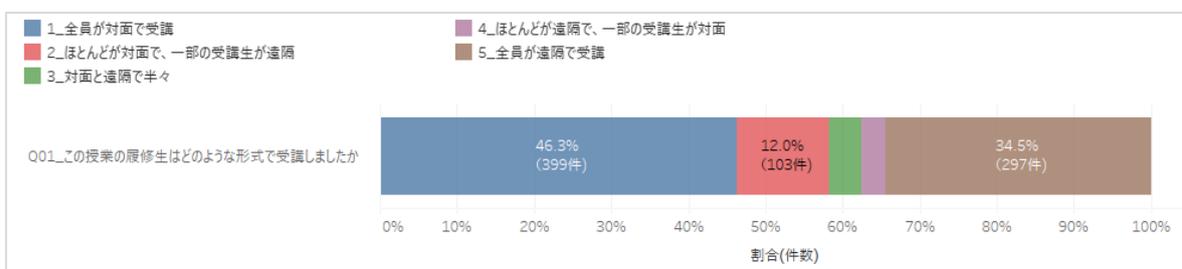


図1. 設問1「この授業の履修生はどのような形式で受講しましたか」の回答結果

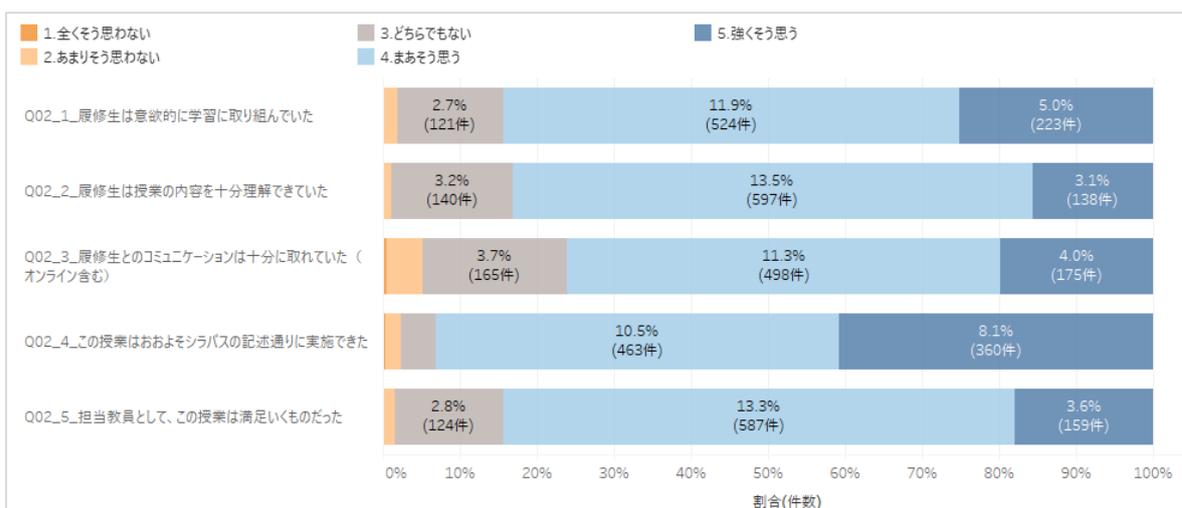


図2. 設問2「この授業を振り返って、あてはまる数字をお答えください」の回答結果

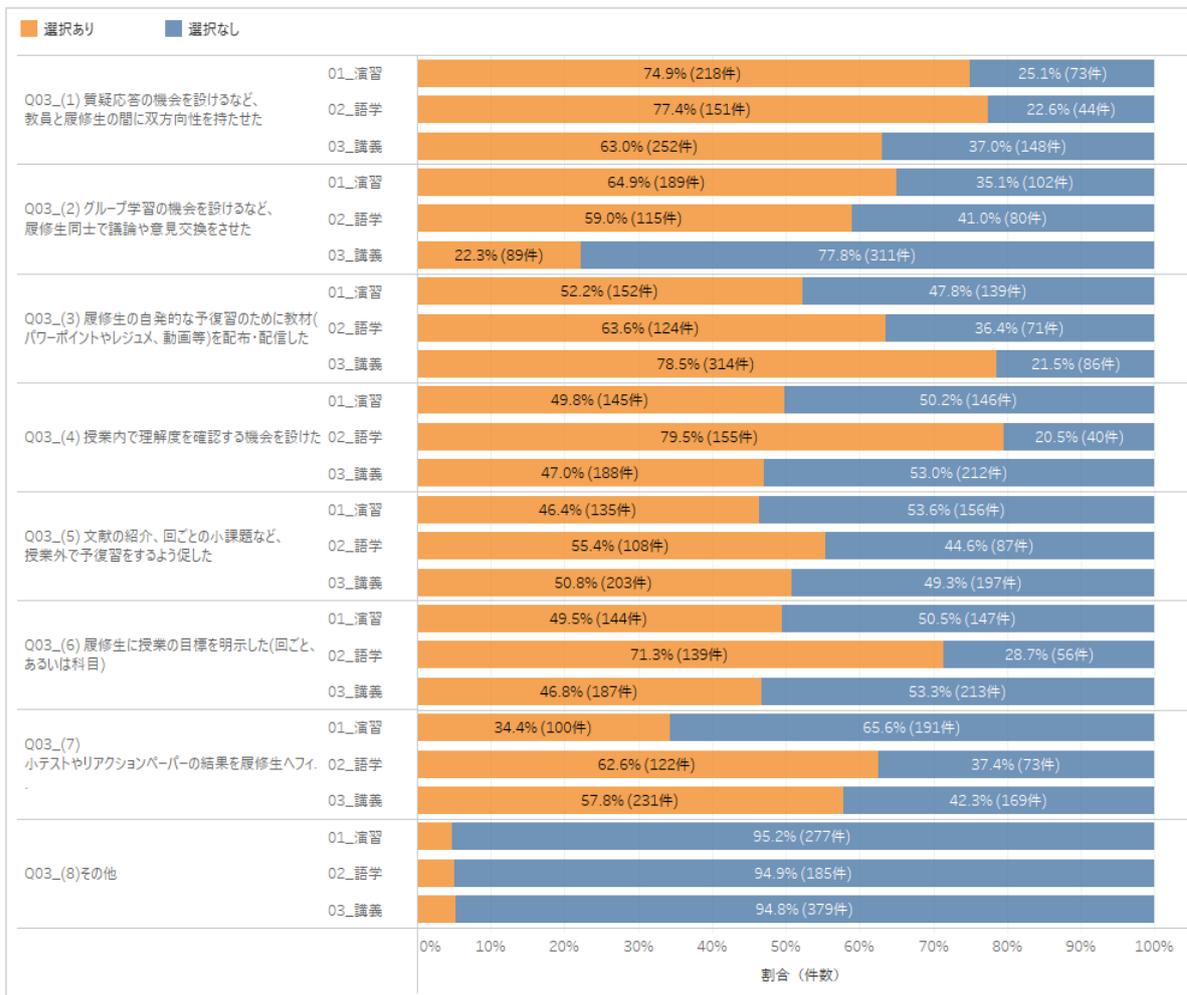


図 3. 設問 3 「今年度この授業で、特に工夫した要素があれば選択してください」の回答結果

II. 学生アンケート結果との連結

目的

令和元(2019)年度において、本アンケートのねらいは教員と学生との間で、認識や評価にズレがないか確認をする点であった。今年度はそれに準じ、学生向けのアンケート結果とデータを連結し、関連性を見ることとした。

データの形式や性質

解析手法の検討に先立って、データ型や性質の確認を行った。

- 1) 教員の回答 1 件に対して、学生の回答は複数 (一対多の関係)。

- 2) 学生の回答は無記名でデータ型は5段階尺度の離散値
- 3) 教員向けアンケートでは設問2と3とでデータ型が異なる。設問2は5段階尺度の離散値で設問3は論理値
- 4) 設問2は、学生向けアンケートに対応する趣旨を持つ質問がみられる(表1)。
- 5) 設問3は、学生向けアンケートに対応する質問は見られない(表2)。

表1. 設問2の質問対応表

教員向けアンケート (5段階尺度の離散値)	学生向けアンケート (5段階尺度の離散値)
(1) 履修生は意欲的に学習に取り組んでいた	(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)
(2) 履修生は授業の内容を十分理解できていた	(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる
(3) 履修生とのコミュニケーションは十分に取れていた(オンライン含む)	(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
(4) この授業はおおよそシラバスの記述通りに実施できた	(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった
(5) 担当教員として、この授業は満足のいくものだった	(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる

表2. 設問3における比較

教員向けアンケート (Yes/Noの論理値)	学生向けアンケート (5段階尺度の離散値)
(1) 質疑応答の機会を設けるなど、教員と履修生の間に双方向性を持たせた	(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)
(2) グループ学習の機会を設けるなど、履修生同士で議論や意見交換をさせた	(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
(3) 履修生の自発的な予復習のために教材(パワーポイントやレジュメ、動画等)を配布・配信した	(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった
(4) 授業内で理解度を確認する機会を設けた	(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ
(5) 文献の紹介、回ごとの小課題など、授業外で予復習をするよう促した	(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
(6) 履修生に授業の目標を明示した(回ごと、あるいは科目)	(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
(7) 小テストやリアクションペーパーの結果を履修生へフィードバックをした	

	<p>(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた</p> <p>(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している</p> <p>(11) この授業の水準に満足している</p> <p>(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした</p> <p>(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる</p> <p>(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる</p>
--	---

解析手法

設問2と設問3とは、質問の趣旨、データ型が異なることから、それぞれ別の解析アプローチを試みた。

設問2では相関分析をとることとした。回答者属性に基づくデータは得られていないため、全体傾向の把握を主な目的とした。なお、相関係数の有意性を判定する水準は5%とした。

設問3では、学生からの評価を目的変数として、教員の工夫を説明変数と扱い、変数同士の関係性の把握を目的とした。また、次のような性質を含んでいることに鑑み、解析手法として、重回帰分析を用いることとした。

- ・ 教員の工夫以外の要素が、学生の評価に影響を与えている可能性は未確認である。
(例：履修者数、課題の量、試験の難易度等が結果に与えている影響)
- ・ 説明変数間での相関は未確認である。
- ・ 複数の変数をもたらす相互作用については未確認である。

説明変数として扱う教員の工夫には7個を設定した。目的変数として扱う学生からの回答は12個に設定した。目的変数を順に入れ替え、合計12回の計算を行うこととした(参考図4)。データの連結については、学生からの回答を平均値等で集約することはせず、一対多による連結をとることとした。

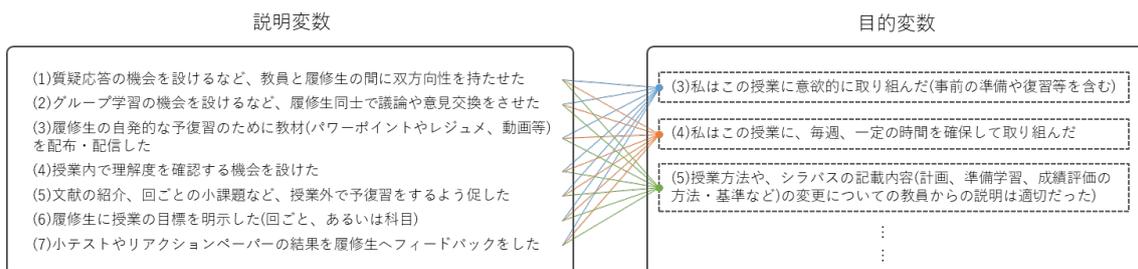


図4. 説明変数（教員向けアンケート設問3）と目的変数（学生向けアンケート）との関連

設問2の解析結果および考察

表3. 相関分析の結果

教員向けアンケート (5段階尺度の離散値)	学生向けアンケート (5段階尺度の離散値)	相関係数
(1) 履修生は意欲的に学習に取り組んでいた	(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	0.13
(2) 履修生は授業の内容を十分理解できていた	(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	0.11
(3) 履修生とのコミュニケーションは十分に取れていた(オンライン含む)	(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	0.05
(4) この授業はおおよそシラバスの記述通りに実施できた	(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	0.06
(5) 担当教員として、この授業は満足のいくものだった	(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.07

表3は相関分析の結果である。解析には Pearson の相関係数を用いている。5つの質問における相関係数は 0.06 から 0.13 であった。

相関係数の値からは、ほとんど相関がなく、教員と学生の認識は連動していないと解釈できた。負の相関が示されているわけでもないため、全く逆の認識となっているわけでもないとも解釈できる。

この結果を受け、授業の方法（演習、講義、語学）によって、傾向が異なるかどうか確認するため、追加の解析を行ったが、大きく値が変わるという結果は認められなかった。

表4. 重回帰分析（定数項、回帰係数のみ表記）の結果

演習

	学生_Q03	学生_Q04	学生_Q05	学生_Q06	学生_Q07	学生_Q08	学生_Q09	学生_Q10	学生_Q11	学生_Q12	学生_Q13	学生_Q14
const	4.418 **	4.132 **	4.377 **	4.152 **	4.408 **	4.288 **	4.427 **	4.384 **	4.426 **	4.315 **	4.392 **	4.457 **
教員_Q03_1	-0.055	0.012	-0.048	0.032	0.077 *	-0.107 **	-0.019	-0.033	-0.014	0.052	-0.005	0.017
教員_Q03_2	0.010	-0.057	0.008	0.021	0.051	0.415 **	0.001	0.001	0.034	0.003	0.029	0.004
教員_Q03_3	-0.074 *	-0.120 *	-0.058	0.063	-0.092 *	-0.238 **	-0.052	-0.012	-0.002	0.017	-0.003	-0.029
教員_Q03_4	0.051	-0.034	0.011	0.017	-0.005	-0.059	-0.021	0.009	-0.046	0.000	-0.024	-0.036
教員_Q03_5	-0.008	0.237 **	-0.006	0.085 *	0.007	0.090 *	-0.063	-0.098 *	-0.117 **	-0.044	-0.025	-0.089 *
教員_Q03_6	0.099 **	0.114 *	0.119 **	0.009	0.049	0.042	0.140 **	0.106 **	0.074 *	0.061	0.038	0.079 *
教員_Q03_7	-0.118 **	-0.112 *	-0.129 **	-0.026	-0.110 **	-0.080 *	-0.100 **	-0.081 *	-0.078 *	-0.091 *	-0.107 **	-0.091 **

語学

	学生_Q03	学生_Q04	学生_Q05	学生_Q06	学生_Q07	学生_Q08	学生_Q09	学生_Q10	学生_Q11	学生_Q12	学生_Q13	学生_Q14
const	4.039 **	3.948 **	4.148 **	4.128 **	3.985 **	3.430 **	4.135 **	4.102 **	4.064 **	3.959 **	4.067 **	4.060 **
教員_Q03_1	0.170 **	0.162 **	0.061	0.061	0.187 **	0.198 **	0.178 **	0.145 **	0.217 **	0.172 **	0.148 **	0.195 **
教員_Q03_2	-0.007	-0.024	-0.105 *	-0.086 *	0.007	0.525 **	-0.158 **	-0.072	-0.066	-0.041	-0.140 **	-0.106 *
教員_Q03_3	-0.084	0.026	-0.021	-0.036	-0.025	-0.129 *	-0.077	-0.104 *	-0.128 **	-0.175 **	-0.118 *	-0.166 **
教員_Q03_4	0.087	0.038	0.142 **	0.144 **	0.260 **	0.213 **	0.187 **	0.059	0.109	0.146 *	0.135 *	0.147 *
教員_Q03_5	-0.048	-0.017	0.031	0.067	0.047	0.099	0.047	0.048	0.023	0.026	0.071	0.060
教員_Q03_6	0.046	0.038	-0.074	-0.063	-0.119 *	0.073	-0.080	-0.017	-0.040	-0.003	-0.027	-0.030
教員_Q03_7	-0.043	-0.009	0.005	-0.015	-0.069	-0.143 *	-0.042	-0.017	-0.022	-0.031	-0.057	-0.034

講義

	学生_Q03	学生_Q04	学生_Q05	学生_Q06	学生_Q07	学生_Q08	学生_Q09	学生_Q10	学生_Q11	学生_Q12	学生_Q13	学生_Q14
const	3.941 **	3.782 **	4.088 **	4.110 **	3.775 **	3.045 **	4.043 **	4.052 **	4.082 **	4.056 **	4.074 **	4.089 **
教員_Q03_1	-0.013	0.023	-0.023	-0.055 **	0.234 **	0.187 **	-0.036 *	-0.018	-0.040 *	-0.015	-0.010	-0.041 *
教員_Q03_2	0.007	-0.127 **	0.005	0.002	0.057 *	0.826 **	0.075 **	0.067 **	0.059 **	0.022	0.013	0.027
教員_Q03_3	-0.096 **	-0.044 *	-0.040 *	0.023	-0.052 **	-0.163 **	-0.039 *	-0.072 **	-0.072 **	-0.056 **	-0.027	-0.060 **
教員_Q03_4	0.047 **	0.024	0.016	-0.005	0.045 **	0.058 **	0.003	-0.007	-0.004	-0.012	-0.001	-0.010
教員_Q03_5	0.080 **	0.126 **	0.112 **	0.122 **	0.056 **	-0.027	0.132 **	0.100 **	0.121 **	0.128 **	0.087 **	0.137 **
教員_Q03_6	0.019	0.051 **	-0.027	-0.009	0.055 **	-0.121 **	-0.017	-0.047 **	-0.045 **	-0.019	-0.001	-0.033 *
教員_Q03_7	0.026	-0.006	0.062 **	0.037 **	0.138 **	0.177 **	0.058 **	0.049 **	0.060 **	0.034 *	-0.004	0.053 **

* : 5%水準で有意 (p < 0.05)、** : 1%水準で有意 (p < 0.01)

設問3の結果および考察

表4は重回帰分析の結果である。今回の目的は予測モデルの構築ではなく、目的変数に対する説明変数の重要度を測ることなので、定数項(const)と回帰係数のみ表中に示している。また7つの説明変数はいずれも同じスケールであるため、標準化は行っていない。多重共線性を定量化するためのVIF(Variance Inflation Factor)は、いずれも2未満であった。

重回帰分析からは大きく2つの結果が示された。1点目は、(2)グループ学習の機会を設ける等の工夫は、「Q08 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」と強く関連することが示された。表4では「教員_Q03_3」と「学生_Q8」で交差する箇所にあたる。特に講義においては、最も高く、回帰係数は0.826であった。語学では0.525、演習では0.415だった。

説明変数のデータ型は、Yes/Noの論理値であるのでグループ学習の機会を設ける等の工夫が「Yes」であれば、Q08の回答結果を0.826上昇させると解釈できる。

演習の係数が0.415と最も低いのは、もともと授業の性質として、意見交換等が備わっていたためだと推察される。一方、講義では意見交換を想定しているものが多くないため、相対的に強い影響が出たものと考えられる。

2点目は教員向けの質問、(3)履修生の自発的な予復習のために教材(パワーポイントやレジュメ、動画等)を配布・配信したについては、学生の回答10ないし11個で回帰係数に負の値が見られる点である。係数の大小、有意差等の程度はあるが、ほぼすべてマイナスの影響を与えている。これは令和元(2019)年度「授業評価アンケート」で報告されたものと同じ傾向である。

この結果を解釈すると、「3)履修生の自発的な予復習のために教材(パワーポイントやレジュメ、動画等)を配布・配信」することは、学生の回答結果を全般的に低下させる、となる。

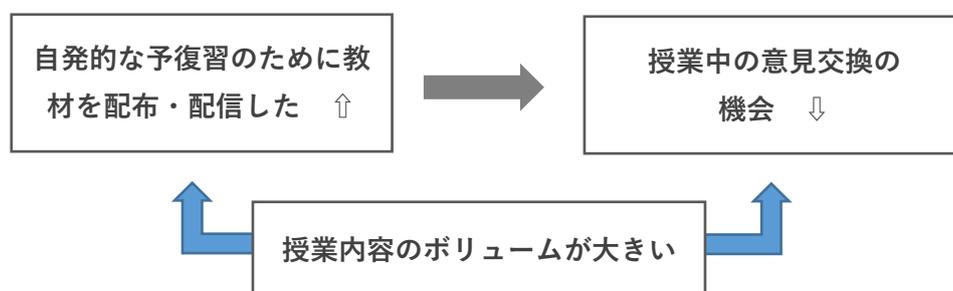
そして、Q08_この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていたとの間で、高い値(演習で-0.238, 講義で-0.163)が見られている。「…自発的な予復習のために教材を配布・配信」することは、「履修生同士の意見交換の機会」との間には強い負の影響を与えるといえる。

これらの要因として「学生はもともと予復習に対してネガティブである」とも考えられうるが、これだけでは「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」と負の関係にある点を説明できない。

これらを同時に成立させる解釈を立てることは非常に難しいが、交絡となるような中間因子を想定すると、解釈の余地はあると考えられる。

例えば、授業内容のボリュームが大きい、という状況が背後にあると仮定すると予復習の

ための教材を配布・配信することは妥当といえる。また、授業中に学生同士で意見交換を行う時間が取れないというのも不自然なことではない。



上記は仮説に基づくものであり、因果推論を行った結果ではなく、時系列の順序から推定したものである。回答率が必ずしも高くないこと、ここで観測されていない変数の存在も含めると、妥当性を欠く恐れは当然にある。

この影響を明らかにする方法として考えられるのは、学生向けのアンケートで、授業内容のボリュームの大きさを、段階的な尺度で聞くことである。現在もこれに関する質問はあるが、満足度を尋ねることが趣旨であって、直接ボリュームを尋ねるものではない。この変更によって、交絡となる因子が推定され、調査精度向上や問題点の洗い出しが期待される。このため、令和6年度以降の質問項目において、「ボリュームの満足度を問う質問」から「直接ボリュームの大きさを尋ねる質問」へ変更あるいは追加することを検討したい。これに限らず、授業評価アンケートの質問項目は、授業の質等の向上に寄与できるように毎年適宜変更しており、引き続き改善のための検討を行っていききたい。

第3章

各部門の分析・評価

I 法学部

1 集計データからわかること

集計では、学生回答単純集計および部門別・形態別集計の2種類が行われている。学生回答単純集計は学生の回答をすべて用いたものであるため、受講生の多い講義への評価は全体評価に対してより大きく寄与することとなる。本指標は、学生が本学（各学部）の授業をどのように経験しているかを見る上で適した指標といえる。他方で部門別・形態別集計は各講義に対して与えられた点数を集計しており、受講者数で重み付けせずすべての講義に同一のウェイトをかけて集計したものと解釈できる。それゆえ、本学（各学部）で提供される授業の質を見る上で適した指標といえる。いずれの指標を用いるかは関心によるが、以下では断りのない限り学生回答単純集計の結果をもとにその結果を確認する。

経年比較については、2020年3月より続くコロナ禍の影響で授業形態が変化していること、および、オンライン授業が主となった影響で、授業評価アンケートへの回答率が2019年度以前に比して低下していることに注意が必要である。法学部の場合、2020年度と比べて2021年度の回答率は大きく上昇したものの、2022年度は若干減少し（17.3%→35.4%→33.4%）、2019年度の水準（45.5%）には達していない。集計値の偏りは回答率の高低のみならずどのような学生が授業評価アンケートに回答するのかによっても左右されるため、低い回答率が必然的にバイアスにつながるとは限らないが、より信頼できる集計値を得るためには、回答率の向上をめざす取り組みが必要だろう。

以上の点に留意して、各回答結果を確認する。

Q2（私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身に着けたいと思う知識や能力をイメージしていた）への回答の平均は3.91（講義）、4.02（演習）であった。この値は2021年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q3（私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む））への回答の平均は3.87（講義）、4.30（演習）であった。この値は2021年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q4（私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ）への回答の平均は3.81（講義）、4.28（演習）であった。この値は2021年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。この質問に関連して、Q4-2では1週間あたり平均でどの程度この授業のために時間を使ったかを尋ねている。とくに演習は講義と比べて学習時間はかなり多く、無回答を除いて集計すれば、約50%の学生が週2時間以上時間をとって学習している（講義は約22%）。本学部の演習は学生に相応の負荷を要求し、かつ学生もそれに対して積極的に応えていることを示唆する。

Q5（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の

変更についての教員からの説明は適切だった) への回答の平均は 4.06 (講義)、4.36 (演習) であった。この値は 2021 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q6 (この授業で配付された教材 (動画や音声の外部リンク等も含む) は、学習を進めるのに役立った) への回答の平均は 4.09 (講義)、4.33 (演習) であった。この値は 2021 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q7 (この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた) への回答の平均は 3.88 (講義)、4.51 (演習) であった。この値は 2021 年度と比べ大きく変化していない (講義のみ比較)。他部門と比べても同程度の水準である。

Q8 (この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた) への回答の平均は 3.00 (講義)、4.35 (演習) であった。この値は 2021 年度には 2020 年度 (2.79) と比べやや上昇し、2022 年度も同水準で推移した (講義のみ比較)。オンライン授業への対応のなかで、各教員が授業方法を工夫し、履修者どうしの意見交換の機会を設けるための方策を見つけ、それを実行することで評価の改善につながった可能性がある。また、本質問については、他部門と比べると講義に関する評価はやや低く、他方演習に対する評価はやや高いというように、両者の点数の差が大きい。講義では主に学生への知識の教授、演習では参加者同士での議論というふうに、それぞれ役割分担が行われている程度が高いということかもしれない。

Q9 (教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた) への回答の平均は 4.03 (講義)、4.35 (演習) であった。この値は 2021 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q10 (この授業のボリューム (学ぶ内容の量) に満足している) への回答の平均は 3.98 (講義)、4.28 (演習) であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業のボリュームをどのように感じたかを尋ねた Q10-2 では、多いとした回答者が約 90% (講義)、約 80% (演習) であった。

Q11 (この授業の水準に満足している) への回答の平均は 4.00 (講義)、4.32 (演習) であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない (講義のみ比較)。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業の水準をどのように感じたかを尋ねた Q11-2 では、高すぎるとする回答が約 90% (講義)、80% (演習) であった。

Q12 (この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした) への回答の平均は 4.04 (講義)、4.38 (演習) であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q13 (この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる) への回答の平均は 4.04 (講義)、4.37 (演習) であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

Q14（総合的に見てこの授業は高く評価できる）への回答の平均は4.03（講義）、4.42（演習）であった。この値は2020年度と比べ大きく変化していない。他部門と比べても同程度の水準である。

相関係数に関する結果については、とくに授業に対する高い評価（Q14）と強く関連する項目として、Q5（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった）、Q6（この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った）、Q9（教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた）、Q10（この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している）、Q11（この授業の水準に満足している）、Q12（この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした）、Q13（この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる）が挙げられる。要するに、シラバスや授業方法についての説明が適切で、教材の質がよく、理解しやすい説明に努め、適度なボリューム・水準で、知的好奇心が刺激され、自らの知識や能力向上の実感を持てるような授業の評価がよい傾向がある、という結果を示しているといえる。

2 今後の授業改善に向けて

以上、集計結果からいえるのは以下の2点である。第一に、概して法学部の授業に対する学生からの評価は他部門と同程度の水準であり、また過年度と比べて下がっているといったような傾向はない。むしろ、オンライン授業への対応を模索する中で、2020年度よりも改善した項目—履修者同士の意見交換の機会の増加—もある。ただし、2021年度から2022年度にかけては値に大きな変化は見られず、2021年度に確立した水準が2022年度も続いている。対面授業の比率が大きく増加しコロナ禍以前の形式へと大きく近づいた2023年度にあって、オンラインの経験を活かしながら高い水準の授業を提供していくことが望まれる。

第二に、講義と比べて演習に対する評価は概して高い。これは、意欲の高い学生が演習を履修するというセレクションによる要因も含まれているかもしれないが、法学部が掲げる少人数教育が学生にとっても満足度の高いものとして経験されていることを示唆している。演習の質が現状と同程度に担保されるならば、演習形式の授業の拡張は、学生評価のさらなる向上につながる可能性がある。



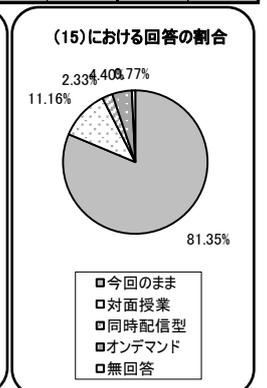
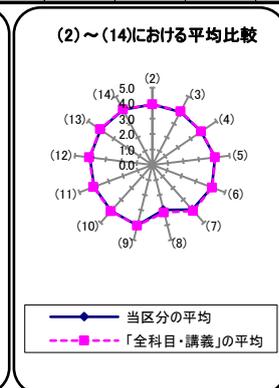
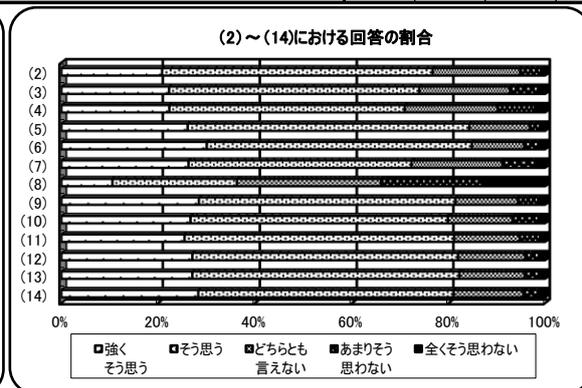
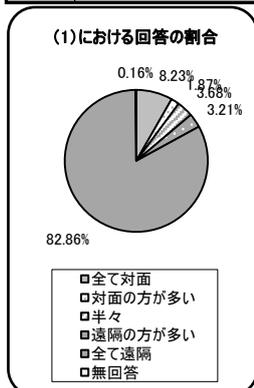
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,364	19,544	32.56%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	524	119	234	204	5,273	10	6,364	-	-	-	-
	8.23%	1.87%	3.68%	3.21%	82.86%	0.16%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,318	3,540	1,148	276	56	26	6,364	3.91	0.797	3.95	0.241
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,407	3,270	1,191	373	91	32	6,364	3.87	0.871	3.92	0.278
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,409	3,070	1,218	487	138	42	6,364	3.81	0.940	3.85	0.270
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	74	193	569	1,656	1,290	1,915	5,697	1.97	0.933	2.02	0.322
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,644	3,670	789	141	63	57	6,364	4.06	0.749	4.09	0.270
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,895	3,461	685	205	73	45	6,364	4.09	0.796	4.11	0.305
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,660	2,911	1,193	433	130	37	6,364	3.88	0.946	3.97	0.464
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	667	1,623	1,880	1,328	827	39	6,364	3.00	1.188	3.07	0.446
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,791	3,346	820	266	92	49	6,364	4.03	0.844	4.04	0.357
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,684	3,359	847	345	86	43	6,364	3.98	0.861	3.97	0.365
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	387	38	-	-	-	6	431	-	-	-	-
	89.79%	8.82%	-	-	-	1.39%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	1,605	3,516	856	267	71	49	6,364	4.00	0.812	4.01	0.327
	25.22%	55.25%	13.45%	4.20%	1.12%	0.77%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	301	27	-	-	-	10	338	-	-	-	-
	89.05%	7.99%	-	-	-	2.96%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,705	3,465	877	200	64	53	6,364	4.04	0.791	4.10	0.271
	26.79%	54.45%	13.78%	3.14%	1.01%	0.83%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,706	3,483	854	205	65	51	6,364	4.04	0.792	4.09	0.258
	26.81%	54.73%	13.42%	3.22%	1.02%	0.80%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,786	3,334	913	210	80	41	6,364	4.03	0.820	4.06	0.344
	28.06%	52.39%	14.35%	3.30%	1.26%	0.64%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	5,177	710	148	280	-	49	6,364	-	-	-	-
	81.35%	11.16%	2.33%	4.40%	-	0.77%	100.00%				





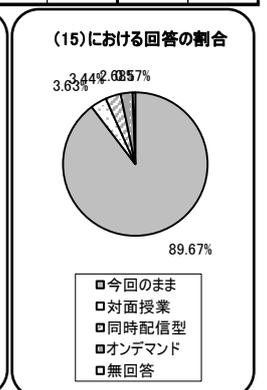
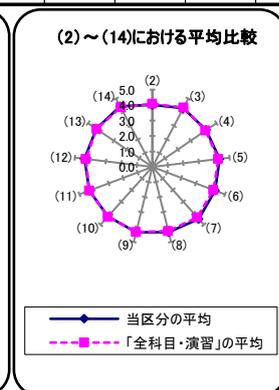
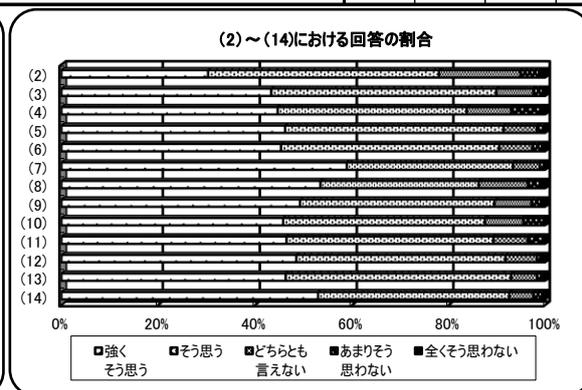
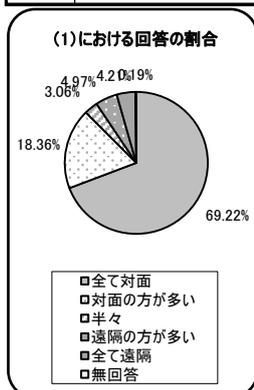
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	523	1,084	48.25%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	362	96	16	26	22	1	523	-	-	-	-
	69.22%	18.36%	3.06%	4.97%	4.21%	0.19%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	158	249	88	20	7	1	523	4.02	0.864	4.03	0.433
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	226	243	40	11	2	1	523	4.30	0.733	4.36	0.336
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	233	204	48	32	5	1	523	4.20	0.911	4.28	0.434
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	39	55	67	97	68	159	485	2.69	1.300	2.76	0.899
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	241	236	36	8	1	1	523	4.36	0.695	4.37	0.279
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	237	236	36	11	3	0	523	4.33	0.744	4.33	0.341
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	308	180	29	6	0	0	523	4.51	0.656	4.51	0.343
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	279	171	53	14	5	1	523	4.35	0.841	4.41	0.492
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	257	210	40	11	4	1	523	4.35	0.775	4.38	0.367
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	238	217	41	22	2	3	523	4.28	0.813	4.27	0.417
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	19	4	-	-	-	1	24	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	242	223	37	18	1	2	523	4.32	0.769	4.33	0.378
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	15	1	-	-	-	3	19	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	253	226	34	5	4	1	523	4.38	0.718	4.41	0.393
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	242	244	28	6	3	0	523	4.37	0.692	4.40	0.335
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	277	207	26	10	3	0	523	4.42	0.727	4.44	0.375
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	469	19	18	14	-	3	523	-	-	-	-
	89.67%	3.63%	3.44%	2.68%	-	0.57%	100.00%				



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.585 (**)	1												
Q4	.469 (**)	.719 (**)	1											
Q4-2	.150 (**)	.277 (**)	.326 (**)	1										
Q5	.523 (**)	.502 (**)	.432 (**)	.133 (**)	1									
Q6	.517 (**)	.509 (**)	.411 (**)	.147 (**)	.659 (**)	1								
Q7	.368 (**)	.344 (**)	.293 (**)	.088 (**)	.491 (**)	.450 (**)	1							
Q8	.304 (**)	.304 (**)	.258 (**)	.108 (**)	.309 (**)	.283 (**)	.462 (**)	1						
Q9	.514 (**)	.492 (**)	.372 (**)	.131 (**)	.637 (**)	.717 (**)	.467 (**)	.322 (**)	1					
Q10	.474 (**)	.470 (**)	.352 (**)	.081 (**)	.568 (**)	.603 (**)	.395 (**)	.262 (**)	.696 (**)	1				
Q11	.516 (**)	.492 (**)	.370 (**)	.090 (**)	.594 (**)	.648 (**)	.429 (**)	.291 (**)	.721 (**)	.781 (**)	1			
Q12	.556 (**)	.544 (**)	.427 (**)	.147 (**)	.580 (**)	.639 (**)	.430 (**)	.300 (**)	.678 (**)	.606 (**)	.673 (**)	1		
Q13	.556 (**)	.574 (**)	.465 (**)	.173 (**)	.596 (**)	.650 (**)	.423 (**)	.289 (**)	.674 (**)	.603 (**)	.669 (**)	.811 (**)	1	
Q14	.532 (**)	.541 (**)	.417 (**)	.116 (**)	.645 (**)	.699 (**)	.465 (**)	.311 (**)	.782 (**)	.707 (**)	.774 (**)	.754 (**)	.757 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.422 (**)	1												
Q4	.254 (**)	.609 (**)	1											
Q4-2	.066	.251 (**)	.376 (**)	1										
Q5	.313 (**)	.405 (**)	.256 (**)	.120 (*)	1									
Q6	.317 (**)	.417 (**)	.338 (**)	.174 (**)	.591 (**)	1								
Q7	.259 (**)	.324 (**)	.195 (**)	.035	.508 (**)	.448 (**)	1							
Q8	.244 (**)	.356 (**)	.275 (**)	.082	.348 (**)	.217 (**)	.458 (**)	1						
Q9	.345 (**)	.446 (**)	.223 (**)	.089	.585 (**)	.599 (**)	.535 (**)	.427 (**)	1					
Q10	.239 (**)	.343 (**)	.153 (**)	-.082	.491 (**)	.458 (**)	.500 (**)	.346 (**)	.645 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.338 (**)	.419 (**)	.243 (**)	.025	.569 (**)	.555 (**)	.452 (**)	.344 (**)	.647 (**)	.736 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.392 (**)	.530 (**)	.310 (**)	.108	.551 (**)	.540 (**)	.486 (**)	.417 (**)	.612 (**)	.540 (**)	.598 (**)	1		
Q13	.368 (**)	.516 (**)	.337 (**)	.092	.539 (**)	.530 (**)	.496 (**)	.398 (**)	.606 (**)	.550 (**)	.607 (**)	.781 (**)	1	
Q14	.376 (**)	.521 (**)	.289 (**)	.104	.611 (**)	.584 (**)	.533 (**)	.400 (**)	.751 (**)	.644 (**)	.735 (**)	.751 (**)	.770 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部
形態名 講義

回答対象 番号 質問内容			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	3.94	0.935	3.97	0.246	4.03	0.767	4.05	0.238	4.06	0.758	4.07	0.210	3.91	0.797	3.95	0.241
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.70	1.093	3.79	0.438	3.61	1.067	3.65	0.377	4.03	0.873	4.03	0.335	4.02	0.825	4.02	0.234	3.87	0.871	3.92	0.278	
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.958	4.00	0.370	3.97	0.902	3.96	0.256	3.81	0.940	3.85	0.270	
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.27	1.051	2.26	0.444	2.15	1.023	2.20	0.433	1.97	0.933	2.02	0.322	
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.887	4.02	0.457	4.12	0.768	4.08	0.309	4.06	0.749	4.09	0.270	
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.921	4.06	0.439	4.14	0.794	4.13	0.296	4.09	0.796	4.11	0.305	
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.028	3.86	0.556	3.93	0.925	3.95	0.415	3.88	0.946	3.97	0.464	
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.79	1.258	2.78	0.588	3.07	1.197	3.06	0.424	3.00	1.188	3.07	0.446	
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.12	0.985	4.16	0.437	4.09	0.967	4.10	0.435	3.94	0.970	3.94	0.510	4.07	0.838	4.03	0.334	4.03	0.844	4.04	0.357	
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.951	3.94	0.458	4.02	0.870	3.99	0.327	3.98	0.861	3.97	0.365	
	(11)	この授業の水準に満足している	3.93	0.995	3.96	0.423	4.00	0.940	4.00	0.361	3.98	0.890	3.99	0.444	4.05	0.816	4.02	0.305	4.00	0.812	4.01	0.327	
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.05	0.975	4.14	0.394	4.08	0.908	4.11	0.331	4.05	0.865	4.07	0.385	4.11	0.788	4.11	0.272	4.04	0.791	4.10	0.271	
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.863	4.04	0.380	4.10	0.779	4.10	0.263	4.04	0.792	4.09	0.258	
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.18	0.906	4.23	0.394	4.16	0.891	4.17	0.357	3.98	0.931	3.99	0.468	4.08	0.816	4.06	0.351	4.03	0.820	4.06	0.344	

部門名 法学部
形態名 演習

回答対象 番号 質問内容			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	4.26	0.882	4.30	0.438	4.06	0.837	4.05	0.443	4.19	0.821	4.18	0.435	4.02	0.864	4.03	0.433
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.32	0.814	4.35	0.313	4.29	0.809	4.32	0.368	4.30	0.751	4.30	0.332	4.45	0.645	4.44	0.263	4.30	0.733	4.36	0.336	
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38	0.768	4.37	0.301	4.42	0.726	4.43	0.303	4.20	0.911	4.28	0.434	
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.90	1.249	2.96	0.712	2.92	1.313	2.87	0.914	2.69	1.300	2.76	0.899	
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.22	0.876	4.21	0.427	4.37	0.692	4.37	0.285	4.36	0.695	4.37	0.279	
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.826	4.19	0.391	4.38	0.739	4.38	0.341	4.33	0.744	4.33	0.341	
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.840	4.34	0.426	4.43	0.752	4.46	0.378	4.51	0.656	4.51	0.343	
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.244	3.95	0.752	4.28	0.940	4.34	0.554	4.35	0.841	4.41	0.492	
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.50	0.782	4.53	0.395	4.45	0.818	4.52	0.405	4.25	0.837	4.24	0.425	4.38	0.765	4.39	0.433	4.35	0.775	4.38	0.367	
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.865	4.15	0.398	4.32	0.832	4.34	0.410	4.28	0.813	4.27	0.417	
	(11)	この授業の水準に満足している	4.25	0.894	4.27	0.433	4.37	0.834	4.42	0.390	4.18	0.820	4.18	0.423	4.32	0.779	4.33	0.407	4.32	0.769	4.33	0.378	
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.49	0.764	4.52	0.356	4.46	0.782	4.51	0.418	4.30	0.772	4.31	0.367	4.39	0.715	4.39	0.347	4.38	0.718	4.41	0.393	
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.750	4.30	0.319	4.42	0.655	4.42	0.272	4.37	0.692	4.40	0.335	
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.55	0.737	4.58	0.367	4.51	0.763	4.57	0.403	4.30	0.783	4.30	0.391	4.41	0.710	4.42	0.370	4.42	0.727	4.44	0.375	

Ⅱ 経済学部

1. 集計データからわかること

2021年度までの経年変化は、本報告文の最後に記載されているが、ここでは、そのデータをもとに2022年の調査について、2021年度からの変化を中心に分析したい。

表1-1と1-2は、今回得られた2022年度の平均から、2021年度の平均を引いて平均値の変化を提示したものである。昨年と同様、注目する値は、質問項目に関する「(回答者ベースの)平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。なお、今回は全学の動向を知るために、講義授業を供給する10部門(5学部、2センター、2課程、基礎教養科目群)における平均値変化の単純平均、および、演習授業を供給する9部門(5学部、1センター、2課程、基礎教養科目群)における平均値変化の単純平均を経済学部の平均値変化と共に提示した。

平均値分析(表1-1、表1-2、表2)

- 1) 表1-1が示す通り、講義について、経済学部のスコアは、各項目について、前年度よりも減少している。しかし、講義を供給する全学の10部門についても、単純平均であるが、すべての項目について前年度よりも減少しているため、経済学部だけの現象ではない。表2が示す通り、講義は、経済学部生の76.3%は全て遠隔だが、23.7%が対面と遠隔の混合状態である。全学でも、66.6%はすべて遠隔だが、33.4%は混合状態である。この状況が学習し辛さを生み、全学的にスコアが減少したのではないと思われる。
- 2) 表1-2は、演習について、表1-1と同等な集計を示している。演習についても、経済学部のスコアは、各項目について前年度よりも減少している。全学的には、減少は少数の項目において見られる。表2を見ると、経済学部の演習は、すべて遠隔実施が4.9%に減少した。すべて対面実施の演習は、78.8%である。全学では10.7%がすべて遠隔であり、すべて対面実施の演習は60.3%である。経済学部では、履修者数が200を超える授業が少なくない。2022年度は、未だコロナ禍にあり、遠隔+数回の対面実施という講義が多

かった。演習は少人数のため、対面実施できる教室が確保できたために、即座に対面型に切り替えた科目が多かった。このような実施形態の混合は、学生には、講義・演習の双方に学習し辛さを生み、スコアが減少したのではないかと思われる。

- 3) スコアの減少量を詳細に見ると、講義については、減少が大きい上位4項目は、順に、Q4-2「私が授業に使った時間」、Q4「毎週一定の時間を確保して取り組んだ」、Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」、Q3「意欲的に取り組んだ」である。この4項目は、全学10部門についても減少が大きい。Q4-2とQ4のスコアの減少は、学習時間の低下を意味するが、対面授業への回帰との関係は、全学的にも今後調査が望ましい。
- 4) 講義について、スコアの減少が中程度である5項目は、順に、Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は不足なく設けられていた」(0.10減)、Q10「この授業のボリュームに満足している」(0.08減)、Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」(0.07減)、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(0.07減)、Q11「この授業の水準に満足している」(0.06減)である。これらの項目は、2021年度アンケートでは、その前年からスコアが上昇した項目である。Q8は0.25増、Q10は0.08増、Q14は0.11増、Q9は0.19増、そして、Q11は0.12増であった。これらの中核的質問項目は、コロナ禍の3年間にスコアの変動はあっても、傾向としては向上が見られる。
- 5) 講義について、平均スコアの減少が小程度である5項目は、順に、Q5「授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」(0.05減)、Q6「この授業で配付された教材は学習を進めるのに役立った」(0.05減)、Q13「この授業によって自らの知識や能力が向上したと感じる」(0.05減)、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり新しいものの見方が得られたりした」(0.03減)、Q7「この授業に関する教員への質問の機会は不足なく設けられていた」(0.04減)である。これらの項目も、2021年度アンケートでは、その前年(2020年)からスコアが上昇した項目である。Q5は0.12増、Q6は0.19増、Q13は0.06増、Q12は0.10増、そして、Q7は0.25増であった。各年のスコアに変動はあっても、向上傾向は見られる。

- 6) 表1-2が示す通り、演習についても、経済学部平均スコアは、各項目について、前年度よりも減少している。2022年度に3・4年生となった学生には、初めての対面実施の演習である。元来、講義とは全く違う形式の授業である演習が、さらに、遠隔から対面に変わったことは、大きな変化であり、種々の戸惑いが起きたに違いない。演習のスコアの全面的な減少は、このような戸惑いを強く表していると思われる。
- 7) スコアの減少が大きい上位4項目は、Q4-2(0.24減)、Q2(0.17減)、Q4(0.15減)、Q5(0.11減)である。学習時間を問うQ4-2とQ4は、演習を実施する全学9部門においてもスコアが減少している。講義と演習の両方で、全学生の学習時間の減少傾向が示唆される。
- 8) 演習について、減少が中程度の5項目は、Q14(0.10減)、Q11(0.10減)、Q12(0.11減)、Q10(0.10減)、Q7(0.08減)である。そして、減少が小程度である5項目が、Q9(0.08減)、Q6(0.08減)、Q13(0.07減)、Q3(0.04減)、Q8(0.04減)である。演習は、2021年度アンケートでは、その前年(2020年)から各項目のスコアが最低でも0.09上昇していることを加味すると、講義と同様に、各年のスコアに変動はあっても、向上傾向は見られる。
- 9) コロナ禍3年目となる2022年度も、質問Q14「授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じたか」を実施した。表3-1、表3-2は、経済学部生の回答を抽出したものである。「今回のままでよい」とする回答が、講義では78.9%、演習では92.3%である。また、オンデマンド・同時配信型増加の希望が、講義で7.8%、演習で2.5%であるのに対して、対面型増加の希望は、講義で12.5%、演習で4.7%であるので、対面授業への回帰は受け入れられていると考えられる。この傾向は全学的でもあり、高校までは対面授業であったはずの1年生の方が強い。しかし、2022年度時点での「今回のままでよい」という回答には、特に、2年生以上は、「これ以上の変化は望まない、現状維持を望む」という意見も入っていると思われる。今後、演習は、全面的な対面授業になるであろうが、講義については、コロナ禍を通じて得た、遠隔授業での指導方法を継承する新しい対面授業を維持することも有効であると思われる。

項目間の相関係数分析

表 3-1、表3-2に示した値は、2022年度の授業評価で用いられた質問項目間の相関係数である。評価項目間の相関を精査し、見えてくることを記してみたい。

- 1) 講義について、Q14 の総合評価と相関が高いのは、Q5「授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」、Q6「この授業で配付された教材は、学習を進めるのに役立った」、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q10「この授業のボリュームに満足している」、Q11「この授業の水準に満足している」、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」である。特に、Q6、Q9、Q11～Q13は、0.7以上である。教材や指導の理解しやすさ、授業の水準、自身の知的好奇心や能力の向上感が、高い総合評価を与えることが示唆されている。
- 2) Q11は授業の水準を問う質問であるが、講義については、Q9、Q10との相関が特に高い。授業の理解しやすさと学ぶ内容量が評価の観点であることが示唆される。
- 3) 演習について、Q14 の総合評価と相関が高いのは、Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」、Q9、Q10、Q11、Q12、Q13である。特に、Q10～Q13は、0.7以上である。事前準備などを意欲的に取り組むことが出来たこと、授業の内容量や理解しやすさ、水準、そして、自身の知的好奇心や能力の向上感が、高い総合評価を与えることが示唆されている。
- 4) 演習科目も講義と同じ傾向を示しているが、特に、Q11（授業の水準）とQ14（総合評価）との相関係数が0.803に達している。
- 5) 前回の調査と同じ傾向だが、講義、演習共に、Q4「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」やQ4-2（取り組み時間の具体的時間数に関する質問）は、どの項目とも高い相関をみせていない。学生の自習を促進することの難しさが明示されていると言えるであろう。引き続き、自習促進のキーポイントを模索していく必要があると思われる。

- 6) Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」について、講義では、Q3(意欲的取組み)との相関が最大で0.548、以下、Q13(知識能力の向上感)が0.546、Q12(知的好奇心や新知見)が0.528と続く。演習では、Q2との相関が最大なのは、Q12で0.56、以下、Q13が0.496、Q11(授業水準)が0.484と続く。Q2は、どの項目ともあまり相関が高くないが、Q12、Q13といった重要項目との相関は相対的に高くなっている。学生がシラバスをよく読み授業選択をする傾向は出てきていると思われる。
- 7) Q8「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、講義、演習共に、他の質問項目との相関が低い。特に、総合評価との相関は、講義科目では0.406、演習科目では0.344である。この傾向は前回も確認された。対面授業ベースであっても、ZOOMを駆使して、講義でも意見交換を実施する教員が出てきている。大講義室での対面授業では困難であったグループワークを、ZOOMを使用した実施する授業技術が、コロナ禍を経て獲得され始めていると思われる。引き続き動向を注視していきたい。

2. 今後の授業改善に向けて

経済学部では、経済学科、経営学科共に、コロナ禍で、2020年度から全員の教員がオンデマンド・オンライン授業を導入し、遠隔授業の工夫を急速に進めた。2021年度末には、遠隔授業実施の基盤が出来上がったと思われ、学部教員は状況に適切に対応してきたと考えられる。しかし、2022年度、特に後期からは、対面授業が「部分的」に再開された。これは、比較的小規模な講義が多い部門にとっては容易な復旧であったかもしれないが、200名規模の授業を供給する部門における学生は、隔週登校や対面少人数授業の後にZOOMで授業参加する場所をキャンパス内に確保しなくてはならないという、学習し辛い環境を生んだことは否めない。今回の経済学部生のアンケート回答には、このような学習し辛さに起因するスコアの低下が含まれているのではないかとと思われるので、コロナ禍が収束し大学を含めて社会的にも生活環境が安定してから結果も待ちたいと思う。しかし、この3年間に教員が獲得した先端的な工夫は、新しい授業形態を生み、さらにそれらは教員間で共有されていくと考えられるので、一層の授業の改善は、期待できると思

われる。

表1-1 令和4年度と令和3年度の差(講義)				
番号	質問内容	平均値変化 令和4年度-3年度	令和4年度 標準偏差	参考: 平均値変化 10部門講義平均
(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-0.10	0.87	-0.09
(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	-0.10	0.91	-0.11
(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-0.11	0.96	-0.17
(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-0.18	1.02	-0.17
(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-0.05	0.84	-0.03
(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-0.05	0.89	-0.02
(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-0.04	0.99	-0.02
(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-0.10	1.24	-0.01
(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	-0.07	0.95	-0.04
(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-0.08	0.93	-0.03
(11)	この授業の水準に満足している	-0.06	0.88	-0.02
(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-0.03	0.90	-0.04
(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-0.05	0.88	-0.03
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-0.07	0.91	-0.03

表1-2 令和4年度と令和3年度の差(演習)				
番号	質問内容	平均値変化 令和4年度-3年度	令和4年度 標準偏差	参考: 平均値変化 9部門演習平均
(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-0.17	0.87	-0.03
(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	-0.04	0.66	0.01
(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-0.15	0.88	-0.06
(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-0.24	1.13	-0.17
(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-0.11	0.67	0.01
(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-0.08	0.81	0.08
(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-0.08	0.63	0.07
(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-0.04	0.70	0.16
(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	-0.08	0.68	0.03
(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-0.10	0.69	0.09
(11)	この授業の水準に満足している	-0.10	0.66	0.10
(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-0.11	0.76	0.02
(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-0.07	0.70	0.03
(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-0.10	0.67	0.06

表2 履修授業の対面・遠隔実施構成								
		全て対面	対面の方が遠隔より多い	対面と遠隔が半々	遠隔の方が対面より多い	全て遠隔	無回答	計
講義	経済学部	7.83%	3.04%	5.09%	7.32%	76.34%	0.37%	100.00%
	全学	17.58%	4.79%	5.67%	5.06%	66.58%	0.32%	100.00%
演習	経済学部	78.81%	11.11%	3.36%	1.81%	4.91%	0.00%	100.00%
	全学	60.33%	20.49%	4.53%	3.62%	10.74%	0.30%	100.00%

表3-1 Q15 経済学部集計【授業形態別】							
		今回のままでよい	対面授業の回数を増やしてほしい	同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計
講義	経済学部計	5,706	902	182	380	58	7,228
		78.94%	12.48%	2.52%	5.26%	0.80%	100.00%
全学計	23,704	2,961	970	1,807	253	30,439	
	76.87%	13.36%	3.52%	5.65%	0.60%	100.00%	
演習	経済学部計	357	18	5	5	2	387
		92.25%	4.65%	1.29%	1.29%	0.52%	100.00%
全学計	4,759	268	157	166	39	5,738	
	76.40%	16.77%	2.28%	4.03%	0.52%	100.00%	
合計	経済学部計	6,063	920	187	385	60	7,615
		79.62%	12.08%	2.46%	5.06%	0.79%	100.00%
全学計	28,463	3,229	1,127	1,973	292	36,177	
	76.04%	14.51%	3.29%	5.58%	0.58%	100.00%	

表3-2 Q14 経済学部集計【学年別】							
		今回のままでよい	対面授業の回数を増やしてほしい	同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計
学部1年	経済学部計	2,791	561	84	160	20	3,616
		77.18%	15.51%	2.32%	4.42%	0.55%	100.00%
全学計	16,218	2,198	626	1,187	167	19,355	
	79.52%	10.78%	3.07%	5.82%	0.82%	100.00%	
学部2年	経済学部計	1,840	220	60	129	24	2,273
		80.95%	9.68%	2.64%	5.68%	1.06%	100.00%
全学計	9,169	790	451	655	106	13,358	
	82.08%	7.07%	4.04%	5.86%	0.95%	100.00%	
学部3年	経済学部計	1,329	123	40	85	10	1,587
		83.74%	7.75%	2.52%	5.36%	0.63%	100.00%
全学計	5,341	541	197	300	53	6,789	
	83.04%	8.41%	3.06%	4.66%	0.82%	100.00%	
学部4年	経済学部計	286	29	6	17	8	346
		82.66%	8.38%	1.73%	4.91%	2.31%	100.00%
全学計	1,316	150	50	61	15	2,014	
	82.66%	9.42%	3.14%	3.83%	0.94%	100.00%	

表4-1 相関係数表(講義)													
	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q3	.548												
Q4	.427	.726											
Q4-2	.141	.247	.324										
Q5	.459	.483	.403	.097									
Q6	.440	.509	.425	.115	.665								
Q7	.349	.423	.364	.109	.566	.570							
Q8	.308	.346	.278	.063	.323	.333	.493						
Q9	.452	.504	.413	.085	.646	.746	.605	.398					
Q10	.432	.462	.369	.043	.547	.594	.461	.341	.655				
Q11	.483	.511	.402	.063	.598	.655	.512	.364	.712	.760			
Q12	.528	.554	.437	.137	.569	.623	.509	.377	.666	.582	.665		
Q13	.546	.602	.500	.169	.572	.635	.497	.355	.660	.595	.663	.805	
Q14	.509	.547	.442	.113	.663	.714	.589	.406	.795	.683	.764	.740	.756

%水準で有意(両側)です。

表4-2 相関係数表(演習)													
	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q3	.458												
Q4	.276	.503											
Q4-2	.146	.234	.353										
Q5	.468	.555	.349	.249									
Q6	.475	.424	.290	.103	.598								
Q7	.293	.509	.309	.001	.508	.413							
Q8	.183	.389	.269	.139	.305	.215	.397						
Q9	.422	.515	.254	.051	.598	.609	.571	.339					
Q10	.395	.578	.344	.199	.517	.502	.473	.377	.605				
Q11	.484	.623	.371	.209	.636	.586	.458	.368	.640	.798			
Q12	.563	.662	.399	.223	.526	.575	.434	.350	.612	.634	.705		
Q13	.496	.639	.437	.240	.518	.576	.445	.310	.517	.639	.687	.755	
Q14	.477	.603	.332	.172	.570	.576	.482	.344	.624	.732	.803	.721	.751

%水準で有意(両側)です。

%水準で有意(両側)です。



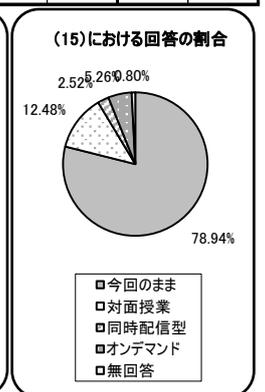
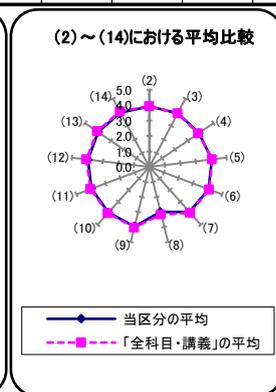
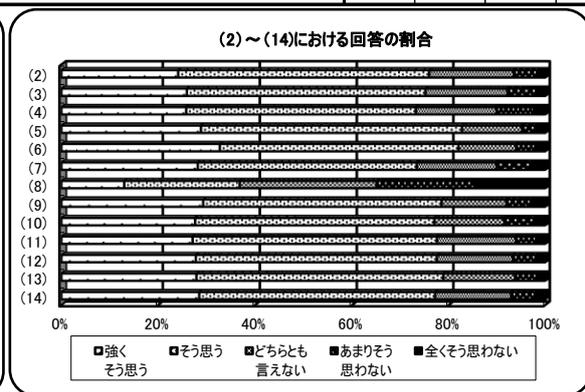
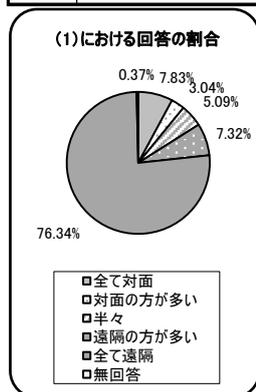
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 経済学部

形態名 講義

	合計	総履修者数	回答率
回答数	7,228	22,574	32.02%

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	566	220	368	529	5,518	27	7,228	-	-	-	-
	7.83%	3.04%	5.09%	7.32%	76.34%	0.37%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,736	3,731	1,263	349	123	26	7,228	3.92	0.870	3.94	0.267
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,864	3,543	1,226	432	131	32	7,228	3.91	0.909	3.96	0.303
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,854	3,409	1,202	558	171	34	7,228	3.86	0.965	3.89	0.322
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	150	237	701	1,702	1,406	2,269	6,465	2.05	1.023	2.01	0.423
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,070	3,877	893	211	137	40	7,228	4.05	0.836	4.08	0.314
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,352	3,547	859	287	148	35	7,228	4.07	0.887	4.09	0.312
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	2,025	3,251	1,189	515	214	34	7,228	3.88	0.994	3.99	0.414
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	934	1,711	2,031	1,464	1,053	35	7,228	3.00	1.244	3.11	0.515
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,101	3,537	967	364	214	45	7,228	3.97	0.947	4.02	0.396
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,983	3,551	1,038	446	167	43	7,228	3.94	0.935	3.98	0.368
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	527	64	-	-	-	22	613	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	1,946	3,626	1,174	304	135	43	7,228	3.97	0.878	4.00	0.344
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	311	99	-	-	-	29	439	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,994	3,577	1,132	342	142	41	7,228	3.97	0.896	4.01	0.318
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,002	3,664	1,068	323	128	43	7,228	3.99	0.876	4.02	0.290
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,044	3,500	1,134	352	156	42	7,228	3.96	0.912	4.02	0.374
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	5,706	902	182	380	-	58	7,228	-	-	-	-
	78.94%	12.48%	2.52%	5.26%	-	0.80%	100.00%				





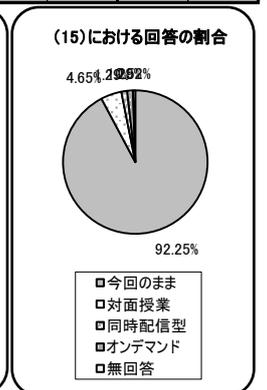
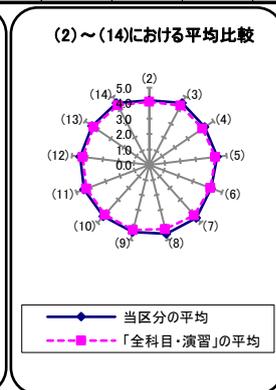
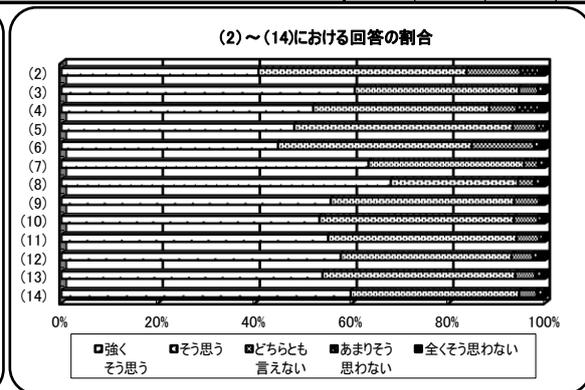
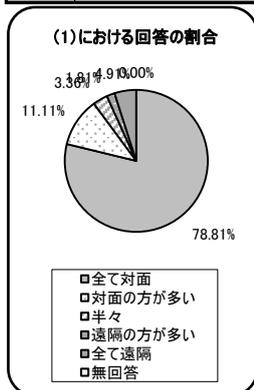
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 経済学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回答率
回答数	387	780	49.62%

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	305	43	13	7	19	0	387	-	-	-	-
	78.81%	11.11%	3.36%	1.81%	4.91%	0.00%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	157	166	43	15	5	1	387	4.18	0.872	4.18	0.445
	40.57%	42.89%	11.11%	3.88%	1.29%	0.26%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	233	131	15	5	1	2	387	4.53	0.661	4.53	0.308
	60.21%	33.85%	3.88%	1.29%	0.26%	0.52%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	201	141	22	18	5	0	387	4.33	0.878	4.33	0.439
	51.94%	36.43%	5.68%	4.65%	1.29%	0.00%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	20	25	57	103	41	118	364	2.51	1.131	2.48	0.665
	5.49%	6.87%	15.66%	28.30%	11.26%	32.42%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	185	174	19	7	0	2	387	4.39	0.669	4.39	0.305
	47.80%	44.96%	4.91%	1.81%	0.00%	0.52%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	173	155	50	5	4	0	387	4.26	0.809	4.25	0.389
	44.70%	40.05%	12.92%	1.29%	1.03%	0.00%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	244	124	11	6	0	2	387	4.57	0.629	4.58	0.276
	63.05%	32.04%	2.84%	1.55%	0.00%	0.52%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	263	102	13	6	3	0	387	4.59	0.704	4.58	0.393
	67.96%	26.36%	3.36%	1.55%	0.78%	0.00%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	215	147	20	3	2	0	387	4.47	0.680	4.47	0.334
	55.56%	37.98%	5.17%	0.78%	0.52%	0.00%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	205	155	19	4	2	2	387	4.45	0.687	4.44	0.289
	52.97%	40.05%	4.91%	1.03%	0.52%	0.52%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	2	3	-	-	-	1	6	-	-	-	-
	33.33%	50.00%	-	-	-	16.67%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	213	151	18	4	1	0	387	4.48	0.661	4.46	0.334
	55.04%	39.02%	4.65%	1.03%	0.26%	0.00%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	3	2	-	-	-	0	5	-	-	-	-
	60.00%	40.00%	-	-	-	0.00%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	223	137	17	5	5	0	387	4.47	0.756	4.47	0.354
	57.62%	35.40%	4.39%	1.29%	1.29%	0.00%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	208	154	16	6	2	1	387	4.45	0.698	4.45	0.319
	53.75%	39.79%	4.13%	1.55%	0.52%	0.26%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	231	135	14	6	1	0	387	4.52	0.669	4.51	0.369
	59.69%	34.88%	3.62%	1.55%	0.26%	0.00%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	357	18	5	5	-	2	387	-	-	-	-
	92.25%	4.65%	1.29%	1.29%	-	0.52%	100.00%				



相関係数表

部門名 経済学部
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.548 (**)	1												
Q4	.427 (**)	.726 (**)	1											
Q4-2	.141 (**)	.247 (**)	.324 (**)	1										
Q5	.459 (**)	.483 (**)	.403 (**)	.097 (**)	1									
Q6	.440 (**)	.509 (**)	.425 (**)	.115 (**)	.665 (**)	1								
Q7	.349 (**)	.423 (**)	.364 (**)	.109 (**)	.566 (**)	.570 (**)	1							
Q8	.308 (**)	.346 (**)	.278 (**)	.063 (**)	.323 (**)	.333 (**)	.493 (**)	1						
Q9	.452 (**)	.504 (**)	.413 (**)	.085 (**)	.646 (**)	.746 (**)	.605 (**)	.398 (**)	1					
Q10	.432 (**)	.462 (**)	.369 (**)	.043 (**)	.547 (**)	.594 (**)	.461 (**)	.341 (**)	.655 (**)	1				
Q11	.483 (**)	.511 (**)	.402 (**)	.063 (**)	.598 (**)	.655 (**)	.512 (**)	.364 (**)	.712 (**)	.760 (**)	1			
Q12	.528 (**)	.554 (**)	.437 (**)	.137 (**)	.569 (**)	.623 (**)	.509 (**)	.377 (**)	.666 (**)	.582 (**)	.665 (**)	1		
Q13	.546 (**)	.602 (**)	.500 (**)	.169 (**)	.572 (**)	.635 (**)	.497 (**)	.355 (**)	.660 (**)	.595 (**)	.663 (**)	.805 (**)	1	
Q14	.509 (**)	.547 (**)	.442 (**)	.113 (**)	.663 (**)	.714 (**)	.589 (**)	.406 (**)	.795 (**)	.683 (**)	.764 (**)	.740 (**)	.756 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 経済学部
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.458 (**)	1												
Q4	.276 (**)	.503 (**)	1											
Q4-2	.146 (*)	.234 (**)	.353 (**)	1										
Q5	.468 (**)	.555 (**)	.349 (**)	.249 (**)	1									
Q6	.475 (**)	.424 (**)	.290 (**)	.103	.598 (**)	1								
Q7	.293 (**)	.509 (**)	.309 (**)	.001	.508 (**)	.413 (**)	1							
Q8	.183 (**)	.389 (**)	.269 (**)	.139 (*)	.305 (**)	.215 (**)	.397 (**)	1						
Q9	.422 (**)	.515 (**)	.254 (**)	.051	.598 (**)	.609 (**)	.571 (**)	.339 (**)	1					
Q10	.395 (**)	.578 (**)	.344 (**)	.199 (**)	.517 (**)	.502 (**)	.473 (**)	.377 (**)	.605 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.484 (**)	.623 (**)	.371 (**)	.209 (**)	.636 (**)	.586 (**)	.458 (**)	.368 (**)	.640 (**)	.798 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.563 (**)	.662 (**)	.399 (**)	.223 (**)	.526 (**)	.575 (**)	.434 (**)	.350 (**)	.612 (**)	.634 (**)	.705 (**)	1		
Q13	.496 (**)	.639 (**)	.437 (**)	.240 (**)	.518 (**)	.576 (**)	.445 (**)	.310 (**)	.517 (**)	.639 (**)	.687 (**)	.755 (**)	1	
Q14	.477 (**)	.603 (**)	.332 (**)	.172 (**)	.570 (**)	.576 (**)	.482 (**)	.344 (**)	.624 (**)	.732 (**)	.803 (**)	.721 (**)	.751 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.87	0.994	3.96	0.317	3.97	0.803	4.00	0.255	4.02	0.807	4.03	0.242	3.92	0.870	3.94	0.267
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.78	1.121	3.82	0.456	3.70	1.048	3.81	0.399	4.03	0.830	4.05	0.319	4.01	0.841	4.02	0.245	3.91	0.909	3.96	0.303
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.851	4.04	0.353	3.98	0.906	3.98	0.266	3.86	0.965	3.89	0.322
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、3週間あたり平均で5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.35	1.066	2.30	0.566	2.23	1.061	2.24	0.437	2.05	1.023	2.01	0.423
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.834	4.01	0.408	4.10	0.779	4.11	0.261	4.05	0.836	4.08	0.314
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.964	4.01	0.551	4.12	0.826	4.13	0.291	4.07	0.887	4.09	0.312
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	1.054	3.85	0.635	3.92	0.930	3.97	0.422	3.88	0.994	3.99	0.414
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.212	2.96	0.634	3.10	1.177	3.18	0.482	3.00	1.244	3.11	0.515
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.12	1.012	4.13	0.506	4.06	0.991	4.14	0.454	3.85	1.065	3.91	0.631	4.03	0.880	4.05	0.354	3.97	0.947	4.02	0.396
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.921	3.96	0.428	4.01	0.860	4.03	0.287	3.94	0.935	3.98	0.368
	(11)	この授業の水準に満足している	3.90	1.050	3.92	0.498	3.97	0.961	4.04	0.398	3.91	0.897	3.94	0.492	4.03	0.816	4.04	0.306	3.97	0.878	4.00	0.344
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.95	1.056	4.02	0.489	3.97	0.972	4.08	0.405	3.90	0.905	3.94	0.424	4.00	0.838	4.03	0.286	3.97	0.896	4.01	0.318
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.872	3.98	0.397	4.03	0.818	4.05	0.262	3.99	0.876	4.02	0.290
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.13	0.960	4.17	0.480	4.07	0.940	4.17	0.411	3.92	0.958	3.95	0.540	4.03	0.847	4.04	0.341	3.96	0.912	4.02	0.374

部門名 経済学部
形態名 演習

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.14	0.952	4.13	0.451	3.85	0.895	3.86	0.416	4.34	0.851	4.31	0.509	4.18	0.872	4.18	0.445
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.54	0.680	4.53	0.298	4.37	0.740	4.38	0.288	4.50	0.619	4.48	0.290	4.57	0.596	4.56	0.255	4.53	0.661	4.53	0.308
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.755	4.34	0.380	4.48	0.673	4.46	0.266	4.33	0.878	4.33	0.439
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、3週間あたり平均で5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.66	1.229	2.61	0.802	2.75	1.229	2.61	0.701	2.51	1.131	2.48	0.665
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.343	4.51	0.586	4.50	0.235	4.39	0.669	4.39	0.305
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.753	4.23	0.332	4.34	0.795	4.34	0.358	4.26	0.809	4.25	0.389
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.50	0.619	4.51	0.333	4.66	0.550	4.65	0.194	4.57	0.629	4.58	0.276
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.40	0.785	4.39	0.385	4.63	0.673	4.62	0.313	4.59	0.704	4.58	0.393
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.57	0.721	4.57	0.420	4.53	0.687	4.52	0.321	4.34	0.658	4.34	0.291	4.55	0.605	4.55	0.264	4.47	0.680	4.47	0.334
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.676	4.31	0.324	4.54	0.633	4.54	0.264	4.45	0.687	4.44	0.289
	(11)	この授業の水準に満足している	4.40	0.812	4.40	0.391	4.43	0.748	4.42	0.351	4.33	0.670	4.34	0.307	4.58	0.574	4.56	0.252	4.48	0.661	4.46	0.334
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.51	0.739	4.51	0.409	4.49	0.701	4.49	0.319	4.39	0.667	4.39	0.332	4.58	0.558	4.57	0.254	4.47	0.756	4.47	0.354
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.340	4.52	0.621	4.50	0.266	4.45	0.698	4.45	0.319
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.60	0.676	4.61	0.391	4.55	0.677	4.54	0.327	4.41	0.670	4.40	0.314	4.62	0.550	4.61	0.242	4.52	0.669	4.51	0.369

Ⅲ 文学部

1 集計データからわかること

実施方法や実施率・回答率など

2020年度からアンケートの実施方式が対面からオンラインとなっており、2022年度もオンラインで行われた。また、2022年度は、「全て対面」が講義は33.87%、演習は51.89%、「対面の方が遠隔が多い」が講義は10.67%、演習は14.87%となっていた（後述のQ1）。演習はかなりの数が対面を主としていたのに対して、講義は対面と遠隔が半々程度であった点に留意する必要がある。

実施率は、2019年度98.11%、2020年度93.02%、2021年度99.48%、2022年度99.16%となっている。前年度同様、99%超の実施率であり、各教職員の努力の結果といえる。

回答率は、2019年度76.94%、2020年度22.61%、2021年度42.73%、2022年度38.37%である。新型コロナウイルス感染症を要因とした2020年度からのオンライン方式への変更によって、回答率が大幅に下がっていることは、これまでの報告書でも言及されてきた。アンケート実施の周知など、種々の対策は講じており、2021年度は大幅な上昇をみたが、2022年度は若干、下がってしまった。この点はすでに学部内でも問題視されており、関係委員会などで討議のうえ、あらたな改善策が講じられている。各教職員・学生に対して、より一層の働きかけをしていく必要があるだろう。

質問項目別の分析

Q1「私はこの授業を次の形式で受講した。」

前述したとおり、2022年度は「全て対面」が講義は33.87%、演習は51.89%、「対面の方が遠隔が多い」が講義は10.67%、演習は14.87%、「対面と遠隔が半々」が講義は5.82%、演習は6.57%、「遠隔の方が対面が多い」が講義は3.26%、演習は4.80%、「全て遠隔」が講義は46.19%、演習は21.77%となっている。演習の場合、半分以上の回数を対面で行っている授業が75%弱を占めていることがわかる。遠隔の良さを活かしつつ、対面方式にかなり復していることがわかる。

Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

講義は、2020年度回答者ベース3.96・科目ベース3.99、2021年度回答者ベース3.99・科目ベース4.01、2022年度回答者ベース3.94・科目ベース4.02。演習は、2020年度回答者ベース4.08・科目ベース4.10、2021年度回答者ベース4.15・科目ベース4.18、2022年度回答者ベース4.09・科目ベース4.13となっている。

2020年度・2021年度とほぼ同じ水準である。シラバスの改善は、近年の検討課題となっており、今後も取り組んでいく必要がある。

Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

講義は、2020年度回答者ベース 4.10・科目ベース 4.13、2021年度回答者ベース 4.04・科目ベース 4.07、2022年度回答者ベース 3.97・科目ベース 4.07、演習は、2020年度回答者ベース 4.37・科目ベース 4.38、2021年度回答者ベース 4.34・科目ベース 4.36、2022年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.32 となっている。

前年度の報告書でも指摘されている通り、回答率がもっとも低い2020年度が近年においてももっとも高い数値となっているのは、それだけ熱心な学生がアンケートに回答してくれたからであろう。2021年度・2022年度ともに、2020年度よりは低いものの、4点前後は保っているが、若干下降傾向にある点は留意すべきである。講義と演習で比較すると、演習の方が高い。これは文学部の各学科が演習を重視している姿勢の表われといえる。

Q4「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

講義は、2020年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.04、2021年度回答者ベース 3.96・科目ベース 3.96、2022年度回答者ベース 3.80・科目ベース 3.85、演習は、2020年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.32、2021年度回答者ベース 4.26・科目ベース 4.28、2022年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.17 である。

2020年度をピークに減少しているのが明らかである。この原因は二つ考えられる。ひとつは、Q3で前述したように、2020年度に関しては、熱心な学生がアンケートに回答してくれたと思われること、もうひとつは、この間、コロナ禍で課されていた行動制限が徐々に緩和されており、それにとまって、課外活動やバイトなどもより自由にできるようになっていることである（この点は、Q3の減少傾向の一因でもあろう）。数値自体は決して低いものではなく、課外活動などがより自由にできるようになりつつあること自体は喜ばしいが、数値の低下を看過もできない。学生がより学問に興味を持てるよう、努力していく必要がある。

Q5「授業方法やシラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

講義は、2020年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.06、2021年度回答者ベース 4.13・科目ベース 4.13、2022年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.17。演習は、2020年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.23、2021年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.26、2022年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.25 となっている。

講義・演習ともに高い数値を示している（講義は前年度に比して微増）。各教員が丁寧な授業運営を心掛けている証左であろう。

Q6「この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

講義は、2020年度回答者ベース 4.18・科目ベース 4.19、2021年度回答者ベース 4.21・科目ベース 4.21、2022年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.25。演習は、2020年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.20、2021年度回答者ベース 4.27・科目ベース 4.27、2022年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.23 である。

2020年度に比して、2021年度が高くなっている点については、昨年度の報告書において、「各教員がそれまでの蓄積をいかしたり、オンライン授業に合わせて有用な教材を準備したりしたことを示すものである」との評価がなされている。2022年度も2021年度と変わらず高い水準を保っており、各教員の努力の結果と思われる。ただし、来年度は授業が原則対面となる。その中で、この項目の数値がいかなる変化を遂げるかは注視する必要がある。

Q7「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

講義は、2020年度回答者ベース 3.95・科目ベース 3.95、2021年度回答者ベース 4.12・科目ベース 4.13、2022年度 4.13・科目ベース 4.15。演習は2020年度回答者ベース 4.20・科目ベース 4.20、2021年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.33、2022年度回答者ベース 4.33・科目ベース 4.35 である。

授業の形態上、演習の方が講義より数値が高くなるのは、当然であろうが、講義の方も2021年度から4点を超え、2022年度はそこからさらに上昇している。講義・演習における学生の質問機会の確保は、遠隔授業が始まって以来、各教員がもっとも苦心してきた問題のひとつであろう。本項目の連続した数値上昇は、そのような地道な努力が結実したものと考えられる。

Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

講義は 2020年度回答者ベース 3.00・科目ベース 3.09、2021年度回答者ベース 3.37・科目ベース 3.54、2022年度回答者ベース 3.40・科目ベース 3.55。演習は、2020年度回答者ベース 3.69・科目ベース 3.73、2021年度回答者ベース 4.06・科目ベース 4.11、2022年度回答者ベース 4.11・科目ベース 4.13 となっている。

講義・演習ともに2020年度と比較すると、大幅に上昇している。この点もコロナ禍以来、各教員が試行錯誤してきた問題のひとつであり、数値の上昇は、そうした各教員の工夫に加えて、対面授業が増えていることも関係があると思われる。

Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

講義は、2020年度回答者ベース 4.10・科目ベース 4.11、2021年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.19、2022年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.23。演習は、2020年度回答

者ベース 4.24・科目ベース 4.23、2021 年度回答者ベース 4.28・科目ベース 4.28、2022 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.31 である。

2020 年度・2021 年度と 4 点を超える高い水準を示していたが、本年度は演習の方で、4.3 点を超えた。各教員が意識的に取り組んだ成果であろう。

Q10「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

講義は、2020 年度回答者ベース 4.03・科目ベース 4.02、2021 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.16、2022 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.21。演習は、2020 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.13、2021 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.24、2021 年度回答者ベース 4.24・科目ベース 4.27 となっている。

2020 年度から上昇しつづけている。遠隔授業が始まった当初、課題の量が多すぎるという学生からの不満が、本学に限らず全国的に多く上がったことは、よく知られている。その後、各教員が遠隔授業の方法論を磨き、課題に関しても、質を高め、量を減らすなど、種々の改善を図った。その成果がこうした数値の変化に表われているのであろう。

Q11「この授業の水準に満足している」

講義は 2020 年度回答者ベース 4.08・科目ベース 4.09、2021 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.18、2022 年度回答者ベース 4.17・科目ベース 4.22。演習は、2020 年度回答者ベース 4.20・科目ベース 4.20、2021 年度回答者ベース 4.26・科目ベース 4.27、2022 年度回答者ベース 4.29・科目ベース 4.30 である。

これも 2020 年度から上昇傾向にあり、講義・演習ともに高い評価を受けている。各教員の学生に対する要求と学生の能力とがうまく釣り合っていることを示している。

Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

講義は、2020 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.24、2021 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.25、2022 年度回答者ベース 4.22・科目ベース 4.29。演習は、2020 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.23、2021 年度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.33、2022 年度回答者ベース 4.30・科目ベース 4.31 である。

講義が 4.2 点超、演習が 4.3 点と、例年通り、高い評価を得ている。各教員の研究レベルが高いものであり、それが講義・演習に反映され、学生の知的好奇心を刺激していると考えられる。

Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

講義は、2020 年度回答者ベース 4.14・科目ベース 4.16、2021 年度回答者ベース 4.17・科目ベース 4.19、2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.23。演習は、2020 年度回答者ベース 4.23・科目ベース 4.22、2021 年度回答者ベース 4.34・科目ベース 4.34、2022 年

度回答者ベース 4.32・科目ベース 4.33 である。

講義・演習ともに 4 点を超えており、とくに演習の方は、4.3 超である。Q12 と同じく、各教員の研究レベルの高さが授業に反映されているのであろう。

Q14 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

講義は、2020 年度回答者ベース 4.11・科目ベース 4.13、2021 年度回答者ベース 4.15・科目ベース 4.16、2022 年度回答者ベース 4.16・科目ベース 4.22。演習は、2020 年度回答者ベース 4.25・科目ベース 4.25、2021 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.33、2022 年度回答者ベース 4.31・科目ベース 4.32 となっている。

2021 年度並みの数値であり、高い水準を保っている。授業に対して、学生が十分に満足している様子がうかがえる。ただし、たとえば、2018 年度は、講義回答者ベース 4.25・科目ベース 4.35、演習回答者ベース 4.41・科目ベース 4.46 であった。前年度の報告書で、遠隔授業よりも対面授業を学生が高く評価していることが指摘されているが、対面授業の割合が増えた 2022 年度の数値も、2018 年度や 2019 年度には及ばなかった。原則対面授業となる来年度のアンケートにおいて、学生の回答がいかなるものになるのか、注視する必要があるであろう。

2 今後の授業改善に向けて

文学部においては、ゼミ合宿などの各種課外活動も教育面において重要な位置を占める。現在も一部で行われているが、いろいろと制限されたかたちとなっていることは否めない。コロナ感染症の位置づけの変化にともなって、より自由な方式で実施されるようになると思われるが、場合によっては、「課外活動のやり方」を教員も学生も忘れてしまっている場合もありえるだろう。たんに昔に復するのではなく、コロナ後の社会により適したあり方を考えていく必要がある。

また、現在、話題になっている生成系 AI への対応は、喫緊の課題といえる。全学的にもさまざまな部署で対応を検討しているようであるが、文学部においても、(学部の) FD・SD 研究会などで意見を交わす予定である。しばらくの間、検討をつづけていかなければならない課題であろう。

さらに、今後は、対面授業がより増えていくものと推測される。その際、このコロナ感染症に苦しめられた時期において、各教員が苦心して磨き上げた種々の工夫をうまく対面授業の中に取り込んでいく必要がある。そのための検討の場を設けるなどといった工夫も要されるのではないかと。

3 学科別の分析

【哲学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

・哲学科においては、講義に関して471の回答、演習に関して267の回答があった。2021年度の哲学科の回答数、講義556、演習305と比べると、若干回答数が減少していることから、引き続き回答への呼びかけを続ける必要がある。

・質問の機会(6)は、2021年度4.29だったのに対し4.25になり、また意見交換の機会(7)も、2021年度3.49だったのが3.42に、そして教員の伝達の工夫(8)に関しては、4.29から4.29と、いずれも若干ではあるが下回っている。2021年度のはほぼ全面オンラインであったという開講形式から、2022年度は一部対面ないしハイフレックスに移行したことによる不慣れ・混乱が生じたことと関連がある結果かと推察される。全面対面に移行した本年度は、あらためて、質問の機会や意見交換の機会の設定を意識的におこなう必要があるだろう。また、リアクションペーパーに対して、授業内で丁寧にコメントをする、授業内でも学生に質問をしてみるなど様々な方策が考えられるだろう。(15)の授業の開講形態に関しては、対面開講の希望が多かったが、今年度実際そのようになったので、学生の満足度も上がることだろうと思われる。

【史学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

まず、特筆すべきは、Q1「私はこの授業を次の形式で受講した」である。演習科目は、「全て対面」83.3%、「対面の方が遠隔より多い」13.2%、「遠隔と対面が半々」2.8%、「遠隔の方が対面より多い」0.7%、「全て遠隔」0%となっている。前2者で96.5%と、ほぼすべての演習科目が対面で行われていたことがうかがえる。史学科では、教育的効果の観点から、とくに演習科目においては、対面形式で行うことを推奨しており、その成果があらわれたものと思われる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)」の「強くそう思う」の数値が、講義18.4%、演習40.3%と演習科目の方が圧倒的に高いのは、例年通りである。学生および教員が演習科目をとくに重視していることがよくわかる。したがって、ほかの項目についても全体的に、演習科目の方が講義科目よりも高い数値を出している。

Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」やQ14「総合的に見てもこの授業は高く評価できる」に関する学生の評価を見ると、演習に関するものは、文学部の全学科の中でもトップクラスに高い。史学科が重視している演習科目において、学生が自身の知識や能力を向上させることができた満足している様子が見える。ただし、その一方で、講義科目については、4点を超えてはいるものの、数値がやや低い。留意する必要がある。

Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)」を見ても、演習科目は「強くそう思う」が40.3%であるのに対して、講義科目は18.4%しかない。これは文学部の全学科の中で最下位である。「そう思う」は56.4%あり、フランス語圏文化学科に

次いで2位であるので、講義科目に対して、学生が熱心に取り組んでいなかったわけではない。しかし、演習科目に比べると熱心ではなかったという学生の心理がこうした評価に表われているのではないだろうか。

このほか、Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」の講義科目がとくに低い。講義という形式である以上、難しい部分はあるが、ほかの多くの学科より低いのも事実である。他学部他学科の手法を学びながら、改善していくべきであろう。

いずれにせよ、演習科目を重視する方針は遵守しつつ、講義科目のあり様を改善していくという点は、今後考えていかなければならない課題のひとつである。

【日本語日本文学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

2021年度と比較した場合には、以下の点に注意したい。第一に、授業に取り組む意欲はさほど変わらないが、その準備等のために使った時間は明らかに少なくなっている。第二に、授業方法やシラバスの記載、配布の教材については、昨年度も上昇が認められたが、それがさらに上昇傾向にあり、学生の側の満足度は高くなっているようだ。第三に、教員への質問の機会、履修者同士の意見交換の機会、学習内容の理解しやすい形での伝え方などの点においては、引き続き評価が高くなっている。さらに第四に、講義や演習の水準や満足度は、それぞれ八～九割の学生が「強くそう思う」「そう思う」と答えている。

【英語英米文化学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

■集計データからわかること

令和3年度まで、学生回答単純集計の平均値は、講義、演習ともにほとんどの設問について4以上であったのに対して、令和4年度は、演習はすべての設問について4以上を維持したものの、講義はQ14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」を含め多くの設問について4を割ったのが顕著な変化である。具体的には、Q2（講義 3.75、演習 4.03）、Q3（講義 3.84、演習 4.25）、Q4（講義 3.71、演習 4.16）、Q8（講義 3.22、演習 4.12）、Q9（講義 3.98、演習 4.18）、Q10（講義 3.94、演習 4.17）、Q11（講義 3.98、演習 4.14）、Q14（講義 3.99、演習 4.15）という結果になった。

これらのうち、Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」（令和3年度のQ1）とQ8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」（令和3年度のQ7）という2つの設問については、令和3年度も、講義はそれぞれ3.81と3.31と数値が悪かった。

Q2に関しては、英語英米文化学科のカリキュラムの場合、全員必修の3つの入門講義や各コースで履修が求められるコース講義など、学生に選択の余地の少ない講義も存在する

ため、シラバスを読まずに履修登録する学生が多いのであろうと推測される。

また、Q8に関しては、履修者数の多い講義科目の性格上やむを得ない面がある。

それにしても、Q2とQ8について、講義科目への評価が令和2年度から下降の一途をたどっていることには注意を要する。

さらに令和4年度は、Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ」、Q4「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q10「この授業のボリュームに満足している」、Q11「この授業の水準に満足している」、Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」といった設問についても講義科目への評価が4を割ったことは注視しなければならない。

この大きな変化の原因として、対面授業と遠隔授業がほぼ半々となった令和4年度、学生に2つの授業実施方法の利害得失を比較する意識が強まったことが考えられる。Q1「私はこの授業を次の形式で受講した」を見ると、当学科では、すべて対面でおこなわれた授業は講義で20.4%、演習で37.9%、逆にすべて遠隔でおこなわれた授業は講義で54.5%、演習で42.5%と、明らかな差が生じている。そしてQ15「この授業の実施方法について、どのように感じましたか」を見ると、「今回のままでよい」と回答した学生は講義で75.3%、演習で84.8%とここでも大きな差が生まれているからである。令和4年度は、依然として遠隔でおこなわれることの多かった講義科目が、対面に切り替わったものの多い演習科目との比較において多くの点で見劣りがしたのであろうと推測される。

■授業改善に向けて

令和4年度の授業評価アンケートに見られる大きな変化について上のように考えるならば、授業がほぼ全面的に対面に切り替わった令和5年度の授業評価アンケートでは、講義科目への評価について旧に復する改善が認められなければならない理屈である。令和5年度の授業評価アンケートの結果に注目したい。

令和4年度に部分的に、そして令和5年度にはほぼ全面的に、コロナ以前の対面授業が復活し、目下、学生も教員も対面授業のよさを改めて実感しているところだろう。学生同士の意見交換の機会を設けるにしても(Q8)、学習内容を理解しやすい形で伝えるにしても(Q9)、授業のボリュームを適切な量に調整するにしても(Q10)、やはり目の前にいる学生の反応を見られるほうがやりやすい。質問の機会(Q7)はLMSやメールでも与えられるとはいっても、学生からすればふだんから対面している教員のほうが質問しやすいに違いない。

もともと、コロナ禍の中で強いられた遠隔授業によって教員も学生も否応なしに習得することになったICT機器利用の技術には、教室での対面授業においても活かせるものも少なくない。コロナ禍を経た対面授業が、コロナ禍以前のそれよりも質の高いものとなるよう、工夫と努力を重ねたい。

【ドイツ語圏文化学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

学生回答の単純集計を見ると、(単に授業形式を問う「Q1 私はこの授業を次の形式で受講した」を除外すると)「Q1 1-2 授業の水準について、どのように感じました」を除くすべての質問項目において、ドイツ語圏文化学科は文学部平均を上回る数値となっている([]の前がドイツ語圏文化学科の数値、[]内が文学部平均)。

文学部平均を上回る数値は以下のとおりである。

「Q2 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」(4.12 [3.99])、

「Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んだ」(4.10 [3.92])、

「Q4 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(4.10 [3.92])、

「Q5 授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」(4.29 [4.18])、

「Q6 この授業で配付された教材は、学習を進めるのに役立った」(4.32 [4.22])、

「Q7 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

(4.34 [4.20])、

「Q8 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

(3.87 [3.65])、

「Q9 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(4.36 [4.21])、

「Q10 この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」(4.27 [4.19])、

「Q11 この授業の水準に満足している」(4.31 [4.21])、

「Q12 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」(4.33 [4.25])、

「Q13 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」(4.32 [4.22])、

「Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」(4.32 [4.22])。

このなかで文学部平均を最も大きく上回るのは、「Q8 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(3.87 [3.65])である。「Q7 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」(4.34 [4.20])もドイツ語圏文化学科の数値が高いことと考え合わせると、ドイツ語圏文化学科においてはインタラクティブな授業展開が高程度に行われていることがうかがえる。コロナ禍1年目の令和2(2020)年度のアンケート調査でQ8の数値が3.71 [3.18]であったことを踏まえると、ドイツ語圏文化学科も文学部全体もともにQ8の数値が上がっていて、学生同士の意見交換の機会に関して改善されたことがわかる。文学部平均を次に大きく上回るのは、「Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んだ」(4.32 [4.16])とQ4 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(4.10 [3.92])であり、学生が主体的に取り組むアクティブ・ラーニングを

取り入れた授業がコロナ禍のなかでもうまく展開できたと言えるであろう。

他方、文学部平均を下回った「Q1 1－2 授業の水準について、どのように感じました」（「高すぎる」と「低すぎる」の2択）」(4.61 [4.78])からは、前年の令和3（2021）年度が4.94 [4.74]であったことを踏まえると、ドイツ語圏文化学科が設定する水準を高すぎると感じた学生が相対的に少なくなったことがわかる。この点について詳細な分析を行い、授業の水準（到達目標）をさらに検討する余地があると思われる。この項目に限らず、今後さらに改善できるよう努めていきたい。

【フランス語圏文化学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

令和3年度のアンケート結果と比較して、とりわけ演習形式において、数値上昇が見られる設問は「Q5 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」「Q6 この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」「Q7 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」「Q8 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」「Q9 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」「Q10 この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」「Q11 この授業の水準に満足している」である。この結果から、対面方式の授業が増加したことにより、授業における教員と学生、また学生間のコミュニケーションが向上したと推測され、その効果が授業満足度にも表れていると考えられる。

相関係数表では、上記の設問（Q5 から Q11 まで）が相互に相関関係を有していることのみならず、「Q12 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」「Q13 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」「Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる」といった総合的な満足度を問う設問との相関関係にも高い有意性があることが示され、授業の充実度が窺われる。しかしながらこれらの傾向は講義形態についてのアンケート結果には顕著に見られないことから、講義科目において改善の余地があることが示唆される。

【心理学科】

A. 各部門のアンケート結果に基づく評価

（1）集計データからわかること

1 アンケートの回答数

心理学科における授業評価アンケートの回答数は、本年度は1,193件であり、前年度の1,260件に比べ若干ではあるが減少した。だが、そもそもコロナ禍の数年間において当該ア

アンケートへの回答数（回答率）が著しく低下してきているので、回答数の減少は心理学科に限ったことではない。いずれにしても、当該アンケートの結果がどの程度実態を反映しているのかが疑わしく、適切な授業改善の手がかりとする上で参考にしにくい状況にあると考えられ、解決すべき問題である。

回答率低下の要因のひとつとして、コロナ禍において実施方法が配布方式でなく、オンライン方式であることが指摘されているようであるので、まずは、これをふまえて、授業評価アンケートの回答数を一定程度確保し、さらに増加させるための工夫をすることが必要であろう。具体的な提案は（２）今後の授業改善に向けての項目で述べる。

2 文学部全体との比較

心理学科開設科目（講義・演習）への評価結果と文学部全体の評価結果とを比較して、選択肢の選択の分布や平均値・標準偏差などを総合して、ほぼ同じ傾向にあると考えられる質問項目は下記のとおりであった。

Q 1 「私はこの授業を次の形式で受講した」（講義のみ）

Q 2 「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」（演習のみ）

Q 5 「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

Q 6 「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」（講義のみ）

Q 9 「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」（講義のみ）

Q10 「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

Q10-2 「授業のボリュームについて、どのように感じましたか」

Q11 「この授業の水準に満足している」（演習のみ）

Q11-2 「授業の水準について、どのように感じましたか」（演習のみ）

Q12 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」（演習のみ）

Q15 「この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか」（演習のみ）

他方、心理学科開設科目（講義・演習）への評価結果と文学部全体の結果に違いが見られた質問項目に関しては、下記のとおりであった。講義科目と演習科目とで傾向が異なるため、それぞれに挙げる。

<文学部全体の結果と異なる傾向のみられた質問項目：心理学科の講義科目（12項目）>

- Q 2 「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」
- Q 3 「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」
- Q 4 「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」
- Q 4-2 「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で」
- Q 7 「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」
- Q 8 「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」
- Q11 「この授業の水準に満足している」
- Q11-2 「授業の水準について、どのように感じましたか」
- Q12 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」
- Q13 「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」
- Q14 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」
- Q15 「この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか」

<文学部全体の結果と異なる傾向のみられた質問項目：心理学科の演習科目（10項目）>

- Q 1 「私はこの授業を次の形式で受講した」
- Q 3 「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」
- Q 4 「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」
- Q 4-2 「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で」
- Q 6 「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」
- Q 7 「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」
- Q 8 「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」
- Q 9 「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」
- Q13 「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」
- Q14 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

まず、演習科目において、文学部全体の結果と異なる傾向がみられた質問項目10項目すべてについて、心理学科開設科目の平均値が文学部全体の平均値を上回っていた。加えて、これら10項目の質問に対する回答の平均値はすべて5段階評価の4.0以上であり、高い評価であると言える。また、Q4-2（1週間あたりで授業に使った時間）に対する回答も、「5：4.5時間以上」「4：3時間以上 4.5時間未満」「3：2時間以上 3時間未満」のすべてにおいて、文学部全体に対する回答よりも多かった。以上の結果を総合すると、心理学科が開設している演習科目については文学部全体に比べて学生が多く学習時間を費やし

ている様子があり、学生にとっての満足度や評価が高く、意欲的に学習に取り組んでいると言えるだろう。

なお、Q1（受講した授業の形式）について見てみると、心理学科においては、講義科目で「5：すべて対面」と「1：すべて遠隔」の選択割合が多かったのに対して、演習科目では、「5：すべて対面」と「4：対面の方が遠隔より多い」の選択割合が多かったことに加え、「2：遠隔の方が対面よりも多い」も1割以上を占めており、演習科目で授業形式を選べるケースが多かったことが見受けられる。つまり、講義科目では授業形式が一律固定化されていた一方で、演習科目では出席方法を対面か遠隔かで選択することのできた授業（ハイフレックス型授業）が多かった可能性を示唆しているように思われ、心理学科における演習科目での学生たちの意欲や満足度の高さは、もしかすると、この自らが出席方法を「選択できる」ということによってもたらされたところもあるのかもしれない。

一方、講義科目については、挙げた12項目すべての質問について、心理学科開設科目への平均値は文学部全体に対する平均値よりも低いという結果であった。ただし、これらの項目への回答の値そのものを見ると、たとえば「3：どちらとも言えない」「4：そう思う」「5：強くそう思う」といった選択肢の範囲に収まるものであることから、今回の授業評価アンケートの結果が文学部全体の平均値に及ばなかったとはいえ、心理学科の講義科目は必ずしも評価として低いものではないと言って差し支えないであろう。とはいえ、今回の結果は、心理学科において、講義科目が今後もっと充実し、魅力あるものにできる可能性と余地があることを示していることに他ならず、文学部内の他学科がどのようにして魅力ある講義科目を展開しているかなどを学ぶなどして取り入れ、よりよい授業提供を目指していく必要があるかもしれない。

以上を総合すると、今後は、演習科目の高い評価を維持しさらに高めるとともに、講義科目もバランスよく充実させ、演習科目も講義科目もともにさらなる授業改善を行うことが心理学科における課題であろう。

3 前年度との比較

前年度に比べて本年度の評価が上回った質問項目には、演習科目のQ7（教員への質問機会の確保）とQ8（履修者同士の意見交換の機会の確保）が挙げられる（Q7の演習に対する平均値は、前年度：4.27、本年度：4.33。Q8の演習に対する平均値は、前年度：4.17、本年度：4.31）。

これらの項目で評価が上がった理由を考えると、本年度において、コロナ禍3年目で対面での授業が増えたこと、遠隔授業であっても教員が遠隔授業における実りある授業運営のノウハウを身につけてきたこととともに、演習科目という科目が持つもとの性質として、教員から履修者への一方通行ではなく、教員と履修者との双方向的なやり取りや、

履修者同士の討論や意見交換が不可欠であるという性質との相乗効果により、学生たちから見た時に、「教員への質問機会の確保」や「履修者同士の意見交換の機会の確保」がはっきりと実感できたということがあるのかもしれない。

一方、前年度に比べて評価が下がった項目もあり、Q3（授業への取り組みの意欲）とQ4（勉強時間の確保）が該当する（Q3の平均値は、前年度：4.15、本年度：4.09。Q4の平均値は、前年度：4.06、本年度：3.87）。この低下は、演習科目と講義科目に共通していた。

この低下の原因のひとつとして、コロナ禍が落ち着いて大学が正常化し、サークル活動やアルバイトなど、大学生活において学習以外の要素の占める比重が増えたことを指摘する。コロナ禍最初の1～2年は、サークル活動等も含めた外出の自由が定期的に制限され、その期間は特に、必然的に学習に集中せざるをえない状況となっていたが、一方で、オンライン授業の受講による負担過重が生じたり、サークル活動等ができないことによって学生が友人関係を築けない等の問題もあった。

これを考えると、もし、本年度において、大学生活が正常化し、学習以外の面で大学生活が多様化していたとすれば、良い傾向である。今後は、大学生活全体の中における学習と学習以外の要素の比重や負担のバランスを学生に取らせつつ、学習に対する意欲を高め、学習時間を確保するための工夫が求められるだろう。

（2）今後の授業改善に向けて

以上を踏まえて、今後の心理学科に必要な授業改善として、下記3点を指摘する。

1 授業評価アンケートへの回答数を増やす取り組みを行う。

回答率低下の要因のひとつとして、コロナ禍における当該アンケートの実施方法が配布方式でなく、オンライン方式であったことが指摘されていることから、配布方式・オンライン方式のどちらであっても回答率を一定程度確保できそうな直接的な解決方法として、例えば、授業内でアンケートに回答する時間を短時間でも確保して、スマートフォンやタブレット等を使用してその場で受講生にアンケートに回答してもらうといった工夫があるかもしれない。

加えて、受講者に対して授業評価アンケートの必要性や重要性を啓蒙する機会を設けることも検討する価値があるように思われる。

なお、各授業の受講者が授業評価アンケートに回答しても、結果が教員に届けられるのは年度末であり、その時期には翌年度のシラバス入稿も終えられているという実態もあって、学生たちから見ると自分たちの回答内容が授業運営に反映されていることが感じられにくいという状態にあることも、授業評価アンケートへの回答意欲を低下させる一因となっているのではないかと考えられる。この点の検討と解決は今後の重要課題であろう。

2 大学生活が正常化し、サークル活動やアルバイトなどに割く時間が増えてゆくなかで、学生たちに対し、授業に対する意欲を維持向上させ、授業外での学習時間を確保させる工夫をする。その際、学習だけが過重な負担にならないように十分に配慮することも重要である。

3 講義科目をより充実した魅力あるものとする努力と工夫が必要である。演習科目の評価がすでに十分に高いものであることから、これに加えて講義科目を充実させることができれば、演習科目と講義科目とが学生の学びの両輪となって機能し、学科の発展の一助ともなるだろう。

【教育学科】

1 各部門のアンケート結果に基づく評価

教育学科では2013年の学科設置以来、学生間の学び合いを大切にして学科運営につとめてきたが、2022年度はコロナ禍の状況の改善が見られたために多くの講義や演習科目を対面で実施することができ、このことが意欲的な取り組みの姿勢や履修者同士の意見交換の機会に関する設問項目での比較的高い値に繋がったと考えられる。感染拡大の予防措置をとりながら多くの科目を対面で実施できたことは、理論と実践の往還を掲げる学科の設置趣旨にも合致しており、この点に関しては今後も引き続き充実させていきたい。一方で例えば、授業に対して一定の時間を確保して取り組んだか否かなどの項目においては文学部全体の平均をやや下回る結果となっているが、これらに関しては今後、その要因を探り、予習・復習および課題作成等を含め一定時間を確保するように学生を指導するとともに、教員側としても資料や課題提示等で改善すべき点がないか検討する必要がある。



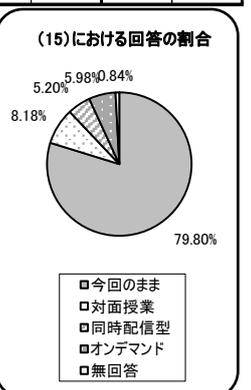
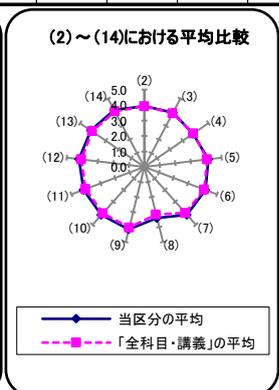
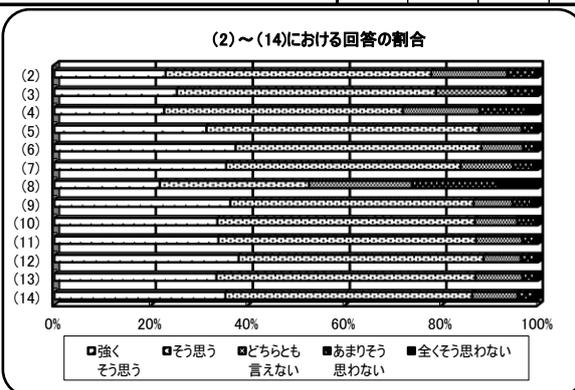
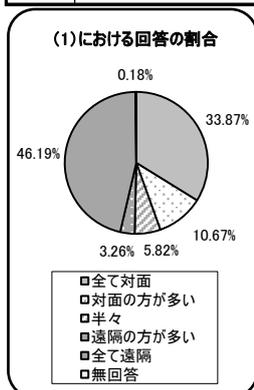
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,901	13,009	37.67%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
	(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	1,660	523	285	160	2,264	9	4,901	-	-	-
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,122	2,681	769	280	35	14	4,901	3.94	0.823	4.02	0.278
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,235	2,614	731	267	38	16	4,901	3.97	0.831	4.07	0.299
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,107	2,409	777	464	131	13	4,901	3.80	0.983	3.85	0.372
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	39	88	394	1,325	979	1,468	4,293	1.90	0.851	1.94	0.435
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,533	2,751	434	133	35	15	4,901	4.15	0.744	4.17	0.303
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,827	2,485	422	116	39	12	4,901	4.22	0.762	4.25	0.310
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,732	2,369	528	202	56	14	4,901	4.13	0.845	4.15	0.397
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,063	1,502	1,040	867	412	17	4,901	3.40	1.239	3.55	0.732
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,773	2,458	391	191	72	16	4,901	4.16	0.840	4.23	0.377
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,644	2,603	426	177	38	13	4,901	4.15	0.784	4.21	0.318
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	165	44	-	-	-	6	215	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	1,647	2,591	465	123	39	36	4,901	4.17	0.761	4.22	0.323
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	120	37	-	-	-	5	162	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,855	2,472	376	145	32	21	4,901	4.22	0.765	4.29	0.295
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,632	2,615	473	129	33	19	4,901	4.16	0.756	4.23	0.282
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,722	2,490	459	166	43	21	4,901	4.16	0.797	4.22	0.366
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	3,911	401	255	293	-	41	4,901	-	-	-	-





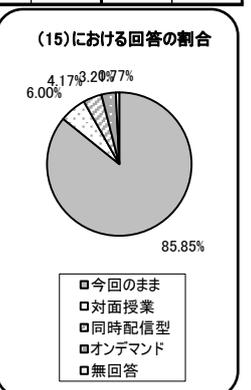
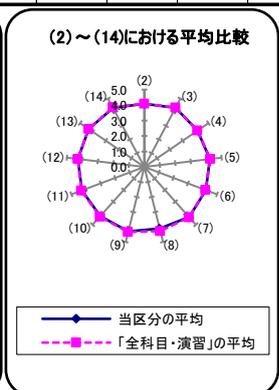
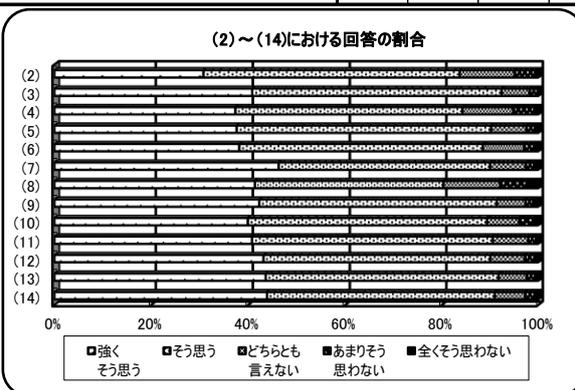
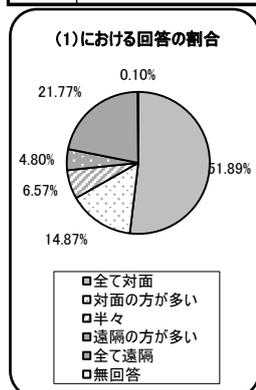
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,085	5,200	40.10%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	1,082	310	137	100	454	2	2,085	-	-	-	-
	51.89%	14.87%	6.57%	4.80%	21.77%	0.10%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	640	1,102	236	88	15	4	2,085	4.09	0.805	4.13	0.342
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	849	1,073	120	35	3	5	2,085	4.31	0.670	4.32	0.250
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	777	977	218	92	17	4	2,085	4.16	0.839	4.17	0.368
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	99	156	307	497	297	616	1,972	2.46	1.164	2.42	0.648
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	780	1,091	152	36	15	11	2,085	4.25	0.723	4.25	0.346
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	792	1,046	178	44	17	8	2,085	4.23	0.757	4.23	0.377
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	963	910	153	37	18	4	2,085	4.33	0.760	4.35	0.377
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	860	810	244	116	49	6	2,085	4.11	0.977	4.13	0.639
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	879	1,022	124	34	21	5	2,085	4.30	0.741	4.31	0.397
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	830	1,028	138	65	18	6	2,085	4.24	0.781	4.27	0.348
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	62	21	-	-	-	0	83	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	846	1,032	153	34	9	11	2,085	4.29	0.710	4.30	0.327
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	32	11	-	-	-	0	43	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	898	977	148	44	15	3	2,085	4.30	0.751	4.31	0.372
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	906	1,001	121	35	15	7	2,085	4.32	0.723	4.33	0.321
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	913	980	131	42	15	4	2,085	4.31	0.741	4.32	0.370
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,790	125	87	67	-	16	2,085	-	-	-	-
	85.85%	6.00%	4.17%	3.21%	-	0.77%	100.00%				



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.504 (**)	1												
Q4	.334 (**)	.566 (**)	1											
Q4-2	.036	.145 (**)	.305 (**)	1										
Q5	.436 (**)	.400 (**)	.297 (**)	.033	1									
Q6	.409 (**)	.424 (**)	.304 (**)	.033	.619 (**)	1								
Q7	.310 (**)	.323 (**)	.276 (**)	.043 (*)	.514 (**)	.520 (**)	1							
Q8	.271 (**)	.338 (**)	.282 (**)	.070 (**)	.322 (**)	.318 (**)	.433 (**)	1						
Q9	.397 (**)	.427 (**)	.279 (**)	.039 (*)	.601 (**)	.667 (**)	.552 (**)	.377 (**)	1					
Q10	.410 (**)	.416 (**)	.275 (**)	.008	.526 (**)	.572 (**)	.459 (**)	.325 (**)	.676 (**)	1				
Q11	.439 (**)	.467 (**)	.297 (**)	.022	.559 (**)	.610 (**)	.483 (**)	.358 (**)	.712 (**)	.767 (**)	1			
Q12	.459 (**)	.514 (**)	.324 (**)	.065 (**)	.509 (**)	.579 (**)	.435 (**)	.306 (**)	.627 (**)	.581 (**)	.654 (**)	1		
Q13	.479 (**)	.542 (**)	.358 (**)	.073 (**)	.519 (**)	.584 (**)	.443 (**)	.333 (**)	.615 (**)	.586 (**)	.642 (**)	.773 (**)	1	
Q14	.450 (**)	.495 (**)	.311 (**)	.015	.628 (**)	.668 (**)	.535 (**)	.378 (**)	.769 (**)	.682 (**)	.776 (**)	.713 (**)	.715 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.482 (**)	1												
Q4	.322 (**)	.544 (**)	1											
Q4-2	.143 (**)	.201 (**)	.365 (**)	1										
Q5	.467 (**)	.402 (**)	.263 (**)	.027	1									
Q6	.444 (**)	.403 (**)	.271 (**)	.044	.634 (**)	1								
Q7	.358 (**)	.352 (**)	.234 (**)	.056 (*)	.540 (**)	.553 (**)	1							
Q8	.243 (**)	.275 (**)	.233 (**)	.075 (**)	.382 (**)	.362 (**)	.458 (**)	1						
Q9	.439 (**)	.406 (**)	.237 (**)	.040	.651 (**)	.657 (**)	.627 (**)	.441 (**)	1					
Q10	.406 (**)	.419 (**)	.235 (**)	.039	.563 (**)	.594 (**)	.508 (**)	.375 (**)	.669 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.405 (**)	.444 (**)	.266 (**)	.024	.605 (**)	.629 (**)	.552 (**)	.389 (**)	.700 (**)	.735 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.457 (**)	.475 (**)	.229 (**)	.083 (**)	.549 (**)	.582 (**)	.485 (**)	.369 (**)	.627 (**)	.576 (**)	.640 (**)	1		
Q13	.444 (**)	.522 (**)	.297 (**)	.087 (**)	.541 (**)	.570 (**)	.479 (**)	.343 (**)	.600 (**)	.560 (**)	.614 (**)	.747 (**)	1	
Q14	.460 (**)	.471 (**)	.260 (**)	.035	.646 (**)	.665 (**)	.583 (**)	.400 (**)	.749 (**)	.692 (**)	.778 (**)	.722 (**)	.719 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.84	1.020	3.91	0.369	3.96	0.814	3.99	0.296	3.99	0.826	4.01	0.296	3.94	0.823	4.02	0.278
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.82	1.057	3.92	0.466	3.76	1.009	3.87	0.436	4.10	0.813	4.13	0.327	4.04	0.823	4.07	0.295	3.97	0.831	4.07	0.299
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.880	4.04	0.412	3.96	0.901	3.96	0.348	3.80	0.983	3.85	0.372
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.26	1.049	2.27	0.634	2.08	0.918	2.09	0.418	1.90	0.851	1.94	0.435
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.841	4.06	0.430	4.13	0.783	4.13	0.360	4.15	0.744	4.17	0.303
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.844	4.19	0.435	4.21	0.777	4.21	0.344	4.22	0.762	4.25	0.310
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	1.043	3.95	0.652	4.12	0.878	4.13	0.420	4.13	0.845	4.15	0.397
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	1.266	3.09	0.854	3.37	1.210	3.54	0.723	3.40	1.239	3.55	0.732
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.20	0.959	4.30	0.443	4.21	0.929	4.31	0.416	4.10	0.876	4.11	0.497	4.16	0.821	4.19	0.405	4.16	0.840	4.23	0.377
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.896	4.02	0.468	4.14	0.822	4.16	0.356	4.15	0.784	4.21	0.318
	(11)	この授業の水準に満足している	4.09	0.954	4.20	0.428	4.14	0.890	4.23	0.365	4.08	0.824	4.09	0.433	4.15	0.764	4.18	0.347	4.17	0.761	4.22	0.323
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.19	0.935	4.29	0.381	4.26	0.862	4.35	0.353	4.22	0.795	4.24	0.366	4.23	0.764	4.25	0.328	4.22	0.765	4.29	0.295
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.800	4.16	0.357	4.17	0.756	4.19	0.303	4.16	0.756	4.23	0.282
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.25	0.880	4.35	0.395	4.27	0.859	4.37	0.381	4.11	0.853	4.13	0.468	4.15	0.797	4.16	0.402	4.16	0.797	4.22	0.366

部門名 文学部
形態名 演習

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.01	0.945	4.06	0.341	4.08	0.829	4.10	0.378	4.15	0.784	4.18	0.301	4.09	0.805	4.13	0.342
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.27	0.812	4.28	0.285	4.16	0.821	4.17	0.298	4.37	0.683	4.38	0.306	4.34	0.689	4.36	0.265	4.31	0.670	4.32	0.250
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.728	4.32	0.367	4.26	0.790	4.28	0.331	4.16	0.839	4.17	0.368
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.62	1.218	2.56	0.728	2.61	1.163	2.60	0.638	2.46	1.164	2.42	0.648
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.700	4.23	0.350	4.25	0.710	4.26	0.291	4.25	0.723	4.25	0.346
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.796	4.20	0.435	4.27	0.715	4.27	0.328	4.23	0.757	4.23	0.377
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.883	4.20	0.526	4.31	0.750	4.33	0.320	4.33	0.760	4.35	0.377
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.69	1.225	3.73	0.898	4.06	1.012	4.11	0.606	4.11	0.977	4.13	0.639
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.39	0.797	4.44	0.332	4.39	0.781	4.40	0.366	4.24	0.818	4.23	0.512	4.28	0.775	4.28	0.364	4.30	0.741	4.31	0.397
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.870	4.13	0.496	4.22	0.788	4.24	0.340	4.24	0.781	4.27	0.348
	(11)	この授業の水準に満足している	4.19	0.871	4.23	0.344	4.25	0.819	4.25	0.370	4.20	0.748	4.20	0.404	4.26	0.735	4.27	0.333	4.29	0.710	4.30	0.327
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.34	0.823	4.39	0.336	4.36	0.784	4.37	0.344	4.23	0.787	4.23	0.428	4.32	0.722	4.33	0.318	4.30	0.751	4.31	0.372
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.746	4.22	0.415	4.34	0.688	4.34	0.299	4.32	0.723	4.33	0.321
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.41	0.761	4.46	0.315	4.41	0.764	4.42	0.354	4.25	0.780	4.25	0.446	4.31	0.746	4.33	0.339	4.31	0.741	4.32	0.370

IV 理学部

① アンケート結果に基づく評価

1) 集計データからわかること

Q2 では、シラバスなどにより履修登録時に授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージできていたかどうか問われている。理学部の科目ベースでの講義と演習における平均値はそれぞれ 3.88 と 4.03 であり、昨年度と同等の結果となった。令和 4 年度の他学部の科目ベース平均値は、講義において法 3.95、経 3.94、文 4.02、国社 3.81、演習において法 4.03、経 4.18、文 4.13、国社 3.88 である。他学部は令和 3 年度からポイントを下げているところが多いため、差があまりなくなってきたはいるが、平均的に見て理学部の平均値は例年と同様にして他学部より少し小さめの値となっている。

Q3 は授業への取り組みに対する意欲についての設問となっている。科目ベースでの平均値は、講義が 3.97、演習が 4.38 である。演習については、令和 3 年度のデータ 4.30 と比較すると微増しており、どの学科においても同水準を保つ結果を示す。講義についても、学部全体の平均としては令和 3 年度の 4.00 とほぼ同じ水準となっている。しかしながら、その内訳を見ると、化学科と生命科学科は概ね同水準を維持している一方で、物理学科と数学科においてはそれぞれ 0.1 ポイント程度減少している点が注目される。全面的な遠隔授業から一部が対面授業に移行した昨年度においても、理学部全体として平均値が減少する傾向を示していた。対面授業の割合が増加することにより課題量の減少が推測されるが、それと関係があるかもしれない。

Q4 は、授業に対して毎週一定の時間を確保して取り組んだかどうかについての設問である。講義では科目ベース平均値で、昨年度の 3.98 から 3.88 へと減少しており、過去 3 年間に於いて減少傾向となっている。どの学科においても共通で減少傾向を示すが、特に化学科における 0.2 ポイントの減少が著しい。また、この講義における平均値の減少傾向は、他学部においても同様に見られる。一方、演習においては、科目ベース平均値は 4.36 であり、令和 2 年度の 4.43 から令和 3 年度の 4.31 への減少傾向から転じて、微増となっている。学科別で見ても、全学科において昨年度から増加している。他学部の直近 3 年間の経年変化と比較すると、法学部や経済学部における増加一減少の傾向や、文学部における減少のみの傾向、国際社会学部の同水準維持→増加の傾向とは異なる挙動を示す。

設問 Q4-2 に示されている、一週あたりの授業に使った平均時間に関する科目ベースのポイント数において令和 3 年度と令和 4 年度を比較すると、講義では 2.58 から 2.32 に急激に減少しており、一方演習では 3.65 から 3.68 とほとんど変化していない。表 1 に各学科

のアンケートに回答のあった授業全体における遠隔授業の割合を示す。

表 1. 回答のあった授業全体における遠隔授業の割合(%)

学科	令和 3 年度		令和 4 年度	
	講義	演習	講義	演習
物理学	77	0	17	0
化学	45	7*	8	0
数学	100	100*	55	0
生命科学	53	0	38	0

*授業数は 1 個

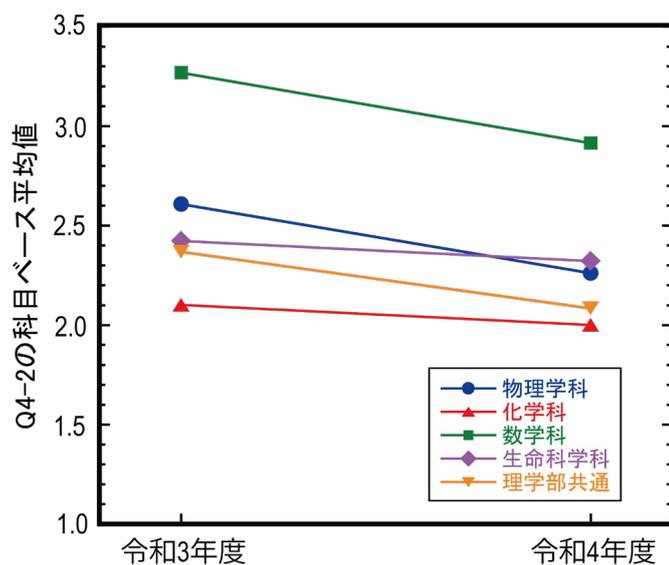


図 1. 講義における Q4-2 の学科別科目ベース平均値の令和 3 年度から令和 4 年度にかけての推移

演習においては、令和 3 年度の時点でほとんどの授業が対面となっていたため、令和 4 年度においてもあまり変化がなかったと考えられる。講義においては、図 1 より令和 3 年度の数学科と物理学の点数が相対的に高いことが分かる。これはそれぞれの令和 3 年度の遠隔授業割合の数学科 100%と物理学 77%という数字と調和的である。また、両学科においては、令和 3 年度から令和 4 年度への減少率が化学や生命科学に比べて大きい。このことは、数学科と物理学の講義全体に占める遠隔授業の割合が数学科では 100%から約 60%、物理学では約 80%から約 20%に激減していることと相関がある。また、化

学科は最も低いポイント数を示すが、遠隔授業の占める割合が最も低いことと関係がありそうである。したがって、理学部におけるポイント数の減少は、遠隔授業数の減少により、昨年度よりもさらに課題レポートなどにかかる時間数も減少したことが主要因であることが示唆される。

Q5 は、授業方法やシラバスの内容変更などについて、教員からの説明が適切であったかどうかについての設問である。講義については科目ベースの平均値は 4.01 で、過去 3 年間の経年変化を見ると微増している。しかしながら、数値自体は、法学部、経済学部、文学部の値と比べると若干ではあるが小さい。一方、演習についての平均値は 4.12 であり、経年変化では明らかな増加傾向を示す。

Q6 では、授業で配布した教材の学習効果について問われている。科目ベースでの理学部の平均値は、講義と演習のそれぞれについて 4.09 と 4.26 である。過去 3 年間の経年変化を見ると増加傾向となっている。学科別の詳細を見ると、特に、講義において数学科では 3.92（令和 3 年度）→ 4.13（令和 4 年度）、生命科学科では 4.08（令和 3 年度）→ 4.17（令和 4 年度）と大きく増加した。生命科学科の学生からは、LMS にアップロードされたオンデマンドの授業動画が復習の助けになったとのコメントが複数寄せられていた。生命科学科におけるポイント数の増加に、このような LMS による授業教材が大きく貢献している可能性がある。

Q7 は、教員への質問の機会が設けられていたかについての設問である。科目ベースの平均値で、講義は 4.00、演習は 4.28 であった。過去 3 年間の経年変化をみると、いずれも増加傾向となっている。学生からは、対面授業の方がその場で直接質問できるため質問しやすいとの意見が多数あった。講義における増加傾向は、対面授業の割合の増加が主要因と考えられる。

Q8 は、学生どうしの意見交換の機会が設けられていたかについての設問である。科目ベースの平均値は、講義で 3.84、演習で 4.30 であった。令和 2 年度から令和 3 年度では、完全遠隔授業から一部対面授業への移行により、急激な上昇がみられた。令和 4 年度においては、表 1 に示されるように対面授業へのさらなる移行が進んだことにより、平均値も増加することが予測された。他学部においては頭打ちの傾向を示す中、理学部の平均値は、増加率は昨年度に比べて小さくなってはいるが、増加傾向が続いている。なお、講義における平均値自体は、他の設問に比べてかなり低い。回答の内訳を見ると、「3. どちらとも言えない」が 28%、「2. あまりそうは思わない」が 12%を占めており、これが相対的に低い値の原因となっている。

Q9 は、教員が学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していたかについての設問である。科目ベースの平均値で、講義は 3.98、演習は 4.18 であった。過去 5 年間で経年変化をみると、どちらにおいても変動の範囲内で同じ水準を保っていると言ってよい。特に

直近の3年間で傾向を見ると、講義と演習の両方で令和2年度と令和3年度はほぼ同じであったが、令和4年度ではわずかに増加している。特に、講義において物理学科では3.92（令和3年度）→4.03（令和4年度）、数学科では3.85（令和3年度）→3.95（令和4年度）と他学科に比べて大幅な増加を示した。Q4でも述べたように、遠隔授業から対面授業への移行率がかなり高かったのが数学科と物理学科であり、遠隔授業に比べて対面授業の方が授業時に学習内容を伝えやすいことを示すデータとなっている。

Q10では、授業の学習量についての満足度が問われている。科目ベースでの平均値で、講義においては3.94、演習においては4.10である。昨年度に引き続き、両方とも微増している。講義について学科別に内訳を見てみると、実際には物理学科が3.91→3.99の増加、化学科は3.72→3.75と微増となっているのに対し、数学科は3.95→3.91、生命科学科は4.04→3.95と僅かだが減少を示している。遠隔授業の割合が10～20%程度にまで減少した物理学科や化学科に対して、数学科と生命科学科ではそれぞれ約55%と40%であること、また9割以上の回答が学習量の過多を指摘していることを考慮すると、遠隔授業による課題の多さが依然として負担となっていることがうかがえる。

Q11は、授業の水準への満足度についての設問である。過去5年の経年変化では標準偏差の範囲内で同じ水準を維持していると言えるが、微増の傾向がみられる。令和4年度の科目ベースの平均値は、講義において3.96、演習において4.16となっており、回答率の低さを考慮する必要はあるが、過去最高の値となった。特筆すべきは、物理学科の講義における、3.84（令和3年度）から4.04（令和4年度）への大きな増加である。この原因についても、表1に示された物理学科における遠隔授業の割合の急激な減少に関係していると解釈することが可能である。

Q12は授業による知的好奇心の満足度や新しいものの見方の獲得についての設問である。過去5年間の経年変化は、Q11に類似したプロファイルを示す。このことはQ12とQ11との相関係数の高さと同調的である。学科別の詳細で見ても、Q11と同様に物理学科の講義における平均値の増加が顕著である。

Q13では授業によって知識や能力の向上を感じたかが問われている。問いの性質上、科目ベースでの平均値は演習において高ポイントとなっている。特に化学科と生命科学科ではそれぞれ4.27と4.23であり、実際に実験を行いながら技術を習得することの重要性が改めて認識できる。

Q14では、授業に対する総合評価が行われている。科目ベース平均値において、講義は4.00、演習は4.21である。講義と演習の双方において、令和3年度から僅かながら増加を示した。過去5年の推移で見ると、講義と演習ともに4～5年前の水準にまで戻ってきている。学科別の詳細では、講義において、物理学科、数学科、生命科学科のいずれもが約0.08の増加となっている。その一方で、化学科は0.07ポイント減少している。Q9においても、

化学科だけが講義の科目ベース平均値において令和3年度からの減少を示している。Q14はQ9との相関係数が最も高い(0.771)ことから考えると、化学科のQ14における評価が下がった要因が学習内容の伝え方にあることが示唆される。

2) 今後の授業改善に向けて

令和4年度は令和3年度からさらに遠隔授業から対面授業への移行が進み、理学部においては、学科において多少異なるものの講義の約6割、演習のほぼ全てが対面授業となった。特に、遠隔授業の割合の変化が評価に与える影響について、直近の過去3年間のデータ推移から解釈が可能となった。

Q2やQ5の結果において過去5年間の推移を見ると、理学部の科目ベース平均値は次第に高くなってきており、改善が認められる。しかしながら、他学部と比較すると依然として少し小さめの値となっており、シラバスの内容を学生が授業のイメージをつかみやすくすることや、講義におけるシラバスの内容変更などへの説明に関して、さらなる改善の努力を続ける必要があるようである。

Q3とQ4およびQ4-2の結果からは、令和3年度の時点で既に対面授業化が進んでいた化学科と生命科学科では平均値が変わらなかったのに対して、令和4年度において遠隔授業数が大きく減少した物理学科と数学科では、ポイントが僅かに下がったことが分かった。遠隔授業における提出課題のために多くの時間を割いた学生が、対面授業に移行したことによってその負担の軽減を感じた結果とも受け取れる。ほとんどが対面授業となる令和5年度以降のQ3平均値の推移を見ていく必要がある。

Q8の結果から、科目ベースの平均値は講義と演習の双方において、増加傾向を示す。このことから、学生どうしの意見交換の機会設けるための努力はなされていることが読み取れた。しかしながら、特に講義においては平均値自体が他の設問に比べて低く、「3. どちらとも言えない」と「2. あまりそうは思わない」の占める割合が合計で40%とまだまだ高い。講義によっては意見交換の機会を設けにくいものがあるかと思われるが、さらなる改善の余地がある。

Q10から読み取れる学習量についての満足度の結果は、理学部全体平均としては微増しているものの、内訳で見たとき数学科と生命科学科においては減少を示している。遠隔授業の割合の高さと学習量の満足度に負の相関があることと、学習量が多過ぎるとの回答が9割を占めることから、遠隔授業による課題量の多さがまだ軽減されていないようである。今後は遠隔授業から対面授業への移行がさらに進むため、この数字は改善される方向にあると予測されるが、負担を掛け過ぎない課題の設定方法などについて工夫が必要となるであろう。

Q14の総合評価における講義の平均値が、化学科のみ昨年度からの減少を示している。

Q9との相関の高さを考慮すると、化学科においては講義における学習内容の伝え方にさらなる改善が求められる。

令和2年度における平均値の全体的な落ち込み(Q4およびQ4-2については上昇)は、令和3年度、令和4年度と年を追うごと令和元年以前の水準まで戻ってきているように見える。講義においては、分からないところを直接質問できる対面授業の良さについて言及した学生の意見が多く寄せられていた。その一方で、オンデマンド授業の繰り返し復習できるというメリットを指摘する声も少なからずあった。全面的に対面授業に移行した後も、その利点を取り込むことが、授業の改善案として挙げられる。例えば学生が理解するのに困難を感じる单元について、LMSに補足の動画や資料などをアップロードするなどの工夫があるとよいかもしれない。



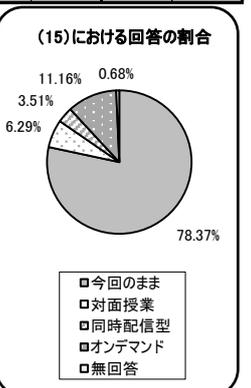
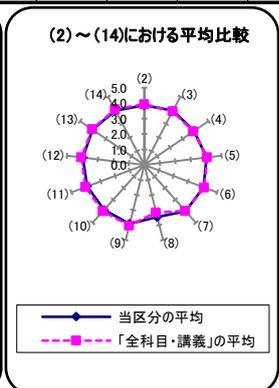
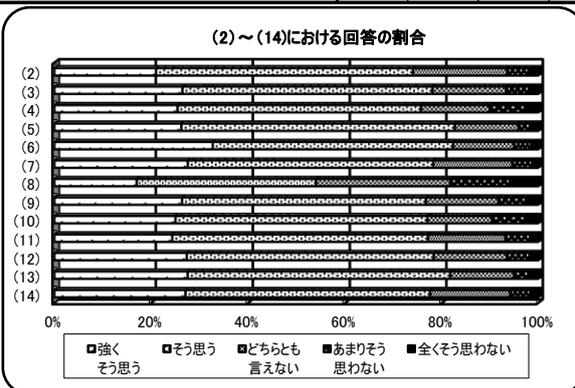
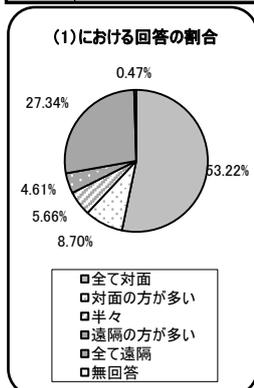
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,909	5,690	33.55%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない	無 回 答	計	学生回 答単 純集 計平 均	学生回 答単 純集 計標 準偏 差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準 偏差
	(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	1,016	166	108	88	522	9	1,909	-	-	-
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	399	1,008	371	85	38	8	1,909	3.87	0.864	3.88	0.283
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	502	981	290	90	37	9	1,909	3.96	0.883	3.97	0.281
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	483	955	270	143	49	9	1,909	3.88	0.957	3.88	0.381
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	69	131	235	404	267	602	1,708	2.40	1.155	2.32	0.574
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	498	1,074	251	48	30	8	1,909	4.03	0.798	4.01	0.301
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	622	945	240	68	28	6	1,909	4.09	0.849	4.09	0.373
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	524	965	311	78	25	6	1,909	3.99	0.849	4.00	0.377
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	324	704	529	235	113	4	1,909	3.47	1.092	3.48	0.416
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	500	955	285	109	48	12	1,909	3.92	0.931	3.98	0.412
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	475	989	254	132	51	8	1,909	3.90	0.945	3.94	0.378
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	163	15	-	-	-	5	183	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	463	1,004	305	98	32	7	1,909	3.93	0.870	3.96	0.349
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	111	16	-	-	-	3	130	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	518	967	287	90	34	13	1,909	3.97	0.881	4.00	0.311
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	522	1,030	250	63	33	11	1,909	4.02	0.834	4.02	0.279
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	514	960	315	80	31	9	1,909	3.97	0.867	4.00	0.353
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,496	120	67	213	-	13	1,909	-	-	-	-





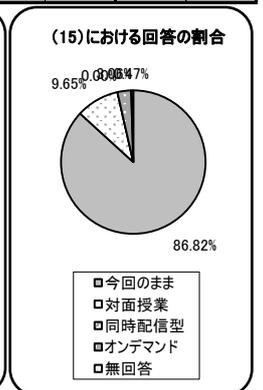
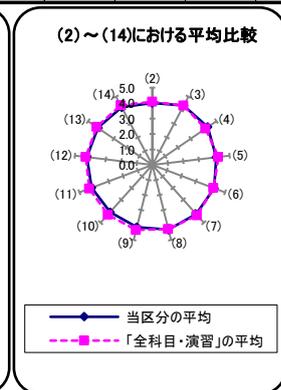
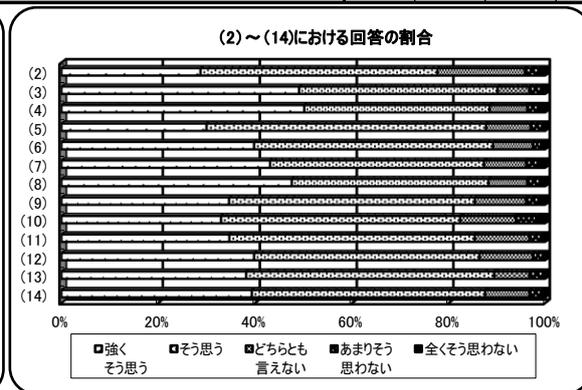
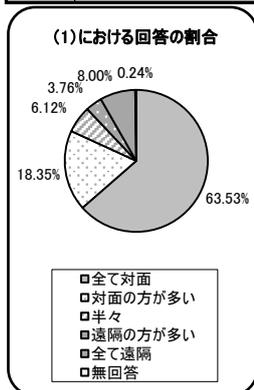
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	425	1,249	34.03%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	270	78	26	16	34	1	425	-	-	-	-
	63.53%	18.35%	6.12%	3.76%	8.00%	0.24%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	122	208	77	13	5	0	425	4.01	0.835	4.03	0.267
	28.71%	48.94%	18.12%	3.06%	1.18%	0.00%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	208	174	28	11	3	1	425	4.35	0.776	4.38	0.234
	48.94%	40.94%	6.59%	2.59%	0.71%	0.24%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	213	163	33	10	6	0	425	4.33	0.831	4.36	0.215
	50.12%	38.35%	7.76%	2.35%	1.41%	0.00%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	112	50	45	36	34	132	409	3.61	1.432	3.68	0.758
	27.38%	12.22%	11.00%	8.80%	8.31%	32.27%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	127	245	39	11	2	1	425	4.14	0.720	4.12	0.387
	29.88%	57.65%	9.18%	2.59%	0.47%	0.24%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	169	210	35	7	4	0	425	4.25	0.753	4.26	0.316
	39.76%	49.41%	8.24%	1.65%	0.94%	0.00%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	183	188	37	11	6	0	425	4.25	0.829	4.28	0.415
	43.06%	44.24%	8.71%	2.59%	1.41%	0.00%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	202	173	34	12	4	0	425	4.31	0.811	4.30	0.438
	47.53%	40.71%	8.00%	2.82%	0.94%	0.00%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	147	216	45	12	5	0	425	4.15	0.806	4.18	0.400
	34.59%	50.82%	10.59%	2.82%	1.18%	0.00%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	140	210	49	18	8	0	425	4.07	0.883	4.10	0.373
	32.94%	49.41%	11.53%	4.24%	1.88%	0.00%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	25	1	-	-	-	0	26	-	-	-	-
	96.15%	3.85%	-	-	-	0.00%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	147	215	48	11	3	1	425	4.16	0.777	4.16	0.442
	34.59%	50.59%	11.29%	2.59%	0.71%	0.24%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	13	1	-	-	-	0	14	-	-	-	-
	92.86%	7.14%	-	-	-	0.00%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	169	198	47	9	2	0	425	4.23	0.764	4.24	0.351
	39.76%	46.59%	11.06%	2.12%	0.47%	0.00%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	162	218	31	13	1	0	425	4.24	0.736	4.26	0.295
	38.12%	51.29%	7.29%	3.06%	0.24%	0.00%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	167	205	39	11	3	0	425	4.23	0.775	4.21	0.407
	39.29%	48.24%	9.18%	2.59%	0.71%	0.00%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	369	41	0	13	-	2	425	-	-	-	-
	86.82%	9.65%	0.00%	3.06%	-	0.47%	100.00%				



相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.612 (**)	1												
Q4	.445 (**)	.671 (**)	1											
Q4-2	.185 (**)	.279 (**)	.397 (**)	1										
Q5	.473 (**)	.485 (**)	.364 (**)	.118 (**)	1									
Q6	.408 (**)	.441 (**)	.357 (**)	.057	.500 (**)	1								
Q7	.407 (**)	.421 (**)	.305 (**)	.149 (**)	.497 (**)	.452 (**)	1							
Q8	.357 (**)	.352 (**)	.279 (**)	.071 (*)	.386 (**)	.296 (**)	.499 (**)	1						
Q9	.475 (**)	.515 (**)	.354 (**)	.080 (**)	.555 (**)	.602 (**)	.513 (**)	.379 (**)	1					
Q10	.440 (**)	.477 (**)	.359 (**)	.115 (**)	.474 (**)	.471 (**)	.427 (**)	.294 (**)	.594 (**)	1				
Q11	.489 (**)	.540 (**)	.373 (**)	.131 (**)	.522 (**)	.547 (**)	.475 (**)	.353 (**)	.664 (**)	.723 (**)	1			
Q12	.548 (**)	.543 (**)	.419 (**)	.155 (**)	.481 (**)	.508 (**)	.447 (**)	.313 (**)	.613 (**)	.567 (**)	.642 (**)	1		
Q13	.535 (**)	.585 (**)	.445 (**)	.194 (**)	.491 (**)	.514 (**)	.454 (**)	.334 (**)	.589 (**)	.565 (**)	.659 (**)	.767 (**)	1	
Q14	.515 (**)	.592 (**)	.401 (**)	.159 (**)	.606 (**)	.619 (**)	.555 (**)	.381 (**)	.771 (**)	.646 (**)	.743 (**)	.704 (**)	.716 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.600 (**)	1												
Q4	.369 (**)	.634 (**)	1											
Q4-2	.033	.173 (**)	.410 (**)	1										
Q5	.520 (**)	.419 (**)	.265 (**)	.076	1									
Q6	.468 (**)	.366 (**)	.271 (**)	.134 (*)	.573 (**)	1								
Q7	.483 (**)	.401 (**)	.225 (**)	.069	.558 (**)	.510 (**)	1							
Q8	.518 (**)	.477 (**)	.287 (**)	.028	.511 (**)	.434 (**)	.680 (**)	1						
Q9	.506 (**)	.407 (**)	.239 (**)	.024	.669 (**)	.660 (**)	.643 (**)	.539 (**)	1					
Q10	.485 (**)	.381 (**)	.195 (**)	-.040	.548 (**)	.483 (**)	.497 (**)	.495 (**)	.634 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.540 (**)	.455 (**)	.257 (**)	-.027	.628 (**)	.556 (**)	.572 (**)	.569 (**)	.678 (**)	.713 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.617 (**)	.538 (**)	.380 (**)	.134 (*)	.627 (**)	.619 (**)	.557 (**)	.543 (**)	.626 (**)	.548 (**)	.666 (**)	1		
Q13	.572 (**)	.551 (**)	.389 (**)	.109	.559 (**)	.571 (**)	.559 (**)	.535 (**)	.636 (**)	.510 (**)	.610 (**)	.749 (**)	1	
Q14	.605 (**)	.508 (**)	.288 (**)	.039	.673 (**)	.611 (**)	.608 (**)	.588 (**)	.719 (**)	.640 (**)	.727 (**)	.727 (**)	.727 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.66	1.063	3.70	0.341	3.83	0.878	3.84	0.293	3.91	0.783	3.92	0.260	3.87	0.864	3.88	0.283
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.80	1.086	3.83	0.370	3.61	1.042	3.64	0.359	4.10	0.769	4.10	0.276	4.00	0.785	4.00	0.286	3.96	0.883	3.97	0.281
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.779	4.17	0.286	3.99	0.830	3.98	0.328	3.88	0.957	3.88	0.381
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.73	1.157	2.73	0.713	2.55	1.100	2.58	0.641	2.40	1.155	2.32	0.574
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.886	3.95	0.398	3.98	0.778	3.98	0.310	4.03	0.798	4.01	0.301
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.931	4.01	0.506	4.02	0.862	4.02	0.388	4.09	0.849	4.09	0.373
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.989	3.87	0.491	3.92	0.892	3.94	0.378	3.99	0.849	4.00	0.377
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.98	1.158	3.02	0.521	3.35	1.071	3.36	0.401	3.47	1.092	3.48	0.416
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.89	1.069	3.94	0.465	3.87	1.043	3.92	0.478	3.91	0.989	3.91	0.561	3.90	0.908	3.90	0.419	3.92	0.931	3.98	0.412
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	0.910	3.90	0.407	3.91	0.854	3.91	0.343	3.90	0.945	3.94	0.378
	(11)	この授業の水準に満足している	3.63	1.120	3.66	0.495	3.77	1.026	3.82	0.438	3.89	0.903	3.90	0.447	3.89	0.865	3.90	0.350	3.93	0.870	3.96	0.349
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.84	1.061	3.89	0.411	3.86	1.010	3.91	0.410	3.95	0.869	3.95	0.389	3.96	0.830	3.97	0.334	3.97	0.881	4.00	0.311
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.865	3.95	0.355	3.99	0.793	4.00	0.320	4.02	0.834	4.02	0.279
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.97	0.977	4.02	0.403	3.96	0.960	4.02	0.446	3.92	0.929	3.92	0.478	3.96	0.845	3.96	0.379	3.97	0.867	4.00	0.353

部門名 理学部
形態名 演習

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.85	0.999	3.86	0.236	3.83	0.917	3.86	0.361	3.98	0.865	4.00	0.286	4.01	0.835	4.03	0.267
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.36	0.919	4.35	0.377	4.07	0.907	4.10	0.301	4.24	0.761	4.28	0.310	4.28	0.760	4.30	0.256	4.35	0.776	4.38	0.234
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.755	4.43	0.298	4.29	0.793	4.31	0.272	4.33	0.831	4.36	0.215
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	1.142	4.06	0.724	3.52	1.455	3.65	0.850	3.61	1.432	3.68	0.758
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	0.816	3.96	0.359	4.00	0.827	4.02	0.321	4.14	0.720	4.12	0.387
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.838	4.05	0.350	4.11	0.845	4.11	0.318	4.25	0.753	4.26	0.316
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.879	4.02	0.415	4.17	0.836	4.21	0.314	4.25	0.829	4.28	0.415
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.21	1.216	3.36	0.755	4.08	0.953	4.13	0.434	4.31	0.811	4.30	0.438
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.15	0.957	4.14	0.409	4.07	0.885	4.09	0.260	3.87	0.902	3.93	0.493	4.07	0.829	4.08	0.308	4.15	0.806	4.18	0.400
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.71	0.959	3.73	0.441	3.97	0.913	3.98	0.349	4.07	0.883	4.10	0.373
	(11)	この授業の水準に満足している	3.97	1.032	3.94	0.438	4.00	0.931	4.03	0.323	3.76	0.874	3.81	0.400	4.04	0.875	4.06	0.310	4.16	0.777	4.16	0.442
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.15	1.041	4.13	0.512	4.14	0.890	4.14	0.302	3.96	0.819	4.00	0.375	4.13	0.809	4.15	0.318	4.23	0.764	4.24	0.351
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.850	4.02	0.398	4.15	0.746	4.18	0.254	4.24	0.736	4.26	0.295
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.24	0.894	4.21	0.390	4.16	0.865	4.17	0.272	3.85	0.867	3.92	0.412	4.14	0.764	4.16	0.303	4.23	0.775	4.21	0.407

V 国際社会科学部

1. 集計データからわかること

A. 講義科目

講義科目の令和4(2022)年度アンケートの実施率は98.73%となり前年度(100%)より減少した。アンケートの回答率は22.09%であり、前年度(21.05%)と同程度であるものの、2019年度(40.93%)と比べて大幅に低下したままであった。

講義科目の全学平均値との比較では継続的学習度(Q3)(3.64)、配布された教材の評価(Q5)(3.97)、授業内容の量の適切さ(Q9-1)(3.87)、および総合評価(Q13)(3.92)については全学平均値を若干下回ったが、履修者同士の意見交換の機会(Q7)(3.50)については全学平均値(3.32)を上回った。

前年度との比較においては、履修者同士の意見交換の機会(Q7)(3.50)において前年度値(3.32)を上回ったが、継続的学習度(Q3)(3.64)および各授業の全学習時間(Q3-2)(1.90)は前年度値(それぞれ3.99、2.21)を大きく下回った。オンライン授業から対面授業に切り替わることで受講生同士の交流の機会は増えたものの、講義科目の修学にかける時間が減ったことが推測される。

表V-1 国際社会科学部 講義科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	3.87	3.9	3.99	3.99	4.08	4.03	3.96	3.97	▼
Q2 意欲度	3.74	3.76	4.12	4.1	4.03	4.04	3.88	3.98	▼
Q3 継続的学習度	—	—	4.12	4.07	3.99	3.97	3.64	3.84	▼
Q3-2 授業全学習時間	—	—	2.42	2.35	2.21	2.21	1.90	2.00	▼
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	3.95	4.03	4.10	4.09	4.04	4.10	▼
Q5 教材	—	—	3.98	4.11	4.13	4.15	3.97	4.15	▼
Q6 質問機会	—	—	3.84	3.89	4.15	4.02	3.99	4.03	▼
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	2.82	2.92	3.32	3.29	3.50	3.32	△
Q8 授業の理解しやすさ	4.12	4.15	3.84	4.01	4.04	4.08	3.95	4.09	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	3.87	3.98	4.00	4.04	3.87	4.05	▼
Q10-1 授業の水準	3.97	4.05	3.88	4	4.02	4.07	3.94	4.08	▼
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.07	4.14	3.96	4.08	4.06	4.12	3.97	4.12	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	3.96	4.08	4.09	4.12	3.97	4.12	▼
Q13 総合評価	4.12	4.2	3.85	4.03	4.02	4.08	3.92	4.09	▼
アンケート実施率	100.00%		94.44%		100.00%	99.71%	98.73%	98.90%	
回答率	40.93%	51.47%	12.89%	23.83%	21.05%	34.49%	22.09%	33.35%	

B. 演習科目

今年度の演習科目のアンケート実施率は97.67%となり前年度（93.75%）から大きく改善した。しかしながらアンケートの回答率は43.17%であり、前年度の回答率（39.86%）からは改善したものの、オンラインアンケート導入前（2019年度、84.35%）に比べると低い水準であった。またこれらの値は全学水準（実施率98.53%、回答率42.95%）と同程度であった。

演習科目の全学平均値との比較では、シラバス等を通じた目標理解（Q1）（3.81）における評価が全学平均値（4.12）を大きく下回った。シラバスの改善や教材の使用意図などをより明確にすることで学生との相互理解を図ることが望まれる。一方で履修者同士の意見交換の機会（Q7）（4.44）においては全学平均値（4.29）を若干上回った。

前年度との比較では学習時間（Q3-2）（2.26）が前年度値（2.65）を大きく下回り、教材への評価（Q5）（4.07）および総合評価（Q13）（4.21）は前年度より上昇した。2022年度はほとんどの演習科目が対面で行われた。このことが学習時間の低下と教材への満足度および総合評価の上昇につながった可能性が考えられる。

表V-2 国際社会科学部 演習科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	3.94	4.11	3.55	4	3.75	4.17	3.81	4.12	△
Q2 意欲度	4.19	4.26	4.31	4.3	4.28	4.38	4.30	4.37	△
Q3 継続的学習度	—	—	4.04	4.26	4.03	4.25	4.19	4.16	△
Q3-2 授業全学習時間	—	—	2.46	2.64	2.65	2.52	2.26	2.35	▼
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	3.98	4.13	4.09	4.27	4.18	4.28	△
Q5 教材	—	—	3.97	4.18	3.84	4.23	4.07	4.21	△
Q6 質問機会	—	—	4.29	4.06	4.31	4.34	4.29	4.37	▼
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	4.15	3.56	4.28	4.18	4.44	4.29	△
Q8 授業の理解しやすさ	4.41	4.46	4.13	4.18	4.19	4.31	4.19	4.34	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	3.92	4.07	4.01	4.27	4.17	4.30	△
Q10-1 授業の水準	4.27	4.35	4.04	4.11	4.13	4.30	4.22	4.34	△
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.34	4.41	4.08	4.16	4.11	4.32	4.14	4.31	△
Q12 知識や能力の向上	—	—	4.15	4.15	4.14	4.33	4.21	4.34	△
Q13 総合評価	4.41	4.48	4.06	4.16	4.02	4.35	4.21	4.37	△
アンケート実施率	95.65%		78.26%		93.75%		97.67%		
回答率	84.35%	83.75%	41.94%	30.11%	39.86%	44.42%	43.17%	42.95%	

C. 英語科目

今年度の英語科目のアンケート実施率は93.42%となり前年度(97.24%)から若干低下した。その一方でアンケートの回答率は54.62%であり、前年度の回答率(38.14%)から大幅に改善した。またこれらの値は全学水準と比較すると実施率においては全学平均(96.51%)を若干下回り、回答率においては全学平均(42.16%)を大きく上回った。

語学科目の全学平均との比較では、学習時間(Q3-2)(2.32)と授業に関する履修者同士の意見交換の機会(Q7)(4.43)が全学平均値(それぞれ2.08、4.03)を大きく上回った。それ以外の項目では全学平均に近い値となった。

前年度との比較においては学習時間(Q3-2)(2.32)が前年度値(2.72)を大きく下回り、継続的学習度(Q3)(4.12)も前年度値(4.38)を若干下回った。2022年度はほとんどの英語科目が対面授業になったことが、学習時間および継続的学習度の低下につながった可能性が考えられる。

表V-3 国際社会科学部 英語科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	3.98	3.92	3.94	4	3.98	4.04	3.88	3.98	▼
Q2 意欲度	4.27	4.08	4.43	4.27	4.38	4.26	4.19	4.17	▼
Q3 継続的学習度	—	—	4.38	4.31	4.38	4.25	4.12	4.11	▼
Q3-2 授業全学習時間	—	—	2.78	2.43	2.72	2.32	2.32	2.08	▼
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	4.12	4.06	4.02	4.11	4.14	4.13	△
Q5 教材	—	—	4.18	4.14	4.14	4.18	4.16	4.15	△
Q6 質問機会	—	—	4.42	4.09	4.34	4.16	4.32	4.16	▼
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	4.48	3.59	4.40	3.91	4.43	4.03	△
Q8 授業の理解しやすさ	4.37	4.33	4.34	4.1	4.19	4.18	4.27	4.20	△
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	4.14	4.08	4.06	4.12	4.13	4.14	△
Q10-1 授業の水準	4.24	4.19	4.23	4.08	4.14	4.14	4.17	4.16	△
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.25	4.16	4.16	4	4.11	4.09	4.09	4.07	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	4.21	4.05	4.19	4.14	4.15	4.11	▼
Q13 総合評価	4.34	4.3	4.29	4.08	4.15	4.16	4.18	4.15	△
アンケート実施率	99.32%		81.33%		97.24%		93.42%		96.51%
回答率	83.31%	84.10%	38.87%	33.56%	38.14%	46.10%	54.62%	42.16%	

2. 今後の授業改善に向けて

2022年度は講義科目において徐々に対面授業を再開し、演習および英語科目ではほとんどの授業が対面にて行われた年であった。そのため講義科目においては今年度の授業評価が対面・オンライン、どちらの授業形態を念頭に置いたものかは判断が難しい。また、オンラインから対面への切りかえにともなう授業スタイルの変化がどれだけ学生の期待や評価に影響を与えたかも勘案する必要がある。加えて、前年度に引き続き今年度もアンケートの回答率がオンラインアンケート導入前の2019年度と比較して大幅に低下した。そのため得られたアンケート結果の代表性には疑問が残る。

上記をふまえた上で今年度の結果を見ると、多くの項目においておおむね全学平均値に近い評価が得られており、オンライン・対面のそれぞれの授業形態に合わせて適切な教育を行う努力がなされたことが推測される。次年度はオンライン授業の良さも残しつつコロナ禍前と同様の対面授業に戻る。それにとともなう変化に合わせた授業設計・授業運営を行うことが求められると考えられる。



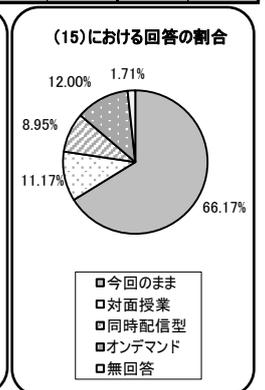
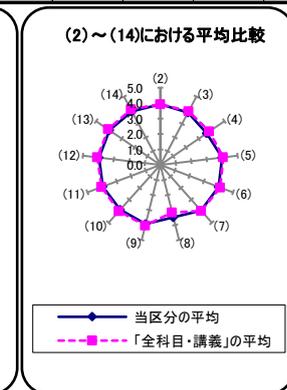
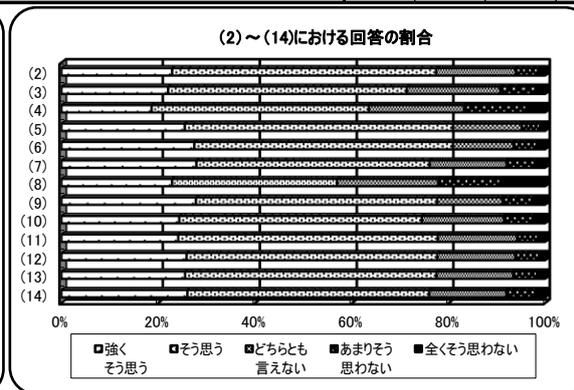
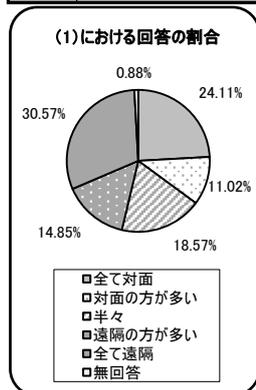
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,933	8,749	22.09%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	466	213	359	287	591	17	1,933	-	-	-	-
	24.11%	11.02%	18.57%	14.85%	30.57%	0.88%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	438	1,045	316	88	30	16	1,933	3.92	0.844	3.96	0.253
	22.66%	54.06%	16.35%	4.55%	1.55%	0.83%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	422	943	371	143	36	18	1,933	3.82	0.922	3.88	0.316
	21.83%	48.78%	19.19%	7.40%	1.86%	0.93%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	357	859	378	248	75	16	1,933	3.61	1.051	3.64	0.358
	18.47%	44.44%	19.56%	12.83%	3.88%	0.83%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	8	35	163	349	395	644	1,594	1.85	0.889	1.90	0.342
	0.50%	2.20%	10.23%	21.89%	24.78%	40.40%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	487	1,059	272	73	21	21	1,933	4.00	0.806	4.04	0.290
	25.19%	54.79%	14.07%	3.78%	1.09%	1.09%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	524	1,021	240	92	34	22	1,933	4.00	0.868	3.97	0.391
	27.11%	52.82%	12.42%	4.76%	1.76%	1.14%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	534	923	306	113	41	16	1,933	3.94	0.929	3.99	0.413
	27.63%	47.75%	15.83%	5.85%	2.12%	0.83%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	437	651	400	246	179	20	1,933	3.48	1.235	3.50	0.661
	22.61%	33.68%	20.69%	12.73%	9.26%	1.03%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	531	953	259	118	52	20	1,933	3.94	0.949	3.95	0.423
	27.47%	49.30%	13.40%	6.10%	2.69%	1.03%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	465	957	325	115	49	22	1,933	3.88	0.933	3.87	0.409
	24.06%	49.51%	16.81%	5.95%	2.53%	1.14%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	138	21	-	-	-	5	164	-	-	-	-
	84.15%	12.80%	-	-	-	3.05%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	461	1,024	314	82	30	22	1,933	3.94	0.846	3.94	0.383
	23.85%	52.97%	16.24%	4.24%	1.55%	1.14%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	87	21	-	-	-	4	112	-	-	-	-
	77.68%	18.75%	-	-	-	3.57%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	494	990	309	94	25	21	1,933	3.96	0.856	3.97	0.339
	25.56%	51.22%	15.99%	4.86%	1.29%	1.09%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	487	990	303	96	31	26	1,933	3.95	0.872	3.97	0.320
	25.19%	51.22%	15.68%	4.97%	1.60%	1.35%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	498	956	307	114	40	18	1,933	3.92	0.917	3.92	0.410
	25.76%	49.46%	15.88%	5.90%	2.07%	0.93%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,279	216	173	232	-	33	1,933	-	-	-	-
	66.17%	11.17%	8.95%	12.00%	-	1.71%	100.00%				





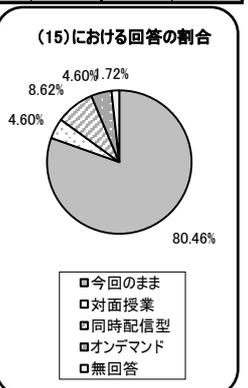
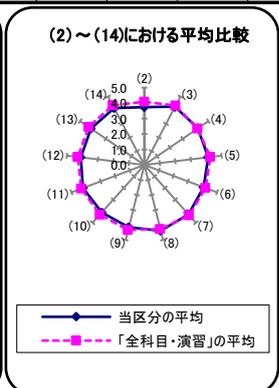
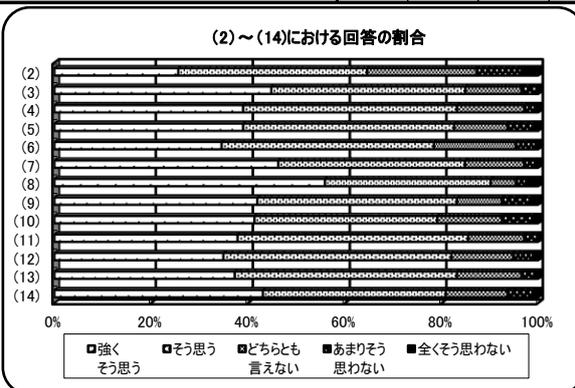
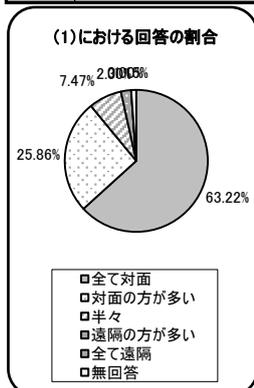
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	174	403	43.18%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない	無 回 答	計	学生 回答 単純 集計 平均	学生 回答 単純 集計 標準 偏差	部門 別形 態別 平均	部門 別形 態別 標準 偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	110	45	13	4	0	2	174	-	-	-	-
	63.22%	25.86%	7.47%	2.30%	0.00%	1.15%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	44	67	39	16	6	2	174	3.74	1.052	3.81	0.515
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	77	69	20	6	0	2	174	4.26	0.799	4.30	0.361
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	67	76	24	4	1	2	174	4.19	0.802	4.19	0.261
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	4	12	15	44	26	66	167	2.25	1.090	2.26	0.683
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	67	75	19	9	2	2	174	4.14	0.894	4.18	0.421
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	59	75	29	7	1	3	174	4.08	0.854	4.07	0.416
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	79	66	21	4	1	3	174	4.27	0.812	4.29	0.338
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	96	59	9	4	4	2	174	4.39	0.875	4.44	0.361
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	72	71	16	10	3	2	174	4.16	0.939	4.19	0.516
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	71	65	23	11	2	2	174	4.12	0.948	4.17	0.484
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	10	3	-	-	-	0	13	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	65	82	20	5	0	2	174	4.20	0.757	4.22	0.352
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	4	1	-	-	-	0	5	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	60	81	22	7	2	2	174	4.10	0.859	4.14	0.417
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	64	79	23	5	1	2	174	4.16	0.807	4.21	0.420
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	74	65	22	9	2	2	174	4.16	0.922	4.21	0.527
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	140	8	15	8	-	3	174	-	-	-	-
	80.46%	4.60%	8.62%	4.60%	-	1.72%	100.00%				





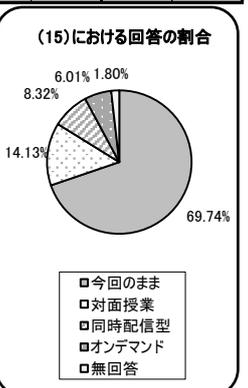
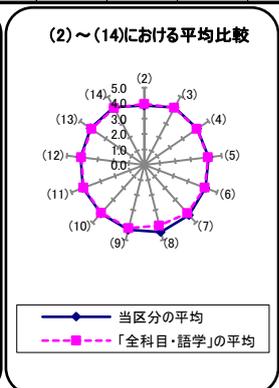
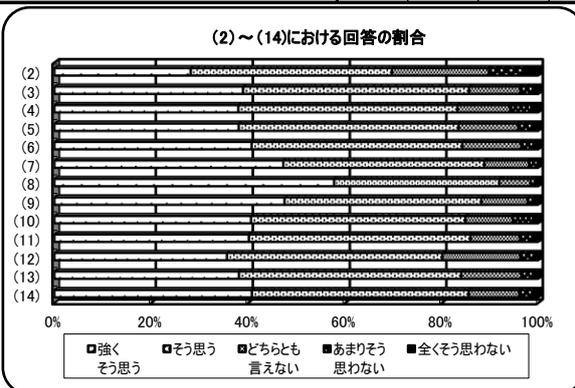
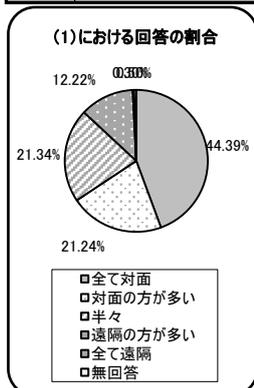
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	998	1,827	54.63%

形態名 語学

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	443	212	213	122	3	5	998	-	-	-	-
	44.39%	21.24%	21.34%	12.22%	0.30%	0.50%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	279	412	199	71	31	6	998	3.84	1.013	3.88	0.356
	27.96%	41.28%	19.94%	7.11%	3.11%	0.60%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	385	462	105	28	9	9	998	4.20	0.807	4.19	0.363
	38.58%	46.29%	10.52%	2.81%	0.90%	0.90%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	376	449	108	44	14	7	998	4.14	0.880	4.12	0.405
	37.68%	44.99%	10.82%	4.41%	1.40%	0.70%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	34	65	97	205	162	370	933	2.30	1.175	2.32	0.631
	3.64%	6.97%	10.40%	21.97%	17.36%	39.66%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	375	448	122	31	10	12	998	4.16	0.834	4.14	0.432
	37.58%	44.89%	12.22%	3.11%	1.00%	1.20%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	403	431	121	27	8	8	998	4.21	0.818	4.16	0.463
	40.38%	43.19%	12.12%	2.71%	0.80%	0.80%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	469	413	92	18	1	5	998	4.34	0.729	4.32	0.360
	46.99%	41.38%	9.22%	1.80%	0.10%	0.50%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	572	339	64	12	4	7	998	4.48	0.707	4.43	0.343
	57.31%	33.97%	6.41%	1.20%	0.40%	0.70%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	471	404	95	13	9	6	998	4.33	0.774	4.27	0.450
	47.19%	40.48%	9.52%	1.30%	0.90%	0.60%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	403	440	97	42	11	5	998	4.19	0.858	4.13	0.448
	40.38%	44.09%	9.72%	4.21%	1.10%	0.50%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	27	25	-	-	-	1	53	-	-	-	-
	50.94%	47.17%	-	-	-	1.89%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	397	453	101	28	10	9	998	4.21	0.814	4.17	0.431
	39.78%	45.39%	10.12%	2.81%	1.00%	0.90%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	13	25	-	-	-	0	38	-	-	-	-
	34.21%	65.79%	-	-	-	0.00%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	353	441	160	30	7	7	998	4.11	0.831	4.09	0.371
	35.37%	44.19%	16.03%	3.01%	0.70%	0.70%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	377	455	123	26	9	8	998	4.18	0.813	4.15	0.417
	37.78%	45.59%	12.32%	2.61%	0.90%	0.80%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	404	444	104	29	10	7	998	4.21	0.822	4.18	0.458
	40.48%	44.49%	10.42%	2.91%	1.00%	0.70%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	696	141	83	60	-	18	998	-	-	-	-
	69.74%	14.13%	8.32%	6.01%	-	1.80%	100.00%				



相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.606 (**)	1												
Q4	.496 (**)	.700 (**)	1											
Q4-2	.014	.109 (**)	.173 (**)	1										
Q5	.455 (**)	.449 (**)	.363 (**)	-.014	1									
Q6	.450 (**)	.444 (**)	.348 (**)	.000	.645 (**)	1								
Q7	.288 (**)	.324 (**)	.285 (**)	.008	.507 (**)	.465 (**)	1							
Q8	.294 (**)	.305 (**)	.252 (**)	-.024	.387 (**)	.361 (**)	.520 (**)	1						
Q9	.422 (**)	.448 (**)	.327 (**)	.044	.619 (**)	.684 (**)	.505 (**)	.421 (**)	1					
Q10	.442 (**)	.451 (**)	.360 (**)	.042	.572 (**)	.598 (**)	.428 (**)	.402 (**)	.656 (**)	1				
Q11	.454 (**)	.480 (**)	.367 (**)	.004	.599 (**)	.649 (**)	.465 (**)	.407 (**)	.708 (**)	.775 (**)	1			
Q12	.511 (**)	.552 (**)	.426 (**)	.018	.585 (**)	.643 (**)	.445 (**)	.345 (**)	.669 (**)	.611 (**)	.696 (**)	1		
Q13	.524 (**)	.572 (**)	.455 (**)	.038	.591 (**)	.649 (**)	.448 (**)	.362 (**)	.655 (**)	.608 (**)	.702 (**)	.825 (**)	1	
Q14	.496 (**)	.540 (**)	.403 (**)	.057	.642 (**)	.702 (**)	.489 (**)	.438 (**)	.778 (**)	.697 (**)	.789 (**)	.772 (**)	.786 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.444 (**)	1												
Q4	.335 (**)	.535 (**)	1											
Q4-2	-.020	.138	.236 (*)	1										
Q5	.425 (**)	.407 (**)	.322 (**)	.073	1									
Q6	.440 (**)	.470 (**)	.398 (**)	.109	.547 (**)	1								
Q7	.283 (**)	.404 (**)	.326 (**)	.071	.504 (**)	.640 (**)	1							
Q8	.226 (**)	.330 (**)	.296 (**)	.046	.446 (**)	.439 (**)	.649 (**)	1						
Q9	.427 (**)	.475 (**)	.295 (**)	.031	.663 (**)	.658 (**)	.559 (**)	.552 (**)	1					
Q10	.377 (**)	.500 (**)	.340 (**)	.087	.533 (**)	.620 (**)	.537 (**)	.432 (**)	.663 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.427 (**)	.521 (**)	.371 (**)	.093	.598 (**)	.707 (**)	.634 (**)	.480 (**)	.679 (**)	.717 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.445 (**)	.497 (**)	.345 (**)	.132	.491 (**)	.629 (**)	.488 (**)	.498 (**)	.647 (**)	.653 (**)	.669 (**)	1		
Q13	.374 (**)	.568 (**)	.386 (**)	.199 (*)	.495 (**)	.637 (**)	.495 (**)	.448 (**)	.614 (**)	.625 (**)	.692 (**)	.793 (**)	1	
Q14	.412 (**)	.481 (**)	.354 (**)	.103	.604 (**)	.684 (**)	.598 (**)	.501 (**)	.760 (**)	.734 (**)	.740 (**)	.761 (**)	.781 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部
形態名 語学

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.464 (**)	1												
Q4	.434 (**)	.700 (**)	1											
Q4-2	.171 (**)	.231 (**)	.252 (**)	1										
Q5	.401 (**)	.449 (**)	.417 (**)	.055	1									
Q6	.378 (**)	.496 (**)	.444 (**)	.118 (**)	.634 (**)	1								
Q7	.226 (**)	.375 (**)	.341 (**)	.085 (*)	.576 (**)	.528 (**)	1							
Q8	.255 (**)	.428 (**)	.402 (**)	.108 (*)	.472 (**)	.494 (**)	.594 (**)	1						
Q9	.326 (**)	.476 (**)	.453 (**)	.056	.636 (**)	.632 (**)	.640 (**)	.590 (**)	1					
Q10	.379 (**)	.510 (**)	.466 (**)	.047	.561 (**)	.577 (**)	.534 (**)	.520 (**)	.689 (**)	1				
Q11	.408 (**)	.544 (**)	.510 (**)	.099 (*)	.590 (**)	.600 (**)	.538 (**)	.538 (**)	.668 (**)	.757 (**)	1			
Q12	.461 (**)	.551 (**)	.497 (**)	.108 (*)	.567 (**)	.599 (**)	.516 (**)	.510 (**)	.621 (**)	.623 (**)	.674 (**)	1		
Q13	.407 (**)	.541 (**)	.519 (**)	.100 (*)	.560 (**)	.598 (**)	.501 (**)	.520 (**)	.581 (**)	.611 (**)	.698 (**)	.765 (**)	1	
Q14	.420 (**)	.524 (**)	.486 (**)	.088 (*)	.606 (**)	.630 (**)	.573 (**)	.573 (**)	.715 (**)	.705 (**)	.759 (**)	.721 (**)	.744 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.89	1.015	3.87	0.262	4.02	0.778	3.99	0.268	4.07	0.790	4.08	0.240	3.92	0.844	3.96	0.253
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.83	1.070	3.81	0.298	3.74	1.030	3.74	0.302	4.17	0.756	4.12	0.300	4.03	0.840	4.03	0.310	3.82	0.922	3.88	0.316
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.813	4.12	0.356	4.00	0.919	3.99	0.332	3.61	1.051	3.64	0.358
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.38	0.983	2.42	0.403	2.25	1.016	2.21	0.379	1.85	0.889	1.90	0.342
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.857	3.95	0.395	4.11	0.782	4.10	0.337	4.00	0.806	4.04	0.290
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.971	3.98	0.558	4.15	0.826	4.13	0.347	4.00	0.868	3.97	0.391
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.90	0.951	3.84	0.486	4.03	0.910	4.05	0.416	3.94	0.929	3.99	0.413
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.76	1.261	2.82	0.572	3.31	1.256	3.32	0.635	3.48	1.235	3.50	0.661
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.07	1.012	4.01	0.381	4.11	0.947	4.12	0.313	3.90	1.036	3.84	0.612	4.07	0.878	4.04	0.409	3.94	0.949	3.95	0.423
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.930	3.87	0.468	4.04	0.875	4.00	0.348	3.88	0.933	3.87	0.409
	(11)	この授業の水準に満足している	3.91	1.030	3.80	0.409	3.99	0.936	3.97	0.310	3.95	0.886	3.88	0.485	4.07	0.808	4.02	0.345	3.94	0.846	3.94	0.383
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.94	1.057	3.88	0.320	4.09	0.923	4.07	0.291	4.05	0.882	3.96	0.402	4.10	0.822	4.06	0.333	3.96	0.856	3.97	0.339
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.866	3.96	0.361	4.10	0.821	4.09	0.263	3.95	0.872	3.97	0.320
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.07	0.963	4.02	0.319	4.14	0.898	4.12	0.305	3.94	0.931	3.85	0.500	4.05	0.854	4.02	0.378	3.92	0.917	3.92	0.410

部門名 国際社会科学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.91	1.075	3.94	0.546	3.58	0.936	3.55	0.625	3.74	1.097	3.75	0.537	3.74	1.052	3.81	0.515
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.37	0.781	4.36	0.305	4.18	0.860	4.19	0.357	4.33	0.760	4.31	0.452	4.26	0.717	4.28	0.323	4.26	0.799	4.30	0.361
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.813	4.04	0.518	4.03	0.945	4.03	0.377	4.19	0.802	4.19	0.261
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.48	1.273	2.46	0.841	2.59	1.077	2.65	0.577	2.25	1.090	2.26	0.683
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.970	3.98	0.507	4.10	0.809	4.09	0.372	4.14	0.894	4.18	0.421
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.852	3.97	0.532	3.83	0.949	3.84	0.494	4.08	0.854	4.07	0.416
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.919	4.29	0.511	4.32	0.756	4.31	0.371	4.27	0.812	4.29	0.338
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.937	4.15	0.786	4.30	0.911	4.28	0.609	4.39	0.875	4.44	0.361
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.58	0.742	4.58	0.398	4.40	0.789	4.41	0.343	4.15	0.978	4.13	0.708	4.16	0.955	4.19	0.505	4.16	0.939	4.19	0.516
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	1.026	3.92	0.641	4.00	0.987	4.01	0.461	4.12	0.948	4.17	0.484
	(11)	この授業の水準に満足している	4.37	0.789	4.36	0.338	4.27	0.817	4.27	0.333	4.04	0.937	4.04	0.682	4.12	0.803	4.13	0.425	4.20	0.757	4.22	0.352
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.39	0.831	4.39	0.394	4.33	0.824	4.34	0.377	4.10	0.823	4.08	0.460	4.08	0.904	4.11	0.482	4.10	0.859	4.14	0.417
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.751	4.15	0.416	4.11	0.828	4.14	0.387	4.16	0.807	4.21	0.420
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.49	0.753	4.48	0.414	4.40	0.766	4.41	0.310	4.08	0.904	4.06	0.664	3.99	0.945	4.02	0.470	4.16	0.922	4.21	0.527



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 語学

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.96	1.072	3.98	0.385	3.94	0.848	3.94	0.395	3.99	0.921	3.98	0.325	3.84	1.013	3.88	0.356
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.38	0.785	4.37	0.268	4.26	0.807	4.27	0.338	4.43	0.633	4.43	0.270	4.40	0.655	4.38	0.290	4.20	0.807	4.19	0.363
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.39	0.709	4.38	0.323	4.39	0.673	4.38	0.258	4.14	0.880	4.12	0.405
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:4.3 時間以上 4:3 時間以上 4.5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満 2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.135	2.78	0.696	2.77	1.221	2.72	0.636	2.30	1.175	2.32	0.631
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.773	4.12	0.283	4.03	0.926	4.02	0.410	4.16	0.834	4.14	0.432
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.767	4.18	0.340	4.14	0.823	4.14	0.356	4.21	0.818	4.16	0.463
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.664	4.42	0.275	4.34	0.791	4.34	0.354	4.34	0.729	4.32	0.360
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.745	4.48	0.283	4.41	0.768	4.40	0.327	4.48	0.707	4.43	0.343
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.39	0.920	4.39	0.530	4.37	0.880	4.37	0.480	4.33	0.708	4.34	0.256	4.20	0.954	4.19	0.477	4.33	0.774	4.27	0.450
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.13	0.870	4.14	0.406	4.08	0.998	4.06	0.434	4.19	0.858	4.13	0.448
	(11)	この授業の水準に満足している	4.16	0.986	4.17	0.430	4.23	0.889	4.24	0.427	4.22	0.704	4.23	0.357	4.15	0.880	4.14	0.425	4.21	0.814	4.17	0.431
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.12	0.988	4.12	0.440	4.25	0.875	4.25	0.416	4.14	0.772	4.16	0.333	4.12	0.841	4.11	0.303	4.11	0.831	4.09	0.371
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.822	4.21	0.357	4.19	0.843	4.19	0.359	4.18	0.813	4.15	0.417
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.32	0.917	4.32	0.494	4.34	0.866	4.34	0.476	4.28	0.748	4.29	0.340	4.16	0.879	4.15	0.408	4.21	0.822	4.18	0.458

VI 計算機センター

計算機センターでは、データサイエンスの基礎と応用を学ぶことができるよう、2022 年度に大幅な情報科目のカリキュラム改訂を行った。情報リテラシー科目である「初等情報処理 1・2」を、あらたに「情報リテラシー」、「情報技術基礎」として内容を再構成し、例年履修者の少なかったクラスを減じ、新たにデータサイエンスのための科目を新設した。また、その他の開講科目についてもよりデータサイエンスを志向した内容として科目改訂をおこなった。この改訂により、「情報リテラシー」と「情報技術基礎」の 2 科目は計 78 クラスから 70 クラスとなり、クラス数は減ったものの依然として、情報科目全体 102 クラスに占める割合は大きい。このことから、アンケートの集計結果には、「情報リテラシー」と「情報技術基礎」についての結果が支配的に影響しているものと考えられる。

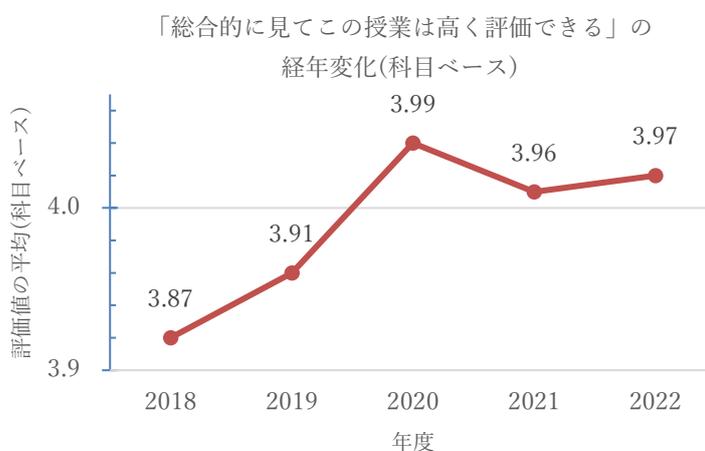
新規開講および内容を刷新した科目は、「ネットワークと通信」、「情報セキュリティと情報倫理」、「人工知能とビッグデータ」、「表計算ツールによるデータ分析」、「統計解析ツールによるデータ分析」、「プログラミング初級・中級」、「計算機科学とプログラミング初級・中級」、「情報理論概論」、「コンピューター科学概論」、「データサイエンスのための情報理論」、「プログラミングで学ぶ情報理論」、「基礎のアルゴリズム」、「プログラミングで学ぶアルゴリズム」、「基礎の機械学習」、「プログラミングで学ぶ機械学習」、「基礎のニューラルネットワーク」、「プログラミングで学ぶニューラルネットワーク」、「画像情報」、「コンピューターグラフィックス」である。データサイエンス科目に対する学生の関心は非常に高く、100 名以上履修者のいる科目は複数あり、ほとんどの科目で当初の想定人数もしくはそれ以上の履修者がいた。

以上のような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの集計結果について、2018 年度～2022 年度の 5 年間の経年変化を考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。

1. 集計データからわかること

計算機センター開講科目における授業評価アンケートの回答率は、2019 年度までは 70% 後半から約 80% 程度を推移していた。2020 年度以降はオンラインによる実施になったことから、それぞれ 2020 年度 34%、2021 年度 44%、2022 年度 42% と大きく回答率が下がったために、2019 年度前の回答と単純な比較はできないことに留意しつつ、評価の推移について確認する。

総合評価：授業の総合評価については、大学全体の授業形態が講義の授業に対する平均的評価と顕著な違いがある。大学全体では、2019年度の4.48から2020年度は4.16に評価が大きく下がった。これは遠隔授業中心の授業となり、対応が不十分でなかったためであると予想できる。一方で、計算機センターでは右



のグラフの示すように、大学全体の傾向とは逆に2020年度に評価が上昇している。計算機センターでは2020年度から「初等情報処理1・2」(2022年度は「情報リテラシー」と「情報技術基礎」)について、動画を含む標準教材を開発し、担当教員に提供を行い、2022年度には、全担当教員が標準教材を利用してオンライン授業を実施し、授業内容の標準化を推進することができた。標準教材はオンデマンド学習が可能であるように作成され、教員の裁量で反転学習の教材として利用できる。このことが、2020年度以降の相対的な評価向上に結びついているものと考えられる。ただし、2021年度にはやや評価が下降し、2022年度は微増している。2021年度まで「初等情報処理1」の単位取得が学内のコンピューターを使う権利(利用権)と紐付けられており、義務的かつ受身的な態度で授業を履修している学生がいることが、相対的な低評価の一因であると考えられており、2022年度の「情報リテラシー」の授業では利用権と履修を完全に切り離れたものの、依然として1年生はほぼ全員が履修する前提でクラス割当が行われていたため、受身的な態度で履修をしている可能性がある。

データ分析とプログラミングを除くデータサイエンス関連科目の総合評価の科目ベースの平均は4.18であり、リテラシー科目の科目ベースの総合評価の平均3.99と比較して高評価であった。また、リテラシー科目と比較すると極端に評価の低い科目がないことも特徴であり、学生が目的意識をもってデータサイエンス科目を履修していることがうかがえ、この点はリテラシー科目とは対照的であった。

Q3 意欲的か：計算機センターの部門別平均3.86(標準偏差0.304)は、大学全体の講義の平均3.98(標準偏差0.303)よりも低く、2021年度の部門平均4.00(標準偏差0.271)と比べてもやや下降している。事前学習や復習を含めた取り組みに対する問いであるために、学習時間(Q4)との相関もやや強い(相関係数0.680)。

Q6 教材：前述のように2020年度から情報リテラシー科目については標準教材として動画

による操作解説やスライド等の教材を全担当教員に提供している。部門別平均 4.12(標準偏差 0.387)は昨年度の 4.11(標準偏差 0.333)とほぼ同水準である。2020 年度に標準教材の動画や資料を導入したことで全体平均よりも高い評価が得られたが、その後、横這いである。これは、他部門の授業と比較して 2022 年度も情報科目の授業がもっぱら遠隔授業の形式で提供され続けたことも影響していると考えられる。この設問への回答は、教員の工夫(Q9), 授業水準(Q11), 総合評価(Q14)ともやや強い相関がある(それぞれ相関係数 0.695, 0.621, 0.687)。遠隔授業では教材の可否が、全体の評価にも大きく影響することがわかる。

Q7 質問機会: 部門別平均 3.84(標準偏差 0.413)であり、2021 年度の 3.89(標準偏差 0.362)よりもやや下がっており、全体の講義平均の 4.03(標準偏差 0.417)よりも低い。これも、情報科目のほとんどが遠隔授業中心の授業形態であったことが影響していると考えられる。

Q8 履修者間の意見交換: 部門別平均 2.92(標準偏差 0.439)であり、2021 年度の 2.54(標準偏差 0.417)よりも改善されているものの、全体の講義平均の 3.32(標準偏差 0.636)と比較して低い評価であった。Q7 のケースと同様に、遠隔授業中心の授業形態であり、学生が時間を共有する機会がなかったことがもっとも大きな要因であると考えられる。他の設問との相関は非常に低く、今後は学生間の意見交換がしやすい授業環境について工夫をする必要がある。

Q9 教員の工夫: Q6、Q10、Q11、Q14 の評価には比較的強い相関があることがわかる(それぞれ、相関係数 0.695, 0.655, 0.699, 0.745)。もっともクラス数の多い情報リテラシー科目(「情報リテラシー」と「情報技術基礎」)が遠隔授業中心であったことから、教材への評価がそのまま教員の工夫や授業評価に直結していると考えられる。2019 年度以前は評価の部門別平均が約 3.8 台で推移していたが、2020 年度に 4.02 と評価が上がった後、2021、2022 年度はそれぞれ 3.97、3.92 とやや下降している。やはり、2022 年度は対面授業が増えたことから、オンデマンド型の標準教材に対する学生の相対的な評価が落ちているものと思われる。

Q10 学ぶ量、Q11 授業水準: 部門別平均はそれぞれ 3.91 と 3.95 であり、全体平均の 4.05 と 4.08 よりそれぞれやや低い。学ぶ量については 90%以上の学生が多いと感じているが、77%以上の学生がこの量に満足していると回答しており、学生は教材の量の多さを負担ではなく学習機会が増えたと捉えていると考えられる。一方で、授業水準については約 77%の学生が高すぎると感じているものの、2021 年度の約 85%よりは改善されている。Q10、Q11 とともに総合評価の Q14 と強い相関があり、特に Q11 と Q14 の相関係数は 0.730 と高い。学ぶ量については、遠隔のオンデマンド授業では課題が多くなりがちであり、そのことも影響していると考えられる。

Q12 知的好奇心、Q13 能力の向上：部門別平均はそれぞれ 3.84 と 4.10 であり、全体平均はそれぞれ 4.12 と 4.12 である。知的好奇心(Q11)については全体平均より低いものの能力の向上(Q12)については全体平均とほぼ同じである。新しい能力の向上が好奇心とは結びついておらず、おそらく情報リテラシー科目におけるスキル習得に対する評価が大きく影響していることがうかがえる。Q12 と Q13 とともに 2021 年度までは過去 5 年間で評価は下がることなく毎年少しずつ評価は改善してきたが、2022 年度で頭打ちになっている。

2. 今後の授業改善に向けて

例年と同様、全学平均に比べて学生の授業評価がやや低い傾向が見られる。前述した通り、2022 年度から「初等情報処理 1・2」は廃止し、「初等情報処理 1」の後継として「情報リテラシー」を開設した。これに伴い、学内 PC の利用権の取得は通常の授業から独立した形で、e-Learning を通じた認定として行われるようになった。多くの学生が履修する「情報リテラシー」に対する意識は、これらの変更を受けて今後変化していくと予想される。

遠隔授業が中心であった 2020 年度から 2022 年度までの期間が終わり、2023 年度からは対面授業が主体となる。加えて、データサイエンスの副専攻も新設されることから、2023 年度は授業形態や学生の意識に大きな変化が見られると予想される。2022 年度の新設科目の中では、例えば Python のプログラミング科目の履修者が 100 名を大きく超え、プログラミングに対する高い関心と需要があることが明らかとなった。学生のプログラミング習熟度には大きな差が見られるため、今後はさらに細かいレベル設定を行うなどの工夫をする予定である。



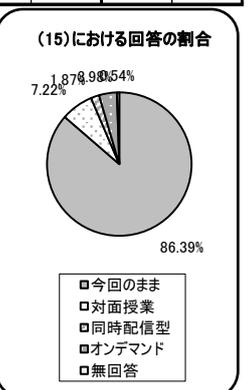
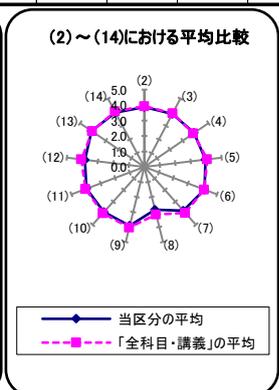
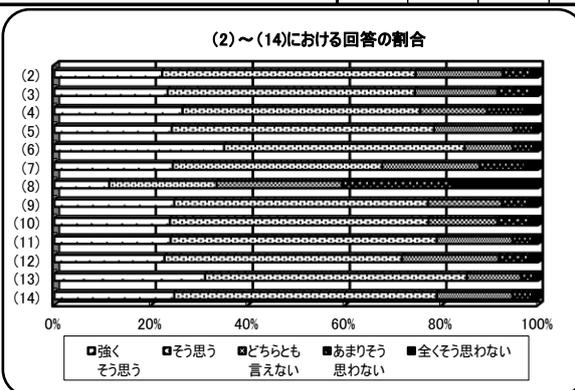
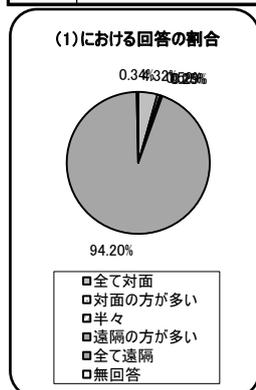
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,036	4,799	42.43%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	88	12	5	6	1,918	7	2,036	-	-	-	-
	4.32%	0.59%	0.25%	0.29%	94.20%	0.34%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	451	1,061	366	115	35	8	2,036	3.88	0.878	3.88	0.290
	22.15%	52.11%	17.98%	5.65%	1.72%	0.39%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	474	1,035	347	137	35	8	2,036	3.88	0.903	3.86	0.304
	23.28%	50.83%	17.04%	6.73%	1.72%	0.39%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	536	994	281	155	61	9	2,036	3.88	0.983	3.87	0.368
	26.33%	48.82%	13.80%	7.61%	3.00%	0.44%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	34	74	210	442	385	666	1,811	2.07	1.021	2.03	0.460
	1.88%	4.09%	11.60%	24.41%	21.26%	36.78%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	491	1,098	334	81	23	9	2,036	3.96	0.817	3.98	0.319
	24.12%	53.93%	16.40%	3.98%	1.13%	0.44%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	711	1,009	202	86	22	6	2,036	4.13	0.836	4.12	0.387
	34.92%	49.56%	9.92%	4.22%	1.08%	0.29%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	496	876	410	190	57	7	2,036	3.77	1.011	3.84	0.413
	24.36%	43.03%	20.14%	9.33%	2.80%	0.34%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	230	449	524	463	362	8	2,036	2.86	1.265	2.92	0.439
	11.30%	22.05%	25.74%	22.74%	17.78%	0.39%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	502	1,063	311	106	47	7	2,036	3.92	0.901	3.92	0.390
	24.66%	52.21%	15.28%	5.21%	2.31%	0.34%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	484	1,084	290	132	40	6	2,036	3.91	0.900	3.91	0.343
	23.77%	53.24%	14.24%	6.48%	1.96%	0.29%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	155	14	-	-	-	3	172	-	-	-	-
	90.12%	8.14%	-	-	-	1.74%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	485	1,111	317	81	28	14	2,036	3.96	0.825	3.95	0.341
	23.82%	54.57%	15.57%	3.98%	1.38%	0.69%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	84	23	-	-	-	2	109	-	-	-	-
	77.06%	21.10%	-	-	-	1.83%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	458	988	404	125	41	20	2,036	3.84	0.913	3.89	0.322
	22.50%	48.53%	19.84%	6.14%	2.01%	0.98%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	630	1,096	227	56	17	10	2,036	4.12	0.772	4.10	0.259
	30.94%	53.83%	11.15%	2.75%	0.83%	0.49%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	502	1,100	318	82	27	7	2,036	3.97	0.828	3.97	0.339
	24.66%	54.03%	15.62%	4.03%	1.33%	0.34%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,759	147	38	81	-	11	2,036	-	-	-	-
	86.39%	7.22%	1.87%	3.98%	-	0.54%	100.00%				



相関係数表

部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.550 (**)	1												
Q4	.404 (**)	.680 (**)	1											
Q4-2	.052	.189 (**)	.276 (**)	1										
Q5	.420 (**)	.384 (**)	.322 (**)	.026	1									
Q6	.422 (**)	.404 (**)	.305 (**)	-.003	.581 (**)	1								
Q7	.296 (**)	.286 (**)	.244 (**)	.009	.452 (**)	.410 (**)	1							
Q8	.259 (**)	.266 (**)	.199 (**)	.011	.274 (**)	.236 (**)	.428 (**)	1						
Q9	.417 (**)	.418 (**)	.279 (**)	.004	.581 (**)	.695 (**)	.461 (**)	.331 (**)	1					
Q10	.384 (**)	.360 (**)	.223 (**)	-.110 (**)	.500 (**)	.545 (**)	.403 (**)	.270 (**)	.655 (**)	1				
Q11	.438 (**)	.421 (**)	.256 (**)	-.029	.542 (**)	.621 (**)	.417 (**)	.280 (**)	.699 (**)	.713 (**)	1			
Q12	.482 (**)	.508 (**)	.360 (**)	.088 (**)	.485 (**)	.542 (**)	.368 (**)	.341 (**)	.577 (**)	.480 (**)	.561 (**)	1		
Q13	.480 (**)	.521 (**)	.392 (**)	.081 (**)	.471 (**)	.588 (**)	.341 (**)	.225 (**)	.582 (**)	.536 (**)	.632 (**)	.660 (**)	1	
Q14	.473 (**)	.503 (**)	.379 (**)	.023	.598 (**)	.687 (**)	.458 (**)	.318 (**)	.745 (**)	.653 (**)	.730 (**)	.664 (**)	.709 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.75	1.065	3.80	0.358	3.93	0.839	3.94	0.298	3.93	0.827	3.93	0.257	3.88	0.878	3.88	0.290
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.95	1.074	3.94	0.341	3.74	0.998	3.78	0.345	4.06	0.808	4.08	0.295	4.00	0.841	4.00	0.271	3.88	0.903	3.86	0.304
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.831	4.11	0.298	4.01	0.925	3.99	0.344	3.88	0.983	3.87	0.368
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)、3週間あたり平均で 3:4.3 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.047	2.32	0.588	2.37	1.099	2.29	0.569	2.07	1.021	2.03	0.460
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.783	4.01	0.382	4.01	0.774	4.02	0.251	3.96	0.817	3.98	0.319
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.839	4.17	0.412	4.09	0.860	4.11	0.333	4.13	0.836	4.12	0.387
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.77	1.015	3.78	0.479	3.90	0.919	3.89	0.362	3.77	1.011	3.84	0.413
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.51	1.150	2.54	0.417	2.84	1.165	2.88	0.483	2.86	1.265	2.92	0.439
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.84	1.133	3.83	0.622	3.82	1.116	3.86	0.553	4.02	0.890	4.02	0.463	3.93	0.900	3.97	0.363	3.92	0.901	3.92	0.390
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.898	3.95	0.341	3.88	0.932	3.90	0.371	3.91	0.900	3.91	0.343
	(11)	この授業の水準に満足している	3.74	1.153	3.70	0.597	3.79	1.055	3.84	0.452	3.94	0.832	3.95	0.389	3.93	0.843	3.96	0.367	3.96	0.825	3.95	0.341
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.65	1.124	3.70	0.468	3.73	1.030	3.80	0.405	3.83	0.865	3.87	0.316	3.86	0.901	3.89	0.315	3.84	0.913	3.89	0.322
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.778	4.13	0.310	4.12	0.790	4.14	0.263	4.12	0.772	4.10	0.259
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.87	1.041	3.87	0.535	3.84	1.036	3.91	0.482	3.99	0.825	3.99	0.412	3.94	0.838	3.96	0.323	3.97	0.828	3.97	0.339

VII 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの令和 4 年度の授業評価アンケートの実施率は 97.35%となっており、回答率については、39.66%であった。回答率は令和 2 年度が 28.24%、令和 3 年度が 47.18%であったので、令和 4 年度は令和 2 年度より高いものの令和 3 年度よりも逆に低下してしまっただけで、依然としてウェブでの実施であったため、対面で行っていた時期と比べるとまだ可成り低い結果となっている。

以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私はこの授業を次の形式で受講した」

「全て対面」が 44.19%、「全て遠隔」が 41.65%で、残りは混合形式の授業であった。

Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この項目の科目ベースの平均値は、前年度の 4.05 から 4.00 となったが、特に大きな変化はなかったと言えよう。相関係数からは Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」(.542)、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」(.530) と Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」(.512) とある程度の相関が見られる。履修登録時に授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージした上で授業に臨むことで、学びの姿勢や学習効果に正の影響が与えられ、より高い教育効果が期待できるため、次年度はより高い数値を得られるよう、引き続きシラバスなどを通して授業のねらいや目標や内容の周知徹底を図りたい。

Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

この項目は令和 3 年度には平均値 4.25 であったが、令和 4 年度も同様に 4.17 となった。この項目は Q12 (.534)、Q13 (.546) 及び Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」(.504) との相関も見られるので、引き続き、教材や課題を工夫し、学生自身が授業に意欲的に取り組むための環境づくりを進めていく必要がある。

Q4-1「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

Q4-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1 週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上 4.5 時間未満 3: 2 時間以上 3 時間未満 2: 90 分以上 2 時間未満 1: 90 分未満」

Q4-1 に関しては、科目ベースの平均値は 4.11 であった。一昨年度より新たに追加され

た質問項目であるが、一昨年度は 4.29、昨年度は 4.22 であり、減少傾向が続いている。

Q4-2 に関しては、科目ベースの平均値は 2.03 であった。一昨年度は 2.37、昨年度は 2.26 となっているので低下傾向が続いている。語学は日々の積み重ねが重要であるため、引き続き、課題や小テストなどにより、学生自身が普段から語学学習に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

Q5「授業方法やシラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

この項目の科目ベースの平均値は 4.12 であり、一昨年度は 4.04、昨年度は 4.12 であった。授業方法やシラバスの記載内容の変更が生じた場合は、その周知方法等を含め熟考した上で、学生に対し適切なタイミングで適切な説明を行い、引き続き学生が安心して学べる授業運営に努めたい。

この項目は他の多くの項目と関連しているが、特に Q6「この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」(.667)、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(.643) 及び Q14 (.625) との高い相関が見られることを考慮すると、Q5 に限らず、基本的に教員が伝える内容を明確にした上で、学生への伝達・教授方法を工夫することが、学生の理解度を向上させることに繋がり、授業に対する評価も高まることが分かる。

Q6「この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

この項目の科目ベースの平均値は 4.15 であった。一昨年度は 4.13、昨年度は 4.19 であり、あまり大きな変化はない。この項目は Q5 (.667)、Q9 (.653)、Q11「この授業の水準に満足している」(.613)、Q12 (.610)、Q13 (.632) 及び Q14 (.657) といった学生の学習成果の評価を直接的に示す多くの項目と高い相関性を示しているので、今後も教員間でも情報共有を積極的に行いながら、各教員が学生の興味や学習意欲を掻き立て、学生の主体的な学習を促すような教材作成に努めたい。

Q7「この授業に対する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.12 であった。一昨年度は 4.04、昨年度は 4.13 であり、あまり大きな変化はない。この項目は Q9 (.613) と高い相関にあり、学生の学習内容の理解度に大きく関わることなので、今後も引き続き、各教員が積極的に質問の機会を設け、学生とのコミュニケーションを密に図るよう努める必要がある。

Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 3.94 であった。一昨年度は 3.44、昨年度は 3.83 であ

ったことから、改善傾向を示している。令和 4 年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により半数近くが遠隔での授業となり、履修者同士がなかなか会えないということもあって、特に意識して各教員が LMS のチャット機能や掲示板を活用して履修者同士の意見交換の機会を積極的に提供していたことが要因として挙げることができよう。

Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.19 であり、一昨年度の 4.06、昨年度の 4.18 を上回っているが、4.30 超であった全面的に対面授業が行われていた年度の数値と比較すると、まだ差があることは否めない。殆どの授業が対面となった令和 5 年度の数値を注視したい。この項目は Q5 (.643)、Q6 (.653)、Q7 (.613)、Q10「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」(.645)、Q11 (.687)、Q12 (.640)、Q13 (.647) との高い相関性を、また Q14 に至っては (.758) という極めて高い相関性を示しているので、学生の学習効果に与える影響が極めて大きい要素であると言えよう。ここ 5 年間いずれも 4.0 以上の数値を維持しているが、今後も教員の話し方や授業スタイル、教材等を工夫し、より適切な授業運営を心がけていく必要があるだろう。

Q10「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

Q10-2「授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない」

Q10 の科目ベースの平均値は 4.15 であった。一昨年度の 4.07、昨年度の 4.12 と比較すると徐々に改善しているように見える。Q10-2 についてみると、90.12%が「5: 多い」と回答し、「4: 少ない」という回答は 8.14%であった。初習言語の文法等は一年間で学習すべき必須項目がある程度決まっているので容易に減らすことは出来ないが、Q10 は Q11 (.764) と Q14 (.678) とも高い相関を示しているので、適正な量になるよう工夫する必要はあるだろう。

Q11「この授業の水準に満足している」

この科目ベースの平均値は 4.15 であり、一昨年度は 4.05、昨年度は 4.14 であった。遠隔授業が多く行われていたにもかかわらず、各授業担当者における授業改善の取り組みの成果が反映された結果といえよう。この項目は Q6 (.613)、Q9 (.687)、Q10 (.764)、Q12 (.650)、Q13 (.661) との高い相関性を、また Q14 との相関は (.759) で Q1~Q13 の項目の中でも最も高い相関性を示しているので、今後も学生のレベルや理解度をよく把握し、学生のレベルにあったテキストを選択したり、教材、指導法を工夫したりすることなど引き続き努力してゆきたい。また、習熟度別クラスなどを今後さらに定着させ、より学生のレベルにあった授業を提供することを目指したい。

Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.07 で、一昨年度は 3.98、昨年度は 4.09 であった。初修外国語の場合、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。しかし、この項目は Q6 (.610)、Q9 (.640)、Q11 (.650) と高い相関性を示しているが、Q13 (.770) と Q14 (.711) とは非常に高い相関を示しているため、この項目の数値を上げるような工夫、努力は学生の学習意欲や内容理解の向上にもつながると考えられる。この項目に関する初修外国語の上記のような制約の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

この項目の科目ベースの平均値は 4.10 であった。一昨年度は 4.03、昨年度は 4.14 であり、目立った変化はないが、概ね学生に知的満足感を与えることができているといえよう。Q6 (.632)、Q9 (.647)、Q11 (.661) と高い相関が、Q12 (.770)、Q14 (.735) とは非常に高い相関があるので、引き続き、学生の学びや成長を促進するような教材や指導法の工夫を図りたい。

Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.15 で、一昨年度は 4.04、昨年度は 4.16 であり、概ね学生の満足度は高いと考えられるが、まだ改善の余地はあるだろう。これまで述べてきたことから、総合的に評価が高い授業とは、授業の水準やボリューム（学ぶ内容の量）が適切であり、教員の説明が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激され、かつ自らの知識や能力の向上が感じられる授業であるといえる。このような授業を提供できるようにするには、学生のレベルや理解度を考慮しながら、学生の学習意欲を向上させ、達成感や知的満足感も得られるような教材作成や授業スタイルのより一層の工夫が求められるだろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と授業環境の整備が求められるだろう。

外国語教育研究センターが開講する英語クラスに関しては、令和 3 年度より経済学部を除く法学部、文学部、理学部の 3 学部の英語授業において、少人数クラス編成、習熟度別ク

ラス編成という新しい英語プログラムを開始したところである。これにより学生のレベルに合ったよりきめ細やかな指導を行うことが可能になった。この新英語プログラムによって、新しい学習内容や学習方法を取り入れながら、学生の英語力をさらに高めることができるよう、新英語プログラムのより一層の定着を目指したい。

令和2年度以降新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業形態の変更など余儀なくされたが、令和4年度は対面による授業も約6割となり、学生が意欲的に外国語学習に取り組めるような学習環境を整えるとともに学生の学習をしっかりと支援した。外国語教育研究センターでは、今後も授業評価アンケートの結果を有効に活用し、授業内容や方法の改善に役立てながら、学生のより一層の語学学習の活性化を目指し、引き続き外国語教育の更なる充実を図っていきたいと考えている。



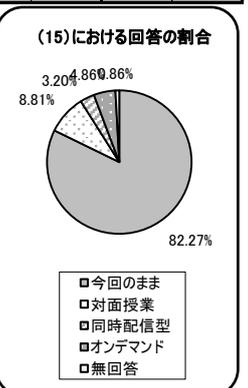
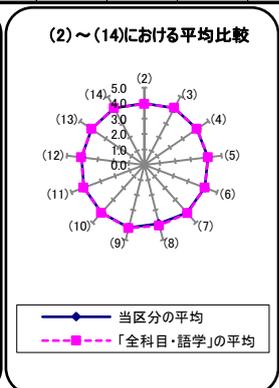
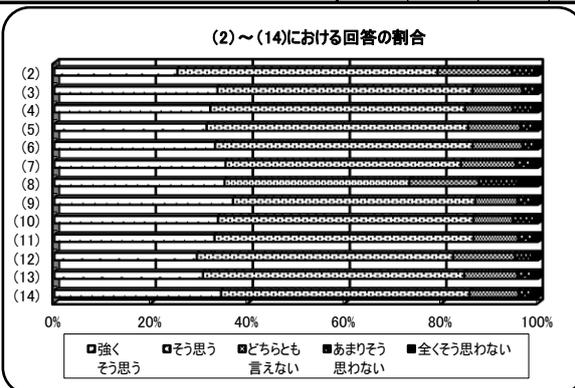
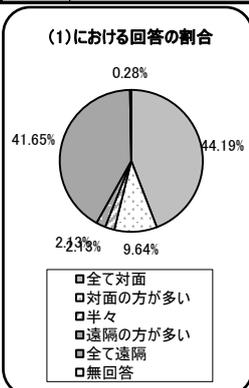
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 外国語教育研究センター

形態名 語学

	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,621	9,129	39.66%

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	1,600	349	77	77	1,508	10	3,621	-	-	-	-
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	917	1,939	554	167	33	11	3,621	3.98	0.821	4.00	0.343
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,216	1,906	371	100	21	7	3,621	4.16	0.759	4.17	0.307
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,162	1,901	356	149	44	9	3,621	4.10	0.827	4.11	0.347
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	43	117	437	1,001	769	1,052	3,419	2.01	0.933	2.03	0.447
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,134	1,950	391	97	37	12	3,621	4.12	0.780	4.12	0.348
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,198	1,924	372	89	30	8	3,621	4.15	0.764	4.15	0.326
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,276	1,758	410	121	49	7	3,621	4.13	0.840	4.12	0.430
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,269	1,378	520	292	155	7	3,621	3.92	1.094	3.94	0.668
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,331	1,809	316	107	49	9	3,621	4.18	0.815	4.19	0.408
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,220	1,907	294	159	33	8	3,621	4.14	0.811	4.15	0.362
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	123	63	-	-	-	6	192	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	1,194	1,934	332	118	35	8	3,621	4.14	0.787	4.15	0.354
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	76	67	-	-	-	10	153	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,062	1,911	463	129	46	10	3,621	4.06	0.823	4.07	0.369
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,107	1,949	397	114	43	11	3,621	4.10	0.800	4.10	0.379
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,243	1,855	368	97	51	7	3,621	4.15	0.812	4.15	0.407
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	2,979	319	116	176	-	31	3,621	-	-	-	-



相関係数表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.542 (**)	1												
Q4	.399 (**)	.674 (**)	1											
Q4-2	.065 (**)	.173 (**)	.281 (**)	1										
Q5	.500 (**)	.448 (**)	.380 (**)	.071 (**)	1									
Q6	.476 (**)	.493 (**)	.434 (**)	.091 (**)	.667 (**)	1								
Q7	.398 (**)	.410 (**)	.330 (**)	.043 (*)	.592 (**)	.585 (**)	1							
Q8	.284 (**)	.355 (**)	.286 (**)	.041 (*)	.359 (**)	.371 (**)	.495 (**)	1						
Q9	.459 (**)	.468 (**)	.367 (**)	.038	.643 (**)	.653 (**)	.613 (**)	.440 (**)	1					
Q10	.387 (**)	.451 (**)	.359 (**)	.017	.535 (**)	.562 (**)	.497 (**)	.392 (**)	.645 (**)	1				
Q11	.431 (**)	.481 (**)	.377 (**)	.040	.568 (**)	.613 (**)	.530 (**)	.404 (**)	.687 (**)	.764 (**)	1			
Q12	.530 (**)	.534 (**)	.413 (**)	.080 (**)	.535 (**)	.610 (**)	.513 (**)	.399 (**)	.640 (**)	.554 (**)	.650 (**)	1		
Q13	.512 (**)	.546 (**)	.438 (**)	.078 (**)	.551 (**)	.632 (**)	.510 (**)	.373 (**)	.647 (**)	.575 (**)	.661 (**)	.770 (**)	1	
Q14	.472 (**)	.504 (**)	.384 (**)	.035	.625 (**)	.657 (**)	.589 (**)	.433 (**)	.758 (**)	.678 (**)	.759 (**)	.711 (**)	.735 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.86	1.003	3.91	0.352	4.02	0.788	4.02	0.334	4.05	0.775	4.05	0.284	3.98	0.821	4.00	0.343
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.12	0.927	4.13	0.327	4.00	0.898	4.03	0.329	4.25	0.733	4.25	0.319	4.25	0.712	4.25	0.253	4.16	0.759	4.17	0.307
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.723	4.29	0.348	4.23	0.753	4.22	0.282	4.10	0.827	4.11	0.347
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、3週間あたり平均で 3:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.42	1.025	2.37	0.539	2.26	1.008	2.26	0.493	2.01	0.933	2.03	0.447
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.824	4.04	0.421	4.12	0.768	4.12	0.327	4.12	0.780	4.12	0.348
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.840	4.13	0.400	4.19	0.737	4.19	0.294	4.15	0.764	4.15	0.326
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.957	4.04	0.511	4.12	0.839	4.13	0.399	4.13	0.840	4.12	0.430
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	1.298	3.44	0.930	3.81	1.132	3.83	0.707	3.92	1.094	3.94	0.668
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.34	0.880	4.36	0.418	4.29	0.864	4.32	0.418	4.07	0.905	4.06	0.496	4.19	0.773	4.18	0.370	4.18	0.815	4.19	0.408
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.870	4.07	0.390	4.12	0.815	4.12	0.315	4.14	0.811	4.15	0.362
	(11)	この授業の水準に満足している	4.14	0.921	4.15	0.374	4.14	0.882	4.17	0.366	4.05	0.837	4.05	0.402	4.15	0.754	4.14	0.296	4.14	0.787	4.15	0.354
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.07	0.976	4.10	0.399	4.10	0.898	4.13	0.373	3.97	0.873	3.98	0.422	4.09	0.793	4.09	0.324	4.06	0.823	4.07	0.369
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.861	4.03	0.423	4.14	0.776	4.14	0.322	4.10	0.800	4.10	0.379
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.31	0.866	4.33	0.409	4.27	0.848	4.29	0.398	4.04	0.898	4.04	0.467	4.16	0.774	4.16	0.344	4.15	0.812	4.15	0.407

VIII スポーツ・健康科学センター

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対策を継続した上で、基本的に対面形式で授業を実施できた1年であった。文学部・理学部の1～2年生が必修単位として履修するスポーツ・健康科学Ⅰおよびスポーツ・健康科学Ⅱにおいては、1つのコマに複数種目のクラスが混在している。コロナ禍以前は、雨天時は体育館やトレーニングルームなどを複数クラスが同時に利用していたが、感染症対策の観点から、教場での密集を避けるため、雨天時のローテーションを作成して対応した。ローテーションでは、雨天時に屋外・屋内を問わず全てのクラスが順番に講義や屋内教場に回ることで、複数クラスが密集することを避けることができた。

コロナ禍以前は、授業評価アンケートの回答率は80%前後であったが、令和2年度は29.47%、令和3年度は43.5%と低い回答率となっていた。令和4年度は基本的に対面授業を実施できたため、アンケートへの回答を呼びかけることができたことで、実施率は97.46%となった。しかしその反面、回答率は55.45%と昨年度よりは向上したものの、半数程度の回答率に留まった。授業に対する評価について、履修者全体の意見を反映できるよう、回答率の向上を目指して授業内での実施時間を確保するよう努めていきたい。

1. 項目別

Q1「私はこの授業を次の形式で受講した」については、「全て対面」が63.65%、「対面の方が遠隔より多い」が33.69%となった。併せて97.34%が基本的に対面授業に参加したという結果になった。令和4年度は、対面授業を実施する代わりに、コロナ対応としてオンデマンド形式の「スポーツ・健康科学Ⅲa：体力トレーニング」を開講した。そちらを受講した学生は、全てを遠隔授業で受講したと回答していると考えられる。

Q2「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、平均値4.23であり、「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は85.14%であった。本センターで開講している授業において扱っているスポーツ種目は一般的にも馴染みのあるものが多く、学生もイメージが付きやすかったのではないかと考える。

Q3「私は、この授業に意欲的に取組んだ」については、平均値4.49であった。93.44%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、授業実施者としても嬉しく思う。全面的に対面授業を実施できた上で、コロナ禍以前の平均値を上回る結果となったことは、スポーツ・健康科学科目における対面実技の価値を感じられる結果であった。

Q4「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」については、平均値 4.05 であったが、取り組んだ時間については 半数以上の学生が 2 時間未満であり、無回答の学生も多かった。遠隔授業時は、課題等で一定の時間を確保した学生も多かったと思われるが、課題以外にも、学生が選択している種目に対して興味を持つような話題提供や動画コンテンツを準備し、学生が主体的に自宅学習に取り組むような工夫をすることが必要である。

Q5「授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった」は、平均値 4.38 であった。3 年間で少しずつポイントが向上していることから、各教員が適切に学生に説明を行えていること、変更が生じた際に教員間でも共有できていることが窺える。また、WebClass にも変更点等を記載しておくことで、口頭での説明を補う形で良い方向に作用したとも考えられる。

Q6「この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った」については、平均値 4.09 であり、77.43%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答していた。昨年度より若干ポイントが低下したものの、授業のほとんどを対面で実施したため、学生が講義動画を閲覧する機会自体が少なかったように思う。今後は、少ない機会の中でも学習を進めるために役立つよう、工夫を凝らした教材作りを進めていきたい。

Q7「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値が 4.38 であり、昨年度大きく向上したポイントを維持し、若干向上させることができた。概ね対面で実施できたことで、技能の上達に向けて直接質問をすることが容易であった。また、スポーツ・健康科学 I では、学習したことを振り返る「実習ノート」の活用をすることで、直接質問がしにくい学生もそのノートに質問を記入することができている。このようなことがポイントを維持・向上できた要因と考えられる。

Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値 4.39 であり、昨年度と比較すると 2.02 ポイント向上した。実技の授業では個人種目・チーム種目問わず、授業を通して他の学生とコミュニケーションを図る機会が多いと感じる。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となった。

Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」については、平均値 4.47 と高い評価を受けている。94.36%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答して

いる。昨年度も高い評価（4.46）であったが、それを維持・向上できた結果となった。対面授業が主となったものの、コロナ禍で作成した映像コンテンツなども利用しながら、各教員が伝え方を工夫できた結果であると思われる。

Q10「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」については、平均値 4.47 であり、昨年度と同程度の結果となった。95.2%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、概ねボリュームとしては問題ないと考えられる。しかし、満足していない履修者 10 名のうち 8 名が「量が多かった」と回答していた。昨年度は、コロナ禍も少しずつ落ち着いた時期があったため、コロナ禍以前の水準に近い形で授業を運営できた。しかし、学生もコロナ禍で運動不足に陥っていることも大いに考えられるため、授業中の学生の様子を十分観察しながら、強度調整を行っていききたい。

Q11「この授業の水準に満足している」については平均値 4.49 であり、こちらも昨年度と同程度の結果となった。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した履修者 15 名のうち、11 名が「高すぎる」と答えていた。Q10 の授業のボリュームについての回答同様、一部の学生にとっては、ボリュームも水準も高くなってしまっている可能性がある。こちらについても、授業中の学生の様子を十分観察しながら、水準の調整を行っていききたい。

Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.29 であった。コロナ禍以前（2019 年度は 4.46 ポイント）よりはまだまだ低い状況となっている。コロナ禍に作成したオンデマンド教材では、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示(様々な練習ドリルの紹介)、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせる内容も多く作成した。引き続き、予習や復習に使用できる動画も多いため、実技に加えて上手く活用しながら、学生の学びを促進できるよう工夫したいと思う。

Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」については、平均値 4.37 で昨年度と同程度の結果となった。概ね対面で実技が実施できたことで、技術が向上していく過程を実感できたことが結果に繋がっていると考えられる。

Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.51 で昨年度と同程度の結果となった。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となったが、これに満足せず、各教員が授業改善に意欲的に取り組めるよう、講習会や実技研修等に取り組んでいききたいと思う。

2. 相関係数から

相関係数が 0.65 以上の項目は、Q8「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」、Q7「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」と Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q7「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」と Q10「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q11「この授業の水準に満足している」、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q9「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q11「この授業の水準に満足している」、Q10「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q10「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」と Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q11「この授業の水準に満足している」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q11「この授業の水準に満足している」と Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q14「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q13「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」であった。

令和4年度は実技がほとんど実施できなかった令和2年度と比較すると、履修者の評価は全体的に高まり、昨年度の評価とほぼ同等の結果となった。実技実施の重要性と価値を改めて実感させられる結果となった。また、昨年度の結果も踏まえ、コロナ禍で作成した動画コンテンツをブラッシュアップし、授業内で使用するケースも見られ、より伝え方の工夫を施しやすくなった。今後も引き続き、コロナ禍以前に戻すだけにならないよう、動画教材やLMSの活用も踏まえ、授業運営に活かしていこうと思う。



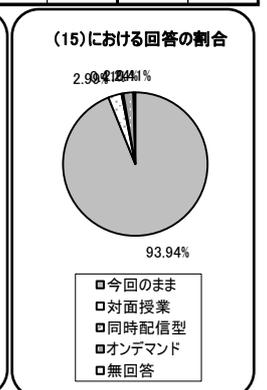
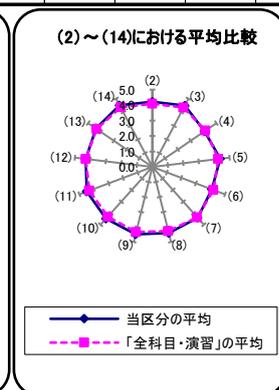
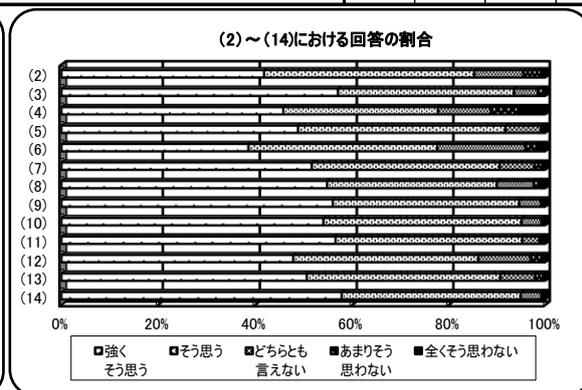
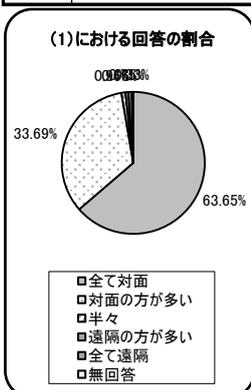
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,205	2,173	55.45%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない	無 回答	計	学生 回答 単純 集計 平均	学生 回答 単純 集計 標準 偏差	部門 別 形態 別 平均	部門 別 形態 別 標準 偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	767	406	11	8	9	4	1,205	-	-	-	-
	63.65%	33.69%	0.91%	0.66%	0.75%	0.33%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	503	523	122	44	11	2	1,205	4.22	0.838	4.23	0.324
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	687	439	59	17	2	1	1,205	4.49	0.673	4.49	0.249
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	550	384	131	69	67	4	1,205	4.07	1.138	4.05	0.477
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	37	10	25	262	307	424	1,065	1.76	1.023	1.74	0.466
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	585	514	88	9	2	7	1,205	4.39	0.672	4.38	0.242
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	464	469	219	30	20	3	1,205	4.10	0.899	4.09	0.286
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	621	467	87	20	7	3	1,205	4.39	0.744	4.38	0.299
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	660	423	92	15	14	1	1,205	4.41	0.781	4.39	0.387
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	673	464	54	5	6	3	1,205	4.49	0.652	4.47	0.263
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	651	494	49	6	4	1	1,205	4.48	0.633	4.47	0.255
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	8	1	-	-	-	1	10	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	677	463	42	9	6	8	1,205	4.50	0.653	4.49	0.249
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	11	3	-	-	-	1	15	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	576	461	130	29	8	1	1,205	4.30	0.807	4.29	0.318
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	609	482	86	20	6	2	1,205	4.39	0.735	4.37	0.320
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	695	446	51	5	5	3	1,205	4.51	0.640	4.51	0.255
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,132	36	5	27	-	5	1,205	-	-	-	-
	93.94%	2.99%	0.41%	2.24%	-	0.41%	100.00%				



相関係数表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.500 (**)	1												
Q4	.353 (**)	.453 (**)	1											
Q4-2	.153 (**)	.118 (**)	.238 (**)	1										
Q5	.464 (**)	.409 (**)	.300 (**)	.149 (**)	1									
Q6	.424 (**)	.303 (**)	.318 (**)	.182 (**)	.566 (**)	1								
Q7	.347 (**)	.416 (**)	.315 (**)	.119 (**)	.552 (**)	.506 (**)	1							
Q8	.300 (**)	.427 (**)	.285 (**)	.132 (**)	.461 (**)	.406 (**)	.697 (**)	1						
Q9	.364 (**)	.462 (**)	.315 (**)	.076	.554 (**)	.497 (**)	.667 (**)	.605 (**)	1					
Q10	.365 (**)	.451 (**)	.291 (**)	.067	.558 (**)	.449 (**)	.583 (**)	.538 (**)	.737 (**)	1				
Q11	.404 (**)	.471 (**)	.291 (**)	.073	.536 (**)	.459 (**)	.606 (**)	.539 (**)	.685 (**)	.778 (**)	1			
Q12	.467 (**)	.504 (**)	.370 (**)	.084 (*)	.482 (**)	.472 (**)	.531 (**)	.503 (**)	.614 (**)	.607 (**)	.641 (**)	1		
Q13	.450 (**)	.526 (**)	.376 (**)	.119 (**)	.502 (**)	.436 (**)	.558 (**)	.535 (**)	.609 (**)	.625 (**)	.651 (**)	.781 (**)	1	
Q14	.406 (**)	.516 (**)	.341 (**)	.084 (*)	.559 (**)	.461 (**)	.595 (**)	.547 (**)	.702 (**)	.723 (**)	.758 (**)	.667 (**)	.723 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.13	1.037	4.23	0.415	3.87	0.860	3.86	0.418	4.23	0.778	4.27	0.298	4.22	0.838	4.23	0.324
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.45	0.850	4.50	0.322	4.40	0.846	4.46	0.325	3.99	0.772	4.00	0.347	4.43	0.711	4.46	0.255	4.49	0.673	4.49	0.249
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.797	4.04	0.356	4.07	1.091	4.11	0.390	4.07	1.138	4.05	0.477
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1.62	0.802	1.62	0.397	1.69	0.792	1.68	0.392	1.76	1.023	1.74	0.466
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.82	0.877	3.82	0.337	4.32	0.658	4.35	0.240	4.39	0.672	4.38	0.242
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.783	4.19	0.254	4.18	0.743	4.18	0.262	4.10	0.899	4.09	0.286
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.13	1.132	3.14	0.434	4.32	0.750	4.35	0.300	4.39	0.744	4.38	0.299
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.24	1.143	2.26	0.560	4.25	0.847	4.28	0.414	4.41	0.781	4.39	0.387
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.68	0.627	4.70	0.239	4.64	0.650	4.68	0.270	4.12	0.649	4.12	0.229	4.43	0.607	4.46	0.229	4.49	0.652	4.47	0.263
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	0.845	3.92	0.364	4.45	0.618	4.48	0.231	4.48	0.633	4.47	0.255
	(11)	この授業の水準に満足している	4.48	0.806	4.51	0.276	4.55	0.710	4.60	0.287	3.86	0.863	3.85	0.420	4.46	0.596	4.49	0.242	4.50	0.653	4.49	0.249
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.40	0.862	4.46	0.321	4.39	0.874	4.46	0.385	3.80	0.858	3.81	0.370	4.27	0.771	4.31	0.288	4.30	0.807	4.29	0.318
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	3.73	0.885	3.74	0.400	4.35	0.702	4.38	0.279	4.39	0.735	4.37	0.320
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.66	0.619	4.68	0.251	4.62	0.680	4.67	0.302	3.81	0.799	3.81	0.341	4.48	0.607	4.52	0.265	4.51	0.640	4.51	0.255

IX 全学共通教育運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

1. 集計データからわかること

令和 4 (2022) 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 107 科目、内訳として講義形態が 102 科目、演習形態が 5 科目となっており、アンケート実施率は講義形態、演習形態共に 100.00%であった。総履修者数は、12,027 名であるが、このうちアンケート回答者数は 4,090 名に留まり、回答率は 34.01%という結果となった。前年度の回答率 36.99%と比較すると 2.98 ポイント下降しているが、現行のアンケート形式と実施時期になってから、ほぼ同水準の数字を維持している。

また、「基礎教養科目」の回答率 34.01%という値は全科目平均の 35.28%を下回っているが、講義科目の回答率は全体平均を上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 5 科目（集計対象科目は 4 科目）のみであるため、特に記載がないものについては、全て講義形式のものを引用している。

Q1 私はこの授業を次の形式で受講した

講義形式の授業では、81.06%が遠隔授業となっているが、102 科目中 38 科目が対面形式で実施しているものの、対面授業欠席届により、遠隔形式での受講を希望した学生が一定数いるためと考えられる。併せて演習形式の授業についても、全て対面形式で実施しているが、一定数遠隔授業での受講者がいる理由として、対面授業欠席届により、遠隔形式での受講を希望した学生がいるためと考えられる。

Q2 私は、履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）は 83.13%であり、講義形式全体の 76.87%と比較しても高い数値となっていることから、基礎教養科目としては、授業内容をイメージしやすいシラバスとなっていることが窺える。また、大学全体でみると、過去 2 年間は上昇傾向であったが、今年度は 77.47%と前年度の 81.21%から下降しており、シラバスの記載方法について、改善の検討が課題となる。

Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

学生の授業への意欲度については、肯定の割合が81.60%となり、令和3（2021）年度の84.04%から若干下降したが、この値は、アンケート実施形態をWEBアンケートに変更する以前の60%前後に比べて高くなっている。アンケートの実施形態がWEBアンケートとなった当初は、回答者数が前年の3割程度に大きく減少しており、回答者の傾向が受講に意欲的であった学生に偏っている可能性が考えられたが、現在は従来の6割強に回復したうえで、肯定の割合が高い数値を維持しており、学生が意欲的に取り組んでいることが窺える。

Q4 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

Q4-2 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で

従来は授業時間外学習時間を問う設問であったが、遠隔授業の実施を鑑み、受講時間全体を含めた学習時間を問う設問となっているが、3時間以上が2.76%である一方、2時間未満は54.40%となっている。遠隔授業の実施に伴い、課題に取り組む時間が増大しているとの声が寄せられていたが、大学設置基準上必要とされている予習・復習時間の目安が3倍とされている点を鑑みると、必ずしも授業に費やした時間が過大とはなっておらず、逆に不足しがちであることが窺える。

Q5 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった

授業実施方法の変更について、説明が適切であったと肯定的に捉える割合は89.15%であり、講義形式全体の83.86%を上回る結果となった。概ね適切な説明がなされたといえよう。

Q6 この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った

遠隔授業の実施に伴い授業内容の理解における教材の質が重要となる中で、肯定の割合は90.29%と、講義形式全体の84.51%を上回り、適切な教材が用いられた授業が実施されていたことが窺える。

Q7 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

講義形式の授業では遠隔授業の実施が多く、遠隔授業の実施にあたり、一方的な教材の提供だけではなく、学生からの相談に速やかに応じる体制が確保されていることが必要な条件となるが、肯定の割合は82.94%と講義形式全体の76.15%を上回る結果となった。大学全体では演習形式に比べて、講義形式で肯定的な回答の割合が低くなる傾向の中、基礎教養科目では講義形式でも一定の機会が設けられていることが窺える。

Q8 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

Q7の教員への質問の機会と同様、遠隔授業の実施にあたり、履修者同士の意見交換の機会を設けることが求められているが、大学全般で演習形式や語学の授業に比べて、講義形式の肯定の割合は低くなっている。その中でも基礎教養科目では45.23%と講義形式全体の43.04%と比較すれば高い値となっているものの、改善の必要があると考えられる。

Q9 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

学習内容の理解しやすさについては、講義形式全体の平均81.33%（令和3年度82.18%）を上回り、肯定の割合は89.50%（令和3年度88.44%）となっている。両年度とも講義形式全体の平均より高い値を示している点において、授業の開講形態に遠隔授業が導入されても傾向に大きな変化はなく、むしろ理解度が上がっている可能性が示唆されている。

Q10 この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している

Q10-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

授業のボリュームについては、肯定の割合が88.13%と講義形式全体の80.43%を上回り満足度の高さが窺える。一方で否定的な回答の内訳としては「多い」が75.57%、「少ない」が22.90%であるが、否定的な回答の割合が全体の3.23%と高くないことから、授業全体のボリュームを調整するのではなく、「多い」と感じる学生をラーニング・サポートセンターにてフォローするといった配慮が必要であるといえる。

Q11 この授業の水準に満足している

Q11-2 授業の水準について、どのように感じましたか

授業の水準の満足度について、肯定の割合は89.20%であり、令和3（2021）年度のレベルの適切度と比較すると88.10%から増大する結果となっている。また、講義形式全体の平均81.30%を上回っているため、水準の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となっている。

なお、否定的な回答をした学生の内訳は「高すぎる」という回答が64.94%、「低すぎる」という回答が31.17%と、従来、半々に近かった比率から変化が生じているため、今後の傾向に注視していく必要がある。

Q12 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激については、講義形式全体の平均81.51%を上回り、肯定の割合は90.50%とかなり高い数値であった。

Q13 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

自らの知識や能力が向上したと感じる満足度についても、講義形式全体の平均82.48%を

上回り、肯定の割合は 88.18%であった。

Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 87.83%であり、対前年度（令和 3 年度 88.52%）から下降しているが、令和 2 年度が 87.24%であった点も含めて考慮すると、近年は 80%を超える高水準を維持していると評価できる。

Q15 この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか

対象となる講義形式の科目 102 科目中、遠隔授業 64 科目、対面授業 38 科目となっており、大半の授業が遠隔授業で実施される中でも現状の維持を望む割合が 85.40%とかなり高い数値であった。これは遠隔授業の実施により、繰り返し教材を見返すことが出来る等のメリットもあり、遠隔授業の実施にあたっての工夫により、満足度が高いことが窺える。

2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 17 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これは長引くコロナ禍における授業形態の制限にもかかわらず、例年同様の授業の水準を維持しようとした各担当教員における授業実施方法の工夫の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

なお、例年半数程度に留まっていた回答率が毎年の課題となっているが、令和 4（2022）年度については、WEB 形式導入当初の令和 2（2020）年度の 19.67%から上昇し 34.01%という結果となり、前年と同水準を維持している。しかしながら、対面形式の授業内で実施していた令和元年度以前の 3 年間の 56～57%台から大きく下降している。次年度は、授業時間内での回答時間を設けることで改善に期待したい。

また、アンケート結果は、単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、従来の平成 28 年度の GPA 制度導入に伴う「棄権」の廃止や、平成 30（2018）年度新入学生以降のキャップ制の導入等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化に加えて、授業実施方法の改善や遠隔授業が教育効果に及ぼす影響を引き続き注視していきたい。

最後に、令和 5 年度より、総合基礎科目から全学共通科目へと改変することにより、ほぼ全ての科目を半期化することに加え、設置科目の見直しが行われることとなる。科目の見直しについては、今後、数年かけて精査していくことにより、教育効果の改善と授業評価の向上を図っていきたい。



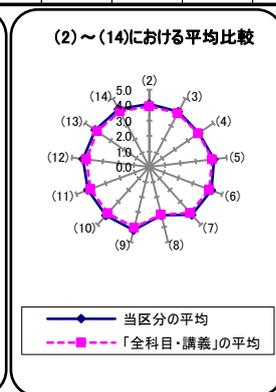
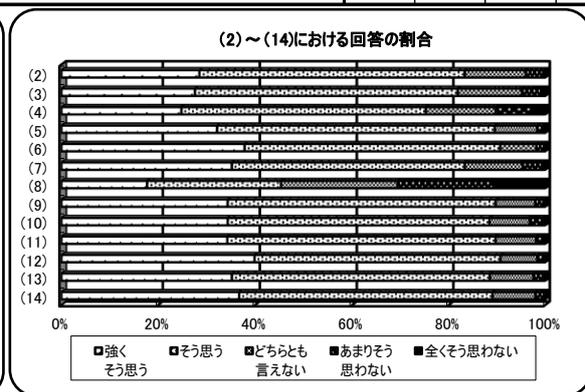
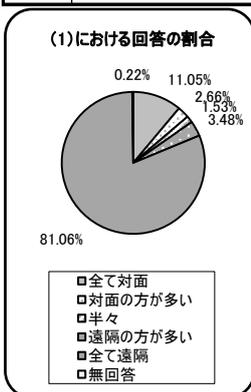
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,055	11,866	34.17%

形態名 講義

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
	(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	448	108	62	141	3,287	9	4,055	-	-	-
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,153	2,218	512	146	18	8	4,055	4.07	0.768	4.10	0.220
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,114	2,195	538	161	35	12	4,055	4.04	0.803	4.06	0.252
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,001	2,038	586	302	113	15	4,055	3.87	0.963	3.80	0.307
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	33	67	318	1,116	856	1,235	3,625	1.87	0.844	1.80	0.277
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,297	2,318	355	52	16	17	4,055	4.20	0.677	4.22	0.199
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,527	2,134	303	65	10	16	4,055	4.26	0.686	4.26	0.229
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,420	1,943	483	164	27	18	4,055	4.13	0.823	4.13	0.350
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	716	1,118	972	805	435	9	4,055	3.22	1.252	3.35	0.659
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,388	2,241	333	69	15	9	4,055	4.22	0.693	4.25	0.271
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,387	2,187	336	112	19	14	4,055	4.19	0.737	4.20	0.254
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	99	30	-	-	-	2	131	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	1,381	2,236	338	62	15	23	4,055	4.22	0.689	4.22	0.273
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	50	24	-	-	-	3	77	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,608	2,051	307	58	10	21	4,055	4.29	0.688	4.31	0.223
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,421	2,155	365	79	20	15	4,055	4.21	0.722	4.24	0.240
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,483	2,119	359	72	11	11	4,055	4.23	0.705	4.26	0.244
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	3,463	348	67	138	-	39	4,055	-	-	-	-





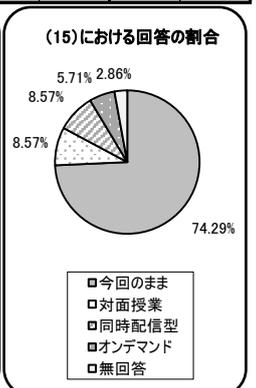
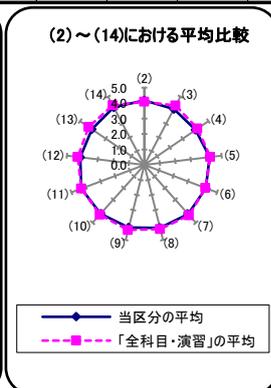
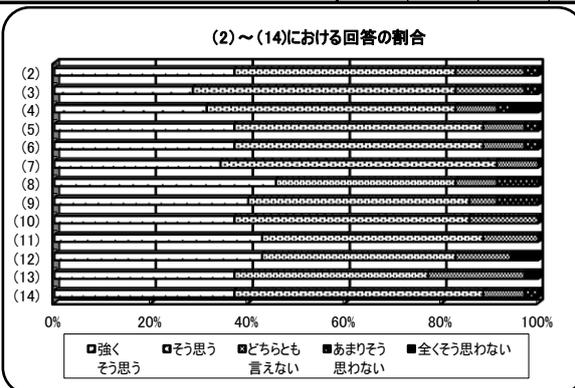
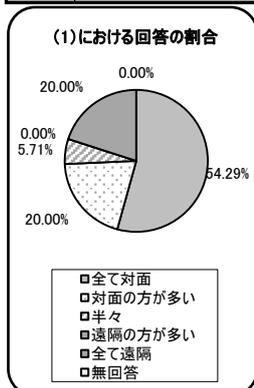
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	35	161	21.74%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く 思わ ない	無 回 答	計	学生 回答 単純 集計 平均	学生 回答 単純 集計 標準 偏差	部門 別形 態別 平均	部門 別形 態別 標準 偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	19	7	2	0	7	0	35	-	-	-	-
	54.29%	20.00%	5.71%	0.00%	20.00%	0.00%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	13	16	5	1	0	0	35	4.17	0.785	4.18	0.348
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	10	19	5	1	0	0	35	4.09	0.742	4.11	0.324
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	11	18	3	1	2	0	35	4.00	1.029	4.01	0.346
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	0	1	3	10	10	8	32	1.79	0.833	1.77	0.088
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	13	18	3	1	0	0	35	4.23	0.731	4.24	0.443
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	13	18	3	1	0	0	35	4.23	0.731	4.25	0.289
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	12	20	3	0	0	0	35	4.26	0.611	4.27	0.336
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	16	13	3	3	0	0	35	4.20	0.933	4.23	0.602
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	14	16	2	3	0	0	35	4.17	0.891	4.21	0.424
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	13	17	5	0	0	0	35	4.23	0.690	4.26	0.380
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	15	16	4	0	0	0	35	4.31	0.676	4.36	0.386
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	15	14	4	0	2	0	35	4.14	1.033	4.19	0.457
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	13	14	7	0	1	0	35	4.09	0.919	4.13	0.330
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	13	18	3	1	0	0	35	4.23	0.731	4.28	0.467
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	26	3	3	2	-	1	35	-	-	-	-
	74.29%	8.57%	8.57%	5.71%	-	2.86%	100.00%				



相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.535 (**)	1												
Q4	.354 (**)	.562 (**)	1											
Q4-2	.089 (**)	.180 (**)	.262 (**)	1										
Q5	.458 (**)	.452 (**)	.321 (**)	.121 (**)	1									
Q6	.442 (**)	.474 (**)	.352 (**)	.138 (**)	.600 (**)	1								
Q7	.368 (**)	.327 (**)	.289 (**)	.084 (**)	.474 (**)	.474 (**)	1							
Q8	.276 (**)	.297 (**)	.218 (**)	.027	.283 (**)	.218 (**)	.358 (**)	1						
Q9	.452 (**)	.458 (**)	.320 (**)	.080 (**)	.611 (**)	.638 (**)	.533 (**)	.346 (**)	1					
Q10	.426 (**)	.446 (**)	.298 (**)	.068 (**)	.535 (**)	.571 (**)	.446 (**)	.303 (**)	.672 (**)	1				
Q11	.457 (**)	.479 (**)	.325 (**)	.055 (**)	.590 (**)	.610 (**)	.491 (**)	.312 (**)	.724 (**)	.745 (**)	1			
Q12	.492 (**)	.502 (**)	.306 (**)	.114 (**)	.523 (**)	.571 (**)	.428 (**)	.257 (**)	.629 (**)	.588 (**)	.671 (**)	1		
Q13	.516 (**)	.558 (**)	.355 (**)	.100 (**)	.512 (**)	.561 (**)	.411 (**)	.268 (**)	.608 (**)	.581 (**)	.648 (**)	.761 (**)	1	
Q14	.474 (**)	.527 (**)	.340 (**)	.079 (**)	.599 (**)	.635 (**)	.482 (**)	.306 (**)	.707 (**)	.686 (**)	.766 (**)	.714 (**)	.732 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.832 (**)	1												
Q4	.437 (**)	.500 (**)	1											
Q4-2	-.198	-.235	.077	1										
Q5	.647 (**)	.667 (**)	.391 (*)	-.011	1									
Q6	.801 (**)	.776 (**)	.508 (**)	-.053	.395 (*)	1								
Q7	.702 (**)	.728 (**)	.608 (**)	-.031	.721 (**)	.721 (**)	1							
Q8	.674 (**)	.781 (**)	.276	-.212	.664 (**)	.621 (**)	.681 (**)	1						
Q9	.798 (**)	.867 (**)	.353 (*)	-.246	.706 (**)	.661 (**)	.728 (**)	.807 (**)	1					
Q10	.740 (**)	.822 (**)	.414 (*)	-.027	.710 (**)	.710 (**)	.764 (**)	.795 (**)	.844 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.505 (**)	.589 (**)	.380 (*)	.203	.743 (**)	.445 (**)	.653 (**)	.550 (**)	.641 (**)	.788 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.694 (**)	.712 (**)	.581 (**)	-.194	.384 (*)	.773 (**)	.593 (**)	.641 (**)	.708 (**)	.696 (**)	.481 (**)	1		
Q13	.631 (**)	.678 (**)	.746 (**)	-.135	.495 (**)	.626 (**)	.588 (**)	.391 (*)	.592 (**)	.571 (**)	.570 (**)	.854 (**)	1	
Q14	.647 (**)	.776 (**)	.430 (**)	-.011	.780 (**)	.615 (**)	.787 (**)	.707 (**)	.841 (**)	.827 (**)	.862 (**)	.618 (**)	.626 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.94	0.936	3.98	0.291	4.10	0.780	4.12	0.225	4.14	0.751	4.14	0.240	4.07	0.768	4.10	0.220
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.72	1.090	3.69	0.370	3.65	1.041	3.68	0.358	4.14	0.791	4.17	0.237	4.12	0.792	4.09	0.272	4.04	0.803	4.06	0.252
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.831	4.13	0.274	4.00	0.898	3.96	0.295	3.87	0.963	3.80	0.307
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.18	0.982	2.22	0.459	2.03	0.910	2.03	0.333	1.87	0.844	1.80	0.277
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.767	4.14	0.305	4.19	0.700	4.20	0.235	4.20	0.677	4.22	0.199
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.27	0.757	4.29	0.293	4.28	0.689	4.25	0.236	4.26	0.686	4.26	0.229
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.10	0.958	4.08	0.518	4.08	0.867	4.08	0.388	4.13	0.823	4.13	0.350
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.10	1.295	3.10	0.796	3.28	1.257	3.37	0.693	3.22	1.252	3.35	0.659
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.32	0.825	4.31	0.317	4.26	0.817	4.28	0.292	4.17	0.809	4.18	0.367	4.22	0.720	4.21	0.278	4.22	0.693	4.25	0.271
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.845	4.12	0.356	4.16	0.767	4.14	0.278	4.19	0.737	4.20	0.254
	(11)	この授業の水準に満足している	4.21	0.850	4.17	0.339	4.13	0.844	4.15	0.273	4.13	0.788	4.15	0.325	4.19	0.707	4.17	0.295	4.22	0.689	4.22	0.273
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.29	0.863	4.27	0.278	4.24	0.828	4.26	0.280	4.29	0.739	4.30	0.262	4.30	0.696	4.26	0.249	4.29	0.688	4.31	0.223
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.752	4.22	0.271	4.22	0.712	4.20	0.233	4.21	0.722	4.24	0.240
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.31	0.815	4.29	0.303	4.27	0.806	4.28	0.267	4.20	0.797	4.20	0.332	4.23	0.719	4.21	0.288	4.23	0.705	4.26	0.244

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.16	0.723	4.14	0.426	4.17	0.785	4.18	0.348
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.06	0.801	4.05	0.434	4.09	0.742	4.11	0.324
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.72	1.054	3.61	0.893	4.00	1.029	4.01	0.346
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	1.94	0.748	2.04	0.370	1.79	0.833	1.77	0.088
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.871	4.09	0.570	4.23	0.731	4.24	0.443
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.793	4.11	0.374	4.23	0.731	4.25	0.289
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.94	1.045	3.92	0.698	4.26	0.611	4.27	0.336
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.72	1.085	3.72	0.721	4.20	0.933	4.23	0.602
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.833	4.14	0.449	4.17	0.891	4.21	0.424
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.19	0.749	4.19	0.392	4.23	0.690	4.26	0.380
	(11)	この授業の水準に満足している	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.09	0.856	4.13	0.510	4.31	0.676	4.36	0.386
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.25	0.718	4.25	0.496	4.14	1.033	4.19	0.457
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.16	0.847	4.17	0.500	4.09	0.919	4.13	0.330
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.25	0.842	4.26	0.418	4.23	0.731	4.28	0.467

X 教職課程

教職課程開設科目は、教員免許取得を希望する学生が自発的に履修するものである。また、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も文部科学省の課程認定行政の指導・助言によって、近年では法的拘束力（「教職課程コア・カリキュラム」）が強まってきている。授業形態も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は、講義形態でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ない。加えて、近年の教員政策的重点事項として「(教員としての) 実践的指導力の育成」強化が指示されており、教科教育法の授業を中心に模擬授業や場面指導などの具体的かつ実践的な内容及び方法を取り入れていかなければならない。こうした資格取得のために法律等で定められている授業内容・方法・形態等の制約があり、なかなか履修学生の要望に沿って柔軟に対応するということができにくくなってきているのが近年の実情である。

教職科目については、資格取得に関わるため、例年、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的に良いといえる。しかし、2022（令和4）年度に関しては、教科教育法関係の授業を中心に対面方式が多くすることができたが、引き続きコロナ禍に対する警戒感のため、演習形態よりも講義形態の授業において遠隔方式がやや多く残った。

以上のような教職課程の特徴を前提として考察するならば、意欲的に取り組んでいるか（問2）といえ、専門科目の学習活動と比較すると数値の差は僅かではあるもののやや劣ることが続いてきている。また、予習・復習等の授業外の学習時間の確保（問3）なども、履修者にとっては、専門分野の学習に加えての履修であるために、各専門分野の学習に比べればこれも数値的には僅かな差ではあるがやや劣る傾向にあることが続いてきている。

他方で、演習形態をとる授業科目において、「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」（問7）への回答結果は、86%余りの者が肯定的な評価を表している。教職課程としては、毎年度『学習院大学教職課程年報』を発行し、その中で毎号「授業研究」欄を設け、非常勤講師も含め各担当教員の創意工夫の報告と共有化を図ってきている。こうした地道な努力を今後も継続し、授業内容の改善及び授業時間内での確実なる定着の工夫など、一層の改善努力をしていきたいと考えている。

なお、教育職員免許法の一部改正が施行され、2022（令和4）年度入学者から、新たに「ICT活用の理論と実践」科目（2単位）が必修となった。教職課程としては新設科目であり、関連機器の整備・充実にも努めてきたが、「意欲的に取り組んでいるか」（問2）や「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」（問7）への回答結果は、ともに良好な数値であった。また、2022（令和4）年度からは、教職課程全体の「自己点検・評価活動」が義務化され、本学教職課程も今回の授業評価アンケート結果を活用しつつ、活動全般にわたっての点検・評価作業を行い、現状と今後の課題を明確にするとともに共有化もでき、その報告書を作成することができた。



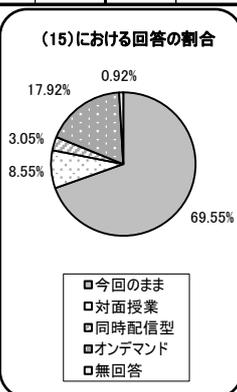
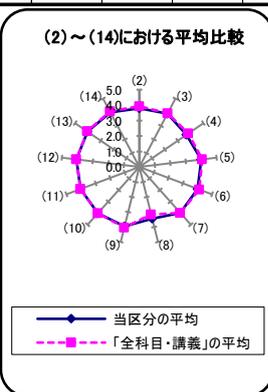
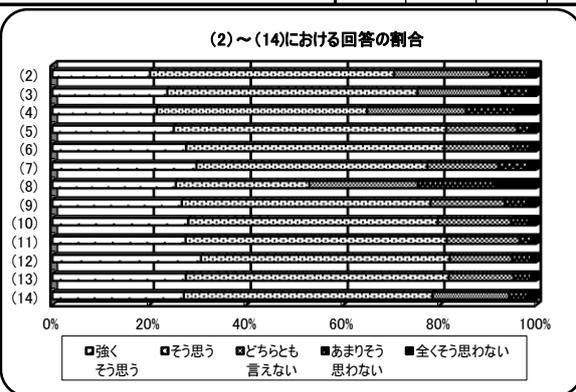
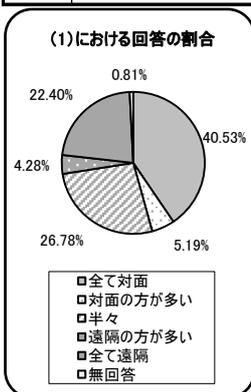
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 教職課程

形態名 講義

	合計	総履修者数	回答率
回答数	982	2,040	48.14%

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	398	51	263	42	220	8	982	-	-	-	-
	40.53%	5.19%	26.78%	4.28%	22.40%	0.81%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	197	492	195	76	17	5	982	3.79	0.910	3.91	0.345
	20.06%	50.10%	19.86%	7.74%	1.73%	0.51%	100.00%				
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	232	505	171	54	16	4	982	3.90	0.878	4.00	0.398
	23.63%	51.43%	17.41%	5.50%	1.63%	0.41%	100.00%				
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	211	424	200	99	44	4	982	3.67	1.061	3.76	0.345
	21.49%	43.18%	20.37%	10.08%	4.48%	0.41%	100.00%				
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	20	27	64	230	169	325	835	2.02	1.012	1.89	0.339
	2.40%	3.23%	7.66%	27.54%	20.24%	38.92%	100.00%				
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	244	548	143	27	12	8	982	4.01	0.787	4.09	0.334
	24.85%	55.80%	14.56%	2.75%	1.22%	0.81%	100.00%				
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	269	520	134	38	14	7	982	4.02	0.836	4.15	0.366
	27.39%	52.95%	13.65%	3.87%	1.43%	0.71%	100.00%				
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	291	467	144	59	18	3	982	3.97	0.923	3.99	0.451
	29.63%	47.56%	14.66%	6.01%	1.83%	0.31%	100.00%				
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	249	269	219	156	84	5	982	3.45	1.263	3.50	0.837
	25.36%	27.39%	22.30%	15.89%	8.55%	0.51%	100.00%				
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	261	502	150	43	21	5	982	3.96	0.889	4.07	0.484
	26.58%	51.12%	15.27%	4.38%	2.14%	0.51%	100.00%				
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	273	502	148	35	16	8	982	4.01	0.851	4.08	0.399
	27.80%	51.12%	15.07%	3.56%	1.63%	0.81%	100.00%				
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	31	18	-	-	-	2	51	-	-	-	-
	60.78%	35.29%	-	-	-	3.92%	100.00%				
(11) この授業の水準に満足している	268	526	147	25	9	7	982	4.05	0.781	4.12	0.393
	27.29%	53.56%	14.97%	2.55%	0.92%	0.71%	100.00%				
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	16	15	-	-	-	3	34	-	-	-	-
	47.06%	44.12%	-	-	-	8.82%	100.00%				
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	299	501	126	38	11	7	982	4.07	0.831	4.13	0.390
	30.45%	51.02%	12.83%	3.87%	1.12%	0.71%	100.00%				
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	269	531	131	35	11	5	982	4.04	0.808	4.11	0.442
	27.39%	54.07%	13.34%	3.56%	1.12%	0.51%	100.00%				
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	265	502	155	37	18	5	982	3.98	0.865	4.09	0.475
	26.99%	51.12%	15.78%	3.77%	1.83%	0.51%	100.00%				
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	683	84	30	176	-	9	982	-	-	-	-
	69.55%	8.55%	3.05%	17.92%	-	0.92%	100.00%				





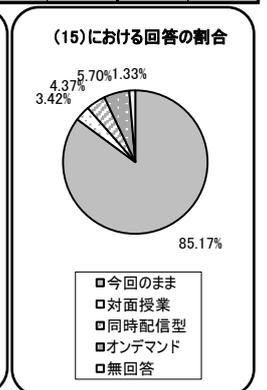
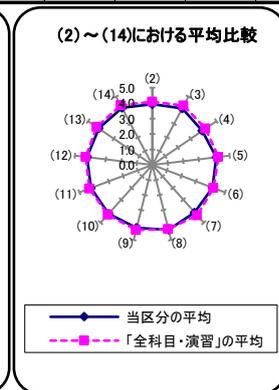
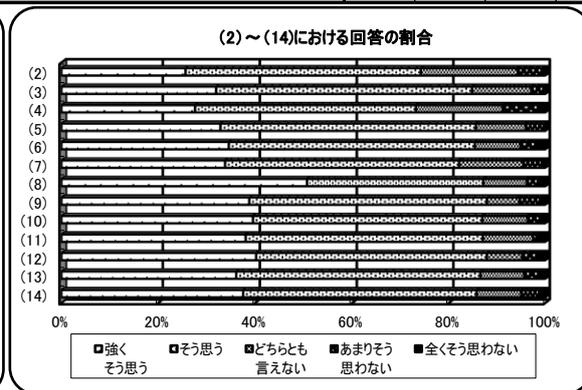
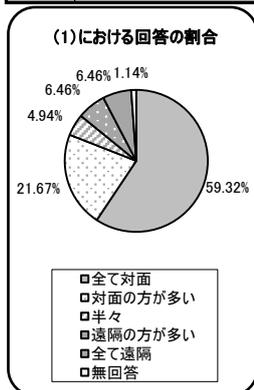
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	526	1,448	36.33%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
	強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	312	114	26	34	34	6	526	-	-	-	-
	59.32%	21.67%	4.94%	6.46%	6.46%	1.14%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	134	254	105	26	4	3	526	3.93	0.849	3.99	0.249
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	166	275	64	14	1	6	526	4.14	0.741	4.16	0.302
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	144	238	94	39	7	4	526	3.91	0.932	3.93	0.311
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	8	14	35	134	134	151	476	1.86	0.946	1.96	0.496
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	171	275	54	19	2	5	526	4.14	0.771	4.10	0.362
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	180	265	49	18	9	5	526	4.13	0.847	4.13	0.322
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	176	252	69	20	4	5	526	4.11	0.826	4.04	0.353
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	264	190	47	13	7	5	526	4.33	0.844	4.24	0.538
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	202	256	35	22	6	5	526	4.20	0.830	4.15	0.382
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	206	247	49	14	5	5	526	4.22	0.798	4.20	0.352
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	11	6	-	-	-	2	19	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	197	254	54	5	8	8	526	4.21	0.787	4.19	0.362
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	3	8	-	-	-	2	13	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	209	248	38	17	8	6	526	4.22	0.836	4.20	0.380
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	188	263	47	17	6	5	526	4.17	0.811	4.16	0.336
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	195	251	48	19	7	6	526	4.17	0.841	4.13	0.368
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	448	18	23	30	-	7	526	-	-	-	-
	85.17%	3.42%	4.37%	5.70%	-	1.33%	100.00%				



相関係数表

部門名 教職課程
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.610 (**)	1												
Q4	.393 (**)	.567 (**)	1											
Q4-2	.111 (*)	.168 (**)	.302 (**)	1										
Q5	.484 (**)	.472 (**)	.361 (**)	.183 (**)	1									
Q6	.471 (**)	.518 (**)	.386 (**)	.104 (*)	.663 (**)	1								
Q7	.360 (**)	.416 (**)	.277 (**)	.094 (*)	.537 (**)	.521 (**)	1							
Q8	.311 (**)	.374 (**)	.235 (**)	.139 (**)	.245 (**)	.225 (**)	.354 (**)	1						
Q9	.467 (**)	.535 (**)	.370 (**)	.120 (**)	.624 (**)	.690 (**)	.571 (**)	.318 (**)	1					
Q10	.464 (**)	.520 (**)	.367 (**)	.117 (**)	.571 (**)	.611 (**)	.491 (**)	.293 (**)	.689 (**)	1				
Q11	.480 (**)	.543 (**)	.371 (**)	.074	.567 (**)	.657 (**)	.517 (**)	.299 (**)	.723 (**)	.757 (**)	1			
Q12	.520 (**)	.589 (**)	.361 (**)	.112 (*)	.534 (**)	.611 (**)	.503 (**)	.334 (**)	.649 (**)	.656 (**)	.691 (**)	1		
Q13	.552 (**)	.617 (**)	.396 (**)	.131 (**)	.537 (**)	.618 (**)	.497 (**)	.327 (**)	.659 (**)	.616 (**)	.678 (**)	.745 (**)	1	
Q14	.524 (**)	.584 (**)	.358 (**)	.100 (*)	.644 (**)	.693 (**)	.567 (**)	.326 (**)	.784 (**)	.706 (**)	.774 (**)	.737 (**)	.775 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 教職課程
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.576 (**)	1												
Q4	.351 (**)	.539 (**)	1											
Q4-2	.112 (*)	.213 (**)	.316 (**)	1										
Q5	.410 (**)	.402 (**)	.297 (**)	.080	1									
Q6	.420 (**)	.479 (**)	.391 (**)	.029	.585 (**)	1								
Q7	.333 (**)	.433 (**)	.347 (**)	.059	.517 (**)	.511 (**)	1							
Q8	.232 (**)	.348 (**)	.233 (**)	.032	.336 (**)	.305 (**)	.448 (**)	1						
Q9	.362 (**)	.421 (**)	.288 (**)	-.008	.630 (**)	.653 (**)	.561 (**)	.389 (**)	1					
Q10	.356 (**)	.423 (**)	.286 (**)	-.013	.571 (**)	.601 (**)	.513 (**)	.381 (**)	.699 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.395 (**)	.445 (**)	.294 (**)	.015	.604 (**)	.636 (**)	.535 (**)	.373 (**)	.744 (**)	.781 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.368 (**)	.458 (**)	.337 (**)	.069	.508 (**)	.616 (**)	.446 (**)	.351 (**)	.593 (**)	.620 (**)	.698 (**)	1		
Q13	.461 (**)	.503 (**)	.311 (**)	.072	.520 (**)	.630 (**)	.433 (**)	.347 (**)	.587 (**)	.606 (**)	.661 (**)	.796 (**)	1	
Q14	.372 (**)	.466 (**)	.308 (**)	.002	.565 (**)	.704 (**)	.543 (**)	.442 (**)	.744 (**)	.714 (**)	.783 (**)	.709 (**)	.744 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.71	1.062	3.90	0.376	3.83	0.838	3.97	0.318	3.97	0.849	4.06	0.313	3.79	0.910	3.91	0.345
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.75	1.120	3.97	0.431	3.70	0.997	3.90	0.393	4.07	0.833	4.15	0.231	4.09	0.808	4.17	0.265	3.90	0.878	4.00	0.398
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.034	3.97	0.399	4.00	0.922	4.04	0.217	3.67	1.061	3.76	0.345
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.37	1.056	2.43	0.471	2.15	0.983	2.16	0.326	2.02	1.012	1.89	0.339
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.907	4.01	0.379	4.08	0.770	4.14	0.258	4.01	0.787	4.09	0.334
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	1.019	4.11	0.520	3.96	0.919	4.09	0.376	4.02	0.836	4.15	0.366
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.68	1.122	3.85	0.613	3.99	0.881	4.04	0.435	3.97	0.923	3.99	0.451
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.04	1.458	3.04	1.041	3.79	1.208	3.60	0.863	3.45	1.263	3.50	0.837
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.02	1.100	4.29	0.579	4.05	1.068	4.32	0.511	3.74	1.005	3.99	0.519	4.01	0.895	4.11	0.391	3.96	0.889	4.07	0.484
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	0.980	4.03	0.421	4.05	0.854	4.12	0.378	4.01	0.851	4.08	0.399
	(11)	この授業の水準に満足している	3.98	1.018	4.22	0.527	4.02	0.979	4.27	0.489	3.82	0.890	4.03	0.451	4.07	0.775	4.15	0.356	4.05	0.781	4.12	0.393
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.05	1.028	4.29	0.468	4.12	0.953	4.37	0.440	4.02	0.904	4.21	0.374	4.16	0.771	4.26	0.336	4.07	0.831	4.13	0.390
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.891	4.16	0.371	4.07	0.797	4.15	0.303	4.04	0.808	4.11	0.442
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.06	1.042	4.30	0.524	4.07	1.008	4.33	0.503	3.79	0.971	4.02	0.498	4.04	0.864	4.13	0.362	3.98	0.865	4.09	0.475

部門名 教職課程
形態名 演習

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	3.89	1.050	3.97	0.321	4.07	0.774	4.08	0.281	3.98	0.854	4.05	0.316	3.93	0.849	3.99	0.249
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.17	0.988	4.18	0.276	4.05	0.885	4.10	0.310	4.27	0.679	4.29	0.254	4.15	0.824	4.24	0.304	4.14	0.741	4.16	0.302
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.912	3.99	0.378	3.93	0.935	4.02	0.354	3.91	0.932	3.93	0.311
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.40	1.172	2.47	0.621	2.24	1.101	2.23	0.531	1.86	0.946	1.96	0.496
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.732	4.21	0.273	4.04	0.833	4.10	0.336	4.14	0.771	4.10	0.362
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.731	4.22	0.323	3.99	0.873	4.06	0.410	4.13	0.847	4.13	0.322
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.945	4.05	0.444	4.06	0.868	4.14	0.387	4.11	0.826	4.04	0.353
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.65	1.225	3.67	0.730	3.89	1.080	3.90	0.666	4.33	0.844	4.24	0.538
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.50	0.776	4.47	0.241	4.34	0.847	4.37	0.336	4.21	0.778	4.18	0.326	4.03	0.879	4.11	0.443	4.20	0.830	4.15	0.382
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.703	4.23	0.260	4.04	0.816	4.10	0.365	4.22	0.798	4.20	0.352
	(11)	この授業の水準に満足している	4.43	0.759	4.41	0.214	4.25	0.838	4.29	0.318	4.23	0.690	4.23	0.266	4.06	0.799	4.11	0.333	4.21	0.787	4.19	0.362
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.40	0.844	4.39	0.275	4.33	0.869	4.35	0.303	4.26	0.750	4.23	0.392	4.08	0.848	4.15	0.359	4.22	0.836	4.20	0.380
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.700	4.26	0.315	4.03	0.850	4.11	0.331	4.17	0.811	4.16	0.336
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.45	0.790	4.42	0.241	4.34	0.827	4.36	0.320	4.25	0.774	4.24	0.281	4.03	0.881	4.11	0.408	4.17	0.841	4.13	0.368

XI 学芸員課程委員会

[アンケート結果に基づく評価の前提について]

2022年度は、2021年度に引き続き、授業運営にコロナ禍対応が続いており、講義科目はオンラインでの開講が8割程度あった。演習科目(学芸員実習)は対面での実施をせざるを得ない科目なので、逆にオンラインはほとんどなく、一部オンライン開講で、対面での開講が8割を超えた。オンライン開講科目が多かったことから、例年、講義、演習ともに100%の実施率だったところが、講義100%、演習90%と、やや実施率が低下しており、また回答率も、講義37.9%、演習58%と極めて低調だった。前年度に引き続き、コロナ禍で制約のあることを踏まえたうえでの評価となる。

[講義科目]

設問項目のうち、ポイントが下がっている項目が、①「履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」(4.09→4.04)、④「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(4.01→3.95)、⑥「授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った」(4.23→4.21)、⑨「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(4.22→4.15)、⑪「授業の水準に満足している」(4.20→4.19)だった。例年、開講前年度の11月、12月に、対面にて学芸員ガイダンスを実施しているが、コロナ禍の対応としてオンラインでのガイダンスに切り替えていたため、説明に対する学生の理解が不十分だった可能性がある。また、③、⑥、⑨などは、総じてオンライン授業にともなう、教員の学生に対する目配りの不十分さによるものである可能性が高い。⑪「授業の水準について満足している」のポイント低下については、全体として⑭「総合的に見てこの授業は高く評価できる」(4.19→4.20)がポイントアップであることに鑑みると、微妙な差と言うことができ、教員との接触不足による学生の物足りなさが表れ出たものと推察される。

[演習]

設問項目のうち、ポイントが下がっている項目が、④「この授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(4.33→3.75)、⑤「授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」(4.67→4.44)だった。④については、実際に作品などをつかっての取り扱い講習を含む演習形式の授業のため、予習、復習はしづらいことなどが、評価の低下につながっているように推測される。また、⑤については、実習形式の授業は、学生の習熟度に応じて、教員が授業内容を変更している可能性があり、学生にはわかりづらかったかもしれない。

講義での評価ポイントと照らし合わせてみると、学生が、講義時間以外に自主的に学習す

る時間を確保していない傾向が見て取れるが、授業形態がすべて対面に切り替えられた2023年度と比較することで、問題の所在を探っていく必要があると考えられる。

それ以外の項目については、おおむね評価は高く推移しており、とりわけ⑩「この授業のボリュームに満足している」(4.17→4.65)、⑪「この授業の水準に満足している」(4.33→4.68)など、他に比べても大幅に満足度が上昇している様子がうかがえる。コロナ禍での制約が緩和され、対面での実習が増えたことなどが要因かと考えられる。

本学の学芸員課程の博物館実習を担当していただいている講師陣は、博物館・美術館の現場の一線で活躍している現役の方々や一線で活躍されていた方々であり、演習そのものの質が高いことの証左であるようにも思われる。

[授業への取り組み、今後の課題]

去年度、博物館実習では、取り扱い講習の際に、美術品輸送業者として定評のあるヤマト運輸の美術品取り扱いスタッフを講師として、輸送を想定した梱包実習を行うなど、実践に即したかたちでの講義が実施されていた。学芸員として採用率の高い本学の学芸員課程では、こうした特別講義などを取り入れて、より実践的かつ魅力的な講義を増やしていくことによって、我が国の博物館・美術館を担う人材の底上げを図りたい。

また社会で博物館・美術館が求められる役割も変わりつつあり、それに即して令和4年度に博物館法改正が行われたが、本学の学芸員課程のカリキュラムも見直しつつ、時代に即応した内容にアップデートしていく必要があるだろう。



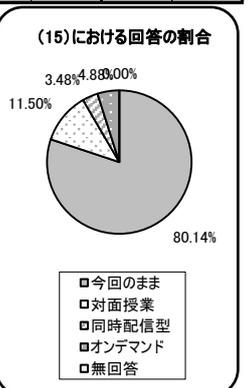
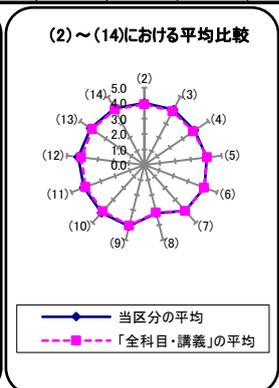
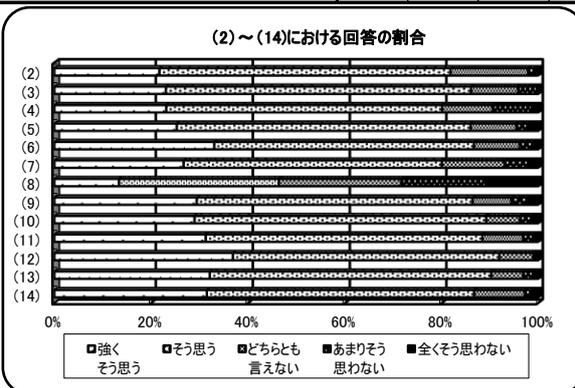
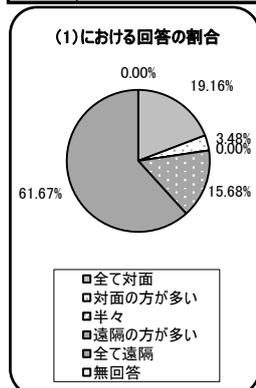
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 講義

	合計	総履修者数	回答率
回答数	287	757	37.91%

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない	無 回 答	計	学生 回答 単純 集計 平均	学生 回答 単純 集計 標準 偏差	部門 別形 態別 平均	部門 別形 態別 標準 偏差
	(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	55	10	0	45	177	0	287	-	-	-
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	62	172	46	4	2	1	287	4.01	0.706	4.04	0.236
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	66	181	28	11	1	0	287	4.05	0.715	4.08	0.213
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	66	163	30	23	4	1	287	3.92	0.883	3.95	0.331
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	2	8	23	112	43	71	259	2.01	0.788	2.05	0.416
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	72	173	27	7	6	2	287	4.05	0.797	4.09	0.314
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	94	153	27	8	3	2	287	4.15	0.782	4.21	0.337
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	76	152	37	14	6	2	287	3.98	0.886	4.05	0.432
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	38	94	72	50	31	2	287	3.20	1.199	3.26	0.588
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	84	163	23	10	6	1	287	4.08	0.836	4.15	0.395
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	83	173	20	7	4	0	287	4.13	0.753	4.16	0.279
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	5	6	-	-	-	0	11	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	89	163	24	6	3	2	287	4.15	0.744	4.19	0.335
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	1	7	-	-	-	1	9	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	105	157	20	1	2	2	287	4.27	0.667	4.30	0.258
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	92	167	19	6	3	0	287	4.18	0.730	4.22	0.303
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	90	158	30	4	4	1	287	4.14	0.764	4.20	0.343
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	230	33	10	14	-	0	287	-	-	-	-
	80.14%	11.50%	3.48%	4.88%	-	0.00%	100.00%	-	-	-	-





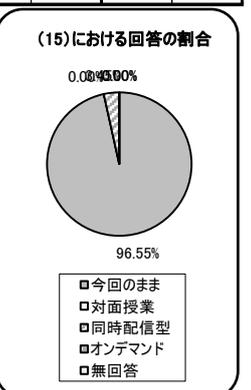
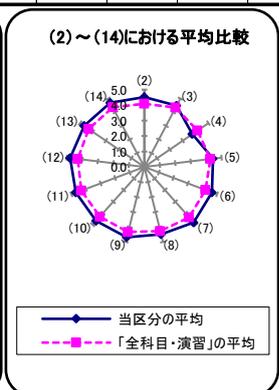
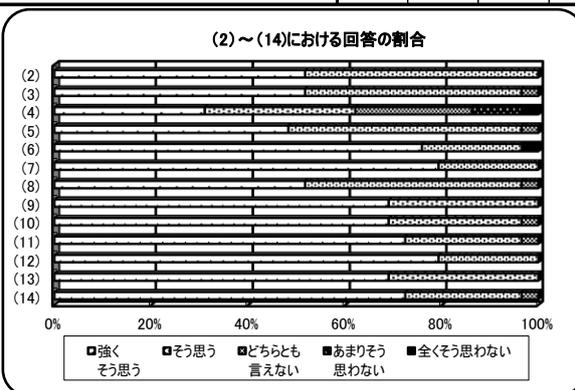
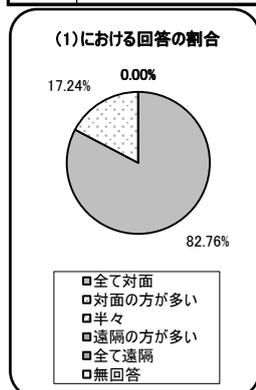
学習院大学 令和4(2022)年度 授業アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回答率
回答数	29	50	58.00%

形態名 演習

質問項目	回答者ベース							科目ベース			
	5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
(1) 私はこの授業を次の形式で受講した 5: 全て対面 4: 対面の方が遠隔より多い 3: 対面と遠隔が半々 2: 遠隔の方が対面より多い 1: 全て遠隔	24	5	0	0	0	0	29	-	-	-	-
	82.76%	17.24%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(2) 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	15	14	0	0	0	0	29	4.52	0.509	4.51	0.199
(3) 私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	15	13	1	0	0	0	29	4.48	0.575	4.48	0.225
(4) 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	9	9	7	3	1	0	29	3.76	1.123	3.75	0.535
(4)-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	0	0	0	10	7	8	25	1.59	0.507	1.61	0.283
(5) 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	14	14	1	0	0	0	29	4.45	0.572	4.44	0.219
(6) この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	22	6	0	0	1	0	29	4.66	0.814	4.65	0.251
(7) この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	23	6	0	0	0	0	29	4.79	0.412	4.79	0.138
(8) この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	15	13	1	0	0	0	29	4.48	0.575	4.50	0.365
(9) 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	20	9	0	0	0	0	29	4.69	0.471	4.68	0.219
(10) この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	20	8	1	0	0	0	29	4.66	0.553	4.65	0.190
(10)-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	0	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-
(11) この授業の水準に満足している	21	7	1	0	0	0	29	4.69	0.541	4.68	0.186
(11)-2 授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-
(12) この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	23	6	0	0	0	0	29	4.79	0.412	4.79	0.088
(13) この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	20	9	0	0	0	0	29	4.69	0.471	4.69	0.079
(14) 総合的に見てこの授業は高く評価できる	21	7	1	0	0	0	29	4.69	0.541	4.68	0.219
(15) この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	28	0	1	0	-	0	29	-	-	-	-
	96.55%	0.00%	3.45%	0.00%	-	0.00%	100.00%				



相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q2	1													
Q3	.549 (**)	1												
Q4	.355 (**)	.582 (**)	1											
Q4-2	-.001	.154 (*)	.102	1										
Q5	.402 (**)	.411 (**)	.256 (**)	.143	1									
Q6	.434 (**)	.505 (**)	.340 (**)	.099	.682 (**)	1								
Q7	.271 (**)	.351 (**)	.173 (**)	.046	.510 (**)	.556 (**)	1							
Q8	.240 (**)	.280 (**)	.113	-.023	.334 (**)	.327 (**)	.572 (**)	1						
Q9	.392 (**)	.447 (**)	.250 (**)	.136	.698 (**)	.749 (**)	.638 (**)	.438 (**)	1					
Q10	.434 (**)	.430 (**)	.284 (**)	.102	.610 (**)	.673 (**)	.586 (**)	.355 (**)	.731 (**)	1				
Q11	.410 (**)	.513 (**)	.308 (**)	.064	.613 (**)	.727 (**)	.594 (**)	.386 (**)	.744 (**)	.735 (**)	1			
Q12	.493 (**)	.545 (**)	.340 (**)	.060	.567 (**)	.653 (**)	.507 (**)	.275 (**)	.650 (**)	.685 (**)	.689 (**)	1		
Q13	.420 (**)	.519 (**)	.381 (**)	.066	.595 (**)	.698 (**)	.511 (**)	.304 (**)	.684 (**)	.739 (**)	.704 (**)	.814 (**)	1	
Q14	.421 (**)	.488 (**)	.292 (**)	.118	.705 (**)	.750 (**)	.628 (**)	.405 (**)	.801 (**)	.729 (**)	.799 (**)	.768 (**)	.751 (**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q2	Q3	Q4	Q4-2	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	1													
Q3	.582 (**)	1												
Q4	.477 (**)	.409 (*)	1											
Q4-2	.310	.169	.237	1										
Q5	.402 (*)	.405 (*)	.230	.299	1									
Q6	.274	.369 (*)	.414 (*)	.099	.420 (*)	1								
Q7	.188	.437 (*)	-.112	.099	.256	.206	1							
Q8	.215	.567 (**)	.353	.132	.187	.369 (*)	.286	1						
Q9	.396 (*)	.574 (**)	.259	-.118	.667 (**)	.550 (**)	.577 (**)	.310	1					
Q10	.403 (*)	.656 (**)	.149	.132	.619 (**)	.282	.459 (*)	.543 (**)	.672 (**)	1				
Q10-2														
Q11	.344	.499 (**)	.049	.132	.580 (**)	.235	.502 (**)	.269	.730 (**)	.823 (**)	1			
Q11-2														
Q12	.188	.437 (*)	-.112	-.015	.558 (**)	.206	.370 (*)	.135	.577 (**)	.616 (**)	.662 (**)	1		
Q13	.247	.574 (**)	.056	.029	.535 (**)	.177	.393 (*)	.310	.678 (**)	.672 (**)	.730 (**)	.761 (**)	1	
Q14	.344	.614 (**)	.049	-.118	.580 (**)	.235	.662 (**)	.269	.870 (**)	.823 (**)	.878 (**)	.662 (**)	.730 (**)	1
Q15														

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和4(2022)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.05	0.822	4.11	0.226	3.99	0.757	4.03	0.210	4.05	0.674	4.09	0.235	4.01	0.706	4.04	0.236
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.80	0.966	3.86	0.289	3.80	0.924	3.87	0.305	4.06	0.841	4.08	0.290	4.02	0.710	4.05	0.165	4.05	0.715	4.08	0.213
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.862	4.01	0.347	3.98	0.814	4.01	0.239	3.92	0.883	3.95	0.331
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.30	1.109	2.06	0.617	1.97	0.872	2.01	0.384	2.01	0.788	2.05	0.416
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	0.941	3.97	0.514	4.11	0.651	4.13	0.179	4.05	0.797	4.09	0.314
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.833	4.18	0.376	4.19	0.637	4.23	0.226	4.15	0.782	4.21	0.337
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.28	1.263	3.51	0.741	3.97	0.857	4.03	0.428	3.98	0.886	4.05	0.432
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.237	2.51	0.953	3.06	1.241	3.22	0.757	3.20	1.199	3.26	0.588
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.40	0.755	4.44	0.225	4.35	0.724	4.40	0.197	3.90	0.886	4.06	0.403	4.16	0.656	4.22	0.229	4.08	0.836	4.15	0.395
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.873	4.08	0.361	4.12	0.663	4.16	0.204	4.13	0.753	4.16	0.279
	(11)	この授業の水準に満足している	4.30	0.742	4.33	0.191	4.27	0.717	4.32	0.184	3.94	0.844	4.08	0.369	4.16	0.645	4.20	0.173	4.15	0.744	4.19	0.335
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.45	0.736	4.50	0.196	4.45	0.706	4.51	0.208	4.17	0.746	4.26	0.358	4.23	0.645	4.29	0.212	4.27	0.667	4.30	0.258
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.783	4.23	0.333	4.18	0.612	4.22	0.177	4.18	0.730	4.22	0.303
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.39	0.719	4.44	0.227	4.38	0.713	4.44	0.222	3.92	0.919	4.08	0.440	4.13	0.643	4.19	0.231	4.14	0.764	4.20	0.343

部門名 学芸員
形態名 演習

			2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差																
「全員」 回答	(2)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.49	0.643	4.49	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-	4.52	0.509	4.51	0.199
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.46	0.631	4.46	0.224	4.50	0.628	4.52	0.277	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-	4.48	0.575	4.48	0.225
	(4)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-	3.76	1.123	3.75	0.535
	(4)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	1.75	0.500	1.75	-	1.59	0.507	1.61	0.283
	(5)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-	4.45	0.572	4.44	0.219
	(6)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-	4.66	0.814	4.65	0.251
	(7)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-	4.79	0.412	4.79	0.138
	(8)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-	4.48	0.575	4.50	0.365
	(9)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.93	0.302	4.93	0.094	4.83	0.379	4.84	0.219	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-	4.69	0.471	4.68	0.219
	(10)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.17	0.753	4.17	-	4.66	0.553	4.65	0.190
	(11)	この授業の水準に満足している	4.75	0.462	4.76	0.170	4.76	0.458	4.78	0.243	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-	4.69	0.541	4.68	0.186
	(12)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.86	0.352	4.87	0.102	4.80	0.462	4.81	0.201	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-	4.79	0.412	4.79	0.088
	(13)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-	4.69	0.471	4.69	0.079
	(14)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.88	0.326	4.89	0.117	4.80	0.437	4.81	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-	4.69	0.541	4.68	0.219

第4章

授業への取り組み例

I 法学部

1 授業評価アンケートの結果を受けた授業改善の例

教科書を読み討論するだけでなく、毎回、問題の内容に関するドキュメンタリーを各人が自宅で見、それについて教室内で話題にすることにした。

実定法では、事例問題に解答できるようになることが重要な学習目標であるが、大半の学生が、試験で事例問題を出しても、全く論点を指摘できない状況であり、穴埋めや説明問題を出題せざるを得ない。そこで、2022年度から年に数回、授業中に事例問題を検討する機会を設け、同じ問題を学年末試験で出すことにした。思ったほど結果は良くなかったが、このように学習内容を限定することにより、まずは法規範の適用とあてはめという実定法における重要なスキルの習得を促すことはそれなりに意味があるのではないかと感じ、この方法を今後数年間続けて、改善していきたいと考えている。

2 その他 2022年度新たに行った工夫や取り組み

法学科内でのFD活動で他の教員の工夫を聞き、自分の特設演習でも取り入れた。具体的には、期末のレポート課題を課す際に、授業最終回までに第一稿の提出を必須とし、授業最終回は、優秀レポートをいくつか取り上げ、受講生全員で読み、グループに分かれて、どこがよいか、どこを改善できるかを議論させた。その結果、最終レポートの質が上がった。

学生へのフィードバックの機会を極力増やすために、自由課題のテーマ設定の段階、報告準備の段階、報告後のフィードバック、レポート第1稿提出の段階、と段階を分けて個別に相談できる機会を設けた。

英語によって国際取引法の基礎知識を提供するという授業の基本的な方針は変えないまま、ほぼ毎時間、設例を設けて学生に（英語で）質問し、（英語で）解答を求める時間を作ることとして、双方向的な参加型の授業を実践し、同時に学生の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る機会としている。

アクティヴ・ラーニングの手法を取り入れて、授業時間中に学生が少人数のグループに分かれて資料を読み、考えをまとめて発表するという機会を各テーマにつき1回は設けている。グループごとの検討の結果は口頭で発表することを基本としているが、ときにはZoomのホ

ホワイトボード機能を利用して（大半の学生は対面で参加しているがスマートフォン等から Zoom に参加してもらい）、自由に意見を書き出して、それを見ながら論点を整理したこともある。授業後、ホワイトボードはダウンロードして PDF 化し、Webclass（2022 年度当時）で共有して、次週以降に、さらに検討を深める際の素材とした。

II 経済学部

I. 遠隔授業や対面授業、ハイブリッド授業にて実施した授業方法（資料の配布方法も含む）

【科目ごとの事例】

複数クラスが開設されている科目もあり、それらは、同一科目についての複数の事例を紹介する。

- 基礎マイクロ経済学・ゲーム理論： 多人数の講義では、対面授業が制限されていたので、授業は遠隔で行った。その際は、LMS (manaba) とGoogle driveで教材を配布した。パワーポイントの資料に解説の音声を吹き込んだものを視聴してもらった。学期中、数回は、人数制限したうえで、対面で小テストを行い、理解が進んでいることを確認した。
- 管理会計： 授業の連絡を、LMS (Moodle) を使って行った。日経新聞だけではなく、英字新聞等も使用して、最新の情報も提供することに努めた。
- 基礎マクロ経済学・日本経済論 I： 300人程度の大人数科目であるため、遠隔形式により、授業を実施した。
- キャリア・デザイン I (A・Dクラス)・同II (C・Dクラス)・同III (A・Bクラス)： LMS (WebClass) により、資料・音声ファイル・課題を掲出し、視聴後に課題を提出させた。LMSの使用により、教材・音声ファイルの掲出および課題の提出を、授業日を含む48時間以内に設定した。
- キャリア・デザイン I・II・III： Zoomを用いた同時配信型の遠隔授業を実施した。資料の配布については、授業中のスライドは、画面共有のみとして授業を実施した。
- インターンシップと仕事経験： LMS (WebClass) により、資料・課題、および、ZoomのIDを掲出した。講義は、Zoomにて実施した。課題は、授業日を含む48時間以内に提出するようLMSにて設定した。
- 統計学入門II・計量経済学： 対面授業を実施した。講義用スライドをもとに、各スライドに対応する記入式のハンドアウトを作成して、授業にて配布し、講義を実施した。
- 一般経済史・外国書講読・入門演習・演習： 担当の各講義科目について、LMS (manaba) の コースコンテンツに、講義パワーポイントと、講義パワーポイントの説明動画 (YouTube動画へのリンク)、参考資料、参考動画を掲示して、すべての資料を利用しやすいように配布した。授業は、時々Zoomも利用する対面形式とした。セミナー方式をとり、LMS上にオンデマンド配信した資料を自習してきた学生たちに、講義内容について

での活発な議論を促した。

- 日本経済史・経済学特殊講義（イノベーションと企業の歴史）・演習（2年/3年/4年）・入門演習： 担当の各講義科目について、原則、すべて対面授業を行った。加えて、補助的にZoomでの配信を行った。資料はすべて、LMS（manaba）に載せ、小テスト、レポート等はすべてmanaba経由で行った。
- 経済数学Ⅰ・Ⅱ： 対面授業の部分的実施を受けて、Zoomによる同時配信授業を実施した。Zoomの利用により、授業の録画が可能となり、授業後に編集した動画ファイルを学習院ファイルサービス（Proself）にアップロードして、履修者のみがダウンロードして何度でも復習できるようにした。資料のファイルも動画と合わせてアップロードして効率的な復習が出来るようにした。LMS（manaba）では90分の動画ファイルはアップロードできないためにProselfを利用した。
- 経営組織論Ⅰ・Ⅱ： 履修者数が300人を超えたため、LMS（manaba）を活用したオンデマンド型で実施した。毎回の授業教材として文章ファイルと音声ファイルをmanabaに用意し、それを指定した期日までに受講させ、合わせてmanaba上に用意した小テストを毎回受験させることで、学習を促し、理解度を確認するようにした。成績は、小テストの結果、教材の閲覧・小テスト受験による出欠確認に加え、経営組織論Ⅰ（第1学期）では、成績評価の公平性・妥当性を確保するため、対面の期末試験を実施し、これらの総合点で評価した。しかし、経営組織論Ⅱ（第2学期）では、期末試験の時期に感染症のリスクが高まったことから、当初予定していた対面型期末試験を、manabaを利用したオンライン型に変更して実施した。

【授業の種類・履修者数や特性に合わせた事例】

- 学部演習、大学院演習・授業： 双方向のやりとりが重要であり、なおかつ履修者数が限られているため、対面で授業を実施した。なお、資料配布、期末レポート提出については、LMS（manaba）を利用した。さらに、大学院授業で履修者が海外に滞在した期間は、Zoomを利用した同時配信型で授業を実施した。
- 産業事情（現代企業論）：
本科目は、実務家をゲスト講師として招いて多様な業界・企業の概要・就職・仕事・キャリアについてご講義いただく授業である。2020、2021年度は全てZOOM同時配信型で実施し、毎回ゲスト講師にご来校いただき、会議室からZoomを通じて同時配信型でご講義いただいた。2022年度については、ゲスト講師のご講義を教室で直接うかがう経験の重要性に鑑み、対面授業に切り替え、教室にてご講義いただいた。なお、資料配布、期末レポート提出については、LMS（manaba）を利用した。

II. 授業の質の向上のため工夫していること、その結果得られた知見

- 以前は、講義においてレポートを課すこともあったが、学生同士で似たようなレポートが頻発することを受け、1学期に2～3回、マークシートによる小テストを行うことにした。学期末の試験期間以外にも、学習することになり、学生の理解度が高まったと感じている。〔基礎マイクロ経済学・ゲーム理論〕
- 後期に56名の演習型の授業を開講した。100名の希望者がいたので、抽選により選抜した。特に、今年はロッテとコラボし、ロッテのブランドを7つほど出してもらい、このお菓子のブランドを活用しての地域活性化の提案を8名1班として、7つの班にして考える演習を行った。初めの2回くらいで地域活性化の授業を行い、10回くらいで班ごとに研究させ、適宜の発表・全体ディスカッションを通じ、教育を行い、内容をブラッシュアップする。そして3回目にロッテの参加してもらい、最後の2回に班ごとにロッテに対し、報告してもらった。〔経営学特殊講義（地域活性化のマーケティング）〕
- パソナとコラボレーションを実施し、淡路島の地域活性化をテーマにゼミを実施している。〔演習（3年）〕
- 演習では、例年、地域活性化をテーマに研究を行うと、学生はかなりやる気をもって、情熱的に取り組み、教育効果は高いものとなっている。2023年度の予定も既に立っており、3年生は岐阜県恵那市、4年生は鳥取県米子市において、地元の団体・市と組んで地域活性化をテーマに研究を行う。9月に2泊3日で見学・講習を受け、12月まで班ごとに分かれてゼミで研究し、12月に両市において成果発表を行った。
- 演習の授業で、ChatGPTについて紹介し、使い方を実演してみた。一定の学習効果はあったと考えられる。
- オンデマンド形式で講義動画は学期中、受講生の復習用にいつでも視聴可能な状態に設定した。また、質問は、LMS (manaba) の掲示板で常時受け付けるほか、毎週responで授業時間内にアンケートや出席確認をすることで、参加率を上げる工夫をした。〔基礎マクロ経済学・日本経済論Ⅰ〕
- 課題とともに任意の質問も受け付けているため、課題の講評とともに、質問に対する回答を翌週の講義で行っている。教員側の学生の状況理解が促進されるとともに、学生側の特定を避け本音の質問ができることが講義の強みとなっている。さらに質問を通して視聴する他の学生の動機付けを高める効果も確認されている。加えて、数式については図でも直観的にわかるように、実証分析について様々なデータの例示するように心がけている。〔キャリア・デザインⅠ（A・Dクラス）・Ⅱ（C・Dクラス）・Ⅲ（A・Bクラス）〕
- 授業の質向上のための工夫として、対面（+時々Zoom利用）のセミナー形式の授業では、6-7名以上になると議論がしにくいので、大人数の講義等の際には、教室内で（あるいはzoom上で）ブレイクアウトをすることにより、教員およびTA/SAのファシリテーショ

ンのもとで、少人数で親しく話し合える場を提供することが出来た。〔一般経済史、外国書講読、入門演習、演習〕

- 特に、コロナ禍で、2,3年生については、2020-2021年度の2年間のほとんどが遠隔授業だったので、人と直接話すことが重要であると考え、演習(2年生、3年生、4年生)および入門演習において、ディスカッションタイム(+雑談タイム)を長くとった。このことは、学生同士のコミュニケーションの活性化に貢献したと考えている。
 - 毎回の授業後に、リアクションペーパーを提出してもらっている。リアクションペーパーに自由に書ける欄を設けており、そこに書かれた内容を次回の授業時にフィードバックしている。
 - Zoomによる授業では、ブレイクアウトルームや投票機能等を活用し、学生同士のディスカッションを始め、インタラクティブ授業を意識して実施している。
 - 授業内で10分程度のグループディスカッションを毎回実施している。学生からのアンケートでは最初の頃はファシリテーター役が難しいとの声も散見されていたが、回を重ねる毎に上手く出来るようになったとの声を多く頂戴している。この経験は今後の就職活動(特に1次面接等でのグループディスカッション)で間違いなく活かされるものと思慮している。
 - 対面型で実施した学部演習、大学院演習・授業では、学生同士の発言、議論を促すため、コメント(議論したい点や質問)を事前にLMS(manaba)経由で提出することを課題とし、また、授業中の学生の発言を促すため、できるだけ学生の発言内容の良い面を評価するように努めた。さらに、議論が混乱しないよう、議論の枠組みを確認するよう促すことに努めた。
 - 学部演習では、感染症のリスクが低下したことを踏まえ、外部の非営利機関が開催している、社会問題の解決を目指すプログラムにゼミ生を3チームに分けて参加させた。このプログラムは、実務家と連携して実践的解決に取り組むことを課題としており、他の学校(高校、中学校、小学校も含む)からも多くの学生が参加し、相互に学習する場もあり、多くのことを学習できる機会となった。
 - オンデマンド型で実施した授業において、毎回小テストを実施することで学習を促すように努めた。また、LMS(manaba)の掲示板に毎回のクラス毎に質問のスレッドを用意し、質問を促すともに、迅速・丁寧な回答を心がけた。〔経営組織論Ⅰ・Ⅱ〕
 - 教室でできるだけ質問しやすい雰囲気を作成するように努めた。また、期末レポートはLMS(manaba)の「アンケート」にフォームを用意し、毎回の授業直後から期末まで随時入力・加筆・修正できる仕組みを用意し、期末レポートを提出しやすい環境を整えた。
- 〔産業事情〕

III. 対面授業が制約されている期間に導入した教育手法のうち、対面主体の今後の授業体制において、活用できる、活用したいと思われる手法

- LMS（2022年度まではmanabaで2023年度からはMoodle）で練習問題をおおよそ2週間おきに解いてもらい、理解度を確認している。オンライン講義の際にLMS上に問題を用意したので、対面になっても、その問題を使い続けている。以前は、問題を配って各自自宅で解くように指示していたが、LMSの場合は、取り組んだかどうかを確認できるので、定期的に取り組む学生が格段に増えたと感じている。また、学生にとっても、解答が正しいかをその場で確認できるので、理解が不十分なところを、復習できることはメリットである。〔基礎マイクロ経済学・ゲーム理論〕
- Zoomで動画を共有したが、この手法は、今後も活用できると考えられる。
- 難易度の高い内容を講義する際は、対面形式で1度しか解説を聞けないよりも、オンデマンド形式で何度も視聴できる方が、理解度が高まるとの声があった。
- 履修登録者が多い講義については、抽選に漏れ講義への履修機会を失うよりも、遠隔での対応により履修機会を保障するほうが学生にとっては重要と考えることから、今後も遠隔での講義の継続をお願いしたい。
- コロナ禍でもちいた動画のオンデマンド教材は、PC実習などの復習用として、対面授業に戻っても活用している。
- 基本的には、オンデマンドでの資料配信＋対面（時々Zoom）での討議という、「反転授業形式」を、全ての科目で継続していきたい。学生からの要望も多いため、資料配布（特に講義動画リンクの配布）やZoomでの討議など遠隔授業の利点を活かした活用方法を継続的に適宜実施したい。
- LMSを活用し、学生に資料を配信すること、学生が発表資料等をアップロードすること、レポート、小テストを提出することが一般化したので、教員にとっても、学生にとっても、授業や学習の記録を参照しやすくなった。今後とも活用したい。
- 2023年度もZoomを用いた同時配信型として、遠隔授業も実施中である。
- 100名～200名規模の授業にて毎回4～5名でのグループディスカッションを実施する上では、Zoomのブレイクアウトルーム機能は使い勝手がよい。対面ではグループ作りに時間を要してしまうことから2023年度も遠隔授業を継続しているが、一部の学生は「Zoomにアクセスしているだけ」という者や「電車の中で受講していて話せない」という者もいるようで、今後は何らかの対応を考えていきたい。
- 対面授業に移行した場合でも、資料の配布や学生の提出物の受理、小テストの実施などにおいては、引き続き、LMS（2023年度からMoodle）を活用したい。

- 「産業事情」などの授業において、ゲスト講師を招く場合に、ゲストのご都合によっては（例えば、地方・海外在住のゲスト講師など）、Zoomを利用した同時配信型授業を部分的に活用したい。

以 上

Ⅲ 文学部

授業への取り組み例

【哲学科】

・新入生向けに、3年ぶりにオリエンテーションの日帰り旅行を実施した。全員参加とはならなかったが、現地での美術館見学や昼食時間の自己紹介など、1年生同士、また教員と1年生の間の交流をはかることができた。

・美術史分野では、2年生以上に関しても、授業の枠内で、数年間あまり行うことのできなかつた美術館・博物館での実地指導をおこなうことができた。また日本美術、西洋美術それぞれのゼミにおいて、ゼミ旅行を実施し、集中的に美術館・博物館を見て回ることができた。

・コロナ以前は、授業中にその場でリアクションペーパーを書いてもらっていたが、コロナ以後は、WebClass でそれを回収するようになり、充実した内容の感想・質問を受け取ることができるようになった。今年度、LMS が Moodle に変更されても、同じことを継続できればと考えている。

【史学科】

前年度に引き続き、「遠隔授業から対面授業への復帰」という命題に積極的に対応した。「各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること」で述べたように、演習科目は、「全て対面」が 83.3%、「対面の方が遠隔より多い」が 13.2%、2項目を合わせると 96.5%となっており、ほぼ全面的に対面形式に復帰している（「全て遠隔」は0%）。これは演習科目については、対面の方が、はるかに効果が高いと判断したためである。

一年生全員と教員で行う研修旅行も復活させた。ただし、大人数での研修になることを鑑み、通常行っている一泊ではなく、日帰りとした。また、2年生以上に関しては、いくつかのゼミで宿泊を伴った合宿を行った。もちろん、コロナ感染症に対する種々の対策を実施したうえで、コロナ禍前のゼミ合宿を完全に再現させるまでには至らなかった。しかしそれでも、学生からは、「卒業する前にゼミ合宿に参加できてよかった」などという喜びの声が、多くあがった。さらに、卒業論文の口頭試問も、Zoomではなく完全対面で行った。

学生間および学生と教員との交流を積極的に図ることによって生じる教育的効果は、本学科の場合、非常に大きい。その点を考えれば、やはりコロナ禍前に近いかたち、あるいはコロナ禍の経験を生かしたかたちでのゼミ合宿や各種イベントを継続的に実施していく必要がある。

【日本語日本文学科】

令和4年度の授業形式は、演習はほぼすべて対面となり、講義はまだ半数未満がオンラインであったが、授業に対する評価や満足度は比較的に高かった。学生の側の慣れと適応もあったかと思われるが、オンライン授業での経験を経て、教員それぞれの努力と工夫が、授業の充実に繋がっていることが示唆されているのかもしれない。

演習の大半が対面授業となり、オンラインとの併用時と比べれば、極端に出席率が低い状態は改善されている。Zoomを使った演習でも、ネット環境さえ整っていれば、ある程度水準での授業内容が確保できるが、依然として環境が行き届かない教室があることは、問題であろうか。講義科目の評価はやはり演習と比べると厳しい面が見られるが、オンラインを併用してチャットやWebClassのタイムラインを活用した質問や意見の交換には、可能性が深まっているという印象がある。授業そのものが過渡期にあることが実感された一年であった。

【英語英米文化学科】

(1) LMS 活用による講義科目における授業の双方向性の確保

授業の形式が遠隔から対面に戻っても、例えば LMS の掲示板に授業についてのコメントを書くよう学生に求めたり、やはり LMS に質問コーナーを設け、寄せられた質問に答えたりしている教員が少なくない。これによって講義科目であっても学生との個人的なつながりが強まり、また、質問と回答は他の学生も見ることができると、学習効果が深まっていると感じられる。

(2) LMS 活用による授業のペーパーレス化

授業で使用するパワーポイントなどの教材を LMS に上げることにより、以前のようにすべての教材を紙に印刷する必要がなくなった。紙を一切使わないのがよいとも思えないが、以前のように大教室で多くの学生に印刷教材を大量に配付する手間と費用が減じたことは肯定的に評価されるべきであろう。

(3) ルーブリックの使用

授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、「アカデミック・ライティング」と「アカデミック・プレゼンテーション」の授業にルーブリックを継続的に用いている。これらの科目の担当者（専任教員と非常勤講師）は前年度中に、メール会議と対面式会議をおこない、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成した。各科目では、授業の初回にルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示すことにしている。

(4) 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

学生の意欲的な取り組みを促進する目的で、反転授業を用いたアクティブ・ラーニングに取り組む教員も少なくない。

【ドイツ語圏文化学科】

1) 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から3つのコース（言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース）のうちいずれかを選択し、専門の勉強を始める。3つのコースに進む前の段階として、1・2年次は、基礎的なドイツ語力を付けるカリキュラムが組まれている。その中心となるのは、日本人教員が担当する初級・中級文法のクラスが週2コマ（1年生）、3コマ（2年生）、ドイツ語母語話者と日本人の教員がティームティーチングをするコミュニケーション主体のクラスが週3コマ用意されている。これらの授業はいずれも基本的に1クラス25名以下（再履修者がいても30人以下）に押さえられており、きめ細かい指導を行っている。

1年次の第1学期には、令和2年度から、「アカデミック・スキルズ入門」という科目を新規開講し、口頭発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成といったアカデミック・スキルの指導を行うことで初年次教育を充実させてきた。1年次に、基礎ゼミナールの形で学部4年間に必要な基本的な技能と知識を教授することで、学生の授業に対する総合的な満足度は高まってきていると考えられる。

1年次の第2学期から2年次にかけては、1学期完結の形で「現代地域事情入門ゼミナール」、「言語・情報コース入門ゼミナール」、「文学・文化コース入門ゼミナール」を必修としている。これらは基本的に1クラス25人以下の体制で、「アカデミック・スキルズ入門」で基礎を学習したディスカッション、グループワーク、口頭発表の仕方を実践的に学ぶとともに、ドイツの現代地域事情、言語・情報、文学・文化の基礎的な知識を身に着ける機会となっている。このように1年半にわたって3つ分野の入門ゼミナールを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように制度設計している。

2) アクティブ・ラーニングの実践

ドイツ語圏文化学科のゼミナールではリアクションペーパーを導入し、学生の学習状況を把握し、質問等にきめ細かく答えられる態勢になっている。また、あらかじめ課題に関するレポートを提出させて授業中はその内容に対する討議を行う「反転学習」や、Zoomのグループセッションやresponのアンケート機能を用いたインタラクティブな授業を実践している。これらの実践により、「履修者同士の意見交換の機会」や「教員への質問の機会」や「意欲的な取り組み」の点において、学生から高い評価を得ることができていると言えるであろう。

また、毎年5月に、1年生と3年生を対象にした文献検索等のガイダンスを大学図書館に依頼し実施している。令和4年度は新型コロナウイルスの影響で前年に引き続きオンライ

ンとなったが、それぞれの学年で必要な到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打ち合わせをした上で実施した。これにより、1年生は基本的な文献の検索、3年生は卒業論文・卒業研究執筆に必要な専門文献を検索し入手する技術が身につくようにしている。

3) 卒業論文・卒業研究のきめ細やかな指導体制

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスのあと、半年以上の準備期間を経て、4年生の4月から本格的に始まる。令和4年度は各教員とも、オンラインでの指導も取り入れつつ、充実した指導を行った。

4) コロナ禍における工夫

「現代地域事情入門ゼミナール」は、対面授業を基本としている。しかし、学生同士のディスカッションが主となる授業時には、グループセッションがしやすく感染リスクがないという特性をもつZoomによるオンライン授業を随時取り入れた。また対面で行う授業のなかには、受講生のさまざまな事情を最大限配慮してハイブリッド型の授業運営を行うことを基本としているものもあった。受講形態の柔軟化の実践である

【フランス語圏文化学科】

令和2年度から導入された「入門演習」は、1年次前期の学生を対象とした少人数のグループワークを基本とする演習形式であり、大学での学びに欠かせないアカデミック・スキル（大学図書館を利用した情報や文献の検索、文献資料の読解及び要約、レポートの作成、発表の仕方など）を習得することを目的としている。導入から3年目となった本授業の効果がスキルの習得に限定されることなく、入学当初より教師と学生、学生同士の意見交換を促進しアカデミックな学びにふさわしい場を醸成するというかたちで結実し始めている。

令和4年度は、コロナ禍で休止していた学科主催イベント「フランス詩と歌曲の夕べ」を3年ぶりに開催した。本公演は3～4年次学生向けの開講科目「フランス語圏文化演習（文学・思想）A」と連携しており、履修生や近隣大学の学生を含めた聴衆にとって、ジャンルの垣根を超えた芸術の広がりを経験する機会となった。

【心理学科】

・アクティブラーニング教室を活用し、アクティブラーニング形式を取り入れた演習を行なった。取り組みの内容に応じて机や椅子をさまざまに移動させるだけで、グループワークが活発化し、学生同士での意見交換やディスカッションを含め、学生たちが主体的になってくることが明らかとなった。

・必修の講義科目において、本年度より、パソコンを使ってのデータ解析の演習形式を取り入れた授業を導入した。

・昨年度に比べて、対面授業を多く開講した。同時に、担当教員の対応可能な範囲でハイフ

レックス型を取り入れた。

・対面での質問の受付だけでなく、LMS を活用して随時質問を受け付けることで、教員への質問機会を確保した。

【教育学科】

令和4年度の授業評価では、学生自身の意欲的な取り組み、学生間の意見交換や教員の授業工夫に関する項目での評価は高かった。その背景には、1学年50名という比較的規模の小さい学科という特性があると考えられる。一方、教材の提示方法に関しては学部全体の平均からやや劣る結果となっており、この点でさらなる改善を図り、学生が予習や復習に一定時間を確保できるようにすべきであるとする。

①教育学科では初年次教育として1年次の第1学期に学科教員全員が担当する「基礎演習」を実施している。ここでは教育学科で作成した「教育学科で学ぶ」という冊子に基づき、講義を聴く、文献を読む、レポートを書く、自身の考えを発表するという大学での学びの基本的スキルを身につけることを目指し、内容を構成している。ここで課せられる教育の今日的な課題に関するレポートについては、仲間のレポートにコメントを出し合い、さらにそこに教員がコメントをつけるなどの工夫を施すことによって、学生全員でレポート作成に関し重要な観点やスキルを共有できるようにつとめている。レポートで取り組んだ各自が考える教育課題に関しては、「基礎演習」の授業のまとめとして一人ずつ発表を行うが、対面授業が再開されたことによってプレゼンテーション力が高められることを期待したい。

②教育学科では体験型の授業を重視してきているが、令和4年度には、コロナ禍で実施が不可能であった「自然体験実習」（必修科目）を再開することができた。将来、小学校教員を目指す多くの学科生にとって「自然体験実習」においてテントでの宿泊、飯盒炊飯や野外活動を実践的に学ぶことは大変意義があり、学生の自主性を育てることに繋がるものである。ほかにも3年次履修の「社会体験実習」や令和5年から再開するオリエンテーション合宿などで体験的に学ぶことを通して学生の教師としての資質の育成を目指す。

③教育学科では免許科目に関して指導案の作成ならびに検討や模擬授業の機会を多く取り入れ、学生同士が積極的に意見交換できる場を設けてきている。模擬的な授業であるとはいえ、ここでの学習は教育実習時に有効であると考えられ、実習を受け入れる学校現場からの評価も高く、学生の教職への意識付けにも繋がっている。

④学生の進路については小学校等の教員、企業や公務員、大学院への進学など様々なケースがあるが、3年次の進路ガイダンスや教員採用試験受験者に向けた学科独自の講座を開講することなどを通して教員間でも学生の状況を共有し、個々の進路に応じた丁寧な指導を行っている。

IV 理学部

取り組み例（1）

- ・ 演習形式の授業において、初回の授業時に、高校のとき物理基礎のみを履修したかそうでないかについてのアンケートをとった。アンケート結果に基づき、演習問題の割り振りを決めるなどの配慮を行った。
- ・ 講義形式の授業の冒頭で、これから学習する内容に関するクイズを出す。当然返答に困る人が多いが、これから学習する内容に注意を向けてもらうために行っている。答えがあっているかどうかは成績には反映していない。

取り組み例（2）

- ・ 毎回課題を配布し、答案を Moodle で提出してもらっている。答案は採点の上 Moodle で返却し、次回講義の冒頭で課題についての解説を行っている。

取り組み例（3）

- ・ 欠席者への配慮、また復習での利用を想定して、授業中の板書を写真に収めて LMS に掲載している。
- ・ 授業で配布した資料は、LMS 上でも閲覧できるようにしている。
- ・ 事前に予習したい学生の要望に応じて、配布予定の資料は授業前にあらかじめ LMS に掲載している。
- ・ 質問への対応として、対面・LMS のフォーラム・メッセージ・メールなどの複数の窓口を用意している。
- ・ 関連科目との連携への要望に応えるべく、教員間で授業の資料の共有を行なっている。
- ・ 関連科目との連携への要望に応えるべく、関係する教員で授業の予定などの情報共有を行なっている。

取り組み例（4）

- ・ 授業で毎回実施している小テストの解答の解説を、実施直後に黒板で行うようにした。
- ・ 学生からの質問を Moodle のフォーラムでも受け付けるようにした。

取り組み例（5）

- ・ 「授業のボリュームについて、どのように感じましたか」に「5:多い」と回答する者が一定数いたため、授業で取り扱う問題数およびレポート問題数を必要最低限にした。
- ・ 「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」に「そう思わない」と回答する者が一定数いたため、昨年度まで配布していた詳細な解答に加えて、演習授業

の最後の 20 分ですべての演習問題の略解について黒板を用いて解説した。

取り組み例 (6)

- ・ 演習の授業において、以前は「演習内容の説明」→「課題への取り組み」という流れで講義を行っていた。説明内容の理解度を深めるため、演習とは別に、説明中に適宜理解度を確認する簡単な問題を解かせてそれを解説するという過程を取り入れた。

取り組み例 (7)

- ・ 毎週の課題の理解度を確認するために次週に小テストを実施し、採点やコメント等でフィードバックを行った。

取り組み例 (8)

- ・ 演習の授業では、授業始めに質問はいつでも可能であることを学生全員に伝えたが、質問をする学生はいなかった。そこで、学生一人ひとりに直接質問はないかと尋ね回ったところ、質問をする学生が一人現れた。その後は半数以上の学生が手を挙げ質問してくれた。やはり、質問をする一人目が重要で、それは教員が積極的に作るべきだと実感した。

取り組み例 (9)

- ・ レポートと小テストの点数の根拠を明確にするため、手書きで採点過程を書き込んだ PDF ファイルを返却した。採点中には複数人の答案を何度も行き来するため、効率的にページ移動できるように環境を整えた。2023 年度から導入されている Moodle には、答案ファイルを学籍番号順に整列させる機能が標準的に備わっていないように思われた。学籍番号順の方が作業しやすいので、ファイルを整理する自作のスクリプトを作成した。

取り組み例 (10)

- ・ 実験に用いる試薬の量や濃度の計算を授業時に行い易くするため、関連する簡単な計算例題プリントを事前に配布した。

取り組み例 (11)

- ・ 実験の授業ではコロナ以降レポートの提出、添削、修正を WebClass 経由で行っており、教員との対話が減っていたので、今学期からは対面でレポート提出等のやり取りを一部取り入れた。
- ・ 演習の授業では、できるだけ学生に発言をしてもらえよう、他の担当教員と連携し、たくさん学生に問いかける形で講義を進めるようにした。

取り組み例（12）

- ・ ほぼ毎回の授業後に LMS で課題レポートを提出してもらい、授業内容の理解度について確認を行った。また、課題の評価点だけでなく、学生一人ひとりに間違えた箇所についてのコメントを送付するようにした。
- ・ 授業内容が多過ぎるとの意見があったため、内容をより重要なものに絞り、授業を再構成した。

V 国際社会科学部

【事例①】

「国際会計論」の授業評価アンケート結果では、学生の授業時間外の勉強が少なかったとあった。授業時間外の勉強を増やすために、LMS システムを使っていくつかの資料を共有し、課題を増やした。また、授業に関連するメディアの記事やユーチューブのビデオなどを紹介し、受講生の好奇心を育てることに取り組んだ。

例として、以下に Moodle の授業ページのスクリーンショットを示す。5月25日には、損益計算書についての講義でインターネットイニシアティブ社の事例を用いた。予習・復習できる資料について4種類を用意した。

- 1) インターネットイニシアティブ社の事業紹介（中央のビデオリンク）：通学中でも携帯端末等で確認することが出来ることから、紹介したものである。
- 2) 同社の最新の決算短信（URL リンク）：企業情報について実践的に勉強できる素材として紹介した。
- 3) 参考文献：図書館にある指定図書であり、損益計算書についての基礎的な知識を身に付けることができるため紹介した。
- 4) 「6. 包括利益計算書」のファイル：授業で用いるパワーポイントである。パソコンを使って直接にノートを書き込めるため、授業後の復習に役立てることが期待できる。

5/25 損益計算書

インターネットイニシアティブの事例を使う予定です。



2023年3月の決算短信：

<https://www.iij.ad.jp/ir/library/financial/pdf/IIJ4Q22J.pdf>

参考文献：企業会計の基礎理論、第2版、村田直樹、2014、第3章。



6. 包括利益計算書



【事例②】

担当の各授業において特に重きを置いたことは、アクティブラーニングであった。アクティブラーニングを行うために、可能な限り多くのクラスアクティビティの時間を設けた。クラスアクティビティは、授業内容の理解を深めるとともに、学生の思考力、統合力、そして表現力を高められるように工夫して、以下の3つの手順に従って行った。

- ①指定の問題に対して授業で学んだ理論や内容に基づき、自分の考えをまとめて解答する。
- ②自分の解答を他の学生に伝えて学生同士でシェアする。
- ③シェアする中で気づいた点やより良いアイデアが生み出されたら記入する。

しかし、②の解答をシェアする時に、消極的な学生たちがいたが、その学生たちに関与して参加するように促した。また、日本語で実施する科目より英語の科目は、学生の英語レベルによって授業内容の理解に大きい差があると思ったので、学生の理解度を深めるために説明を繰り返したり、クラスアクティビティの答案を提示したりするなど様々な方法を実施してみた。

【事例③】

「Politics and Economy in Southeast Asia」の講義では、授業に関する履修者同士の意見交換の機会を増やす要望が学生より寄せられていた。そこで今年度は講義中にグループディスカッションの機会を増やし、設問に対する回答を学生5名程度のグループごとに提出させて参加者全員に平常点を加点した。あわせて模範的な回答を Moodle に掲載して表彰した。この活動の結果、履修者同士の意見交換についての評価は向上した。また、グループディスカッションの回答は英語での記述を課したが、学生らの回答のなかから模範的なものを公開することで、どの程度の英文を書けばよいのか、具体的な評価基準を学生に提示することもできた。

【事例④】

コロナ禍での授業評価アンケートでは教員との対話や学生同士の交流を求める声が多かったため、対面授業になっても Slack などのツールを併用しながら授業を行った。授業資料等を事前にアップロードし、質問やコメントなどを受け付け、教員からのフィードバックも対面と Slack の両方で行った。Slack はスマートフォンから簡単に操作できるため、学生にとっては質問や発言がしやすいようである。また、対面授業の様子を Zoom で配信することにより、コロナにより入構制限がされている学生も授業に参加できるようにした。対面に切り替えた講義科目では、教員の講義を聞きながらノートをとることに不慣れた学生が例年より多くみられたが、ノートテイキングについて復習し、オフィスアワーや授業後に個別に対応した。また海外在住のゲスト講師によるオンライン講義は好評だったため今後も継続する予定である。

【事例⑤】

「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」という質問に対する回答では、演習科目ではスコアの平均が4点台前半になる一方、講義科目では3点台前半になる傾向があるため、大教室の講義科目でも可能な限りはっきり話すよう心掛けた。

1年次配当の講義科目について、「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）について、どのように感じましたか」という質問に対して「多い」という回答、「授業の水準について、どのように感じましたか」という質問に対して「高すぎる」という回答がそれぞれ3割近くある年度が続いたため、2019年度から授業内容を見直した。その結果、「多い」・「高すぎる」という回答は、以前と比べて大幅に減少した。

VI 計算機センター

- 毎回の授業で質問やコメントを LMS で提出してもらい、次回の授業では学生からの質問とその回答を配布資料に掲載し、学生の疑問や考えを共有するようにした。基本的な質問をすることを遠慮していた学生も、他の学生の質問を見て積極的に質問する機会が増え、活発な意見交換をすることができた。
- 遠隔授業では、学生ごとに PC や OS の違いによりプログラミング環境の統一が難しくなるため、クラウド上のエディタを含むプログラミング環境を用いて、皆が同じ環境でプログラミングできるようにした。

Ⅶ 外国語教育研究センター

- コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めた。
- リーディングの授業で、書画カメラでテキストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係等を示すことで、学生の読解を助けた。
- 練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を積極的に見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めた。
- コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモチベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにした。
- 文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行った。
- リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテキスト等を用いて、アクチュアルな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。
- オンライン学習支援システムを利用して、自宅からアクセスすることで授業後も継続して学習できる環境を提供している。
- オンライン学習支援システムで問題毎の正答率を出して、正答率の低い項目を重点的に復習させるようにした。
- 言語表現等の上達を図るため、授業中に当該外国語でブログを書かせ、コメントや意見を付け加えて返すようにしている。
- 興味を持たせながら語彙を増やすために、当該言語の辞典での語句の定義や解釈を示し、その語句を推測させた。
- 日本語以外の外国語科目で、ネイティブスピーカーおよび長期留学経験者のティーチングアシスタントを使い、学生の実践的な演習の機会を増やした。

【コロナ禍における授業の取り組み例】

- 初級の授業で人称変化や冠詞の格変化の表を覚えさせるために、オンラインの小テストを行うと同時に小テストの為に自習用教材を作って自習の便を図った。
- リーディングの授業でテキスト中に日本人にはイメージしにくい語や場面が出て来た際は、学生達がイメージし易いように訳例と解説の教材に写真を貼り付け、理解の助けとした。
- 初級の授業で説明文、表および例文とその和訳に、下線や太字、色付、矢印を併用した補足的解説等を施し、重要な部分が一目で分かるようにした。
- リーディングの授業で、図書館の電子ジャーナルの英字新聞を多読に利用して、リアルタイムに世界や日本の事情を英語で読む機会を提供し学生の語彙増強を図っている。
- リーディングの授業で、オンラインワークブックのある教科書を選択して、学習したことをオンライン上でいつでも復習できるようにしている。
- 学生の音声チェックのために、発音練習の成果をスマホ等で録音させて提出させ、それを Audacity という編集ソフトに取り込み、こちらで、コメントを入れて、返却することを試みた。学生からは評判がよかったが、手間がかかりすぎるという問題があった。
- Zoom を用いる授業では発音チェックなどリアルタイムで行った。
- Zoom で行う授業では、インターネットの画像、自分のパソコン上の資料、iPad に入れている辞書などを提示しながら説明した。

外国語教育研究センターでは、令和2年12月に、センターが開講する外国語科目を担当する教員に対して令和2年度の遠隔授業に関するアンケートを実施し、各教員の具体的な取り組みや工夫を「アイデア集」としてセンター独自に取りまとめ、下記のように教員間で共有できるようにした。

令和4年度については引き続きコロナウイルス感染症蔓延防止のため、外国語教育研究センターの約4割の授業でこれらと同様の取り組みが行われたが、感染対策を十分にした上で対面での授業も6割程度行われた。また、後で述べるようにITの技術を駆使した新しい取り組みも一部の授業で行われた。

これらの取り組み例も以下に紹介する。

【オンデマンドによる授業】

- 毎週教科書に関する課題を LMS 上に出しそれを期限までに提出させた後、学生の解答をいくつか選び、コンピュータ画面上に表示しながら解説を行っているが、その解説を動画でキャプチャーできるソフトを使って録画し、その動画ファイルを Google Drive にまずアップロードし、それを共有するための URL リンクを取得してから、それを LMS 上に載せる。学生から回収した課題をすべて添削し返却する時間的余裕はないので、提出された課題の中から共通して間違っているものを抜き出して、解説するようにしている。学生はその動画を見て、自分の解答を添削することになる。その後、単語テストを非同期で行う。また、シャドーイングなどの練習を行うクラスは、Moodle の録音機能を用いて録音させ、個別に発音指導や評価を行う。録音させた音声は AI によって文字化されるため、学生はその文字を見ながら自分の録音音声を聞き、その活動を振り返る。
- オンデマンド形式で、一部の学生が授業解説を一切確認しないで課題だけ提出していることが分かったので、解説を確認しないと課題ができない様に工夫した。
- オンデマンド形式で、各自でやった課題について添付ファイルで表示してチャットで質問や意見交換をさせると、学生の発言内容が全て残っているので、対面で机間巡視しながら各グループの様子を見るよりも把握しやすいことがわかったが、タイピングが苦手な学生にはハンデがあった。
- オンデマンド形式では、学生がパソコンを開かないと学習が始まらないため、一斉メールを毎週始業時に出したりしたが、学生一人一人の学習目標を立てさせて自律学習者として自覚を促し自らが目標達成するべく学習に取り組むことに成功した者はかなりの力がついたことを実感しているが、自分はそれほど学習するつもりはなく、先生の熱意についていけないと脱落して辞めてしまった者もいて、学生の顔が見えないと教員のやり方に調整がつけにくいことを痛感した。
- 教科書のビデオ解説動画を配信した。動画作成の際には、学生の集中力を考え、あまり長くなりすぎないように要点を簡潔にわかりやすく、コンパクトに伝えるよう努めた。
- 教科書で扱ったトピックについて考えたことを英語で書き、それを WebClass の機能を用いてピア・レビューさせた。ルーブリックを用いた評価だけでなく、書かれている英文のよい点や改善点についてコメント欄にコメントしてもらった。ピア・レビューの当初の目的

は、他の人が書いた文章を批判的および分析的に読む練習を積むことで、自分の書いた文章に対する客観的な視点を養い、読者を意識した読みやすい英文が書けるようになることであった。遠隔授業においては、他の学生の取り組みを見ることで孤独感が和らぎ、自分一人で勉強しているのではなく、他の履修者も同じ課題と一緒に頑張っているという安心感につながり、それと同時に、自分のレベルがどのくらいなのかを理解し他の履修者から良い刺激をもらう機会にもなったようだ。

● 教員が一方的に教科書の内容の解説をするのではなく、学生に各パラグラフの解説を割り当て、掲示板に投稿してもらった。単に全訳をのせるだけでなく、パラグラフの要点、重要な語句や文法事項についても解説をしてもらった。担当でない履修者は、投稿された解説を読み、パラグラフの担当者が挙げているわからない点について答えたり、担当者が勘違いをしている部分や他にも重要と思われる点、気づいた点や提案、質問等を投稿させたりした。この方式は教員が履修者の理解度を図る上でも役立ったし、学生同士の学びや気づきを促す上でも役立ったと思う。学生は教科書の解説を任されることで、一定の責任が生じ、第3者でも分かりやすい解説を書こうと努力をするようになり、より教科書の内容に対する理解が深まったようだ。また、自分の解説を投稿または発表する前にわからない表現や文法事項を丁寧に調べるといった習慣も身についたようである。

● パワーポイントの資料に音声を付ける形でオンデマンド授業を行い、またその週の学習内容をドリルにして毎週掲載しました。ドリル機能を重視して manaba にしたのですが、間違えたところを正解が解るまでトライするなど、全問正解でも期間をおいて繰り返し解く学生も多く、語学学習にはドリル問題が合っていると思いました。

● 顔を合わせて対面授業を行うことができない状況下において、学生間の繋がりを作りながら、活気のある有意義な授業を行うことを心掛けた。具体的には、WebClass の掲示板を活用し、履修者同士が英語で頻繁に意見や感想などを交換する場を設けた。具体的には、学生が他の履修者の課題内容を読み、感想やコメントを投稿することができる取り組み（課題）を加え、学生のモチベーションの維持を意識した。

● 課題の提出先として、教員のみに一方向的に提出するのではなく、掲示板に英語で課題内容を投稿するという形式により、履修者が取り組み内容をすべて共有できるようにした。一人で学ぶ中でやる気の低下や不安が生じることがないように配慮した。結果として、学生は毎回の取り組みに対して、ある程度の緊張感を持って取り組んでいる様子が見られた。

● テキストを用いた授業に加え、以下のような課題を柔軟に行うことで、履修者が楽しみながら英語を学習できるように心掛けた。

[英作文の課題例 1] 自分が気に入っている製品について広告文を英語で作成する（広告主・会社側の立場に立って、消費者に気に入っている製品を宣伝する）

[英作文の課題例 2] 夏休み期間中の有意義な経験（読書、映画鑑賞、旅行など）を通して認識が変わったことや新たに発見したことに焦点を当て、詳しく英語で説明を行う

[リスニング課題例 1] 関心のあるトピックを選び、オンライン動画ニュースサイト（英語版）を利用して視聴し、内容の要約と各自の見解をまとめる

[リスニング課題例 2] 海外向けの日本を紹介する英語教養番組 Japanology Plus (NHK ワールド JAPAN) を視聴し、内容の要約と感想をまとめる

[リスニング課題例 3] 現在の社会的状況の中で他の履修者と共有したいと思う「英語の歌」について、楽曲の文化的・歴史的背景や歌詞の意味や解説などを含めて解説付きで紹介する

● manaba を利用してオンデマンド型の授業を行いました。ユニット毎にまとめの英作文を「掲示板」に投稿し、ピア・エディティングをするという活動を行ったところ、学生が思いのほか積極的に参加してくれました。ただ、個別の添削がしづらく、フィードバックに時間と手間がかかるのが難点でした。

● I was able to provide my students with a very effective and focused, 4-skill English lessons based on a variety of TED and TED-ED talks using narrated PowerPoint movies. Activities included cloze listening, pronunciation practice, discussion questions and weekly reaction paper writing assignments. In addition, students were required to join the extensive reading website ReadOasis.com and read a minimum of 200,000 words. Prints were made available for download for each lesson.

● Using Moodle, I am able to have students communicate with one another in writing or by leaving recorded messages for one another, summarize their discussions during Zoom breakout meetings, and submit presentation videos if they have been absent. Students can also have online chats in smaller groups than whole-class Zoom chats allow. I also find it useful to have resources on the Moodle site explaining to students how to use various Zoom functions such as screen sharing and collaboration using the Whiteboard.

【Zoom による授業】

● Zoom で行なった「少人数の」リーディングの授業などでは、テキストを画面に表示して説明を書き込みながら解説し、関連資料・音声・動画なども必要に応じて提示することができ、準備には時間がかかるが通常の対面授業と遜色のない、部分的にはより効果的な授業

ができたと感じている。また輪読の際、学生全員が顔を出して発表したことも対面に近い状態で互いの学習意欲を刺激し、よい効果を与えたのではないかと考えている。

● I found it useful to give students materials and activities on WebClass before having a short (30 minutes) Zoom meeting. The WebClass activities included listening practice, vocabulary quizzes, and other focused language practice that prepared them for the Zoom meeting. I sometimes also used the BBS and Wiki functions to brainstorm discussion ideas before meeting on Zoom. I could give feedback on Zoom, too.

● In the Zoom meetings, students usually spent most of the time in breakout rooms, discussing the topics introduced on WebClass, or doing speaking activities from the textbook. I usually changed the breakout rooms once every 5-10 minutes to either repeat an activity with new people, or start a new activity. This also meant that students didn't get stuck with an uncooperative partner for too long (although most students were very cooperative and tried very hard).

● I tried to make sure I visited the breakout rooms to speak to every student every week (I could usually do this, but occasionally I missed one or two students - in that case, I made sure I spoke to them first next week). This way, I avoided long lectures (as most of the input was given on WebClass prior to the Zoom meeting) and maximized the amount of time students could spend speaking, as well as the amount of time I could spend speaking to students one-on-one.

● 毎年中央棟 CALL 教室でパソコンや書画カメラを利用していたので、遠隔（Zoom オンライン）になっても、授業の構成や質に変化はありませんでした。よかった点は教室だとパソコンの立ち上げに時間がかかりますが、Zoom だとその時間が必要なく、また、遅れて来る学生がいても、オンラインの場合、教員も学生も気が散ることがなかった点です。oral の試験もオンラインで一人一人時間を指定し、待合室に入ってもらって、効率よくできました。普段黒板に書いてもらう練習問題の解答も同様です。チャットや画面共有の方が、物理的に人が動く時間を減らすことができるので、授業時間を有効に利用できました。

● 私の Zoom の授業では、頻繁に発言を促したり、ブレーキングアウトセッションをつくり、3-4 人のグループワークをして問題解決、サマリーライティングを行ったりし、それを manaba に upload して、教員がコメントを返しています。シャドーイングをするときにも小グループに分け、音が正しく拾えているか確認しています。他大学では、power point を使ってプレゼンテーションをし、フロアからの意見交換をしています。以上は、効果的であ

ったと考えております。

● 遠隔授業で初級の場合、自分で音声を聞いて音読を提出させる機会を設けたので対面授業では得られない効果があった。

【Zoom とオンデマンドの併用による授業】

● 私は今年度、第 1 学期はオンデマンドのみ、第 2 学期はオンデマンド+30 分 Zoom (希望者のみ発音練習) としました。オンデマンドでの発音学習は心配していましたが、学生の発音が全体的に良かったのが印象的でした。また第 2 学期は Zoom で発音をチェックするようにしたところ、希望者のみ参加としたので人数は少なかつたものの、参加した学生さんの発音レベルはかなり高いものとなっていました。

● Zoom とオンデマンドを併用しました。学生は毎週、オンデマンド教材で 45 分間は自習して、45 分は Zoom で 参加するという形です。クラスを半分に分け、1 グループは前半 45 分に Zoom、もう一つのグループは後半 45 分に Zoom としましたので、教員は 90 分間 Zoom で話しています。学生に聞いたところ、Zoom の方がちゃんとできるのでよい、という意見が大半でした。自分では試していないのですが、発音練習については、学生に録音させて提出させるのが効果的と聞きました。テスト問題について、ドイツ語の作文は(機械翻訳を使う人がいるので) ちょっと工夫が必要だと思います。遠隔の場合、遅刻者や欠席者がほとんどなく、その点はメリットだと思いました。

● 授業は WebClass のチャットを通してリアルタイムで行いました。チャットでもリアルタイムはよかったと言う声、そして授業内容がずっと文字で残るので助かるという声もありました。数回 Zoom も行いましたが、「先生の顔が見られてよかった」という声が複数ありました。オンデマンドであっても教員の顔を見せるのは必要ではないかと思えます。

● ドイツ語のテキストを、ネイティブの発音を真似して録音させ、それを 2 週間に 1 回提出させました。学生は何度も自分の録音を聞いて、確認したようです。飛躍的に発音がよくなった学生が複数いました。次年度は、発音のよしあしを評点に反映させるようにしてみようかと思っています。

● 毎週課題を出し、添削をして返却しましたが、学生からは時間を決めて学習を進めることができよかったと感想をもらっています。時々、Zoom で授業が進められるとよいかと思いました。テキストの内容に関する動画サイトも紹介し、学生からは好評でした。毎回の授業のハンドアウトを作成し、最後に感想・質問コーナーをつけました。時々、学生からテ

キスト内容に関する感想や、英語の勉強方法に関する質問があり、返答をしました。学生の考えや、課題がわかりました。また、テキスト以外の速読教材を送り、Rapid Reading とし て時間を計り、内容に関する感想を書いてもらいました。これは、学生が英語を読む時に何 が問題であるかよくわかったようです。

● パワポスライド+各ページに音声（他の授業でよく用いられているPDF+音声別途形式は学習しづらかったとの声）⇒音声があることで分かりやすく学習しやすかったとの声 が多数あった。文法説明に偏らないように冒頭に文化紹介+他の受講者の感想や質問を紹介 するページを設けた点も好評（感想などを共有することで、一人で学習しているという孤独 感を与えないようにするため）であった。最後に行ったアンケートによればこの授業形態 におおむね満足している学生が多かった様子であった。

● ブレイクアウトセッション（グループワーク）を活用した Zoom 授業および録画配信 は、対面に近い形との声が多かった。（添削の必要がある）課題は出しづらかったが、Zoom のチャット機能で全員が一斉に入力した作文をその場で添削するという方法は効果的だった。

・ For LABO class I used online graded readers in the first half of the semester. Students summarised the books in a weekly journal and orally in breakout room pairs. In the second half of the semester, students watched TED talks, which they summarised in their weekly journal and again orally in breakout room pairs. Students mainly kept their cameras off during class - except when I asked them to turn them on at the end to say goodbye. I tried to interact with each of the students in the class each week - with a check-in at the start of the class, and with questions directed to named students during the class. All class instructions, and links to e-readers and TED talks were stored on Moodle.

● Effective methods: I found it useful to use zoom, and WebClass for homework. For Zoom I found it useful to use the main session to explain the speaking activities and the breakout rooms for the students to practice these. During the lesson I would cycle between everyone together in the main session where I would either teach them the language point or feedback as a class to what they had discussed. I also found it useful to use a class Google Docs, which provided the framework for the lesson, and was used as a reference point along with the textbook.

● 授業で習った英文をよく音読し、それを Moodle 内にある Poodll というプラグインを 用いて録音し、それを課題として提出させた。それを教員が後で聞いて、評点をつけたり、

文字や音声でフィードバックをしたりした。音読の他に、モデル音声の後を少し遅れて文字を見ないで復唱していくシャドーイングの課題も与えたが、その録音音声に対して Poodll の AI が文字化したものがフィードバックとして提示されるため、復唱した音声がどの程度英語話者に理解されるのかを理解するよい目安となった。この授業では英語録音音声の文字化を行ったが、様々な英語のバリエーションの他に、ドイツ語、フランス語、イタリア語や中国語、朝鮮語、アラビア語、ロシア語など、センターが授業を提供している外国語についても対応しているため、今後ますますの活用が期待される。

● Zoom で授業を配信する際、コンピュータ(Mac)と手元の iPad をつないでおき、共有画面として教員の PC 画面の他に iPad の画面も共有できるようにした。Zoom の共有画面に表示された iPad の画面上では Explain Everything というアプリを用いて、PDF 書類の中に動画や音声のメディアファイルを埋め込み、PDF 書類を表示しながらそれらのメディア素材を iPad の共有画面の中で必要に応じて再生する方式をとった。特に語学の授業では必要に応じてこうした音声や動画、ブラウザー画面等を瞬時に表示し、再生できるとたいへん便利である。これに加えて、このアプリのよいところは、その画面上に Apple Pencil で直接文字や線を書き込めるところで、通常の教室場面で教員がホワイトボードに書きながら解説するのと同様のことが行える。特にテキストの内容を検討する際には、画面上にテキスト画面が適切なサイズで表示された状態で音声を聞きながらテキストを読むことになるが、教員が検討箇所を色ペンで示しながら画面上に文字や線を書き込み、学生に質問しながら内容を検討していくことが可能である。こうした指導内容を Zoom で配信することになるが、クラウド上にその動画を録画しておき、後で LMS 上にその録画先のリンクを掲載し、授業後でもその内容が再度見られるようにした。Explain Everything のアプリでも、画面上で行うこうした解説は音声付きのまま録画可能ではあるが、できあがる動画の解像度が低くあまり鮮明ではないため、Zoom の録画機能を使用する方が現実的であった。なお、この方式ではコンピュータが Mac でなければならないが、Windows PC の場合には、iPad の代わりに Wacom One という液晶タブレットを接続し、その上で上記のアプリを利用すれば、同様のことが可能である。

VIII スポーツ・健康科学センター

スポーツ・健康科学センター教員に令和4年度の授業への取り組みについてヒアリングした結果について、以下の通り記載する。

◆スポーツ・健康科学Ⅰ/Ⅱ(文学部・理学部1、2年生必修)について

・「この授業の水準に満足している」に「低すぎる」と回答する学生がいた。令和3年度はコロナ禍かつ必修の実技科目ということで、実技レベルを抑えめにした展開だったため、運動能力の高い学生には満足のいくレベルに感じられなかったのかもしれない。そこで、メインの種目だけでなくトレーニング部分についてもより運動量や技術レベルを高めた内容にした。

・「シラバス等を通してこの授業で身につけたい知識や能力をイメージしていた」という質問項目について「あまりそう思わない」と回答した学生がいたため、シラバスの授業計画をより具達的に記載した。

・「意見交換の機会は不足なく設けられていた」という質問項目で「どちらともない」と回答した学生がいたので、毎回テーマに関して議論する時間を設けた。また「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の質問項目も「どちらともない」と回答した学生がいたので、学生の日常生活に密接した話題の提供を心がけた。

◆スポーツ・健康科学Ⅲ(全学部対象選択)について

・昨年度は、「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」に、「どちらとも言えない」と回答する者が一定数いたため、毎回授業の始めにグループを作り、アイスブレイク、先週のトレーニング内容、今回のトレーニング予定等の意見交換を行い、発表してもらった。

・「シラバス等を通してこの授業で身につけたい知識や能力をイメージしていた」という質問項目について「あまりそう思わない」と回答した学生がいたため、シラバスの授業計

画をより具達的に記載した。

・授業評価アンケートの結果を踏まえ、授業全体の水準を高めるため、トレーニングの授業においてプレゼンを取り入れた。授業の前半で、半期間での目標を設定し、それに向かってトレーニング計画を立案し実施した結果を、最終回でプレゼンテーションした。プレゼンテーションスキルについても授業内で触れた上で、1人3分間のプレゼンテーションとした。この取り組みによって、自身の身体に興味を持ち、身体組成の分析・トレーニング実施を繰り返した成果を発表することができた。学習院大学における各学部のディプロマポリシーを概観すると、「分析する力」や「課題解決能力」、「伝える力」といった文言が多く使用されている。スポーツ・健康科学センターは附置機関であるものの、このような学部のディプロマポリシーに沿って授業内容も検討すべきであると考えているため、こうした取り組みを継続して行っていきたい。

第5章

資料集(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私はこの授業を次の形式で受講した

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5 全て対面	4 対面の方が 遠隔が多い	3 対面と遠隔 が半々	2 遠隔の方が 対面が多い	1 全て遠隔	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	88 4.32%	12 0.59%	5 0.25%	6 0.29%	1,918 94.20%	7 0.34%	2,036 100.00%				
外セ	語学	1,600 44.19%	349 9.64%	77 2.13%	77 2.13%	1,508 41.65%	10 0.28%	3,621 100.00%				
スポ健	演習	767 63.65%	406 33.69%	11 0.91%	8 0.66%	7 0.58%	9 0.75%	1,205 100.00%				
基礎教養	講義	448 11.05%	108 2.66%	62 1.53%	141 3.48%	3,287 81.06%	9 0.22%	4,055 100.00%				
	演習	19 0.47%	7 0.17%	2 0.05%	0 0.00%	7 0.17%	0 0.00%	35 100.00%				
	計	467 11.42%	115 2.81%	64 1.56%	141 3.45%	3,294 80.54%	9 0.22%	4,090 100.00%				
法学部	講義	524 8.23%	119 1.87%	234 3.68%	204 3.21%	5,273 82.86%	10 0.16%	6,364 100.00%				
	演習	362 69.22%	96 18.36%	16 3.06%	26 4.97%	22 4.21%	1 0.19%	523 100.00%				
	計	886 12.86%	215 3.12%	250 3.63%	230 3.34%	5,295 76.88%	11 0.16%	6,887 100.00%				
経済学部	講義	566 7.83%	220 3.04%	368 5.09%	529 7.32%	5,518 76.34%	27 0.37%	7,228 100.00%				
	演習	305 78.81%	43 11.11%	13 3.36%	7 1.81%	19 4.91%	0 0.00%	387 100.00%				
	計	871 11.44%	263 3.45%	381 5.00%	536 7.04%	5,537 72.71%	27 0.35%	7,615 100.00%				
文学部	講義	1,660 33.87%	523 10.67%	285 5.82%	160 3.26%	2,264 46.19%	9 0.18%	4,901 100.00%				
	演習	1,082 51.89%	310 14.87%	137 6.57%	100 4.80%	454 21.77%	2 0.10%	2,085 100.00%				
	計	2,742 39.25%	833 11.92%	422 6.04%	260 3.72%	2,718 38.91%	11 0.16%	6,986 100.00%				
理学部	講義	1,016 53.22%	166 8.70%	108 5.66%	88 4.61%	522 27.34%	9 0.47%	1,909 100.00%				
	演習	270 63.53%	78 18.35%	26 6.12%	16 3.76%	34 8.00%	1 0.24%	425 100.00%				
	計	1,286 55.10%	244 10.45%	134 5.74%	104 4.46%	556 23.82%	10 0.43%	2,334 100.00%				
国際社会科学部	講義	466 24.11%	213 11.02%	359 18.57%	287 14.85%	591 30.57%	17 0.88%	1,933 100.00%				
	演習	110 63.22%	45 25.86%	13 7.47%	4 2.30%	0 0.00%	2 1.15%	174 100.00%				
	語学	443 44.39%	212 21.24%	213 21.34%	122 12.22%	3 0.30%	5 0.50%	998 100.00%				
	計	1,019 32.82%	470 15.14%	585 18.84%	413 13.30%	594 19.13%	24 0.77%	3,105 100.00%				
教職課程	講義	398 40.53%	51 5.19%	263 26.78%	42 4.28%	220 22.40%	8 0.81%	982 100.00%				
	演習	312 59.32%	114 21.67%	26 4.94%	34 6.46%	34 6.46%	6 1.14%	526 100.00%				
	計	710 47.08%	165 10.94%	289 19.16%	76 5.04%	254 16.84%	14 0.93%	1,508 100.00%				
学芸員	講義	55 19.16%	10 3.48%	0 0.00%	45 15.68%	177 61.67%	0 0.00%	287 100.00%				
	演習	24 82.76%	5 17.24%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%				
	計	79 25.00%	15 4.75%	0 0.00%	45 14.24%	177 56.01%	0 0.00%	316 100.00%				
合計	10,515 26.48%	3,087 7.78%	2,218 5.59%	1,896 4.78%	21,860 55.06%	127 0.32%	39,703 100.00%					

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5 全て対面	4 対面の方が 遠隔が多い	3 対面と遠隔 が半々	2 遠隔の方が 対面が多い	1 全て遠隔	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		5,221 17.58%	1,422 4.79%	1,684 5.67%	1,502 5.06%	19,770 66.58%	96 0.32%	29,695 100.00%				
演習		3,251 60.33%	1,104 20.49%	244 4.53%	195 3.62%	579 10.74%	16 0.30%	5,389 100.00%				
語学		2,043 44.23%	561 12.15%	290 6.28%	199 4.31%	1,511 32.71%	15 0.32%	4,619 100.00%				
合計		10,515 26.48%	3,087 7.78%	2,218 5.59%	1,896 4.78%	21,860 55.06%	127 0.32%	39,703 100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 全て対面	4 対面の方が 遠隔が多い	3 対面と遠隔 が半々	2 遠隔の方が 対面が多い	1 全て遠隔				
学部1年		5,558 27.25%	1,535 7.53%	1,475 7.23%	1,101 5.40%	10,668 52.30%	59 0.29%	20,396 100.00%		
学部2年		2,989 26.76%	860 7.70%	453 4.06%	437 3.91%	6,400 57.29%	32 0.29%	11,171 100.00%		
学部3年		1,477 22.96%	530 8.24%	224 3.48%	287 4.46%	3,887 60.43%	27 0.42%	6,432 100.00%		
学部4年		458 28.77%	150 9.42%	64 4.02%	65 4.08%	846 53.14%	9 0.57%	1,592 100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 全て対面	4 対面の方が 遠隔が多い	3 対面と遠隔 が半々	2 遠隔の方が 対面が多い	1 全て遠隔					平均	標準偏差
25名以下		3,333 57.49%	808 13.94%	224 3.86%	133 2.29%	1,285 22.16%	15 0.26%	5,798 100.00%				
26～50名		3,341 45.25%	1,117 15.13%	441 5.97%	312 4.23%	2,148 29.09%	24 0.33%	7,383 100.00%				
51～100名		1,893 29.64%	530 8.30%	233 3.65%	239 3.74%	3,464 54.24%	28 0.44%	6,387 100.00%				
101～200名		1,513 19.16%	432 5.47%	646 8.18%	505 6.39%	4,774 60.45%	28 0.35%	7,898 100.00%				
201名以上		435 3.55%	200 1.63%	674 5.51%	707 5.78%	10,189 83.26%	32 0.26%	12,237 100.00%				
合計		10,515 26.48%	3,087 7.78%	2,218 5.59%	1,896 4.78%	21,860 55.06%	127 0.32%	39,703 100.00%				

Q2 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	451	1,061	366	115	35	8	2,036	3.88	0.878	3.88	0.290
		22.15%	52.11%	17.98%	5.65%	1.72%	0.39%	100.00%				
外セ	語学	917	1,939	554	167	33	11	3,621	3.98	0.821	4.00	0.343
		25.32%	53.55%	15.30%	4.61%	0.91%	0.30%	100.00%				
スポ健	演習	503	523	122	44	11	2	1,205	4.22	0.838	4.23	0.324
		41.74%	43.40%	10.12%	3.65%	0.91%	0.17%	100.00%				
基礎教養	講義	1,153	2,218	512	146	18	8	4,055	4.07	0.768	4.10	0.220
		28.43%	54.70%	12.63%	3.60%	0.44%	0.20%	100.00%				
		13	16	5	1	0	0	35				
法学部	講義	1,166	2,234	517	147	18	8	4,090	4.07	0.769	4.10	0.225
		28.51%	54.62%	12.64%	3.59%	0.44%	0.20%	100.00%				
		1,318	3,540	1,148	276	56	26	6,364				
経済学部	演習	158	249	88	20	7	1	523	4.02	0.864	4.03	0.433
		30.21%	47.61%	16.83%	3.82%	1.34%	0.19%	100.00%				
		1,476	3,789	1,236	296	63	27	6,887				
文学部	講義	21.43%	55.02%	17.95%	4.30%	0.91%	0.39%	100.00%	3.92	0.870	3.94	0.267
		1,736	3,731	1,263	349	123	26	7,228				
		157	166	43	15	5	1	387				
理学部	演習	40.57%	42.89%	11.11%	3.88%	1.29%	0.26%	100.00%	3.93	0.872	4.00	0.337
		1,893	3,897	1,306	364	128	27	7,615				
		24.86%	51.18%	17.15%	4.78%	1.68%	0.35%	100.00%				
国際社会科学部	講義	1,122	2,681	769	280	35	14	4,901	3.94	0.823	4.02	0.278
		22.89%	54.70%	15.69%	5.71%	0.71%	0.29%	100.00%				
		640	1,102	236	88	15	4	2,085				
国際社会科学部	演習	30.70%	52.85%	11.32%	4.22%	0.72%	0.19%	100.00%	3.98	0.820	4.07	0.314
		1,762	3,783	1,005	368	50	18	6,986				
		25.22%	54.15%	14.39%	5.27%	0.72%	0.26%	100.00%				
教職課程	講義	399	1,008	371	85	38	8	1,909	3.87	0.864	3.88	0.283
		20.90%	52.80%	19.43%	4.45%	1.99%	0.42%	100.00%				
		122	208	77	13	5	0	425				
国際社会科学部	演習	28.71%	48.94%	18.12%	3.06%	1.18%	0.00%	100.00%	3.89	0.860	3.91	0.285
		521	1,216	448	98	43	8	2,334				
		22.32%	52.10%	19.19%	4.20%	1.84%	0.34%	100.00%				
国際社会科学部	講義	438	1,045	316	88	30	16	1,933	3.92	0.844	3.96	0.253
		22.66%	54.06%	16.35%	4.55%	1.55%	0.83%	100.00%				
		44	67	39	16	6	2	174				
国際社会科学部	演習	25.29%	38.51%	22.41%	9.20%	3.45%	1.15%	100.00%	3.84	1.013	3.88	0.356
		279	412	199	71	31	6	998				
		27.96%	41.28%	19.94%	7.11%	3.11%	0.60%	100.00%				
国際社会科学部	語学	761	1,524	554	175	67	24	3,105	3.89	0.915	3.90	0.344
		24.51%	49.08%	17.84%	5.64%	2.16%	0.77%	100.00%				
		197	492	195	76	17	5	982				
教職課程	演習	20.06%	50.10%	19.86%	7.74%	1.73%	0.51%	100.00%	3.93	0.849	3.99	0.249
		134	254	105	26	4	3	526				
		25.48%	48.29%	19.96%	4.94%	0.76%	0.57%	100.00%				
学芸員	講義	331	746	300	102	21	8	1,508	4.01	0.891	4.04	0.236
		21.95%	49.47%	19.89%	6.76%	1.39%	0.53%	100.00%				
		62	172	46	4	2	1	287				
学芸員	演習	15	14	0	0	0	0	29	4.05	0.705	4.12	0.291
		51.72%	48.28%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
		77	186	46	4	2	1	316				
合計	講義	24.37%	58.86%	14.56%	1.27%	0.63%	0.32%	100.00%	3.96	0.841	4.01	0.327
		9,858	20,898	6,454	1,880	471	142	39,703				
合計	演習	24.83%	52.64%	16.26%	4.74%	1.19%	0.36%	100.00%	3.96	0.841	4.01	0.327
		9,858	20,898	6,454	1,880	471	142	39,703				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		6,876	15,948	4,986	1,419	354	112	29,695	3.93	0.834	3.97	0.275
		23.16%	53.71%	16.79%	4.78%	1.19%	0.38%	100.00%				
演習		1,786	2,599	715	223	53	13	5,389	4.09	0.844	4.12	0.369
		33.14%	48.23%	13.27%	4.14%	0.98%	0.24%	100.00%				
語学		1,196	2,351	753	238	64	17	4,619	3.95	0.868	3.98	0.349
		25.89%	50.90%	16.30%	5.15%	1.39%	0.37%	100.00%				
合計		9,858	20,898	6,454	1,880	471	142	39,703	3.96	0.841	4.01	0.327
		24.83%	52.64%	16.26%	4.74%	1.19%	0.36%	100.00%				

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答			
学部1年	5,070	9,978	3,768	1,213	299	68	20,396	3.90	0.892
学部2年	2,436	6,421	1,708	464	100	42	11,171	3.96	0.786
学部3年	1,765	3,620	800	174	51	22	6,432	4.07	0.758
学部4年	542	820	170	29	21	10	1,592	4.16	0.786
合計	9,858	20,898	6,454	1,880	471	142	39,703	3.96	0.841

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	平均	標準偏差
25名以下	1,752	2,884	826	250	69	17	5,798	4.04	0.851	4.05	0.378
26~50名	2,102	3,789	1,054	349	65	24	7,383	4.02	0.835	4.04	0.315
51~100名	1,476	3,447	1,076	274	91	23	6,387	3.93	0.835	3.93	0.276
101~200名	1,820	4,221	1,299	431	95	32	7,898	3.92	0.847	3.94	0.253
201名以上	2,708	6,557	2,199	576	151	46	12,237	3.91	0.834	3.92	0.197
合計	9,858	20,898	6,454	1,880	471	142	39,703	3.96	0.841	4.01	0.327

Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	474 23.28%	1,035 50.83%	347 17.04%	137 6.73%	35 1.72%	8 0.39%	2,036 100.00%	3.88	0.903	3.86	0.304
外セ	語学	1,216 33.58%	1,906 52.64%	371 10.25%	100 2.76%	21 0.58%	7 0.19%	3,621 100.00%	4.16	0.759	4.17	0.307
スホ健	演習	687 57.01%	439 36.43%	59 4.90%	17 1.41%	2 0.17%	1 0.08%	1,205 100.00%	4.49	0.673	4.49	0.249
基礎教養	講義	1,114 27.47%	2,195 54.13%	538 13.27%	161 3.97%	35 0.86%	12 0.30%	4,055 100.00%	4.04	0.803	4.06	0.252
	演習	10 28.57%	19 54.29%	5 14.29%	1 2.86%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.09	0.742	4.11	0.324
	計	1,124 27.48%	2,214 54.13%	543 13.28%	162 3.96%	35 0.86%	12 0.29%	4,090 100.00%	4.04	0.802	4.06	0.254
法学部	講義	1,407 22.11%	3,270 51.38%	1,191 18.71%	373 5.86%	91 1.43%	32 0.50%	6,364 100.00%	3.87	0.871	3.92	0.278
	演習	226 43.21%	243 46.46%	40 7.65%	11 2.10%	2 0.38%	1 0.19%	523 100.00%	4.30	0.733	4.36	0.336
	計	1,633 23.71%	3,513 51.01%	1,231 17.87%	384 5.58%	93 1.35%	33 0.48%	6,887 100.00%	3.91	0.869	4.05	0.358
経済学部	講義	1,864 25.79%	3,543 49.02%	1,226 16.96%	432 5.98%	131 1.81%	32 0.44%	7,228 100.00%	3.91	0.909	3.96	0.303
	演習	233 60.21%	131 33.85%	15 3.88%	5 1.29%	1 0.26%	2 0.52%	387 100.00%	4.53	0.661	4.53	0.308
	計	2,097 27.54%	3,674 48.25%	1,241 16.30%	437 5.74%	132 1.73%	34 0.45%	7,615 100.00%	3.95	0.908	4.10	0.396
文学部	講義	1,235 25.20%	2,614 53.34%	731 14.92%	267 5.45%	38 0.78%	16 0.33%	4,901 100.00%	3.97	0.831	4.07	0.299
	演習	849 40.72%	1,073 51.46%	120 5.76%	35 1.68%	3 0.14%	5 0.24%	2,085 100.00%	4.31	0.670	4.32	0.250
	計	2,084 29.83%	3,687 52.78%	851 12.18%	302 4.32%	41 0.59%	21 0.30%	6,986 100.00%	4.07	0.802	4.19	0.305
理学部	講義	502 26.30%	981 51.39%	290 15.19%	90 4.71%	37 1.94%	9 0.47%	1,909 100.00%	3.96	0.883	3.97	0.281
	演習	208 48.94%	174 40.94%	28 6.59%	11 2.59%	3 0.71%	1 0.24%	425 100.00%	4.35	0.776	4.38	0.234
	計	710 30.42%	1,155 49.49%	318 13.62%	101 4.33%	40 1.71%	10 0.43%	2,334 100.00%	4.03	0.878	4.06	0.318
国際社会科学部	講義	422 21.83%	943 48.78%	371 19.19%	143 7.40%	36 1.86%	18 0.93%	1,933 100.00%	3.82	0.922	3.88	0.316
	演習	77 44.25%	69 39.66%	20 11.49%	6 3.45%	0 0.00%	2 1.15%	174 100.00%	4.26	0.799	4.30	0.361
	語学	385 38.58%	462 46.29%	105 10.52%	28 2.81%	9 0.90%	9 0.90%	998 100.00%	4.20	0.807	4.19	0.363
	計	884 28.47%	1,474 47.47%	496 15.97%	177 5.70%	45 1.45%	29 0.93%	3,105 100.00%	3.97	0.900	4.08	0.382
教職課程	講義	232 23.63%	505 51.43%	171 17.41%	54 5.50%	16 1.63%	4 0.41%	982 100.00%	3.90	0.878	4.00	0.398
	演習	166 31.56%	275 52.28%	64 12.17%	14 2.66%	1 0.19%	6 1.14%	526 100.00%	4.14	0.741	4.16	0.302
	計	398 26.39%	780 51.72%	235 15.58%	68 4.51%	17 1.13%	10 0.66%	1,508 100.00%	3.98	0.841	4.09	0.354
学芸員	講義	66 23.00%	181 63.07%	28 9.76%	11 3.83%	1 0.35%	0 0.00%	287 100.00%	4.05	0.715	4.08	0.213
	演習	15 51.72%	13 44.83%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.48	0.575	4.48	0.225
	計	81 25.63%	194 61.39%	29 9.18%	11 3.48%	1 0.32%	0 0.00%	316 100.00%	4.09	0.714	4.15	0.260
合計	11,388 28.68%	20,071 50.55%	5,721 14.41%	1,896 4.78%	462 1.16%	165 0.42%	39,703 100.00%	4.01	0.854	4.13	0.344	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	7,316 24.64%	15,267 51.41%	4,893 16.48%	1,668 5.62%	420 1.41%	131 0.44%	29,695 100.00%	3.93	0.872	3.98	0.303
演習	2,471 45.85%	2,436 45.20%	352 6.53%	100 1.86%	12 0.22%	18 0.33%	5,389 100.00%	4.35	0.705	4.37	0.291
語学	1,601 34.66%	2,368 51.27%	476 10.31%	128 2.77%	30 0.65%	16 0.35%	4,619 100.00%	4.17	0.770	4.17	0.318
合計	11,388 28.68%	20,071 50.55%	5,721 14.41%	1,896 4.78%	462 1.16%	165 0.42%	39,703 100.00%	4.01	0.854	4.13	0.344

【学部生・学年別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	5,792 28.40%	10,024 49.15%	3,176 15.57%	1,074 5.27%	259 1.27%	71 0.35%	20,396 100.00%	3.98	0.876
学部2年	3,011 26.95%	5,903 52.84%	1,571 14.06%	517 4.63%	110 0.98%	59 0.53%	11,171 100.00%	4.01	0.829
学部3年	1,990 30.94%	3,345 52.01%	761 11.83%	242 3.76%	72 1.12%	22 0.34%	6,432 100.00%	4.08	0.821
学部4年	554 34.80%	735 46.17%	207 13.00%	62 3.89%	21 1.32%	13 0.82%	1,592 100.00%	4.10	0.865

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	2,377 41.00%	2,760 47.60%	487 8.40%	131 2.26%	23 0.40%	20 0.34%	5,798 100.00%	4.27	0.741	4.26	0.340
26～50名	2,623 35.53%	3,678 49.82%	743 10.06%	257 3.48%	58 0.79%	24 0.33%	7,383 100.00%	4.16	0.801	4.17	0.324
51～100名	1,663 26.04%	3,382 52.95%	931 14.58%	299 4.68%	85 1.33%	27 0.42%	6,387 100.00%	3.98	0.846	3.98	0.283
101～200名	1,841 23.31%	3,993 50.56%	1,418 17.95%	489 6.19%	120 1.52%	37 0.47%	7,898 100.00%	3.88	0.887	3.90	0.275
201名以上	2,884 23.57%	6,258 51.14%	2,142 17.50%	720 5.88%	176 1.44%	57 0.47%	12,237 100.00%	3.90	0.877	3.89	0.244
合計	11,388 28.68%	20,071 50.55%	5,721 14.41%	1,896 4.78%	462 1.16%	165 0.42%	39,703 100.00%	4.01	0.854	4.13	0.344

Q4 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	536 26.33%	994 48.82%	281 13.80%	155 7.61%	61 3.00%	9 0.44%	2036 100.00%	3.88	0.983	3.87	0.368
	外セ	1,162 32.09%	1,901 52.50%	356 9.83%	149 4.11%	44 1.22%	9 0.25%	3,621 100.00%	4.10	0.827	4.11	0.347
スホ健	演習	550 45.84%	384 31.87%	131 10.87%	69 5.73%	67 5.56%	4 0.33%	1,205 100.00%	4.07	1.138	4.05	0.477
	基礎教養	1,001 24.69%	2,038 50.26%	586 14.45%	302 7.45%	113 2.79%	15 0.37%	4,055 100.00%	3.87	0.963	3.80	0.307
法学部	講義	1,012 24.74%	2,056 50.27%	589 14.40%	303 7.41%	115 2.81%	15 0.37%	4,090 100.00%	3.87	0.963	3.81	0.309
	演習	233 44.55%	204 39.01%	48 9.18%	32 6.12%	5 0.96%	1 0.19%	523 100.00%	4.20	0.911	4.28	0.434
	計	1,642 23.84%	3,274 47.54%	1,266 18.38%	519 7.54%	143 2.08%	43 0.62%	6,887 100.00%	3.84	0.944	3.98	0.383
経済学部	講義	1,854 25.65%	3,409 47.16%	1,202 16.63%	558 7.72%	171 2.37%	34 0.47%	7,228 100.00%	3.86	0.965	3.89	0.322
	演習	201 51.94%	141 36.43%	22 5.68%	18 4.65%	5 1.29%	0 0.00%	387 100.00%	4.33	0.878	4.33	0.439
	計	2,055 26.99%	3,550 46.62%	1,224 16.07%	576 7.56%	176 2.31%	34 0.45%	7,615 100.00%	3.89	0.966	4.00	0.404
文学部	講義	1,107 22.59%	2,409 49.15%	777 15.85%	464 9.47%	131 2.67%	13 0.27%	4,901 100.00%	3.80	0.983	3.85	0.372
	演習	777 37.27%	977 46.86%	218 10.46%	92 4.41%	17 0.82%	4 0.19%	2,085 100.00%	4.16	0.839	4.17	0.368
	計	1,884 26.97%	3,386 48.47%	995 14.24%	556 7.96%	148 2.12%	17 0.24%	6,986 100.00%	3.90	0.956	4.00	0.403
理学部	講義	483 25.30%	955 50.03%	270 14.14%	143 7.49%	49 2.57%	9 0.47%	1,909 100.00%	3.88	0.957	3.88	0.381
	演習	213 50.12%	163 38.35%	33 7.76%	10 2.35%	6 1.41%	0 0.00%	425 100.00%	4.33	0.831	4.36	0.215
	計	696 29.82%	1,118 47.90%	303 12.98%	153 6.56%	55 2.36%	9 0.39%	2,334 100.00%	3.97	0.951	3.98	0.401
国際社会科学部	講義	357 18.47%	859 44.44%	378 19.56%	248 12.83%	75 3.88%	16 0.83%	1,933 100.00%	3.61	1.051	3.64	0.358
	演習	67 38.51%	76 43.68%	24 13.79%	4 2.30%	1 0.57%	2 1.15%	174 100.00%	4.19	0.802	4.19	0.261
	語学	376 37.68%	449 44.99%	108 10.82%	44 4.41%	14 1.40%	7 0.70%	998 100.00%	4.14	0.880	4.12	0.405
	計	800 25.76%	1,384 44.57%	510 16.43%	296 9.53%	90 2.90%	25 0.81%	3,105 100.00%	3.81	1.019	3.94	0.442
教職課程	講義	211 21.49%	424 43.18%	200 20.37%	99 10.08%	44 4.48%	4 0.41%	982 100.00%	3.67	1.061	3.76	0.345
	演習	144 27.38%	238 45.25%	94 17.87%	39 7.41%	7 1.33%	4 0.76%	526 100.00%	3.91	0.932	3.93	0.311
	計	355 23.54%	662 43.90%	294 19.50%	138 9.15%	51 3.38%	8 0.53%	1,508 100.00%	3.75	1.023	3.85	0.335
学芸員	講義	66 23.00%	163 56.79%	30 10.45%	23 8.01%	4 1.39%	1 0.35%	287 100.00%	3.92	0.883	3.95	0.331
	演習	9 31.03%	9 31.03%	7 24.14%	3 10.34%	3 3.45%	1 0.00%	29 100.00%	3.76	1.123	3.75	0.535
	計	75 23.73%	172 54.43%	37 11.71%	26 8.23%	7 1.58%	2 0.32%	316 100.00%	3.91	0.907	3.91	0.367
合計	10,767 27.12%	18,881 47.56%	5,986 15.08%	2,940 7.40%	955 2.41%	174 0.44%	39,703 100.00%	3.90	0.964	3.99	0.396	

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義		7,024 23.65%	14,321 48.23%	4,942 16.64%	2,479 8.35%	786 2.65%	143 0.48%	29,695 100.00%	3.82	0.974	3.84	0.348
	演習	2,205 40.92%	2,210 41.01%	580 10.76%	268 4.97%	111 2.06%	15 0.28%	5,389 100.00%	4.14	0.940	4.16	0.408
語学		1,538 33.30%	2,350 50.88%	464 10.05%	193 4.18%	58 1.26%	16 0.35%	4,619 100.00%	4.11	0.839	4.11	0.358
合計		10,767 27.12%	18,881 47.56%	5,986 15.08%	2,940 7.40%	955 2.41%	174 0.44%	39,703 100.00%	3.90	0.964	3.99	0.396

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年		5,505 26.99%	9,386 46.02%	3,211 15.74%	1,645 8.07%	564 2.77%	85 0.42%	20,396 100.00%	3.87	0.993
	学部2年	2,833 25.36%	5,556 49.74%	1,674 14.99%	816 7.30%	240 2.15%	52 0.47%	11,171 100.00%	3.89	0.939
学部3年		1,914 29.76%	3,184 49.50%	826 12.84%	369 5.74%	113 1.76%	26 0.40%	6,432 100.00%	4.00	0.904
学部4年		478 30.03%	700 43.97%	262 16.46%	105 6.60%	36 2.26%	11 0.69%	1,592 100.00%	3.94	0.967

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		2,177 37.55%	2,654 45.77%	637 10.99%	245 4.23%	74 1.28%	11 0.19%	5,798 100.00%	4.14	0.866	4.14	0.394
26～50名		2,339 31.68%	3,402 46.08%	934 12.65%	496 6.72%	185 2.51%	27 0.37%	7,383 100.00%	3.98	0.970	3.98	0.399
51～100名		1,638 25.65%	3,169 49.62%	905 14.17%	484 7.58%	163 2.55%	28 0.44%	6,387 100.00%	3.89	0.960	3.87	0.356
101～200名		1,778 22.51%	3,695 46.78%	1,365 17.28%	767 9.71%	252 3.19%	41 0.52%	7,898 100.00%	3.76	1.011	3.77	0.305
201名以上		2,835 23.17%	5,961 48.71%	2,145 17.53%	948 7.75%	281 2.30%	67 0.55%	12,237 100.00%	3.83	0.949	3.81	0.259
合計		10,767 27.12%	18,881 47.56%	5,986 15.08%	2,940 7.40%	955 2.41%	174 0.44%	39,703 100.00%	3.90	0.964	3.99	0.396

Q4-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
計セ	講義	34 1.88%	74 4.09%	210 11.60%	442 24.41%	385 21.26%	666 36.78%	1,811 100.00%	2.07	1.021	2.03	0.460
外セ	語学	43 1.26%	117 3.42%	437 12.78%	1,001 29.28%	769 22.49%	1,052 30.77%	3,419 100.00%	2.01	0.933	2.03	0.447
スポーツ	演習	37 3.47%	10 0.94%	25 2.35%	262 24.60%	307 28.83%	424 39.81%	1,065 100.00%	1.76	1.023	1.74	0.466
基礎教養	講義	33 0.91%	67 1.85%	318 8.77%	1,116 30.79%	856 23.61%	1,235 34.07%	3,625 100.00%	1.87	0.844	1.80	0.277
	演習	0 0.00%	1 3.13%	3 9.38%	10 31.25%	10 31.25%	8 25.00%	32 100.00%	1.79	0.833	1.77	0.088
	計	33 0.90%	68 1.86%	321 8.78%	1,126 30.79%	866 23.68%	1,243 33.99%	3,657 100.00%	1.87	0.843	1.80	0.272
法学部	講義	74 1.30%	193 3.39%	569 9.99%	1,656 29.07%	1,290 22.64%	1,915 33.61%	5,697 100.00%	1.97	0.933	2.02	0.322
	演習	39 8.04%	55 11.34%	67 13.81%	97 20.00%	68 14.02%	159 32.78%	485 100.00%	2.69	1.300	2.76	0.899
	計	113 1.83%	248 4.01%	636 10.29%	1,753 28.36%	1,358 21.97%	2,074 33.55%	6,182 100.00%	2.03	0.987	2.24	0.651
経済学部	講義	150 2.32%	237 3.67%	701 10.84%	1,702 26.33%	1,406 21.75%	2,269 35.10%	6,465 100.00%	2.05	1.023	2.01	0.423
	演習	20 5.49%	25 6.87%	57 15.66%	103 28.30%	41 11.26%	118 32.42%	364 100.00%	2.51	1.131	2.48	0.665
	計	170 2.49%	262 3.84%	758 11.10%	1,805 26.43%	1,447 21.19%	2,387 34.95%	6,829 100.00%	2.08	1.035	2.13	0.536
文学部	講義	39 0.91%	88 2.05%	394 9.18%	1,325 30.86%	979 22.80%	1,468 34.20%	4,293 100.00%	1.90	0.851	1.94	0.435
	演習	99 5.02%	156 7.91%	307 15.77%	497 25.28%	297 15.06%	616 31.24%	1,972 100.00%	2.46	1.164	2.42	0.648
	計	138 2.20%	244 3.89%	701 11.19%	1,822 29.08%	1,276 20.37%	2,084 33.26%	6,265 100.00%	2.08	0.999	2.16	0.594
理学部	講義	69 4.04%	131 7.67%	235 13.76%	404 23.65%	267 15.63%	602 35.25%	1,708 100.00%	2.40	1.155	2.32	0.574
	演習	112 27.38%	50 12.22%	45 11.00%	36 8.80%	34 8.31%	132 32.27%	409 100.00%	3.61	1.432	3.68	0.758
	計	181 8.55%	181 8.55%	280 13.23%	440 20.78%	301 14.22%	734 34.67%	2,117 100.00%	2.64	1.309	2.59	0.823
国際社会科学部	講義	8 0.50%	35 2.20%	163 10.23%	349 21.89%	395 24.78%	644 40.40%	1,594 100.00%	1.85	0.889	1.90	0.342
	演習	4 2.40%	12 7.19%	15 8.98%	44 26.35%	26 15.57%	66 39.52%	167 100.00%	2.25	1.090	2.26	0.683
	語学	34 3.64%	65 6.97%	97 10.40%	205 21.97%	162 17.36%	370 39.66%	933 100.00%	2.30	1.175	2.32	0.631
教職課程	講義	20 2.40%	27 3.23%	64 7.66%	230 27.54%	169 20.24%	325 38.92%	835 100.00%	2.02	1.012	1.89	0.339
	演習	8 1.68%	14 2.94%	35 7.35%	134 28.15%	134 28.15%	151 31.72%	476 100.00%	1.86	0.946	1.96	0.496
	計	28 2.14%	41 3.13%	99 7.55%	364 27.77%	303 23.11%	476 36.31%	1,311 100.00%	1.95	0.989	1.93	0.432
学芸員	講義	2 0.77%	8 3.09%	23 8.88%	112 43.24%	43 16.60%	71 27.41%	259 100.00%	2.01	0.788	2.05	0.416
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	10 40.00%	7 28.00%	8 32.00%	25 100.00%	1.59	0.507	1.61	0.283
	計	2 0.70%	8 2.82%	23 8.10%	122 42.96%	50 17.61%	79 27.82%	284 100.00%	1.98	0.776	1.97	0.426
合計	825 2.32%	1,365 3.83%	3,765 10.57%	9,735 27.32%	7,645 21.45%	12,299 34.51%	35,634 100.00%	2.06	1.019	2.11	0.584	

【形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					形態別 平均	形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
講義	429 1.63%	860 3.27%	2,677 10.18%	7,336 27.91%	5,790 22.03%	9,195 34.98%	26,287 100.00%	1.99	0.961	2.00	0.438	
演習	319 6.39%	323 6.47%	554 11.09%	1,193 23.88%	924 18.50%	1,682 33.67%	4,995 100.00%	2.37	1.251	2.35	0.790	
語学	77 1.77%	182 4.18%	534 12.27%	1,206 27.71%	931 21.39%	1,422 32.67%	4,352 100.00%	2.07	0.990	2.08	0.498	
合計	825 2.32%	1,365 3.83%	3,765 10.57%	9,735 27.32%	7,645 21.45%	12,299 34.51%	35,634 100.00%	2.06	1.019	2.11	0.584	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満				
学部1年	385 2.13%	697 3.85%	1,751 9.67%	4,725 26.10%	3,781 20.89%	6,763 37.36%	18,102 100.00%	2.05	1.018	
学部2年	222 2.21%	358 3.56%	1,074 10.67%	2,834 28.16%	2,270 22.56%	3,305 32.84%	10,063 100.00%	2.03	1.001	
学部3年	162 2.73%	227 3.83%	777 13.12%	1,853 31.28%	1,217 20.54%	1,688 28.49%	5,924 100.00%	2.12	1.008	
学部4年	47 3.26%	80 5.56%	149 10.35%	291 20.21%	360 25.00%	513 35.63%	1,440 100.00%	2.10	1.159	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
25名以下	183 3.35%	310 5.67%	692 12.66%	1,463 26.76%	1,046 19.13%	1,774 32.44%	5,468 100.00%	2.22	1.097	2.22	0.645	
26～50名	216 3.24%	255 3.82%	715 10.71%	1,808 27.09%	1,415 21.20%	2,266 33.95%	6,675 100.00%	2.10	1.070	2.08	0.619	
51～100名	160 2.80%	269 4.71%	596 10.43%	1,546 27.07%	1,150 20.13%	1,991 34.86%	5,712 100.00%	2.12	1.063	2.10	0.537	
101～200名	119 1.74%	207 3.03%	664 9.71%	1,897 27.74%	1,496 21.88%	2,455 35.90%	6,838 100.00%	1.99	0.962	1.94	0.340	
201名以上	147 1.34%	324 2.96%	1,098 10.04%	3,021 27.61%	2,538 23.20%	3,813 34.85%	10,941 100.00%	1.95	0.936	1.94	0.231	
合計	825 2.32%	1,365 3.83%	3,765 10.57%	9,735 27.32%	7,645 21.45%	12,299 34.51%	35,634 100.00%	2.06	1.019	2.11	0.584	

Q5 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	491 24.12%	1,098 53.93%	334 16.40%	81 3.98%	23 1.13%	9 0.44%	2,036 100.00%	3.96	0.817	3.98	0.319
外七	語学	1,134 31.32%	1,950 53.85%	391 10.80%	97 2.68%	37 1.02%	12 0.33%	3,621 100.00%	4.12	0.780	4.12	0.348
スポ健	演習	585 48.55%	514 42.66%	88 7.30%	9 0.75%	2 0.17%	7 0.58%	1,205 100.00%	4.39	0.672	4.38	0.242
基礎教養	講義	1,297 31.99%	2,318 57.16%	355 8.75%	52 1.28%	16 0.39%	17 0.42%	4,055 100.00%	4.20	0.677	4.22	0.199
	演習	13 37.14%	18 51.43%	3 8.57%	1 2.86%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.23	0.731	4.24	0.443
	計	1,310 32.03%	2,336 57.11%	358 8.75%	53 1.30%	16 0.39%	17 0.42%	4,090 100.00%	4.20	0.677	4.22	0.209
法学部	講義	1,644 25.83%	3,670 57.67%	789 12.40%	141 2.22%	63 0.99%	57 0.90%	6,364 100.00%	4.06	0.749	4.09	0.270
	演習	241 46.08%	236 45.12%	36 6.88%	8 1.53%	1 0.19%	1 0.19%	523 100.00%	4.36	0.695	4.37	0.279
	計	1,885 27.37%	3,906 56.72%	825 11.98%	149 2.16%	64 0.93%	58 0.84%	6,887 100.00%	4.08	0.749	4.17	0.299
経済学部	講義	2,070 28.64%	3,877 53.64%	893 12.35%	211 2.92%	137 1.90%	40 0.55%	7,228 100.00%	4.05	0.836	4.08	0.314
	演習	185 47.80%	174 44.96%	19 4.91%	7 1.81%	0 0.00%	2 0.52%	387 100.00%	4.39	0.669	4.39	0.305
	計	2,255 29.61%	4,051 53.20%	912 11.98%	218 2.86%	137 1.80%	42 0.55%	7,615 100.00%	4.07	0.832	4.16	0.339
文学部	講義	1,533 31.28%	2,751 56.13%	434 8.86%	133 2.71%	35 0.71%	15 0.31%	4,901 100.00%	4.15	0.744	4.17	0.303
	演習	780 37.41%	1,091 52.33%	152 7.29%	36 1.73%	15 0.72%	11 0.53%	2,085 100.00%	4.25	0.723	4.25	0.346
	計	2,313 33.11%	3,842 55.00%	586 8.39%	169 2.42%	50 0.72%	26 0.37%	6,986 100.00%	4.18	0.739	4.20	0.326
理学部	講義	498 26.09%	1,074 56.26%	251 13.15%	48 2.51%	30 1.57%	8 0.42%	1,909 100.00%	4.03	0.798	4.01	0.301
	演習	127 29.88%	245 57.65%	39 9.18%	11 2.59%	2 0.47%	1 0.24%	425 100.00%	4.14	0.720	4.12	0.387
	計	625 26.78%	1,319 56.51%	290 12.43%	59 2.53%	32 1.37%	9 0.39%	2,334 100.00%	4.05	0.785	4.03	0.322
国際社会科学部	講義	487 25.19%	1,059 54.79%	272 14.07%	73 3.78%	21 1.09%	21 1.09%	1,933 100.00%	4.00	0.806	4.04	0.290
	演習	67 38.51%	75 43.10%	19 10.92%	9 5.17%	2 1.15%	2 1.15%	174 100.00%	4.14	0.894	4.18	0.421
	語学	375 37.58%	448 44.89%	122 12.22%	31 3.11%	10 1.00%	12 1.20%	998 100.00%	4.16	0.834	4.14	0.432
	計	929 29.92%	1,582 50.95%	413 13.30%	113 3.64%	33 1.06%	35 1.13%	3,105 100.00%	4.06	0.823	4.10	0.382
教職課程	講義	244 24.85%	548 55.80%	143 14.56%	27 2.75%	12 1.22%	8 0.81%	982 100.00%	4.01	0.787	4.09	0.334
	演習	171 32.51%	275 52.28%	54 10.27%	19 3.61%	2 0.38%	5 0.95%	526 100.00%	4.14	0.771	4.10	0.362
	計	415 27.52%	823 54.58%	197 13.06%	46 3.05%	14 0.93%	13 0.86%	1,508 100.00%	4.06	0.784	4.10	0.347
学芸員	講義	72 25.09%	173 60.28%	27 9.41%	7 2.44%	6 2.09%	2 0.70%	287 100.00%	4.05	0.797	4.09	0.314
	演習	14 48.28%	14 48.28%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.45	0.572	4.44	0.219
	計	86 27.22%	187 59.18%	28 8.86%	7 2.22%	6 1.90%	2 0.63%	316 100.00%	4.08	0.787	4.15	0.325
合計	12,028 30.29%	21,608 54.42%	4,422 11.14%	1,001 2.52%	414 1.04%	230 0.58%	39,703 100.00%	4.11	0.775	4.15	0.335	

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		8,336 28.07%	16,568 55.79%	3,498 11.78%	773 2.60%	343 1.16%	177 0.60%	29,695 100.00%	4.08	0.777	4.10	0.300
演習		2,183 40.51%	2,642 49.03%	411 7.63%	100 1.86%	24 0.45%	29 0.54%	5,389 100.00%	4.28	0.722	4.28	0.336
語学		1,509 32.67%	2,398 51.92%	513 11.11%	128 2.77%	47 1.02%	24 0.52%	4,619 100.00%	4.13	0.792	4.13	0.364
合計		12,028 30.29%	21,608 54.42%	4,422 11.14%	1,001 2.52%	414 1.04%	230 0.58%	39,703 100.00%	4.11	0.775	4.15	0.335

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				
学部1年		6,044 29.63%	10,862 53.26%	2,665 13.07%	528 2.59%	190 0.93%	107 0.52%	20,396 100.00%	4.09	0.781
学部2年		3,166 28.34%	6,398 57.27%	1,077 9.64%	312 2.79%	143 1.28%	75 0.67%	11,171 100.00%	4.09	0.776
学部3年		2,154 33.49%	3,539 55.02%	527 8.19%	126 1.96%	57 0.89%	29 0.45%	6,432 100.00%	4.19	0.736
学部4年		618 38.82%	755 47.42%	144 9.05%	33 2.07%	23 1.44%	19 1.19%	1,592 100.00%	4.22	0.809

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない						
25名以下		2,198 37.91%	2,848 49.12%	540 9.31%	143 2.47%	42 0.72%	27 0.47%	5,798 100.00%	4.22	0.770	4.21	0.373
26~50名		2,539 34.39%	3,857 52.24%	715 9.68%	175 2.37%	57 0.77%	40 0.54%	7,383 100.00%	4.18	0.760	4.17	0.330
51~100名		1,797 28.14%	3,534 55.33%	764 11.96%	179 2.80%	85 1.33%	28 0.44%	6,387 100.00%	4.07	0.795	4.06	0.308
101~200名		2,246 28.44%	4,423 56.00%	876 11.09%	223 2.82%	83 1.05%	47 0.60%	7,898 100.00%	4.09	0.774	4.09	0.239
201名以上		3,248 26.54%	6,946 56.76%	1,527 12.48%	281 2.30%	147 1.20%	88 0.72%	12,237 100.00%	4.06	0.769	4.06	0.236
合計		12,028 30.29%	21,608 54.42%	4,422 11.14%	1,001 2.52%	414 1.04%	230 0.58%	39,703 100.00%	4.11	0.775	4.15	0.335

Q6 この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立つ

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
計セ	講義	711 34.92%	1,009 49.56%	202 9.92%	86 4.22%	22 1.08%	30 1.42%	6 0.29%	2,036 100.00%	4.13	0.836	4.12	0.387
外セ	語学	1,198 33.08%	1,924 53.13%	372 10.27%	89 2.46%	30 0.83%	8 0.22%	3,621 100.00%	4.15	0.764	4.15	0.326	
スボ健	演習	464 38.51%	469 38.92%	219 18.17%	30 2.49%	20 1.66%	3 0.25%	1,205 100.00%	4.10	0.899	4.09	0.286	
基礎教養	講義	1,527 37.66%	2,134 52.63%	303 7.47%	65 1.60%	10 0.25%	16 0.39%	4,055 100.00%	4.26	0.686	4.26	0.229	
	演習	13 37.14%	18 51.43%	3 8.57%	1 2.86%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.23	0.731	4.25	0.289	
	計	1,540 37.65%	2,152 52.62%	306 7.48%	66 1.61%	10 0.24%	16 0.39%	4,090 100.00%	4.26	0.686	4.26	0.230	
法学部	講義	1,895 29.78%	3,461 54.38%	685 10.76%	205 3.22%	73 1.15%	45 0.71%	6,364 100.00%	4.09	0.796	4.11	0.305	
	演習	237 45.32%	236 45.12%	36 6.88%	11 2.10%	3 0.57%	0 0.00%	523 100.00%	4.33	0.744	4.33	0.341	
	計	2,132 30.96%	3,697 53.68%	721 10.47%	216 3.14%	76 1.10%	45 0.65%	6,887 100.00%	4.11	0.795	4.18	0.331	
経済学部	講義	2,352 32.54%	3,547 49.07%	859 11.88%	287 3.97%	148 2.05%	35 0.48%	7,228 100.00%	4.07	0.887	4.09	0.312	
	演習	173 44.70%	155 40.05%	50 12.92%	5 1.29%	4 1.03%	0 0.00%	387 100.00%	4.26	0.809	4.25	0.389	
	計	2,525 33.16%	3,702 48.61%	909 11.94%	292 3.83%	152 2.00%	35 0.46%	7,615 100.00%	4.08	0.884	4.14	0.340	
文学部	講義	1,827 37.28%	2,485 50.70%	422 8.61%	116 2.37%	39 0.80%	12 0.24%	4,901 100.00%	4.22	0.762	4.25	0.310	
	演習	792 37.99%	1,046 50.17%	178 8.54%	44 2.11%	17 0.82%	8 0.38%	2,085 100.00%	4.23	0.757	4.23	0.377	
	計	2,619 37.49%	3,531 50.54%	600 8.59%	160 2.29%	56 0.80%	20 0.29%	6,986 100.00%	4.22	0.760	4.24	0.343	
理学部	講義	622 32.58%	945 49.50%	240 12.57%	68 3.56%	28 1.47%	6 0.31%	1,909 100.00%	4.09	0.849	4.09	0.373	
	演習	169 39.76%	210 49.41%	35 8.24%	7 1.65%	4 0.94%	0 0.00%	425 100.00%	4.25	0.753	4.26	0.316	
	計	791 33.89%	1,155 49.49%	275 11.78%	75 3.21%	32 1.37%	6 0.26%	2,334 100.00%	4.12	0.835	4.12	0.368	
国際社会科学部	講義	524 27.11%	1,021 52.82%	240 12.42%	92 4.76%	34 1.76%	22 1.14%	1,933 100.00%	4.00	0.868	3.97	0.391	
	演習	59 33.91%	75 43.10%	29 16.67%	7 4.02%	1 0.57%	3 1.72%	174 100.00%	4.08	0.854	4.07	0.416	
	語学	403 40.38%	431 43.19%	121 12.12%	27 2.71%	8 0.80%	8 0.80%	998 100.00%	4.21	0.818	4.16	0.463	
	計	986 31.76%	1,527 49.18%	390 12.56%	126 4.06%	43 1.38%	33 1.06%	3,105 100.00%	4.07	0.856	4.07	0.437	
教職課程	講義	269 27.39%	520 52.95%	134 13.65%	38 3.87%	14 1.43%	7 0.71%	982 100.00%	4.02	0.836	4.15	0.366	
	演習	180 34.22%	265 50.38%	49 9.32%	18 3.42%	9 1.71%	5 0.95%	526 100.00%	4.13	0.847	4.13	0.322	
	計	449 29.77%	785 52.06%	183 12.14%	56 3.71%	23 1.53%	12 0.80%	1,508 100.00%	4.06	0.841	4.14	0.340	
学芸員	講義	94 32.75%	153 53.31%	27 9.41%	8 2.79%	3 1.05%	2 0.70%	287 100.00%	4.15	0.782	4.21	0.337	
	演習	22 75.86%	6 20.69%	0 0.00%	0 0.00%	1 3.45%	0 0.00%	29 100.00%	4.66	0.814	4.65	0.251	
	計	116 36.71%	159 50.32%	27 8.54%	8 2.53%	4 1.27%	2 0.63%	316 100.00%	4.19	0.798	4.29	0.361	
合計	13,531 34.08%	20,110 50.65%	4,204 10.59%	1,204 3.03%	468 1.18%	186 0.47%	39,703 100.00%	4.14	0.811	4.17	0.348		

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		9,821 33.07%	15,275 51.44%	3,112 10.48%	965 3.25%	371 1.25%	151 0.51%	29,695 100.00%	4.12	0.816	4.15	0.338
演習		2,109 39.14%	2,480 46.02%	599 11.12%	123 2.28%	59 1.09%	19 0.35%	5,389 100.00%	4.20	0.809	4.21	0.360
語学		1,601 34.66%	2,355 50.99%	493 10.67%	116 2.51%	38 0.82%	16 0.35%	4,619 100.00%	4.17	0.776	4.15	0.354
合計		13,531 34.08%	20,110 50.65%	4,204 10.59%	1,204 3.03%	468 1.18%	186 0.47%	39,703 100.00%	4.14	0.811	4.17	0.348

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
学部1年		6,842 33.55%	10,043 49.24%	2,513 12.32%	685 3.36%	238 1.17%	75 0.37%	20,396 100.00%	4.11	0.830
学部2年		3,556 31.83%	6,006 53.76%	1,057 9.46%	348 3.12%	132 1.18%	72 0.64%	11,171 100.00%	4.13	0.795
学部3年		2,433 37.83%	3,285 51.07%	471 7.32%	137 2.13%	79 1.23%	27 0.42%	6,432 100.00%	4.23	0.774
学部4年		652 40.95%	722 45.35%	157 9.86%	32 2.01%	17 1.07%	12 0.75%	1,592 100.00%	4.24	0.795

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
25名以下		2,206 38.05%	2,713 46.79%	667 11.50%	138 2.38%	53 0.91%	21 0.36%	5,798 100.00%	4.19	0.799	4.19	0.378
26～50名		2,745 37.18%	3,650 49.44%	717 9.71%	174 2.36%	70 0.95%	27 0.37%	7,383 100.00%	4.20	0.782	4.19	0.334
51～100名		2,212 34.63%	3,214 50.32%	640 10.02%	214 3.35%	83 1.30%	24 0.38%	6,387 100.00%	4.14	0.825	4.12	0.372
101～200名		2,540 32.16%	4,110 52.04%	842 10.66%	262 3.32%	97 1.23%	47 0.60%	7,898 100.00%	4.11	0.814	4.12	0.271
201名以上		3,828 31.28%	6,423 52.49%	1,338 10.93%	416 3.40%	165 1.35%	67 0.55%	12,237 100.00%	4.10	0.821	4.10	0.265
合計		13,531 34.08%	20,110 50.65%	4,204 10.59%	1,204 3.03%	468 1.18%	186 0.47%	39,703 100.00%	4.14	0.811	4.17	0.348

Q7 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	496 24.36%	876 43.03%	410 20.14%	190 9.33%	57 2.80%	7	2,036 100.00%	3.77	1.011	3.84	0.413
外セ	語学	1,276 35.24%	1,758 48.55%	410 11.32%	121 3.34%	49 1.35%	7	3,621 100.00%	4.13	0.840	4.12	0.430
スポ健	演習	621 51.94%	467 38.76%	87 7.22%	20 1.66%	7 0.58%	3	1,205 100.00%	4.39	0.744	4.38	0.299
基礎教養	講義	1,420 35.02%	1,943 47.92%	483 11.91%	164 4.04%	27 0.67%	18	4,055 100.00%	4.13	0.823	4.13	0.350
	演習	12 34.29%	20 57.14%	3 8.57%	0 0.00%	0 0.00%	0	35 100.00%	4.26	0.611	4.27	0.336
	計	1,432 35.01%	1,963 48.00%	486 11.88%	164 4.01%	27 0.66%	18	4,090 100.00%	4.13	0.821	4.13	0.349
法学部	講義	1,660 26.08%	2,911 45.74%	1,193 18.75%	433 6.80%	130 2.04%	37	6,364 100.00%	3.88	0.946	3.97	0.464
	演習	308 58.89%	180 34.42%	29 5.54%	6 1.15%	0 0.00%	0	523 100.00%	4.51	0.656	4.51	0.343
	計	1,968 28.58%	3,091 44.88%	1,222 17.74%	439 6.37%	130 1.89%	37	6,887 100.00%	3.92	0.942	4.13	0.496
経済学部	講義	2,025 28.02%	3,251 44.98%	1,189 16.45%	515 7.13%	214 2.96%	34	7,228 100.00%	3.88	0.994	3.99	0.414
	演習	244 63.05%	124 32.04%	11 2.84%	6 1.55%	0 0.00%	2	387 100.00%	4.57	0.629	4.58	0.276
	計	2,269 29.80%	3,375 44.32%	1,200 15.76%	521 6.84%	214 2.81%	36	7,615 100.00%	3.92	0.990	4.14	0.461
文学部	講義	1,732 35.34%	2,369 48.34%	528 10.77%	202 4.12%	56 1.14%	14	4,901 100.00%	4.13	0.845	4.15	0.397
	演習	963 46.19%	910 43.65%	153 7.34%	37 1.77%	18 0.86%	4	2,085 100.00%	4.33	0.760	4.35	0.377
	計	2,695 38.58%	3,279 46.94%	681 9.75%	239 3.42%	74 1.06%	18	6,986 100.00%	4.19	0.826	4.25	0.401
理学部	講義	524 27.45%	965 50.55%	311 16.29%	78 4.09%	25 1.31%	6	1,909 100.00%	3.99	0.849	4.00	0.377
	演習	183 43.06%	188 44.24%	37 8.71%	11 2.59%	6 1.41%	0	425 100.00%	4.25	0.829	4.28	0.415
	計	707 30.29%	1,153 49.40%	348 14.91%	89 3.81%	31 1.33%	6	2,334 100.00%	4.04	0.851	4.05	0.400
国際社会科学部	講義	534 27.63%	923 47.75%	306 15.83%	113 5.85%	41 2.12%	16	1,933 100.00%	3.94	0.929	3.99	0.413
	演習	79 45.40%	66 37.93%	21 12.07%	4 2.30%	1 0.57%	3	174 100.00%	4.27	0.812	4.29	0.338
	語学	469 46.99%	413 41.38%	92 9.22%	18 1.80%	1 0.10%	5	998 100.00%	4.34	0.729	4.32	0.360
	計	1,082 34.85%	1,402 45.15%	419 13.49%	135 4.35%	43 1.38%	24	3,105 100.00%	4.09	0.884	4.18	0.409
教職課程	講義	291 29.63%	467 47.56%	144 14.66%	59 6.01%	18 1.83%	3	982 100.00%	3.97	0.923	3.99	0.451
	演習	176 33.46%	252 47.91%	69 13.12%	20 3.80%	4 0.76%	5	526 100.00%	4.11	0.826	4.04	0.353
	計	467 30.97%	719 47.68%	213 14.12%	79 5.24%	22 1.46%	8	1,508 100.00%	4.02	0.892	4.02	0.397
学芸員	講義	76 26.48%	152 52.96%	37 12.89%	14 4.88%	6 2.09%	2	287 100.00%	3.98	0.886	4.05	0.432
	演習	23 79.31%	6 20.69%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0	29 100.00%	4.79	0.412	4.79	0.138
	計	99 31.33%	158 50.00%	37 11.71%	14 4.43%	6 1.90%	2	316 100.00%	4.05	0.885	4.18	0.488
合計	13,112 33.03%	18,241 45.94%	5,513 13.89%	2,011 5.07%	660 1.66%	166	39,703 100.00%	4.04	0.907	4.15	0.430	

【形態別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,758 29.49%	13,857 46.66%	4,601 15.49%	1,768 5.95%	574 1.93%	137	29,695 100.00%	3.96	0.930	4.03	0.417
演習	2,609 48.41%	2,213 41.07%	410 7.61%	104 1.93%	36 0.67%	17	5,389 100.00%	4.35	0.760	4.37	0.370
語学	1,745 37.78%	2,171 47.00%	502 10.87%	139 3.01%	50 1.08%	12	4,619 100.00%	4.18	0.822	4.16	0.424
合計	13,112 33.03%	18,241 45.94%	5,513 13.89%	2,011 5.07%	660 1.66%	166	39,703 100.00%	4.04	0.907	4.15	0.430

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答			
学部1年	6,681 32.76%	9,119 44.71%	3,055 14.98%	1,131 5.55%	347 1.70%	63	20,396 100.00%	4.02	0.925
学部2年	3,359 30.07%	5,462 48.89%	1,537 13.76%	553 4.95%	196 1.75%	64	11,171 100.00%	4.01	0.894
学部3年	2,385 37.08%	2,917 45.35%	748 11.63%	264 4.10%	94 1.46%	24	6,432 100.00%	4.13	0.877
学部4年	645 40.52%	683 42.90%	168 10.55%	59 3.71%	22 1.38%	15	1,592 100.00%	4.19	0.870

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,654 45.77%	2,427 41.86%	518 8.93%	140 2.41%	43 0.74%	16	5,798 100.00%	4.30	0.789	4.28	0.432
26～50名	2,845 38.53%	3,385 45.85%	796 10.78%	253 3.43%	80 1.08%	24	7,383 100.00%	4.18	0.836	4.17	0.404
51～100名	1,924 30.12%	3,068 48.04%	937 14.67%	328 5.14%	109 1.71%	21	6,387 100.00%	4.00	0.900	4.01	0.399
101～200名	2,467 31.24%	3,767 47.70%	1,085 13.74%	412 5.22%	128 1.62%	39	7,898 100.00%	4.02	0.899	4.00	0.360
201名以上	3,222 26.33%	5,594 45.71%	2,177 17.79%	878 7.17%	300 2.45%	66	12,237 100.00%	3.87	0.968	3.88	0.419
合計	13,112 33.03%	18,241 45.94%	5,513 13.89%	2,011 5.07%	660 1.66%	166	39,703 100.00%	4.04	0.907	4.15	0.430

Q8 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	230 11.30%	449 22.05%	524 25.74%	463 22.74%	362 17.78%	8 0.39%	2,036 100.00%	2.86	1.265	2.92	0.439
外セ	語学	1,269 35.05%	1,378 38.06%	520 14.36%	292 8.06%	155 4.28%	7 0.19%	3,621 100.00%	3.92	1.094	3.94	0.668
スボ健	演習	660 54.77%	423 35.10%	92 7.63%	15 1.24%	14 1.16%	1 0.08%	1,205 100.00%	4.41	0.781	4.39	0.387
基礎教養	講義	716 17.66%	1,118 27.57%	972 23.97%	805 19.85%	435 10.73%	9 0.22%	4,055 100.00%	3.22	1.252	3.35	0.659
	演習	16 45.71%	13 37.14%	3 8.57%	3 8.57%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.20	0.933	4.23	0.602
	計	732 17.90%	1,131 27.65%	975 23.84%	808 19.76%	435 10.64%	9 0.22%	4,090 100.00%	3.22	1.253	3.39	0.677
法学部	講義	667 10.48%	1,623 25.50%	1,880 29.54%	1,328 20.87%	827 12.99%	39 0.61%	6,364 100.00%	3.00	1.188	3.07	0.446
	演習	279 53.35%	171 32.70%	53 10.13%	14 2.68%	5 0.96%	1 0.19%	523 100.00%	4.35	0.841	4.41	0.492
	計	946 13.74%	1,794 26.05%	1,933 28.07%	1,342 19.49%	832 12.08%	40 0.58%	6,887 100.00%	3.10	1.219	3.47	0.767
経済学部	講義	934 12.92%	1,711 23.67%	2,031 28.10%	1,464 20.25%	1,053 14.57%	35 0.48%	7,228 100.00%	3.00	1.244	3.11	0.515
	演習	263 67.96%	102 26.36%	13 3.36%	6 1.55%	3 0.78%	0 0.00%	387 100.00%	4.59	0.704	4.58	0.393
	計	1,197 15.72%	1,813 23.81%	2,044 26.84%	1,470 19.30%	1,056 13.87%	35 0.46%	7,615 100.00%	3.08	1.271	3.49	0.808
文学部	講義	1,063 21.69%	1,502 30.65%	1,040 21.22%	867 17.69%	412 8.41%	17 0.35%	4,901 100.00%	3.40	1.239	3.55	0.732
	演習	860 41.25%	810 38.85%	244 11.70%	116 5.56%	49 2.35%	6 0.29%	2,085 100.00%	4.11	0.977	4.13	0.639
	計	1,923 27.53%	2,312 33.09%	1,284 18.38%	983 14.07%	461 6.60%	23 0.33%	6,986 100.00%	3.61	1.212	3.83	0.748
理学部	講義	324 16.97%	704 36.88%	529 27.71%	235 12.31%	113 5.92%	4 0.21%	1,909 100.00%	3.47	1.092	3.48	0.416
	演習	202 47.53%	173 40.71%	34 8.00%	12 2.82%	4 0.94%	0 0.00%	425 100.00%	4.31	0.811	4.30	0.438
	計	526 22.54%	877 37.57%	563 24.12%	247 10.58%	117 5.01%	4 0.17%	2,334 100.00%	3.62	1.096	3.64	0.535
国際社会科学部	講義	437 22.61%	651 33.68%	400 20.69%	246 12.73%	179 9.26%	20 1.03%	1,933 100.00%	3.48	1.235	3.50	0.661
	演習	96 55.17%	59 33.91%	9 5.17%	4 2.30%	4 2.30%	2 1.15%	174 100.00%	4.39	0.875	4.44	0.361
	語学	572 57.31%	339 33.97%	64 6.41%	12 1.20%	4 0.40%	7 0.70%	998 100.00%	4.48	0.707	4.43	0.343
	計	1,105 35.59%	1,049 33.78%	473 15.23%	262 8.44%	187 6.02%	29 0.93%	3,105 100.00%	3.85	1.175	4.06	0.672
教職課程	講義	249 25.36%	269 27.39%	219 22.30%	156 15.89%	84 8.55%	5 0.51%	982 100.00%	3.45	1.263	3.50	0.837
	演習	264 50.19%	190 36.12%	47 8.94%	13 2.47%	7 1.33%	5 0.95%	526 100.00%	4.33	0.844	4.24	0.538
	計	513 34.02%	459 30.44%	266 17.64%	169 11.21%	91 6.03%	10 0.66%	1,508 100.00%	3.76	1.208	3.91	0.774
学芸員	講義	38 13.24%	94 32.75%	72 25.09%	50 17.42%	31 10.80%	2 0.70%	287 100.00%	3.20	1.199	3.26	0.588
	演習	15 51.72%	13 44.83%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.48	0.575	4.50	0.365
	計	53 16.77%	107 33.86%	73 23.10%	50 15.82%	31 9.81%	2 0.63%	316 100.00%	3.32	1.213	3.48	0.728
合計	9,154 23.06%	11,792 29.70%	8,747 22.03%	6,101 15.37%	3,741 9.42%	168 0.42%	39,703 100.00%	3.42	1.258	3.75	0.754	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差	
講義		4,658 15.69%	8,121 27.35%	7,667 25.82%	5,614 18.91%	3,496 11.77%	139 0.47%	29,695 100.00%	3.16	1.242	3.32	0.636
演習		2,655 49.27%	1,954 36.26%	496 9.20%	183 3.40%	86 1.60%	15 0.28%	5,389 100.00%	4.29	0.886	4.29	0.549
語学		1,841 39.86%	1,717 37.17%	584 12.64%	304 6.58%	159 3.44%	14 0.30%	4,619 100.00%	4.04	1.049	4.03	0.650
合計		9,154 23.06%	11,792 29.70%	8,747 22.03%	6,101 15.37%	3,741 9.42%	168 0.42%	39,703 100.00%	3.42	1.258	3.75	0.754

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				
学部1年		4,928 24.16%	5,973 29.29%	4,425 21.70%	3,040 14.90%	1,962 9.62%	68 0.33%	20,396 100.00%	3.44	1.268
学部2年		2,326 20.82%	3,522 31.53%	2,527 22.62%	1,755 15.71%	980 8.77%	61 0.55%	11,171 100.00%	3.40	1.227
学部3年		1,411 21.94%	1,816 28.23%	1,413 21.97%	1,100 17.10%	667 10.37%	25 0.39%	6,432 100.00%	3.34	1.278
学部4年		459 28.83%	446 28.02%	357 22.42%	192 12.06%	125 7.85%	13 0.82%	1,592 100.00%	3.58	1.242

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差	
25名以下		2,705 46.65%	2,034 35.08%	596 10.28%	288 4.97%	158 2.73%	17 0.29%	5,798 100.00%	4.18	0.991	4.14	0.672
26～50名		2,455 33.25%	2,566 34.76%	1,218 16.50%	766 10.38%	352 4.77%	26 0.35%	7,383 100.00%	3.82	1.146	3.80	0.705
51～100名		1,227 19.21%	1,904 29.81%	1,514 23.70%	1,056 16.53%	661 10.35%	25 0.39%	6,387 100.00%	3.31	1.247	3.33	0.626
101～200名		1,287 16.30%	2,189 27.72%	2,001 25.34%	1,485 18.80%	897 11.36%	39 0.49%	7,898 100.00%	3.19	1.242	3.23	0.566
201名以上		1,480 12.09%	3,099 25.32%	3,418 27.93%	2,506 20.48%	1,673 13.67%	61 0.50%	12,237 100.00%	3.02	1.223	3.07	0.453
合計		9,154 23.06%	11,792 29.70%	8,747 22.03%	6,101 15.37%	3,741 9.42%	168 0.42%	39,703 100.00%	3.42	1.258	3.75	0.754

Q9 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	502 24.66%	1,063 52.21%	311 15.28%	106 5.21%	47 2.31%	7 0.34%	2,036 100.00%	3.92	0.901	3.92	0.390
外セ	語学	1,331 36.76%	1,809 49.96%	316 8.73%	107 2.95%	49 1.35%	9 0.25%	3,621 100.00%	4.18	0.815	4.19	0.408
スホ健	演習	673 55.85%	464 38.51%	54 4.48%	5 0.41%	6 0.50%	3 0.25%	1,205 100.00%	4.49	0.652	4.47	0.263
基礎教養	講義	1,388 34.23%	2,241 55.27%	333 8.21%	69 1.70%	15 0.37%	9 0.22%	4,055 100.00%	4.22	0.693	4.25	0.271
	演習	14 40.00%	16 45.71%	2 5.71%	3 8.57%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.17	0.891	4.21	0.424
	計	1,402 34.28%	2,257 55.18%	335 8.19%	72 1.76%	15 0.37%	9 0.22%	4,090 100.00%	4.22	0.695	4.25	0.276
法学部	講義	1,791 28.14%	3,346 52.58%	820 12.88%	266 4.18%	92 1.45%	49 0.77%	6,364 100.00%	4.03	0.844	4.04	0.357
	演習	257 49.14%	210 40.15%	40 7.65%	11 2.10%	4 0.76%	1 0.19%	523 100.00%	4.35	0.775	4.38	0.367
	計	2,048 29.74%	3,556 51.63%	860 12.49%	277 4.02%	96 1.39%	50 0.73%	6,887 100.00%	4.05	0.843	4.14	0.391
経済学部	講義	2,101 29.07%	3,537 48.93%	967 13.38%	364 5.04%	214 2.96%	45 0.62%	7,228 100.00%	3.97	0.947	4.02	0.396
	演習	215 55.56%	147 37.98%	20 5.17%	3 0.78%	2 0.52%	0 0.00%	387 100.00%	4.47	0.680	4.47	0.334
	計	2,316 30.41%	3,684 48.38%	987 12.96%	367 4.82%	216 2.84%	45 0.59%	7,615 100.00%	3.99	0.942	4.13	0.429
文学部	講義	1,773 36.18%	2,458 50.15%	391 7.98%	191 3.90%	72 1.47%	16 0.33%	4,901 100.00%	4.16	0.840	4.23	0.377
	演習	879 42.16%	1,022 49.02%	124 5.95%	34 1.63%	21 1.01%	5 0.24%	2,085 100.00%	4.30	0.741	4.31	0.397
	計	2,652 37.96%	3,480 49.81%	515 7.37%	225 3.22%	93 1.33%	21 0.30%	6,986 100.00%	4.20	0.814	4.27	0.388
理学部	講義	500 26.19%	955 50.03%	285 14.93%	109 5.71%	48 2.51%	12 0.63%	1,909 100.00%	3.92	0.931	3.98	0.412
	演習	147 34.59%	216 50.82%	45 10.59%	12 2.82%	5 1.18%	0 0.00%	425 100.00%	4.15	0.806	4.18	0.400
	計	647 27.72%	1,171 50.17%	330 14.14%	121 5.18%	53 2.27%	12 0.51%	2,334 100.00%	3.96	0.913	4.02	0.416
国際社会科学部	講義	531 27.47%	953 49.30%	259 13.40%	118 6.10%	52 2.69%	20 1.03%	1,933 100.00%	3.94	0.949	3.95	0.423
	演習	72 41.38%	71 40.80%	16 9.20%	10 5.75%	3 1.72%	2 1.15%	174 100.00%	4.16	0.939	4.19	0.516
	語学	471 47.19%	404 40.48%	95 9.52%	13 1.30%	9 0.90%	6 0.60%	998 100.00%	4.33	0.774	4.27	0.450
	計	1,074 34.59%	1,428 45.99%	370 11.92%	141 4.54%	64 2.06%	28 0.90%	3,105 100.00%	4.07	0.913	4.13	0.470
教職課程	講義	261 26.58%	502 51.12%	150 15.27%	43 4.38%	21 2.14%	5 0.51%	982 100.00%	3.96	0.889	4.07	0.484
	演習	202 38.40%	256 48.67%	35 6.65%	22 4.18%	6 1.14%	5 0.95%	526 100.00%	4.20	0.830	4.15	0.382
	計	463 30.70%	758 50.27%	185 12.27%	65 4.31%	27 1.79%	10 0.66%	1,508 100.00%	4.04	0.876	4.12	0.428
学芸員	講義	84 29.27%	163 56.79%	23 8.01%	10 3.48%	6 2.09%	1 0.35%	287 100.00%	4.08	0.836	4.15	0.395
	演習	20 68.97%	9 31.03%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.69	0.471	4.68	0.219
	計	104 32.91%	172 54.43%	23 7.28%	10 3.16%	6 1.90%	1 0.32%	316 100.00%	4.14	0.828	4.24	0.421
合計	13,212 33.28%	19,842 49.98%	4,286 10.80%	1,496 3.77%	672 1.69%	195 0.49%	39,703 100.00%	4.10	0.859	4.18	0.413	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,931 30.08%	15,218 51.25%	3,539 11.92%	1,276 4.30%	567 1.91%	164 0.55%	29,695 100.00%	4.04	0.875	4.09	0.399
演習	2,479 46.00%	2,411 44.74%	336 6.23%	100 1.86%	47 0.87%	16 0.30%	5,389 100.00%	4.34	0.751	4.34	0.382
語学	1,802 39.01%	2,213 47.91%	411 8.90%	120 2.60%	58 1.26%	15 0.32%	4,619 100.00%	4.21	0.808	4.20	0.417
合計	13,212 33.28%	19,842 49.98%	4,286 10.80%	1,496 3.77%	672 1.69%	195 0.49%	39,703 100.00%	4.10	0.859	4.18	0.413

【学部生・学年別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答			
学部1年	6,569 32.21%	9,964 48.85%	2,554 12.52%	850 4.17%	379 1.86%	80 0.39%	20,396 100.00%	4.06	0.884
学部2年	3,589 32.13%	5,820 52.10%	1,080 9.67%	436 3.90%	175 1.57%	71 0.64%	11,171 100.00%	4.10	0.842
学部3年	2,334 36.29%	3,303 51.35%	509 7.91%	169 2.63%	89 1.38%	28 0.44%	6,432 100.00%	4.19	0.799
学部4年	670 42.09%	704 44.22%	138 8.67%	37 2.32%	28 1.76%	15 0.94%	1,592 100.00%	4.24	0.843

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答			平均	標準偏差	
25名以下	2,588 44.64%	2,565 44.24%	436 7.52%	130 2.24%	64 1.10%	15 0.26%	5,798 100.00%	4.29	0.791	4.28	0.427
26～50名	2,896 39.23%	3,597 48.72%	577 7.82%	197 2.67%	84 1.14%	32 0.43%	7,383 100.00%	4.23	0.794	4.22	0.388
51～100名	1,932 30.25%	3,236 50.67%	749 11.73%	311 4.87%	136 2.13%	23 0.36%	6,387 100.00%	4.02	0.899	4.02	0.418
101～200名	2,374 30.06%	4,024 50.95%	940 11.90%	362 4.58%	152 1.92%	46 0.58%	7,898 100.00%	4.03	0.883	4.04	0.348
201名以上	3,422 27.96%	6,420 52.46%	1,584 12.94%	496 4.05%	236 1.93%	79 0.65%	12,237 100.00%	4.01	0.866	4.03	0.319
合計	13,212 33.28%	19,842 49.98%	4,286 10.80%	1,496 3.77%	672 1.69%	195 0.49%	39,703 100.00%	4.10	0.859	4.18	0.413

Q10 この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	484 23.77%	1,084 53.24%	290 14.24%	132 6.48%	40 1.96%	6 0.29%	2,036 100.00%	3.91	0.900	3.91	0.343
外セ	語学	1,220 33.69%	1,907 52.67%	294 8.12%	159 4.39%	33 0.91%	8 0.22%	3,621 100.00%	4.14	0.811	4.15	0.362
スポ健	演習	651 54.02%	494 41.00%	49 4.07%	6 0.50%	4 0.33%	1 0.08%	1,205 100.00%	4.48	0.633	4.47	0.255
基礎教養	講義	1,387 34.20%	2,187 53.93%	336 8.29%	112 2.76%	19 0.47%	14 0.35%	4,055 100.00%	4.19	0.737	4.20	0.254
	演習	13 37.14%	17 48.57%	5 14.29%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.23	0.690	4.26	0.380
	計	1,400 34.23%	2,204 53.89%	341 8.34%	112 2.74%	19 0.46%	14 0.34%	4,090 100.00%	4.19	0.737	4.20	0.258
法学部	講義	1,684 26.46%	3,359 52.78%	847 13.31%	345 5.42%	86 1.35%	43 0.68%	6,364 100.00%	3.98	0.861	3.97	0.365
	演習	238 45.51%	217 41.49%	41 7.84%	22 4.21%	2 0.38%	3 0.57%	523 100.00%	4.28	0.813	4.27	0.417
	計	1,922 27.91%	3,576 51.92%	888 12.89%	367 5.33%	88 1.28%	46 0.67%	6,887 100.00%	4.01	0.861	4.06	0.404
経済学部	講義	1,983 27.43%	3,551 49.13%	1,038 14.36%	446 6.17%	167 2.31%	43 0.59%	7,228 100.00%	3.94	0.935	3.98	0.368
	演習	205 52.97%	155 40.05%	19 4.91%	4 1.03%	2 0.52%	2 0.52%	387 100.00%	4.45	0.687	4.44	0.289
	計	2,188 28.73%	3,706 48.67%	1,057 13.88%	450 5.91%	169 2.22%	45 0.59%	7,615 100.00%	3.96	0.931	4.10	0.403
文学部	講義	1,644 33.54%	2,603 53.11%	426 8.69%	177 3.61%	38 0.78%	13 0.27%	4,901 100.00%	4.15	0.784	4.21	0.318
	演習	830 39.81%	1,028 49.30%	138 6.62%	65 3.12%	18 0.86%	6 0.29%	2,085 100.00%	4.24	0.781	4.27	0.348
	計	2,474 35.41%	3,631 51.98%	564 8.07%	242 3.46%	56 0.80%	19 0.27%	6,986 100.00%	4.18	0.784	4.23	0.334
理学部	講義	475 24.88%	989 51.81%	254 13.31%	132 6.91%	51 2.67%	8 0.42%	1,909 100.00%	3.90	0.945	3.94	0.378
	演習	140 32.94%	210 49.41%	49 11.53%	18 4.24%	8 1.88%	0 0.00%	425 100.00%	4.07	0.893	4.10	0.373
	計	615 26.35%	1,199 51.37%	303 12.98%	150 6.43%	59 2.53%	8 0.34%	2,334 100.00%	3.93	0.936	3.97	0.382
国際社会科学部	講義	465 24.06%	957 49.51%	325 16.81%	115 5.95%	49 2.53%	22 1.14%	1,933 100.00%	3.88	0.933	3.87	0.409
	演習	71 40.80%	65 37.36%	23 13.22%	11 6.32%	2 1.15%	2 1.15%	174 100.00%	4.12	0.948	4.17	0.484
	語学	403 40.38%	440 44.09%	97 9.72%	42 4.21%	4 1.10%	5 0.50%	998 100.00%	4.19	0.858	4.13	0.448
	計	939 30.24%	1,462 47.09%	445 14.33%	168 5.41%	62 2.00%	29 0.93%	3,105 100.00%	3.99	0.922	4.03	0.455
教職課程	講義	273 27.80%	502 51.12%	148 15.07%	35 3.56%	16 1.63%	8 0.81%	982 100.00%	4.01	0.851	4.08	0.399
	演習	206 39.16%	247 46.96%	49 9.32%	14 2.66%	5 0.95%	5 0.95%	526 100.00%	4.22	0.798	4.20	0.352
	計	479 31.76%	749 49.67%	197 13.06%	49 3.25%	21 1.39%	13 0.86%	1,508 100.00%	4.08	0.839	4.15	0.376
学芸員	講義	83 28.92%	173 60.28%	20 6.97%	7 2.44%	4 1.39%	0 0.00%	287 100.00%	4.13	0.753	4.16	0.279
	演習	20 68.97%	8 27.59%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.66	0.553	4.65	0.190
	計	103 32.59%	181 57.28%	21 6.65%	7 2.22%	4 1.27%	0 0.00%	316 100.00%	4.18	0.752	4.25	0.323
合計	12,475 31.42%	20,193 50.86%	4,449 11.21%	1,842 4.64%	555 1.40%	189 0.48%	39,703 100.00%	4.07	0.858	4.14	0.383	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差	
講義		8,478 28.55%	15,405 51.88%	3,684 12.41%	1,501 5.05%	470 1.58%	157 0.53%	29,695 100.00%	4.01	0.871	4.05	0.368
演習		2,374 44.05%	2,441 45.30%	374 6.94%	140 2.60%	41 0.76%	19 0.35%	5,389 100.00%	4.30	0.772	4.30	0.358
語学		1,623 35.14%	2,347 50.81%	391 8.47%	201 4.35%	44 0.95%	13 0.28%	4,619 100.00%	4.15	0.822	4.14	0.378
合計		12,475 31.42%	20,193 50.86%	4,449 11.21%	1,842 4.64%	555 1.40%	189 0.48%	39,703 100.00%	4.07	0.858	4.14	0.383

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				
学部1年		6,293 30.85%	10,138 49.71%	2,562 12.56%	1,037 5.08%	285 1.40%	81 0.40%	20,396 100.00%	4.04	0.875
学部2年		3,301 29.55%	5,924 53.03%	1,178 10.55%	538 4.82%	161 1.44%	69 0.62%	11,171 100.00%	4.05	0.852
学部3年		2,206 34.30%	3,352 52.11%	542 8.43%	214 3.33%	90 1.40%	28 0.44%	6,432 100.00%	4.15	0.816
学部4年		631 39.64%	724 45.48%	157 9.86%	50 3.14%	19 1.19%	11 0.69%	1,592 100.00%	4.20	0.833

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差	
25名以下		2,388 41.19%	2,691 46.41%	467 8.05%	185 3.19%	50 0.86%	17 0.29%	5,798 100.00%	4.24	0.801	4.23	0.395
26～50名		2,741 37.13%	3,695 50.05%	581 7.87%	282 3.82%	64 0.87%	20 0.27%	7,383 100.00%	4.19	0.804	4.18	0.364
51～100名		1,817 28.45%	3,309 51.81%	749 11.73%	357 5.59%	123 1.93%	32 0.50%	6,387 100.00%	4.00	0.896	3.99	0.374
101～200名		2,221 28.12%	4,060 51.41%	979 12.40%	454 5.75%	144 1.82%	40 0.51%	7,898 100.00%	3.99	0.896	4.00	0.336
201名以上		3,308 27.03%	6,438 52.61%	1,673 13.67%	564 4.61%	174 1.42%	80 0.65%	12,237 100.00%	4.00	0.851	4.00	0.285
合計		12,475 31.42%	20,193 50.86%	4,449 11.21%	1,842 4.64%	555 1.40%	189 0.48%	39,703 100.00%	4.07	0.858	4.14	0.383

Q10-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5 多い	4 少ない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	155 90.12%	14 8.14%	3 1.74%	172 100.00%	--	--	--	--
外セ	語学	123 64.06%	63 32.81%	6 3.13%	192 100.00%	--	--	--	--
スポ健	演習	8 80.00%	1 10.00%	1 10.00%	10 100.00%	--	--	--	--
基礎教養	講義	99 75.57%	30 22.90%	2 1.53%	131 100.00%	--	--	--	--
	演習	0 --	0 --	0 0.00%	0 --	--	--	--	--
	計	99 75.57%	30 22.90%	2 1.53%	131 100.00%	--	--	--	--
法学部	講義	387 89.79%	38 8.82%	6 1.39%	431 100.00%	--	--	--	--
	演習	19 79.17%	4 16.67%	1 4.17%	24 100.00%	--	--	--	--
	計	406 89.23%	42 9.23%	7 1.54%	455 100.00%	--	--	--	--
経済学部	講義	527 85.97%	64 10.44%	22 3.59%	613 100.00%	--	--	--	--
	演習	2 33.33%	3 50.00%	1 16.67%	6 100.00%	--	--	--	--
	計	529 85.46%	67 10.82%	23 3.72%	619 100.00%	--	--	--	--
文学部	講義	165 76.74%	44 20.47%	6 2.79%	215 100.00%	--	--	--	--
	演習	62 74.70%	21 25.30%	0 0.00%	83 100.00%	--	--	--	--
	計	227 76.17%	65 21.81%	6 2.01%	298 100.00%	--	--	--	--
理学部	講義	163 89.07%	15 8.20%	5 2.73%	183 100.00%	--	--	--	--
	演習	25 96.15%	1 3.85%	0 0.00%	26 100.00%	--	--	--	--
	計	188 89.95%	16 7.66%	5 2.39%	209 100.00%	--	--	--	--
国際社会科学部	講義	138 84.15%	21 12.80%	5 3.05%	164 100.00%	--	--	--	--
	演習	10 76.92%	3 23.08%	0 0.00%	13 100.00%	--	--	--	--
	語学	27 50.94%	25 47.17%	1 1.89%	53 100.00%	--	--	--	--
	計	175 76.09%	49 21.30%	6 2.61%	230 100.00%	--	--	--	--
教職課程	講義	31 60.78%	18 35.29%	2 3.92%	51 100.00%	--	--	--	--
	演習	11 57.89%	6 31.58%	2 10.53%	19 100.00%	--	--	--	--
	計	42 60.00%	24 34.29%	4 5.71%	70 100.00%	--	--	--	--
学芸員	講義	5 45.45%	6 54.55%	0 0.00%	11 100.00%	--	--	--	--
	演習	0 --	0 --	0 0.00%	0 --	--	--	--	--
	計	5 45.45%	6 54.55%	0 0.00%	11 100.00%	--	--	--	--
合計		1,957 81.64%	377 15.73%	63 2.63%	2,397 100.00%	--	--	--	--

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5 多い	4 少ない	無回答	計	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,670 84.73%	250 12.68%	51 2.59%	1,971 100.00%	--	--
演習	137 75.69%	39 21.55%	5 2.76%	181 100.00%	--	--
語学	150 61.22%	88 35.92%	7 2.86%	245 100.00%	--	--
合計	1,957 81.64%	377 15.73%	63 2.63%	2,397 100.00%	--	--

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 多い	4 少ない	無回答	計		
学部1年	1,061 80.26%	223 16.87%	38 2.87%	1,322 100.00%	--	--
学部2年	595 85.12%	88 12.59%	16 2.29%	699 100.00%	--	--
学部3年	259 85.20%	36 11.84%	9 2.96%	304 100.00%	--	--
学部4年	40 57.97%	29 42.03%	0 0.00%	69 100.00%	--	--

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5 多い	4 少ない	無回答	計	平均	標準偏差
25名以下	145 61.70%	85 36.17%	5 2.13%	235 100.00%	--	--
26～50名	267 77.17%	69 19.94%	10 2.89%	346 100.00%	--	--
51～100名	407 84.79%	60 12.50%	13 2.71%	480 100.00%	--	--
101～200名	511 85.45%	76 12.71%	11 1.84%	598 100.00%	--	--
201名以上	627 84.96%	87 11.79%	24 3.25%	738 100.00%	--	--
合計	1,957 81.64%	377 15.73%	63 2.63%	2,397 100.00%	--	--

Q11 この授業の水準に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	485 23.82%	1,111 54.57%	317 15.57%	81 3.88%	28 1.38%	14 0.69%	2,036 100.00%	3.96	0.825	3.95	0.341
外セ	語学	1,194 32.97%	1,934 53.41%	332 9.17%	118 3.26%	35 0.97%	8 0.22%	3,621 100.00%	4.14	0.787	4.15	0.354
スボ健	演習	677 56.18%	463 38.42%	42 3.49%	9 0.75%	6 0.50%	8 0.66%	1,205 100.00%	4.50	0.653	4.49	0.249
基礎教養	講義	1,381 34.06%	2,236 55.14%	338 8.34%	62 1.53%	15 0.37%	23 0.57%	4,055 100.00%	4.22	0.689	4.22	0.273
	演習	15 42.86%	16 45.71%	4 11.43%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.31	0.676	4.36	0.386
	計	1,396 34.13%	2,252 55.06%	342 8.36%	62 1.52%	15 0.37%	23 0.56%	4,090 100.00%	4.22	0.689	4.23	0.277
法学部	講義	1,605 25.22%	3,516 55.25%	856 13.45%	267 4.20%	71 1.12%	49 0.77%	6,364 100.00%	4.00	0.812	4.01	0.327
	演習	242 46.27%	223 42.64%	37 7.07%	18 3.44%	1 0.19%	2 0.38%	523 100.00%	4.32	0.769	4.33	0.378
	計	1,847 26.82%	3,739 54.29%	893 12.97%	285 4.14%	72 1.05%	51 0.74%	6,887 100.00%	4.02	0.814	4.10	0.373
経済学部	講義	1,946 26.92%	3,626 50.17%	1,174 16.24%	304 4.21%	135 1.87%	43 0.59%	7,228 100.00%	3.97	0.878	4.00	0.344
	演習	213 55.04%	151 39.02%	18 4.65%	4 1.03%	1 0.26%	0 0.00%	387 100.00%	4.48	0.661	4.46	0.334
	計	2,159 28.35%	3,777 49.60%	1,192 15.65%	308 4.04%	136 1.79%	43 0.56%	7,615 100.00%	3.99	0.876	4.12	0.396
文学部	講義	1,647 33.61%	2,591 52.87%	465 9.49%	123 2.51%	39 0.80%	36 0.73%	4,901 100.00%	4.17	0.761	4.22	0.323
	演習	846 40.58%	1,032 49.50%	153 7.34%	34 1.63%	9 0.43%	11 0.53%	2,085 100.00%	4.29	0.710	4.30	0.327
	計	2,493 35.69%	3,623 51.86%	618 8.85%	157 2.25%	48 0.69%	47 0.67%	6,986 100.00%	4.20	0.748	4.26	0.327
理学部	講義	463 24.25%	1,004 52.59%	305 15.98%	98 5.13%	32 1.68%	7 0.37%	1,909 100.00%	3.93	0.870	3.96	0.349
	演習	147 34.59%	215 50.59%	48 11.29%	11 2.59%	3 0.71%	1 0.24%	425 100.00%	4.16	0.777	4.16	0.442
	計	610 26.14%	1,219 52.23%	353 15.12%	109 4.67%	35 1.50%	8 0.34%	2,334 100.00%	3.97	0.858	4.00	0.377
国際社会科学部	講義	461 23.85%	1,024 52.97%	314 16.24%	82 4.24%	30 1.55%	22 1.14%	1,933 100.00%	3.94	0.846	3.94	0.383
	演習	65 37.36%	82 47.13%	20 11.49%	5 2.87%	0 0.00%	2 1.15%	174 100.00%	4.20	0.757	4.22	0.352
	語学	397 39.78%	453 45.39%	101 10.12%	28 2.81%	10 1.00%	9 0.90%	998 100.00%	4.21	0.814	4.17	0.431
	計	923 29.73%	1,559 50.21%	435 14.01%	115 3.70%	40 1.29%	33 1.06%	3,105 100.00%	4.04	0.841	4.08	0.419
教職課程	講義	268 27.29%	526 53.56%	147 14.97%	25 2.55%	9 0.92%	7 0.71%	982 100.00%	4.05	0.781	4.12	0.393
	演習	197 37.45%	254 48.29%	54 10.27%	6 0.95%	8 1.52%	8 1.52%	526 100.00%	4.21	0.787	4.19	0.362
	計	465 30.84%	780 51.72%	201 13.33%	30 1.99%	17 1.13%	15 0.99%	1,508 100.00%	4.10	0.787	4.16	0.375
学芸員	講義	89 31.01%	163 56.79%	24 8.36%	6 2.09%	3 1.05%	2 0.70%	287 100.00%	4.15	0.744	4.19	0.335
	演習	21 72.41%	7 24.14%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	29 100.00%	4.69	0.541	4.68	0.186
	計	110 34.81%	170 53.80%	25 7.81%	6 1.90%	3 0.95%	2 0.63%	316 100.00%	4.20	0.743	4.28	0.365
合計	12,359 31.13%	20,627 51.95%	4,750 11.96%	1,280 3.22%	435 1.10%	252 0.63%	39,703 100.00%	4.09	0.809	4.17	0.371	

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義		8,345 28.10%	15,797 53.20%	3,940 13.27%	1,048 3.53%	362 1.22%	203 0.68%	29,695 100.00%	4.04	0.817	4.08	0.353
演習		2,423 44.96%	2,443 45.33%	377 7.00%	86 1.60%	28 0.52%	32 0.59%	5,389 100.00%	4.33	0.723	4.34	0.346
語学		1,591 34.44%	2,387 51.68%	433 9.37%	146 3.16%	45 0.97%	17 0.37%	4,619 100.00%	4.16	0.793	4.16	0.369
合計		12,359 31.13%	20,627 51.95%	4,750 11.96%	1,280 3.22%	435 1.10%	252 0.63%	39,703 100.00%	4.09	0.809	4.17	0.371

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
学部1年		6,225 30.52%	10,356 50.77%	2,741 13.44%	748 3.67%	225 1.10%	101 0.50%	20,396 100.00%	4.06	0.828
学部2年		3,237 28.98%	6,133 54.90%	1,241 11.11%	341 3.05%	124 1.11%	95 0.85%	11,171 100.00%	4.09	0.788
学部3年		2,198 34.17%	3,357 52.19%	613 9.53%	156 2.43%	71 1.10%	37 0.58%	6,432 100.00%	4.17	0.781
学部4年		654 41.08%	720 45.23%	153 9.61%	33 2.07%	13 0.82%	19 1.19%	1,592 100.00%	4.25	0.780

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
25名以下		2,381 41.07%	2,735 47.17%	464 8.00%	138 2.38%	46 0.79%	34 0.59%	5,798 100.00%	4.26	0.770	4.25	0.385
26～50名		2,781 37.67%	3,670 49.71%	634 8.59%	203 2.75%	54 0.73%	41 0.56%	7,383 100.00%	4.22	0.772	4.21	0.362
51～100名		1,787 27.98%	3,422 53.58%	835 13.07%	216 3.38%	89 1.39%	38 0.59%	6,387 100.00%	4.04	0.821	4.02	0.354
101～200名		2,179 27.59%	4,204 53.23%	1,054 13.35%	314 3.98%	92 1.16%	55 0.70%	7,898 100.00%	4.03	0.823	4.04	0.297
201名以上		3,231 26.40%	6,596 53.90%	1,763 14.41%	409 3.34%	154 1.26%	84 0.69%	12,237 100.00%	4.02	0.812	4.02	0.287
合計		12,359 31.13%	20,627 51.95%	4,750 11.96%	1,280 3.22%	435 1.10%	252 0.63%	39,703 100.00%	4.09	0.809	4.17	0.371

Q11-2 授業の水準について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		高すぎる	低すぎる						
計七	講義	84 77.06%	23 21.10%	2	109	1.83%	100.00%	-	-
外七	語学	76 49.67%	67 43.79%	10 6.54%	153	100.00%	-	-	-
スポ健	演習	11 73.33%	3 20.00%	1 6.67%	15	100.00%	-	-	-
基礎教養	講義	50 64.94%	24 31.17%	3 3.90%	77	100.00%	-	-	-
	演習	0	0	0	0	0.00%	-	-	-
	計	50 64.94%	24 31.17%	3 3.90%	77	100.00%	-	-	-
法学部	講義	301 89.05%	27 7.99%	10 2.96%	338	100.00%	-	-	-
	演習	15 78.95%	1 5.26%	3 15.79%	19	100.00%	-	-	-
	計	316 88.52%	28 7.84%	13 3.64%	357	100.00%	-	-	-
経済学部	講義	311 70.84%	99 22.55%	29 6.61%	439	100.00%	-	-	-
	演習	3 60.00%	2 40.00%	0 0.00%	5	100.00%	-	-	-
	計	314 70.72%	101 22.75%	29 6.53%	444	100.00%	-	-	-
文学部	講義	120 74.07%	37 22.84%	5 3.09%	162	100.00%	-	-	-
	演習	32 74.42%	11 25.58%	0 0.00%	43	100.00%	-	-	-
	計	152 74.15%	48 23.41%	5 2.44%	205	100.00%	-	-	-
理学部	講義	111 85.38%	16 12.31%	3 2.31%	130	100.00%	-	-	-
	演習	13 92.86%	1 7.14%	0 0.00%	14	100.00%	-	-	-
	計	124 86.11%	17 11.81%	3 2.08%	144	100.00%	-	-	-
国際社会科学部	講義	87 77.68%	21 18.75%	4 3.57%	112	100.00%	-	-	-
	演習	4 80.00%	1 20.00%	0 0.00%	5	100.00%	-	-	-
	語学	13 34.21%	25 65.79%	0 0.00%	38	100.00%	-	-	-
	計	104 67.10%	47 30.32%	4 2.58%	155	100.00%	-	-	-
教職課程	講義	16 47.06%	15 44.12%	3 8.82%	34	100.00%	-	-	-
	演習	3 23.08%	8 61.54%	2 15.38%	13	100.00%	-	-	-
	計	19 40.43%	23 48.94%	5 10.64%	47	100.00%	-	-	-
学芸員	講義	1 11.11%	7 77.78%	1 11.11%	9	100.00%	-	-	-
	演習	0	0	0	0	0.00%	-	-	-
	計	1 11.11%	7 77.78%	1 11.11%	9	100.00%	-	-	-
合計	1,251 72.94%	388 22.62%	76 4.43%	1,715	100.00%	-	-	-	-

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,081 76.67%	269 19.08%	60 4.26%	1,410	100.00%	-
演習	81 71.05%	27 23.68%	6 5.26%	114	100.00%	-
語学	89 46.60%	92 48.17%	10 5.24%	191	100.00%	-
合計	1,251 72.94%	388 22.62%	76 4.43%	1,715	100.00%	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
学部1年	680 69.89%	244 25.08%	49 5.04%	973	100.00%	-
学部2年	365 78.49%	85 18.28%	15 3.23%	465	100.00%	-
学部3年	178 78.41%	38 16.74%	11 4.85%	227	100.00%	-
学部4年	26 56.52%	19 41.30%	1 2.17%	46	100.00%	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	平均	標準偏差
25名以下	104 56.52%	75 40.76%	5 2.72%	184	100.00%	-
26~50名	173 67.32%	71 27.63%	13 5.06%	257	100.00%	-
51~100名	236 77.38%	60 19.67%	9 2.95%	305	100.00%	-
101~200名	325 80.05%	71 17.49%	10 2.46%	406	100.00%	-
201名以上	413 73.36%	111 19.72%	39 6.93%	563	100.00%	-
合計	1,251 72.94%	388 22.62%	76 4.43%	1,715	100.00%	-

Q12 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	458	988	404	125	41	20	2,036	3.84	0.913	3.89	0.322
		22.50%	48.53%	19.84%	6.14%	2.01%	0.88%	100.00%				
外セ	語学	1,062	1,911	463	129	46	10	3,621	4.06	0.823	4.07	0.369
		29.33%	52.78%	12.79%	3.56%	1.27%	0.28%	100.00%				
スポ健	演習	576	461	130	29	8	1	1,205	4.30	0.807	4.29	0.318
		47.80%	38.26%	10.79%	2.41%	0.66%	0.08%	100.00%				
基礎教養	講義	1,608	2,051	307	58	10	21	4,055	4.29	0.688	4.31	0.223
		39.65%	50.58%	7.57%	1.43%	0.25%	0.52%	100.00%				
		15	14	4	0	2	0	35				
法学部	講義	1,623	2,065	311	58	12	21	4,090	4.29	0.691	4.30	0.234
		39.68%	50.49%	7.60%	1.42%	0.29%	0.51%	100.00%				
		1,705	3,465	877	200	64	53	6,364				
経済学部	講義	26.79%	54.45%	13.78%	3.14%	1.01%	0.83%	100.00%	4.04	0.791	4.10	0.271
		253	226	34	5	4	1	523				
		48.37%	43.21%	6.50%	0.96%	0.76%	0.19%	100.00%				
文学部	講義	1,958	3,691	911	205	68	54	6,887	4.06	0.791	4.19	0.342
		28.43%	53.59%	13.23%	2.98%	0.99%	0.78%	100.00%				
		1,994	3,577	1,132	342	142	41	7,228				
理学部	講義	27.59%	49.49%	15.66%	4.73%	1.96%	0.57%	100.00%	3.97	0.896	4.01	0.318
		223	137	17	5	5	0	387				
		57.62%	35.40%	4.39%	1.29%	1.29%	0.00%	100.00%				
国際社会科学部	講義	2,217	3,714	1,149	347	147	41	7,615	3.99	0.896	4.13	0.385
		29.11%	48.77%	15.09%	4.56%	1.93%	0.54%	100.00%				
		1,855	2,472	376	145	32	21	4,901				
教職課程	講義	37.85%	50.44%	7.67%	2.96%	0.65%	0.43%	100.00%	4.22	0.765	4.29	0.295
		898	977	148	44	15	3	2,085				
		43.07%	46.86%	7.10%	2.11%	0.72%	0.14%	100.00%				
国際社会科学部	講義	2,753	3,449	524	189	47	24	6,986	4.25	0.761	4.30	0.333
		39.41%	49.37%	7.50%	2.71%	0.67%	0.34%	100.00%				
		518	967	287	90	34	13	1,909				
学芸員	講義	27.13%	50.65%	15.03%	4.71%	1.78%	0.68%	100.00%	3.97	0.881	4.00	0.311
		169	198	47	9	2	0	425				
		39.76%	46.59%	11.06%	2.12%	0.47%	0.00%	100.00%				
国際社会科学部	講義	687	1,165	334	99	36	13	2,334	4.02	0.866	4.05	0.334
		29.43%	49.91%	14.31%	4.24%	1.54%	0.56%	100.00%				
		494	990	309	94	25	21	1,933				
学芸員	演習	25.56%	51.22%	15.99%	4.86%	1.29%	1.09%	100.00%	3.96	0.856	3.97	0.339
		60	81	22	7	2	2	174				
		34.48%	46.55%	12.64%	4.02%	1.15%	1.15%	100.00%				
学芸員	語学	353	441	160	30	7	7	998	4.11	0.831	4.09	0.371
		35.37%	44.19%	16.03%	3.01%	0.70%	0.70%	100.00%				
		907	1,512	491	131	34	30	3,105				
学芸員	講義	29.21%	48.70%	15.81%	4.22%	1.10%	0.97%	100.00%	4.02	0.851	4.05	0.368
		299	501	126	38	11	7	982				
		30.45%	51.02%	12.83%	3.87%	1.12%	0.71%	100.00%				
学芸員	演習	209	248	38	17	8	6	526	4.22	0.836	4.20	0.380
		39.73%	47.15%	7.22%	3.23%	1.52%	1.14%	100.00%				
		508	749	164	55	19	13	1,508				
学芸員	講義	33.69%	49.67%	10.88%	3.65%	1.26%	0.86%	100.00%	4.12	0.835	4.17	0.383
		105	157	20	1	2	2	287				
		36.59%	54.70%	6.97%	0.35%	0.70%	0.70%	100.00%				
学芸員	演習	23	6	0	0	0	0	29	4.79	0.412	4.79	0.088
		79.31%	20.69%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
		128	163	20	1	2	2	316				
合計	講義	40.51%	51.58%	6.33%	0.32%	0.63%	0.63%	100.00%	4.32	0.664	4.39	0.301
		12,877	19,868	4,901	1,368	460	229	39,703				
		32.43%	50.04%	12.34%	3.45%	1.16%	0.58%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差	
講義		9,036	15,168	3,838	1,093	361	199	29,695	4.07	0.831	4.12	0.334
		30.43%	51.08%	12.92%	3.68%	1.22%	0.67%	100.00%				
演習		2,426	2,348	440	116	46	13	5,389	4.30	0.779	4.31	0.372
		45.02%	43.57%	8.16%	2.15%	0.85%	0.24%	100.00%				
語学		1,415	2,352	623	159	53	17	4,619	4.07	0.825	4.07	0.369
		30.63%	50.92%	13.49%	3.44%	1.15%	0.37%	100.00%				
合計		12,877	19,868	4,901	1,368	460	229	39,703	4.10	0.827	4.16	0.366
		32.43%	50.04%	12.34%	3.45%	1.16%	0.58%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				
学部1年		6,358	9,891	2,958	846	241	102	20,396	4.05	0.855
		31.17%	48.49%	14.50%	4.15%	1.18%	0.50%	100.00%		
学部2年		3,399	5,978	1,233	355	130	76	11,171	4.10	0.801
		30.43%	53.51%	11.04%	3.18%	1.16%	0.68%	100.00%		
学部3年		2,350	3,266	576	137	70	33	6,432	4.20	0.775
		36.54%	50.78%	8.96%	2.13%	1.09%	0.51%	100.00%		
学部4年		719	677	132	28	18	18	1,592	4.30	0.789
		45.16%	42.53%	8.29%	1.76%	1.13%	1.13%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差	
25名以下		2,279	2,695	591	150	62	21	5,798	4.21	0.809	4.21	0.410
		39.31%	46.48%	10.19%	2.59%	1.07%	0.36%	100.00%				
26～50名		2,813	3,540	747	200	57	26	7,383	4.20	0.788	4.21	0.339
		38.10%	47.95%	10.12%	2.71%	0.77%	0.35%	100.00%				
51～100名		1,953	3,175	842	275	94	48	6,387	4.04	0.864	4.05	0.349
		30.58%	49.71%	13.18%	4.31%	1.47%	0.75%	100.00%				
101～200名		2,417	4,086	965	284	95	51	7,898	4.08	0.824	4.08	0.269
		30.60%	51.73%	12.22%	3.60%	1.20%	0.65%	100.00%				
201名以上		3,415	6,372	1,756	459	152	83	12,237	4.02	0.830	4.03	0.274
		27.91%	52.07%	14.35%	3.75%	1.24%	0.68%	100.00%				
合計		12,877	19,868	4,901	1,368	460	229	39,703	4.10	0.827	4.16	0.366
		32.43%	50.04%	12.34%	3.45%	1.16%	0.58%	100.00%				

Q13 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	630 30.84%	1,096 53.83%	227 11.15%	56 2.75%	17 0.83%	10	2,036 100.00%	4.12	0.772	4.10	0.259
外セ	語学	1,107 30.57%	1,949 53.82%	397 10.96%	114 3.15%	43 1.19%	11	3,621 100.00%	4.10	0.800	4.10	0.379
スボ健	演習	609 50.54%	482 40.00%	86 7.14%	20 1.66%	6 0.50%	2	1,205 100.00%	4.39	0.735	4.37	0.320
基礎教養	講義	1,421 35.04%	2,155 53.14%	365 9.00%	79 1.95%	20 0.49%	15	4,055 100.00%	4.21	0.722	4.24	0.240
	演習	13 37.14%	14 40.00%	7 20.00%	0 0.00%	1 2.86%	0	35 100.00%	4.09	0.919	4.13	0.330
	計	1,434 35.06%	2,169 53.03%	372 9.10%	79 1.93%	21 0.51%	15	4,090 100.00%	4.21	0.724	4.24	0.244
法学部	講義	1,706 26.81%	3,483 54.73%	854 13.42%	205 3.22%	65 1.02%	51	6,364 100.00%	4.04	0.792	4.09	0.258
	演習	242 46.27%	244 46.65%	28 5.35%	6 1.15%	3 0.57%	0	523 100.00%	4.37	0.692	4.40	0.335
	計	1,948 28.29%	3,727 54.12%	882 12.81%	211 3.06%	68 0.99%	51	6,887 100.00%	4.06	0.789	4.18	0.315
経済学部	講義	2,002 27.70%	3,664 50.69%	1,068 14.78%	323 4.47%	128 1.77%	43	7,228 100.00%	3.99	0.876	4.02	0.290
	演習	208 53.75%	154 39.79%	16 4.13%	6 1.55%	2 0.52%	1	387 100.00%	4.45	0.698	4.45	0.319
	計	2,210 29.02%	3,818 50.14%	1,084 14.24%	329 4.32%	130 1.71%	44	7,615 100.00%	4.01	0.874	4.13	0.353
文学部	講義	1,632 33.30%	2,615 53.36%	473 9.65%	129 2.63%	33 0.67%	19	4,901 100.00%	4.16	0.756	4.23	0.282
	演習	906 43.45%	1,001 48.01%	121 5.80%	35 1.68%	15 0.72%	7	2,085 100.00%	4.32	0.723	4.33	0.321
	計	2,538 36.33%	3,616 51.76%	594 8.50%	164 2.35%	48 0.69%	26	6,986 100.00%	4.21	0.749	4.28	0.305
理学部	講義	522 27.34%	1,030 53.95%	250 13.10%	63 3.30%	33 1.73%	11	1,909 100.00%	4.02	0.834	4.02	0.279
	演習	162 38.12%	218 51.29%	31 7.29%	13 3.06%	1 0.24%	0	425 100.00%	4.24	0.736	4.26	0.295
	計	684 29.31%	1,248 53.47%	281 12.04%	76 3.26%	34 1.46%	11	2,334 100.00%	4.06	0.821	4.07	0.299
国際社会科学部	講義	487 25.19%	990 51.22%	303 15.68%	96 4.97%	31 1.60%	26	1,933 100.00%	3.95	0.872	3.97	0.320
	演習	64 36.78%	79 45.40%	23 13.22%	5 2.87%	1 0.57%	2	174 100.00%	4.16	0.807	4.21	0.420
	語学	377 37.78%	455 45.59%	123 12.32%	26 2.61%	9 0.90%	8	998 100.00%	4.18	0.813	4.15	0.417
	計	928 29.89%	1,524 49.08%	449 14.46%	127 4.09%	41 1.32%	36	3,105 100.00%	4.03	0.856	4.08	0.391
教職課程	講義	269 27.39%	531 54.07%	131 13.34%	35 3.56%	11 1.12%	5	982 100.00%	4.04	0.808	4.11	0.442
	演習	188 35.74%	263 50.00%	47 8.94%	17 3.23%	6 1.14%	5	526 100.00%	4.17	0.811	4.16	0.336
	計	457 30.31%	794 52.65%	178 11.80%	52 3.45%	17 1.13%	10	1,508 100.00%	4.08	0.811	4.14	0.384
学芸員	講義	92 32.06%	167 58.19%	19 6.62%	6 2.09%	3 1.05%	0	287 100.00%	4.18	0.730	4.22	0.303
	演習	20 68.97%	9 31.03%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0	29 100.00%	4.69	0.471	4.69	0.079
	計	112 35.44%	176 55.70%	19 6.01%	6 1.90%	3 0.95%	0	316 100.00%	4.23	0.725	4.30	0.330
合計	12,657 31.88%	20,599 51.88%	4,569 11.51%	1,234 3.11%	428 1.08%	216	39,703 100.00%	4.11	0.804	4.18	0.345	

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		8,761 29.50%	15,731 52.98%	3,690 12.43%	992 3.34%	341 1.15%	180	29,695 100.00%	4.07	0.810	4.12	0.299
演習		2,412 44.76%	2,464 45.72%	359 6.66%	102 1.89%	35 0.65%	17	5,389 100.00%	4.32	0.738	4.34	0.333
語学		1,484 32.13%	2,404 52.05%	520 11.26%	140 3.03%	52 1.13%	19	4,619 100.00%	4.11	0.804	4.11	0.386
合計		12,657 31.88%	20,599 51.88%	4,569 11.51%	1,234 3.11%	428 1.08%	216	39,703 100.00%	4.11	0.804	4.18	0.345

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
学部1年		6,390 31.33%	10,353 50.76%	2,636 12.92%	715 3.51%	208 1.02%	94	20,396 100.00%	4.08	0.819
学部2年		3,282 29.38%	6,140 54.96%	1,219 10.91%	331 2.96%	127 1.14%	72	11,171 100.00%	4.09	0.787
学部3年		2,266 35.23%	3,350 52.08%	561 8.72%	148 2.30%	73 1.13%	34	6,432 100.00%	4.19	0.776
学部4年		669 42.02%	698 43.84%	153 9.61%	37 2.32%	19 1.19%	16	1,592 100.00%	4.24	0.815

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下		2,289 39.48%	2,786 48.05%	518 8.93%	131 2.26%	54 0.93%	20	5,798 100.00%	4.23	0.779	4.23	0.391
26～50名		2,814 38.11%	3,669 49.70%	624 8.45%	192 2.60%	51 0.69%	33	7,383 100.00%	4.22	0.764	4.22	0.326
51～100名		2,001 31.33%	3,402 53.26%	690 10.80%	187 2.93%	80 1.25%	27	6,387 100.00%	4.11	0.801	4.09	0.301
101～200名		2,272 28.77%	4,229 53.55%	994 12.59%	270 3.42%	90 1.14%	43	7,898 100.00%	4.06	0.808	4.06	0.240
201名以上		3,281 26.81%	6,513 53.22%	1,743 14.24%	454 3.71%	153 1.25%	93	12,237 100.00%	4.01	0.822	4.01	0.235
合計		12,657 31.88%	20,599 51.88%	4,569 11.51%	1,234 3.11%	428 1.08%	216	39,703 100.00%	4.11	0.804	4.18	0.345

Q14 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	502 24.66%	1,100 54.03%	318 15.62%	82 4.03%	27 1.33%	7	2,036 100.00%	3.97	0.828	3.97	0.339
外セ	語学	1,243 34.33%	1,855 51.23%	368 10.16%	97 2.68%	51 1.41%	7	3,621 100.00%	4.15	0.812	4.15	0.407
スホ健	演習	695 57.68%	446 37.01%	51 4.23%	5 0.41%	5 0.41%	3	1,205 100.00%	4.51	0.640	4.51	0.255
基礎教養	講義	1,483 36.57%	2,119 52.26%	359 8.85%	72 1.78%	11 0.27%	11	4,055 100.00%	4.23	0.705	4.26	0.244
	演習	13 37.14%	18 51.43%	3 8.57%	1 2.86%	0 0.00%	0	35 100.00%	4.23	0.731	4.28	0.467
	計	1,496 36.58%	2,137 52.25%	362 8.85%	73 1.78%	11 0.27%	11	4,090 100.00%	4.23	0.705	4.26	0.252
法学部	講義	1,786 28.06%	3,334 52.39%	913 14.35%	210 3.30%	80 1.26%	41	6,364 100.00%	4.03	0.820	4.06	0.344
	演習	277 52.96%	207 39.58%	26 4.97%	10 1.91%	3 0.57%	0	523 100.00%	4.42	0.727	4.44	0.375
	計	2,063 29.95%	3,541 51.42%	939 13.63%	220 3.19%	83 1.21%	41	6,887 100.00%	4.06	0.820	4.17	0.391
経済学部	講義	2,044 28.28%	3,500 48.42%	1,134 15.69%	352 4.87%	156 2.16%	42	7,228 100.00%	3.96	0.912	4.02	0.374
	演習	231 59.69%	135 34.88%	14 3.62%	6 1.55%	1 0.26%	0	387 100.00%	4.52	0.669	4.51	0.369
	計	2,275 29.88%	3,635 47.73%	1,148 15.08%	358 4.70%	157 2.06%	42	7,615 100.00%	3.99	0.910	4.15	0.430
文学部	講義	1,722 35.14%	2,490 50.81%	459 9.37%	166 3.39%	43 0.88%	21	4,901 100.00%	4.16	0.797	4.22	0.366
	演習	913 43.79%	980 47.00%	131 6.28%	42 2.01%	15 0.72%	4	2,085 100.00%	4.31	0.741	4.32	0.370
	計	2,635 37.72%	3,470 49.67%	590 8.45%	208 2.98%	58 0.83%	25	6,986 100.00%	4.21	0.784	4.27	0.372
理学部	講義	514 26.93%	960 50.29%	315 16.50%	80 4.19%	31 1.62%	9	1,909 100.00%	3.97	0.867	4.00	0.353
	演習	167 39.29%	205 48.24%	39 9.18%	11 2.59%	3 0.71%	0	425 100.00%	4.23	0.775	4.21	0.407
	計	681 29.18%	1,165 49.91%	354 15.17%	91 3.90%	34 1.46%	9	2,334 100.00%	4.02	0.856	4.04	0.373
国際社会科学部	講義	498 25.76%	956 49.46%	307 15.88%	114 5.90%	40 2.07%	18	1,933 100.00%	3.92	0.917	3.92	0.410
	演習	74 42.53%	65 37.36%	22 12.64%	9 5.17%	2 1.15%	2	174 100.00%	4.16	0.922	4.21	0.527
	語学	404 40.48%	444 44.49%	104 10.42%	29 2.91%	10 1.00%	7	998 100.00%	4.21	0.822	4.18	0.458
	計	976 31.43%	1,465 47.18%	433 13.95%	152 4.90%	52 1.67%	27	3,105 100.00%	4.03	0.898	4.08	0.463
教職課程	講義	265 26.99%	502 51.12%	155 15.78%	37 3.77%	18 1.83%	5	982 100.00%	3.98	0.865	4.09	0.475
	演習	195 37.07%	251 47.72%	48 9.13%	19 3.61%	7 1.33%	6	526 100.00%	4.17	0.841	4.13	0.368
	計	460 30.50%	753 49.93%	203 13.46%	56 3.71%	25 1.66%	11	1,508 100.00%	4.05	0.861	4.11	0.415
学芸員	講義	90 31.36%	158 55.05%	30 10.45%	4 1.39%	4 1.39%	1	287 100.00%	4.14	0.764	4.20	0.343
	演習	21 72.41%	7 24.14%	1 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	0	29 100.00%	4.69	0.541	4.68	0.219
	計	111 35.13%	165 52.22%	31 9.81%	4 1.27%	4 1.27%	1	316 100.00%	4.19	0.763	4.28	0.372
合計	13,137 33.09%	19,732 49.70%	4,797 12.08%	1,346 3.39%	507 1.28%	184 0.46%	39,703 100.00%	4.10	0.833	4.18	0.401	

【形態別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,904 29.98%	15,119 50.91%	3,990 13.44%	1,117 3.76%	410 1.38%	155	29,695 100.00%	4.05	0.843	4.09	0.372
演習	2,586 47.99%	2,314 42.94%	335 6.22%	103 1.91%	36 0.67%	15	5,389 100.00%	4.36	0.742	4.37	0.379
語学	1,647 35.66%	2,299 49.77%	472 10.22%	126 2.73%	61 1.32%	14	4,619 100.00%	4.16	0.814	4.15	0.416
合計	13,137 33.09%	19,732 49.70%	4,797 12.08%	1,346 3.39%	507 1.28%	184 0.46%	39,703 100.00%	4.10	0.833	4.18	0.401

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答			
学部1年	6,567 32.20%	9,950 48.78%	2,810 13.78%	740 3.63%	254 1.25%	75	20,396 100.00%	4.07	0.845
学部2年	3,430 30.70%	5,843 52.31%	1,257 11.25%	424 3.80%	151 1.35%	66	11,171 100.00%	4.08	0.831
学部3年	2,410 37.47%	3,191 49.61%	573 8.91%	147 2.29%	81 1.26%	30	6,432 100.00%	4.20	0.794
学部4年	677 42.53%	693 43.53%	157 9.86%	32 2.01%	20 1.26%	13	1,592 100.00%	4.25	0.813

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,507 43.24%	2,616 45.12%	472 8.14%	131 2.26%	58 1.00%	14	5,798 100.00%	4.28	0.787	4.26	0.427
26～50名	2,932 39.71%	3,548 48.06%	612 8.29%	196 2.65%	69 0.93%	26	7,383 100.00%	4.23	0.786	4.23	0.380
51～100名	1,935 30.30%	3,258 51.01%	827 12.95%	243 3.80%	95 1.49%	29	6,387 100.00%	4.05	0.848	4.04	0.377
101～200名	2,334 29.55%	4,012 50.80%	1,102 13.95%	304 3.85%	106 1.34%	40	7,898 100.00%	4.04	0.844	4.04	0.330
201名以上	3,429 28.02%	6,298 51.47%	1,784 14.58%	472 3.86%	179 1.46%	75	12,237 100.00%	4.01	0.846	4.02	0.319
合計	13,137 33.09%	19,732 49.70%	4,797 12.08%	1,346 3.39%	507 1.28%	184 0.46%	39,703 100.00%	4.10	0.833	4.18	0.401

Q15 この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計セ	講義	1,759 86.39%	147 7.22%	38 1.87%	81 3.93%	11	2,036	-	-	-	-
外セ	語学	2,979 82.27%	319 8.81%	116 3.20%	176 4.86%	31	3,621	-	-	-	-
スホ健	演習	1,132 93.94%	36 2.99%	5 0.41%	27 2.24%	5	1,205	-	-	-	-
基礎教養	講義	3,463 85.40%	348 8.58%	67 1.65%	138 3.40%	39	4,055	-	-	-	-
	演習	26 74.29%	3 8.57%	3 8.57%	2 5.71%	1	35	-	-	-	-
	計	3,489 85.31%	351 8.58%	70 1.71%	140 3.42%	40	4,080	-	-	-	-
法学部	講義	5,177 81.35%	710 11.16%	148 2.33%	280 4.40%	49	6,364	-	-	-	-
	演習	469 89.67%	19 3.63%	18 3.44%	14 2.68%	3	523	-	-	-	-
	計	5,646 81.98%	729 10.59%	166 2.41%	294 4.27%	52	6,887	-	-	-	-
経済学部	講義	5,706 78.94%	902 12.48%	182 2.52%	380 5.26%	58	7,228	-	-	-	-
	演習	357 92.25%	18 4.65%	5 1.29%	5 1.29%	2	387	-	-	-	-
	計	6,063 79.62%	920 12.08%	187 2.46%	385 5.06%	60	7,615	-	-	-	-
文学部	講義	3,911 79.80%	401 8.18%	255 5.20%	293 5.98%	41	4,901	-	-	-	-
	演習	1,790 85.85%	125 6.00%	67 4.17%	67 3.21%	16	2,085	-	-	-	-
	計	5,701 81.61%	526 7.53%	342 4.90%	360 5.15%	57	6,988	-	-	-	-
理学部	講義	1,496 78.37%	120 6.29%	67 3.51%	213 11.16%	13	1,909	-	-	-	-
	演習	369 86.82%	41 9.65%	0 0.00%	13 3.06%	2	425	-	-	-	-
	計	1,865 79.91%	161 6.90%	67 2.87%	226 9.68%	15	2,334	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	1,279 66.17%	216 11.17%	173 8.95%	232 12.00%	33	1,933	-	-	-	-
	演習	140 80.46%	8 4.60%	15 8.62%	8 4.60%	3	174	-	-	-	-
	語学	696 69.74%	141 14.13%	83 8.32%	60 6.01%	18	998	-	-	-	-
	計	2,115 68.12%	365 11.76%	271 8.73%	300 9.66%	54	3,105	-	-	-	-
教職課程	講義	683 69.55%	84 8.55%	30 3.05%	176 17.92%	9	982	-	-	-	-
	演習	448 85.17%	18 3.42%	23 4.37%	30 5.70%	7	526	-	-	-	-
	計	1,131 75.00%	102 6.76%	53 3.51%	206 13.86%	16	1,508	-	-	-	-
学芸員	講義	230 80.14%	33 11.50%	10 3.48%	14 4.88%	0	287	-	-	-	-
	演習	28 96.55%	0 0.00%	3 3.45%	0 0.00%	0	29	-	-	-	-
	計	258 81.65%	33 10.44%	11 3.48%	14 4.43%	0	316	-	-	-	-
合計	32,138 80.95%	3,689 9.29%	1,326 3.34%	2,209 5.56%	341	39,703	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
講義	23,704 79.82%	2,961 9.97%	970 3.27%	1,807 6.09%	253	29,695	-	-	-	-
演習	4,759 88.31%	268 4.97%	157 2.91%	166 3.08%	39	5,389	-	-	-	-
語学	3,675 79.56%	460 9.96%	199 4.31%	236 5.11%	49	4,619	-	-	-	-
合計	32,138 80.95%	3,689 9.29%	1,326 3.34%	2,209 5.56%	341	39,703	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答			
学部1年	16,218 79.52%	2,198 10.78%	626 3.07%	1,187 5.82%	167	20,396	-	-
学部2年	9,169 82.08%	790 7.07%	451 4.04%	655 5.86%	106	11,171	-	-
学部3年	5,341 83.04%	541 8.41%	197 3.06%	300 4.66%	53	6,432	-	-
学部4年	1,316 82.66%	150 9.42%	50 3.14%	61 3.83%	15	1,592	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	4,953 85.43%	356 6.14%	202 3.48%	231 3.98%	56	5,798	-	-	-	-
26～50名	6,100 82.62%	564 7.64%	262 3.55%	404 5.47%	53	7,383	-	-	-	-
51～100名	5,135 80.40%	504 7.89%	230 3.60%	460 7.20%	59	6,387	-	-	-	-
101～200名	6,068 76.83%	808 10.23%	352 4.46%	604 7.65%	66	7,898	-	-	-	-
201名以上	9,882 80.76%	1,457 11.91%	280 2.29%	510 4.17%	108	12,237	-	-	-	-
合計	32,138 80.95%	3,689 9.29%	1,326 3.34%	2,209 5.56%	341	39,703	-	-	-	-

令和5年度 FD・SD 推進委員会委員一覧

委員長	副学長	千葉 功
委員	学生センター所長	草間 博之
委員	学長室部長	尾浪 英人
委員	法学部	麦山 亮太
委員	経済学部	和光 純
委員	文学部	佐藤 雄介
委員	理学部	糺谷 浩
委員	国際社会科学部	玉置 えみ
委員	法務研究科	尾形 健
委員	スポーツ・健康科学センター	北村 麻衣
委員	計算機センター	久保山 哲二
委員	外国語教育研究センター	狩野 智洋
委員	教職課程	山崎 準二
委員	学芸員課程委員会	皿井 舞
委員	学生センター部長	井上 素子
委員	キャリアセンター部長	鈴木 薫

学習院大学
令和4年度「授業評価アンケート」報告書

令和5年10月

編 集 学習院大学 FD・SD 推進委員会

発 行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(5992)9537

お問合せ先：学長室経営企画課